

西成区在日コリアン人権意識調査

報 告 書

1998年4月

財団法人ヒューマンライツ教育財団

はじめに

第1章	調査の概要	3
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査対象地区全体の人口構成	4
4	調査手法	4
	(a)調査対象人口抽出法とアンケート調査法	
	(b)聞き取り調査法	
5	アンケート調査対象人口特性	6
	(a)集計概要	
6	在日コリアンの家族形態	8
7	家庭での民族的生活習慣	9
第2章	西成区における在日コリアン社会の歴史	10
1	西成区のエスニック-エンクレーヴとその形成過程	10
	(a)エスニック-エンクレーヴの誕生	
	(Pさんの話をもとに……表2-①)	
	(b)エスニック-エンクレーヴの発展	
	(LさんとKさんの話をもとに……表2-②, ③)	
	(c)エスニック-エンクレーヴの縮小	
	(SさんとQさんの話をもとに……表2-④, ⑤, ⑥)	
第3章	西成区における在日コリアンの定住性	18
1	西成区居住在日コリアンの定住意思	18
2	定住意思に影響する要因	19
3	ソフトよりもハードの非定住、ハードよりソフトの定住	22
4	被差別意識と定住性の相関関係	23
5	西成区生まれと定住性の相関関係	25
6	世代別にみる定住意識	26
7	まとめ	26
第4章	西成区における在日コリアンの共生性	28
1	西成の共生性①—他の調査結果との比較	28
	(a)在日コリアンの結婚観からみられる共生性	
	(b)大阪人権研究会の調査結果との比較から見た共生性	
2	西成の共生性②—在日コリアンの被差別体験と被差別意識	30
	(a)矛盾する在日コリアンの被差別体験と被差別意識	
3	西成の共生性③—部落民と在日コリアン	34
	(a)同和対策事業と在日コリアンの心の溝	
4	まとめ	38

第5章	在日コリアンの民族教育観	40
1	日本における民族学校の存在	40
2	日本の学校における民族教育	41
	(a)在日からみた日本の学校の民族学級	
	① 民族学級の内容	
	② 民族学級の参加者	
	③ 民族学級の進め方	
	(b)神奈川県調査との比較	
	(c)何が在日であるかを決めるのか	
3	まとめ	50
第6章	在日コリアンの人権問題意識	51
1	釜ヶ崎・あいりん地区問題について	51
2	障害者問題について	52
3	老人介護について	54
第7章	社会的にみた在日コリアンのアイデンティティ	58
1	在日コリアンの提議の曖昧さ	58
2	アイデンティティの類型検証	59
	(a)マイノリティ市民型と永住外国人型の検証	
	(b)永住外国人型の特徴	
	(c)マイノリティ市民型の特徴	
	(d)類型の社会科学的存在検証	
	(e)デモグラフィックな特性と類型の相関関係	
3	まとめ	73
終章	在日コリアンの社会参加の可能性	75
1	日本社会への参加意欲	75
2	西成区のまちづくりへの参加意欲	76
	(a)在日はまちづくりに貢献できる？できない？	
	(b)まちを良くするのに大切なもの	
	(c)アイデンティティの類型と西成のまちづくり	
	(d)世代別に見た西成区のまちづくりへの参加意欲	
3	在日コリアンの社会参加実現に向けて	81
4	まとめ	83
おわりに		
資料編	89
1	調査用紙	91
2	西成区在日コリアン人権意識調査単純集計	102
3	西成区在日コリアン人権意識調査自由記述	135
4	参考文献	161

はじめに

全国でも最大規模の被差別部落、西日本における最大の日雇い労働市場である「釜ヶ崎」、そして大阪市内にあって生野区や東成区に次ぐ在日コリアン集住地域である西成区では、こうした差別や様々な都市行政課題が互いに重なりあって西成というまちに対する差別と偏見を生み出し、まちの発展と区民の自己実現を妨げています。

西成区では、区制70周年を迎えた1995年に「あらゆる差別の撤廃なくしては、西成の発展と区民の人権確立はありえず、人権の確立なくして誇りうる西成のまちづくりは実現しない」こと。そして、21世紀にこの西成を「人権尊重の発信地」へ変身させるべく、「西成のまちから部落差別をはじめあらゆる差別を撤廃し、国際社会が到達した最善のものをこの地で具体化するため区民の対話と不断の努力」をはじめめることを歌い上げた「西成区民の人権宣言」（人間が人間らしく生きる西成のまちづくりを実現する区民宣言）を採択しました。

「西成区在日コリアン人権意識調査」はこうした取り組みを背景に、大阪市から委託を受けた財団法人ヒューマンライツ教育財団によって実施されました。西成区には7000人を超える在日コリアンが居住しており、一言で在日コリアンの実態調査といっても限られた条件の中で実施できる調査はおのずと限られてきました。私たちは昨年4月以降その調査内容を検討するために、数々のフィールドワークを実施する中で、本調査の主目的を在日コリアンの社会参加への可能性、アイデンティティ確立への支援のあり方を探るために、彼らの市民意識と潜在能力を明らかにすることにしました。

本調査の実施にあたっては、財団法人ヒューマンライツ教育財団の調査研究グループが中心となり、学識経験者、部落解放同盟の方々のご協力もいただき調査項目の作成、調査結果の集計および分析・考察などを行いました。

なによりも本調査に快く協力をいただきました在日コリアンのみなさん、そして関係者の方々に深く感謝申し上げますとともに、本報告書が区民のみなさんをはじめ多くの方々によってご批判をいただき、在日コリアンの社会参加、アイデンティティ確立への支援を通して人間が人間らしく生きる西成のまちづくり、国際人権都市大阪の発展にご活用されますことを願うものであります。

財団法人ヒューマンライツ教育財団

理事長 松岡 徹

主任調査研究員 愼 和枝

【1】調査の目的

この調査は、大阪市から委託を受けた財団法人ヒューマンライツ教育財団（理事長：松岡徹）によって、1997年4月より1998年3月までの1年間、西成区居住の在日コリアン（オールドカマーの在日韓国朝鮮人）^{注1}の人権実態を調べるために西成区内で（特に被差別部落地区を中心に）行われたものである。この調査の第1の目的は、生野区、東成区に次ぐ在日コリアン集住地区である西成区に住む在日コリアンの人権諸問題に対する考えや意見を探究することを通して、彼等の社会参加の道筋を明らかにし、「人間が人間らしく生きる西成のまちづくり」（西成区民の人権宣言）の実現及び「国際人権都市おおさか」の発展に寄与するということ。

さらに、「定住外国人」という法的にも社会的にも曖昧な立場にある在日コリアンが、日本社会そして西成のまちでどのような体験をし、自分たちが住むまちや周辺の人々、そして自分自身に対してどういった意見を持っているのかを調べ、彼等の自己実現や個性の開花をこの西成のまちがどのように支援できるかを模索するための参考資料を生み出すことを第2の目的としている。

【2】調査の内容

本調査は、フィールドワーク（オブザベーション:Observation）、アンケート調査（サーベイ:Survey）と聞き取り調査（インタビュー:Interview）の3つの調査手法から成り立っている。オブザベーションは、調査対象地区の教育機関およびその他行政施設、地域活動のなかで調査主任である筆者によって行われ、調査対象者が日常生活を送る場所（特に民族学級等）へ出向き、そこでどのような状況で彼等が生活を送り活動しているのかを観察したものである。そしてその記録は、後のインタビューの実施やデータ分析に役立てられた。アンケート調査（サーベイ）は1997年7月から8月にまたがり、約2週間かけて実施された。対象人口の抽出法やアンケート調査の実施の方法については後で詳しく触れる。

聞き取り調査は、アンケート調査の終了後に実施され、実施期間は1997年9月から12月までの4ヵ月間である。聞き取り調査の手法及び分析法は、米国ウイスコンシン大学のハイン博士のアドバイスのもと、彼のアジア系アメリカ人のアイデンティティ研究調査で実際に用いられた調査手法を本調査のモデルにしている。聞き取り調査対象者は、アンケート調査を行った人を中心に選び、アンケートに対する彼等の答えとその答え方についての確認と、アンケートでは聞けなかった内容の複雑な質問を聞くことを中心に行った。これに関する詳細は、次にアンケート調査の手法と共に記述したいと思う。

調査分析のデータは、アンケート調査結果及び聞き取り調査の結果である。調査テーマは、「定住」「共生」「自立」「人権」の4点に絞り、それらを社会学的な視点から検証及び分析を行った。調査事項は以下に記したとおりである。

- ① 基本的属性（年齢、性、学歴、基本的家族形態など）
- ② 地域／社会問題に対する考え（在日コリアン問題、あいりん地区、老人介護、障害者問題、部落問題など）
- ③ 被差別意識、体験（偏見に対する敏感度、被差別意識の高低、差別体験の頻度）
- ④ アイデンティティ（名前、国籍、民族教育、文化、交流関係、結婚観、社会的距離など）
- ⑤ 社会参加（選挙権、国籍条項、まちづくりへの意見など）

^{注1} 最近（1980年代以降）日本に出稼ぎ等できた外国人をニューカマーというが、オールドカマーはそれよりもずいぶん以前（戦前、戦中等）に日本に移住し定住した外国人のことをさす。また、本稿では在日韓国朝鮮人を在日コリアンと総称している。

【3】調査対象地区全体の人口構成

① 西成区の総／性別人口数（資料提供：大阪市民政局、区政概要H.9年度版：住民基本台帳より）

総人口：126,229人
世帯数：72,958世帯
性別：（男）72,841人（女）53,388人

② 西成区在住の在日コリアンの人口数

（資料提供：大阪市民政局、区政概要外人登録人口H.9年度版より）

総人口：7,165人

（朝鮮籍と韓国籍及びオールドカマーとニューカマーをふくむ／帰化者を含まない）

本来ならば、国籍（韓国籍、朝鮮籍別）、男女及び年齢別までわかる詳しい人口統計が調査員の手元にあるべきなのだが、そのような人口統計は行政が保持しており、現在一般公開されていない。本調査をするにあたり、各行政機関にこれらの人口統計の提供を求めたが、残念ながら入手は不可能であった。このような外国籍のマイノリティ人口統計の非公開は、マイノリティの正確な実態を把握する上で大きな障害となっている。この事実からも、いかに現在の日本社会で在日コリアンのようなマイノリティの社会調査をすることが困難であり、なぜ彼等の実態を把握する調査が遅れがちであるかが理解できるだろう。このような人口統計など、調査に不可欠な資料の一般公開及び調査研究者への提供が、今後マイノリティの理解を促進させるためにも優先的に解決されるべき問題点ではないか。

【4】調査手法

(a) 調査対象人口抽出法とアンケート調査法 (Sampling & Survey Methods)

本調査を実施するにあたり、我々が直面した最初の問題は対象人口抽出をどう行うかということであった。もっとも科学的であるといわれるランダムサンプリング（無作為抽出法）を行うには正確かつ大量の名簿の入手が要求される。現在の日本社会で大量かつ正確な在日コリアンの名簿を所持しているのは行政や民族団体であるが、これらの機関と名簿の提供を交渉する時間的な余裕が今回の調査にはなかった。

さらに、在日社会の現実（南北間の対立／民族を隠し生活している／行政に対する不信感／帰化者の増加等）や今回の調査のテーマが彼等の内面（アイデンティティ）に焦点をあてていることなどを考えると、名簿から無作為に抽出し突然対象者に調査用紙を配布しておこなうアンケート調査（サーベイ）だけでは調査への理解・協力が得れず、最終的に回答率が低くなるという恐れがあった。また、帰化している人達が調査から完全に漏れるということも懸念された。そこで本調査は、縁故を通して対象人口を抽出するスノーボールサンプリング法を、調査対象人口抽出法として選ぶことにした（Smith1991）。通常、このような抽出法では時間がかかり、確保できてもせいぜい50人から70人前後となるのだが、本調査は、地元最大のネットワークを誇る部落解放同盟西成支部の協力がえられたことから、この抽出方法で200人以上もの対象者を見つけることができた。また、当初懸念していた普通名簿だけでは探すことが難しい帰化をした在日コリアンたちも、本調査の対象人口の中へ組み入れることができた。これは商店街の韓国系飲食店や朝鮮食料店に足を運んで、調査協力をお願いするといった作業を含む、草の根の努力の成果であったこと、そして支部員の方々の協力なしには行えなかったことを特記しておく。

さらに調査用紙への記入方法は、突然とも言える行政による調査が、彼等の調査に対する不信

感を高めないようにするため、調査趣旨を対象人口の在日コリアンの方々に比較的丁寧に説明できる対面式を選んだ。ただ、調査員が日本人であることを意識したり、調査員の前で記入することを好まない在日コリアンに関しては、調査の趣旨を理解していただいた上で用紙を各自で記入し、それを調査員が後日引き取りに来るという留置形式を取った（中道1997）。

以上のような調査手法を選んだ結果、本調査のサンプル数が小さくなり、このデータ自身を持つ代表性は低下したが、アンケートの回収は低コストかつ短期間ですみ、さらに有効回収票率およびデータの持つ信頼性、内容の濃度を高めることができた（有効回収率下記参照）。このことは、本調査の大きな成果の1つであったことを強調しておきたい。また、今回の調査人口である166人は他の行政調査等に比べ極端に少なく映るかもしれないが、この数はスノーボールサンプリング法としては大変大きな数であり、また本調査の性格（量でなく質の高いデータを集める調査：a qualitative research）とその条件（予算、人員数、時間）から考えても妥当であるといえる。

表1-1

調査数	回収数	有効回収票数	有効回収票率 ^{※2}
237	180	166	70%

(b) 聞き取り調査法 (Interview Method)

本調査では、彼等の実態を詳しく検証し、より立体的な在日コリアン像を浮き彫りにするため、アンケート調査（サーベイ）だけではなく聞き取り調査（インタビュー）も、調査手法として取り入れた。聞き取り調査の方法は、先に少し触れたがウィスコンシン大学の社会学者、ハイン博士の東南アジア系移民のアイデンティティの調査手法をモデルに選んだ。事前に行ったアンケート調査から約一割の人口を年齢、性別、学歴などの属性が多様になるように気をつけて抽出し、その人達から質的なデータを収集する聞き取り調査（インタビュー）を行った。ただ、聞き取り調査は短くても1時間、長いものでは3時間にも及ぶという時間の束縛を余儀なくするものであったため、調査協力を確保することが極めて難しかった。そのような理由から、アンケート用紙の記入者からだけでは十分な数の調査対象者を確保できなかったため、2名だけ事前のアンケート調査の対象者ではなかった方を採用することになった。彼等はアンケート調査の対象者を選んだときと同じ要領で、スノーボール式を用いて探し当てた。当初、30人程度との聞き取りを予定していたが、思いのほか対象者数の確保や日程の調整が難航したこと、そして、もとより調査期間が短かったこともあり、最終的に聞き取り対象者数は当初の予定の3分の2に当たる20人となった。

社会学調査における聞き取り、すなわちインタビューは通常の会話とは異なり、様々な社会学理論と倫理に基づき、ある一定の目的を持って行われる社会科学的な会話（Systematic Conversation）である（Smith 1991）。これは、ただ思いつくままに話しを進めていくのではなく、対象者から十分な情報を得るという目的にそって会話を組み立てていく性格を持つ。また、今回の調査では彼等が地元の住民や団体、及び日本人や日本社会に対する不満等に関しても自由に発言できるよう、聞き取りの遂行は1件を除き、民族的属性が同じ在日コリアンで西成区出身ではない筆者が行うことにした（Feagin1991）。韓国／朝鮮語と日本語を入り交じった言葉を話す1世の方も対象者のなかにはいたことや、対象者のなかには「ねえちゃんがハングサラン（韓国人）やからいうけど、こんなイルブンサラン（日本人）には言われへんやろ。ひがみにとられるし」という人もいたことからこの判断は賢明であったと言える。

例外となった1件は、筆者が当日どうしても聞き取りを遂行できなかった分、配偶者が在日

^{※2} 有効回収票数は回収された調査票を調査員が点検（Editing:エディテング）した際に、記入漏れが極端に多かったものや、対象者本人ではなく他者が記入していると明らかにわかったものなどを破棄した後、集計した調査票数である。

コリアンであり、在日の問題に対して一定の知識のある日本人の調査員を代理にたて、アシスタントに在日を起用した。結果、対象者がコミュニケーションの上で全く支障もなく、また回答意欲がとても高かったこともあり、この聞き取りの結果も筆者が行った場合と大差が見られなかったのでデータとして採用をした。

このような対面式聞き取り調査を手法としてを選んだ理由のもう一つは、本調査の限られた調査期間と予算にもある。聞き取り調査は大規模なアンケート調査（サーベイ）と違い、低コストで確実にデータの収集ができる。さらに、アンケートでは聴取できないような複雑な彼等の思いや葛藤について、十分な時間をもって聞き取りができることもこの手法の利点である（Smith 1991）。

【5】アンケート調査対象者の人口特性（Demographic Characteristics）

本調査では、調査対象者の人口構成とその特徴に関する複雑な統計処理を行っていない。これはサンプル数が小さくデータ自体の代表性が低いため、たとえ高度な統計処理を行っても、そのために費やした時間や労力に値するほどの社会的に有意（sociologically significant）な発見に結び付かないと判断したからである。故に本報告書では、対象者となった人口の単純な属性別人口構成を表やグラフにまとめ、その特色の概要記述までにとどめておくことにした。これは、後章で記述するその他の結果を考察する上での基礎資料として用いていただきたい。

(a) 集計概要

人口構成の特徴で先ず記述しておくべきことは、本調査では性別及び年齢層のバランスは比較的とれているが、国籍と世代はアンバランスであるということである。これはスノーサンプリング法で対象人口を割り出すうえで、性別や年齢はバランスをとることが出来たが国籍や世代がわかりにくかったこともあり、それらの割合をサンプリングの段階でコントロールすることが極めて難しかったためである。国籍については韓国籍が圧倒的に多かったが、国籍別やその他の属性別の在日コリアン人口内訳の資料の閲覧ができないため、この国籍による偏りが果たしてもともと朝鮮籍の在日コリアンの人口が少なかったことを反映した結果なのかどうか判断はつかない。世代に関して二世がこの調査では多い。これは一世と二世の高齢化が進んだせいだと考えられるが、それ以上のことはやはり全体の人口統計資料がないため言及できない。

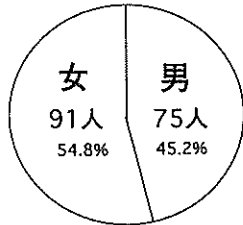
学歴に関して、大卒者が極端に少ないことと高卒、中卒者が多いのが目立つ。専門学校は看護、理髪学校、その他コンピュータ関係といったものであった。「その他」の内訳は、大半が就学の機会がなかった一世の人であった。世代と学歴のクロスを試してみたところ大卒者は、47.4%が2世で、52.6%が3世であり、1世に大卒者は全く無く、その代わりに小、中卒者が目立った。男女別では、高校以上の学歴に関して男女間に特に差はみられなかったが、中卒以下の場合、若干女性のほうが多く、とりわけ小卒者は女性の方が男性より多かった。一世に小卒が多いことを加味すると、これはまだ女性の教育を受ける権利の保障が、今以上に確立されていない時代背景が投影されているのではないかと考えられる。

アンケート調査の対象人口の居住区については、今回は正確な名簿の入手ができなかったため、彼らの居住地域はいわゆる被差別部落地域内及び周辺に集中している。被差別地域外の人口の割り出しに全力を尽くしたが、時間と人員の関係から22人（13.3% N=166）しか見つけられなかった。今回対象人口に組み込めなかったこれらの在日コリアンの実態の把握については、今後の調査に期することにする。

(b) 集計グラフ

総数：166名

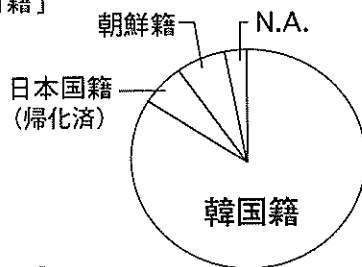
図1-1 [性別]



性別：

1.男	: 75 (45.2)
2.女	: 91 (54.8)

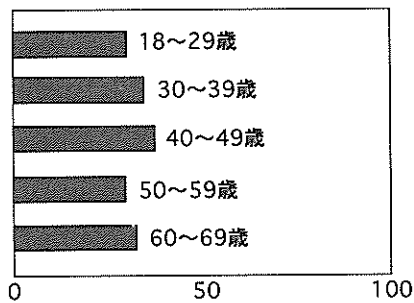
図1-2 [国籍]



国籍：

1.韓国籍	: 141 (84.9)
2.朝鮮籍	: 12 (7.2)
3.日本国籍 (帰化済)	: 12 (7.2)
4.その他	: - (0.0)
N.A.	: 1 (0.6)

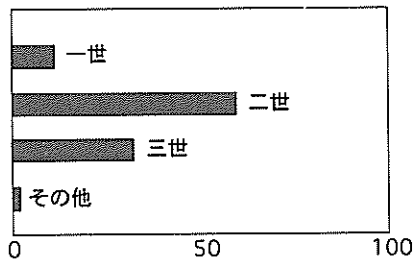
図1-3 [年齢]



年齢：

1.18~29歳	: 30 (18.1)
2.30~39歳	: 35 (21.1)
3.40~49歳	: 39 (23.5)
4.50~59歳	: 29 (17.5)
5.60~69歳	: 33 (19.9)

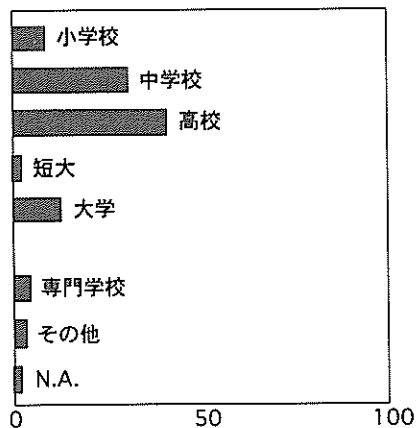
図1-4 [世代]



世代：

1.一世	: 16 (9.6)
2.二世	: 99 (59.6)
3.三世	: 49 (29.5)
4.その他	: 2 (1.2)

図1-5 [学歴]



学歴：

1.小学校	: 14 (8.4)
2.中学校	: 48 (28.9)
3.高校	: 64 (38.6)
4.短大	: 4 (2.4)
5.大学	: 19 (11.4)
6.大学院	: - (0.0)
7.専門学校	: 8 (4.8)
8.その他	: 6 (3.6)
N.A.	: 3 (1.8)

【6】在日コリアンの家族形態

家族形態は、あらゆる社会構成員・グループの実態を把握するために大変重要な側面である。しかし、それは言いかえれば、それだけをテーマにした調査が成り立つほど複雑で重大なものもあり、時間の制約がある今回の調査でこのような大きなテーマに中途半端に立ち入ることは実態の把握どころか誤解をしかねないため、家族構成に関する詳しい研究は今後の調査に委ねる事にし、本稿では簡潔に集計の概要の記述をするだけにしておく。

今回の調査対象者の年齢を、18才以上と限定したため既婚者の割合が高くなっている。それに比例して、子供がいる対象者も過半数を大きく超える結果となった。配偶者については、過半数以上が在日コリアンと結婚している。これを世代別にみるとやはり若い世代、特に3世に日本人との結婚が多いのが目立つ。

結婚 (表1-2)

項目	件数 (%)
はい、結婚しています	108 (65.1)
いいえ、結婚していません	34 (20.5)
はい、しかし別居中です	- (0.0)
死別しました	9 (5.4)
離婚しました	14 (8.4)
N.A.	1 (0.6)
N=	166

子供 (表1-3)

項目	件数 (%)
はい	123 (74.1)
いいえ	41 (24.7)
N.A.	2 (1.2)
N=	166

配偶者 (表1-4)

項目	件数 (%)
在日コリアン	76 (58.0)
日本人	32 (24.4)
その他	2 (1.5)
N.A.	21 (16.0)
N =	131

配偶者 X 世代 (表1-5)

項目	1世	2世	3世	その他	Total (%)
在日コリアン	9 (60.0)	53 (60.9)	13 (48.1)	1 (50.0)	76 (58.0)
日本人	4 (26.7)	16 (18.4)	12 (44.4)	- (-)	32 (24.4)
その他	- (-)	2 (2.3)	- (-)	- (-)	2 (1.5)
N.A.	2 (13.3)	16 (18.4)	2 (7.4)	1 (50.0)	21 (16.0)
N =	15	87	27	2	131

【7】 家庭での民族的生活習慣

圧倒的に多い民族的な生活習慣は食事であった。その次に、チュサや民族衣装の所有などが多いのが目立つ。全く日本式であると答えた2人のうちの1人と聞き取り調査をする機会があったが、この方は今、ご両親と独立され一人で暮らしている方で、実家では民族的習慣はあると答えていた。これを考慮すると生活様式が日本文化へと完全に同化している家庭というのはごくわずかであることがわかる。

日常生活のなかで朝鮮／韓国語を使用する割合は、これらの食習慣などの生活様式のとくと比べ45.8%と過半数以下に落ち込む。いかに言葉という文化的側面が、そのほかに比べ早く同化していくかがわかる。

☆あなたの家での生活に、次のようなことがありますか？ あるというものすべてに○を付けて下さい。＜重複式回答＞

(表1-6)

項目	件数(%)
1.キムチなど民族料理をよく食べる	144 (86.7)
2.人形、置物など民族的なものがある	72 (43.4)
3.自分、あるいは家族が民族衣装をもっている	119 (71.7)
4.チュサ(民族式の先祖供養)をしている	124 (74.7)
5.母国の本や歌のCDやカセットがある	59 (35.5)
6.母国の踊りを自分または家族が知っている	66 (39.8)
7.その他	5 (3.0)
8.全く民族的なことはない。全て日本式である	14 (8.4)
N.A.	2 (1.2)
M.T. =	605 (364.5)
N =	166

☆あなたの家族のなかで朝鮮・韓国語を話す人はいますか？^{注3}

(表1-7)

項目	件数(%)
1.はい	76 (45.8)
2.いいえ	84 (50.6)
N.A.	6 (3.6)
N =	166

^{注3} 誰が話すのかについては稿末の自由回答例にてまとめている。

第2章……西成区における在日コリアン社会の歴史

【1】西成区のエスニック-エンクレイヴ (Ethnic Enclave) とその形成過程

アメリカのような移民の多い国では、港に近い大都市のなかに必ずと言っていいほどよくみられるのが、「エスニック-エンクレイヴ」といわれるホスト社会のなかで孤立したネットワークを持つ民族集団／地域社会である。エスニック-エンクレイヴの代表的なものは、アメリカでいえばチャイナタウンやリトルイタリー、マイアミのキューバ人街等、日本では神戸や横浜の中華街や生野の朝鮮人街である。ホスト社会から排除があったり、何らかの理由でホスト社会への統合や同化が難しかったり、あるいは自らそれを拒んだり望まなかったりした場合等、移民は同胞の多い場所に共に住むようになる (Takaki1989)。ホスト社会の排除を潜るようにして同胞同士で力を寄せあい生活していくことにより、彼等は徐々に独自のネットワークを発展させていき、やがて定住し、徐々に独自の文化、経済及び社会的機能をもつコミュニティー、すなわちエスニック-エンクレイヴを形成していく。このエンクレイヴの存在は、結婚や仕事等の紹介に大きな役割を果たし、またこれは新たに渡ってきた同胞にはかけがえのない社会、経済、文化及び心理的な拠り所となる (McLemore1994)。

西成区における在日コリアン居住区も、戦前戦後と彼等の社会、経済、文化など様々な側面を支えながら発展させてきた。それらの特徴から、この在日コリアン集住地区もエスニック-エンクレイヴと呼ぶにふさわしいと思う。このエスニック-エンクレイヴのより正確な形成・発展経路、および機能を把握するには、もっと多くの人々、特に在日コリアン一世の人達からの聞き取り調査等を通して、この分野の専門家によって調査研究を進めていく必要がある。今調査は、微力ながらも、その基礎づくりともいえる試みに全力を尽くした。解放同盟西成支部が出版している「焼土の街から」、そしてその他歴史関係資料やその時代を熟知する支部の方からのお話し、また今回の聞き取り調査から新たに明らかになった事実を組み合わせ、できる限り在日がどのようにして現在のようなエスニック-エンクレイヴを形成させていったのかを、仮説を構築させながら検証したいと思う。

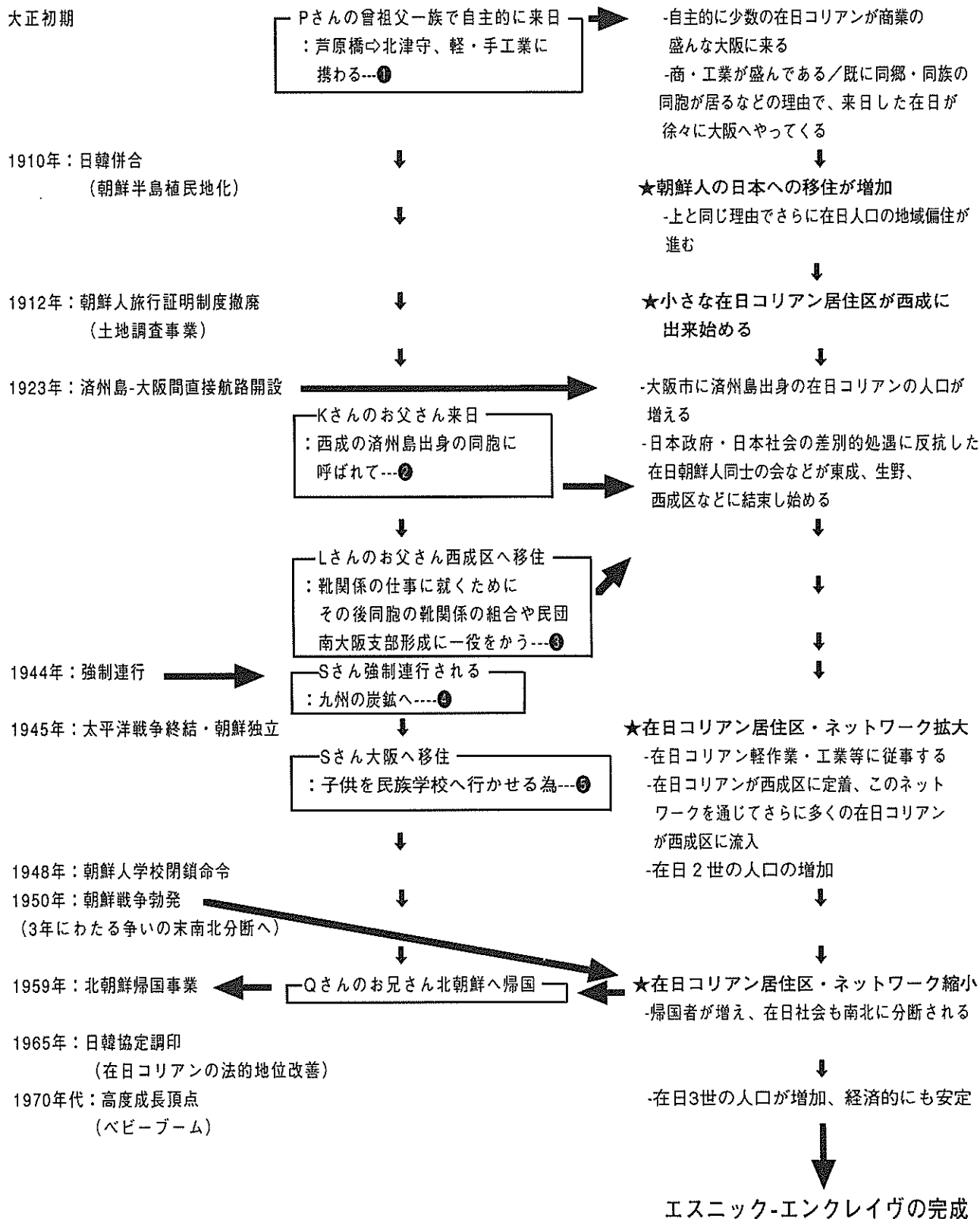
表2は、簡略ではあるが我々が現在入手できた資料をもとに作った西成区における在日コリアンエスニック-エンクレイヴの形成過程をまとめたものである。左端にあるのが在日コリアンが日本にわたり、あるいは連れて来られ定住するのに大きな影響力を持ったと考えられる歴史的事実の一部、そして中央には今回の調査で明らかになった事実で、一番右端にかかっているのは西成区の在日コリアンエスニック-エンクレイヴの形成過程である。

表2

(歴史的要因)

(本調査からの事実)

(エスニック-エンクレイヴ形成過程)



(a) エスニック-エンクレイヴの誕生 Pさんの話をもとに……表2-①

今回の聞き取り調査に協力をしていただいた方のなかに、自分は4世であるという30代の男性がいた。この方を仮にPさんと呼ぶことにする^{注1}。30代の在日コリアン人口は、通常2世か3世によって構成されているのを考慮すると、彼が4世であることは極めてまれなケースである。さらにPさんの家族は、一世の曾祖父の代からずっと西成近辺に住み続けている。Pさんの話しによると、Pさんの曾祖父とその一族は日本で商売をし一旗挙げようと、明治の後期か大正の初期に皆で日本に渡ってきたらしい。そのときPさんの曾祖父の弟は九州へ行き、Pさんの曾祖父は自ら商才があったこともあり、地理的にも比較的近い都会でかつ代表的な商業の街でもある大阪へと渡ってきた。彼は大阪に来た当初は芦原橋のほうへ住み色々な商売をしたと語る。

「そうですね、そのでてきて、とにかく商売をはじめたいということで、一族来てるんですよ。で、二つに分かれて、ひとつは、お爺さん（曾祖父）の弟は九州へ行って、僕のお爺さん（曾祖父）は大阪へ来てるんですよ。やっぱり（大阪は）都会でしょ。で、わりと商売人でしたので、商売を目的に。（やはり大阪は）商業の町ですからね。いろんな商売やとつたらしいですけど、服地を扱ったり、いろんなことやってますね。あと、製鉄原料ですね、あんなものを扱ったり、いろんなことやってみたいですよ」^{注2}

Pさんの曾祖父が大阪に来たとき、西浜（現在の浪速区南部）は今宮村（現在の今宮）にかけてめまぐるしい工業発展・市街地化が進んでいた。特にPさんの曾祖父がはじめて来た木津北島町（現在の芦原橋付近）は人口増加がとりわけ激しかったところである（杉原、玉井1996）。当時、身分解放令と軍事需要による皮革産業の経済発展は、大阪府下の被差別部落出身者を中心とする労働者人口の流入を西浜にもたらした（部落解放同盟西成支部 1993）。Pさんの曾祖父が、大阪市のなかでもあえてこの地区を選んだのは、この地区の人口流入構造に起因すると考えられる。

従来、特に明治後期から大正初期頃の西浜地区の人口流入の発生は皮革産業の需要拡大に伴った経済的な要因が大きく、ここに来るほとんどの人が皮革産業での就職を望んでいた。だが、皮革産業だけの労働人口の許容量には限界があり、西浜地区に来た者が全て皮革産業の職に就いたわけではなかった。しかしながら、西浜で仕事に就けなかった者たちはその後も西浜の地を離れることはなかった。そして就職口が無くなってからもなお、この地域の人口流入・拡大は止まなかった。それは、この地域には地縁や血縁を通じた伝統的な隣保相扶的な共同体制があり、たとえ仕事にあぶれていてもそれらの縁故者に助けられながら辛うじて生活が可能であった為である（杉原、玉井1996、「浪速部落の歴史」編纂委員会編1997）。憶測ではあるが、家賃や物価が安く、新参者の流入が激しいうえに、資産の無い者同士でも助けあって生きるといった共同体が存在するこの西浜地区に、日本に来たばかりの外国人のPさんの曾祖父は惹き付けられるかのように来たのではないだろうか。

Pさんの曾祖父は、亡くなられるまで芦原橋付近に住み続け様々な商売をし続けたという。彼がそのまま芦原橋に住み続けたのは、おそらくPさんの曾祖父が大阪に来た頃、まだ現在の西成地区内部（中開付近から以南）の居住地区としての発展が、ほとんど進んでいなかったためだと考えられる（大阪市建設局1990）。それからPさんの祖父が芦原橋で生まれ、彼もまたそこに住み仕事をするが、結婚を期に西成の南側に家を持つようになる。この頃には交通の発達に伴い、現在の西成地区内部は居住区として発展し、多くの人々が居住できるようになっていた。そうして現在の西成区の南部でPさんの父が生まれ、Pさん自身も西成に生まれる。Pさんとその親戚とのお話しを聞いた限りでは、おそらくPさんの曾祖父が西浜地区付近にはじめて渡りそこに定住するようになった初期の在日コリアンの一人であったと考えられるだろう。

^{注1} プライバシーの保護のため、本稿では一部の固有名詞及び全実名を仮称・仮名にて表現している。

^{注2} 本稿では対象者の発言の要旨が調査員の意図によって変わることを避けるために、引用をする場合は、彼等の言葉を忠実に再現することに努めている。ただし、文意がそのままではわかりにくい場合や紙面に長くてかき切れない場合、あるいは個人のプライバシーを露呈する懸念のある場合に限り、省略や補足がされている。省略、中略は点書きで、補足は全て括弧書きで表現されている。また発言者の属性は、本稿の内容の理解を促す場合のみ記し、それ以外は上記と同じ理由から全て記述していない。

Pさんの曾祖父が日本に渡り、しばらくして朝鮮半島が日本政府によって植民地化される(Mitchell1981)。これに伴い日本国内のコリアンの人口増加が急速に進んでゆく。特にこの時期日本に来たコリアン達は、朝鮮半島内の政治・経済混乱から、経済的な安定を求めて渡ってきた人達であった(梶村1977)。そして日本の帝国主義が日本の政治のなかで台頭していくなか、軍事目的による皮製品の需要はさらに高まり、皮革産業の中心地であった西浜地区はめまぐるしい経済的発展を遂げていく。このような西浜地区の発展に比例して激化した地方からの人口の流動と、既に日本で経済的に生活を安定しつつあるPさんの曾祖父や祖父のような少数の在日の存在などがきっかけとなって新しく特に大阪に来たコリアン達はこのまちの存在を知り、その付近に移り住むようになったのではないかと推測される。

(b) エスニック-エンクレイヴの発展 LさんとKさんの話をもとに……表2- ②、③

仮に、このようにしてコリアン達が西成区に住むようになったと考え、次に浮かぶ疑問は何故これらのコリアンが一番最初に住みだした土地を離れず、そのまま同じ地域に居つくようになったのかということである。その理由の一つは、朝鮮半島が植民地化された頃から彼等に対する差別が著しく激しくなり、日本国内の住居や就職における排除がひどかったことが考えられる。そのため、いったん仕事や住む場所が見つければよほどの理由がない限り彼等は転職や転居をしようとしなかったし、たとえそういった理由があってもできなかったのだろう。

そのような状況のなか、朝鮮半島では日本政府による土地調査事業や天災による凶作があい重なり、日本に渡るコリアン達の数は拍車をかけて増えてゆく(梶村1977)。事実関係はまだ十分に明らかにできていないが、おそらくこうして新しく見知らぬ国に来たコリアン達は先に日本に住む自分の同郷、同族のものを頼り尋ね、そして彼等と同じ様な理由でその土地に住み着くようになり、この人口流入の在り方が徐々に一定の土地に偏住するサイクルとなっていたのではないかと考えられる。そのサイクルに沿って、やがて一定の地区に在日コリアンの居住区が出来上がり、いつのまにか同胞同士のネットワークが発展していったのではないかと。そうして拡大されていった居住区は、単なる同胞が共に住める地区としてだけではなく、そのなかに住む人々の間に差別という共通の逆境、異国に住む同胞同士という連帯感を生んでいく。このような連帯感は彼等独自のネットワークを居住区のなかに形成させる原動力となり、さらにそのネットワークは彼等の文化的な特徴(同郷同族出身者の絆が強く、同郷者同士の結婚が望まれるなど)と組み合わせ、次第に強化されていく。やがてそのようなネットワークを持つ居住区は、彼等の精神的、経済的、さらには文化や政治的拠り所となり、彼等の生活の安定になくはならない独自のネットワークをもつ民族集団居住社会(エスニック-エンクレイヴ)となっていく(McLemore1994)。

このようにして様々な理由の中で誕生、形成した居住区(エスニック-エンクレイヴ)はその後、新たな要因で増えていくコリアン人口を吸収しどんどん膨れ上がる。このエスニック-エンクレイヴを拡大させる重要な要因となった事実の一つは、1923年に済州島と大阪間を結ぶ直接航路が開設されたことである(部落解放同盟西成支部1993)。この航路の開通以降、大阪市に済州島出身者が増加する。正確な統計は入手することはできなかったが、済州島出身の在日コリアンは西成区でもかなり多いようである。この事は当時の西成区のエスニック-エンクレイヴのネットワークがいかに強化されていったかということと関連する。

当時の西成区におけるエスニック-エンクレイヴがどれほど強いネットワークをもっていたかということ、済州島出身者がこの土地に多かったことを裏付ける事実としてLさんの父親の話がある。Lさんのお父さんは大正10年ごろ済州島でかなり地位の高い公職につかっていた。1910年の日韓併合以来朝鮮半島における日本の植民地化が急速に進み、日本の兵士がどんどん済州島にも駐屯するようになる。それに伴って日本兵の地元住民に対する暴行が朝鮮半島各地で激増する(吉見・林1995)。そんな折、Lさんの父親は西成区にいる同胞から日本へ来ないかと招待を受ける。日本の役人の横暴ぶりを見かねていたLさんのお父さんは、日本の役所に直談判をする事を決意し、大正12年、単身日本に渡り東京へと向かう。しかし、日本語が話せぬLさんのお父さんの言い分は全く日本の役人たちに理解されぬばかりか、日本の植民地となった国の出身であることから罵声を浴びせられる結果となる。そこへ不運にも関東大震災が突発。そしてLさんの父親

は、震災にまつわる流言の被害にも遭い、そのとき彼は初めて日本国内にも存在する朝鮮人差別を実感する。こんなひどい国へ二度と来るまいと決意しながら、彼は20日間もかかる航路を経てようやく済州島に帰るが、植民地化に比例して増してゆく日本駐屯兵の暴行に目をつむることがどうしてもできず、数年後もう一度日本に渡る決意をする。父親が一度目と二度目の来日を決意した経過をLさんは次のように語ってくれた。

「テテ親が、（役所関係の仕事）やってきましたんや。韓国でな。とにかく、村の人をかばいますわな。ほんだら、日本から入ってきた警察の人が、もう、村の人連れてきて、目の前で処罰するので、もう見るに見かねて、日本の役所行って自分が直談判するゆうて。そう言うて日本に来たんですわ。……（中略）……東京の役所へいったらしいです。で、いったらもうけんもほろろですわねん。もう相手もしてくれへんねん。『オオえらいことやな』思いながら、二日目に（関東）大震災おきて。ほんで顔の赤いのは皆朝鮮人やってな。……（中略）……それで20日間ほどかけて船で帰って、それから『日本いう国ほど恐ろしいところはない』言うて。ほいでもまた（役人）っていうジンメイ（使命）は抜かせんねん。抜けへんので、その辛い場面を、目をつぶされたり、毎晩のように強姦されるモンやらでな。ほんで、ももういっぺん（日本へ）いくって言うてまた来たらしいです。……（中略）……んでまた来たのも結局西成へ。」

何故、Lさんのお父さんが西成に住むようになったかについて正確なことは、Lさん自身が幼かったためわからないが、Lさんいわくおそらく西成区には同胞が多く、父親の知り合いがいたためと、そして経済的に物価や家賃が安く住みやすかったためではないかということである。これは、先に述べた「何故西成区に同郷の在日コリアンが偏住していったのか」という仮説が、事実からさほど遠くはないことを支持している。

その後、使命感と正義感の強いLさんのお父さんは日本に来るようになっても定職には就くことはなく、むしろ同胞を結集させ反体制の活動に励むようになる。

「やっぱり、ああ言う…何です、もう活動家やな、昔のな。とにかく、たまに月二回帰りますわねん、家に。帰ったら、もう壁にいっぱい張り紙してね。大きな墨の字で書いて、長い紙をみんなベタベタ張って、ほいで、ようけ知らん人いっぱい集めてね、何やかんやと難しいこと言うてましたわ。で、今忘れられへんのは、あの日本国籍に結局なりましたわ。（朝鮮人が皆日本国籍に）なったときに、あの時分に集まった人らが言うことは『わしらが元気で居らんことには、自分の名を元へ戻るには、死なれへん』っていうたん今だに（自分の耳に）残ってますわ。」

活動を始められた頃、Lさんのお父さんは西成区ではなく生野区や東成のほうに移り住む。しかし、西成区から移住した後でも西成同胞とのつながりは、以前として強かったようである。Lさんはそのころの記憶をたどって父親の活動ぶりをこう語っている。

「西成警察へな、お父さんの通訳としてな私よういったんですわ。何で通訳いったかって言うたら、うちのテテ親日本語がわかれへんねん。ほんでその朝鮮から、あの時分は朝鮮から日本へ来た人（を運ぶ）X丸（という船）の部長を（父は）やとったらしいですわ。肩書きが（父には）ようけあってね。何やかんやとね。ほんで（その船の部長を）やってて、その（朝鮮から出稼ぎに来た）人らを、（彼等が）何の悪いことをしたか私小さいからわからんけど、（日本の警察は彼等を）片っ端から掘込むんですわ。西成警察の方で。あれはチブネ橋、築港（現在の大阪港）のな、あそこの港につけて、警官がようけ来て、ほいで片っ端から引っぱっていった。区域が西成やから、西成のほうへいったんですわ。そしたらお父さんは（私を通訳代わりに連れて警察へ仲間の釈放を頼みに行くが）、私やっぱ通訳すんのもまだ幼いし、私（通訳）すんのが齒が（歯がゆい）んでしょうな。自分思うよう伝えへん言うて、字で書いて渡して納得させたりしたですわ。そやから、（済州島で役職についてた頃の）任務を抜こう思ても、抜かせんねや。皆が頼ってしもうてな。頼られてしもうてな。もう何せ、あの時分は（物事の真理や倫理が）曲がったら、とにかくようけ人集めてな、『何とかしなあかん』という話しをしてんやろうけど、私にしたらんことやし。で、お母さんにいうんよ。『お母さん、お父さんだけ働いてくれたら、私かて奉公に出る

こといらんのかなあ』いうたら、母は『韓国から、朝鮮から、親子や妻やら皆ほっといて（日本へ出稼ぎに）来た人らがかわいそうに何の罪もないのに、皆引っぱられていく。それを助けよう思て一生懸命なってるお父さんやからな、私は何ぼ貧乏したかて、仕事せえとは言えん。』ゆうて……」

Lさんが聞き取りのなかで話してくれたお父さんの活動内容は、朴慶植の著書「在日朝鮮人運動史」に記されている事実とほぼ一致する（朴1997）。Lさんは聞き取りのなかではなぜ日本にわたってきた朝鮮人たちが検挙されていったかには触れなかったが、これは1923年の大阪-済州島間直接航路の開設にともない、済州島を始めとする朝鮮半島からの渡航者が急増したことを懸念した日本当局が彼等の渡航を阻止するためであった（朴1997）。

当時のコリアンの日本への渡航の取締についてはかなり複雑な背景がある。まず、1919年、日本当局は3・1運動に恐れをなし朝鮮人の日本の渡航を抑制するための規制を出す。しかし、その後に日本独占資本の安価な朝鮮人労働力要請に応える形で朝鮮総督府が1922年に渡航規制を廃止する。が、規制廃止後余りにも日本へ渡航者数が増えたため（1921年に3万8118人だったのが1922年には7万462人にまで急増）、渡航の抑制が一時的に再開されることになる。だが、その後また自由渡航制へと1924年に日本当局は戻す（朴1979、朴1975、梶村1977）。結局、この自由渡航制も長く続かず、当時日本経済は不況で失業者が増大していたことから、1925年内務省からの要請により朝鮮半島の港および日本の港における「渡航証明書を持たないもの」いわゆる「密航者」の取締を行ったのである（朴1979）。おそらくLさんのお父さんが助けようとした人々は、この摘発によって捕えられた人であったのだろう。

このように熱心に活動をする東成や生野区の人達が、西成区の在日コリアン達と連帯していたという事実を考えると何故西成区における在日コリアン居住区が、そのほかの居住区同様に大きく拡大していったかは納得できる。

こうして西成の在日コリアン達のネットワークは強化されてゆき、西成の地場産業である製皮業やそのほかの産業に従事する在日も増え、経済的にも彼等の生活基盤も安定しはじめ西成区の在日コリアン地区はエスニック-エンクレイヴとして発展していく。このエスニック-エンクレイヴを頼り、今度は新しく来た者だけでなく日本の各地から在日が西成区へと移り住むようになる。その事実を伝える一人がKさんの父親である。Kさんの父親がどのようにして靴関係の仕事に就くようになったかは、当事者であるKさんの父親が亡くなられているためはっきりとは確認できない。しかし、Kさんの父親は地方の方へははじめ出稼ぎに来ていたが、おそらく靴関係の仕事に就くために西成のほうへ移ってきたのではないかと語る。その後、Kさんの父親は西成区に隣接する浪速区の大国町で靴の仕事に従事するようになるが、Lさんのお父様同様、Kさんの父親も同胞との連帯意識をしっかりとっておられ、靴関係の仕事に就く同胞の組合を作ったり、その後に民団南大阪支部の誕生にも一役をかってたという。

「だから、今の製靴組合とか、南大阪支部とか、民団の。（父が）そういうのを作ったんですよ。製靴組合の、あそこの問屋街とかあるでしょ。ああいう組合全部作った人なんですよ。（民団の）支部も、皆本部まで行かなあかんかった時代だったんですけど、そんな不便なことしたらあかんゆうので浪速区だけで作ろう、浪速区の（民団支部）をつくったんですよ。そしたら南区も一緒にしたいっていうんで、南大阪支部にしたんですよ。」

Kさんのお父さんの活動から、この当時かなりの在日が靴産業に従事していたことが推測できる。また組合の誕生によって靴産業はより安定した就職先となったと考えられ、就職が厳しい時代に生きる在日コリアンが靴産業に何故こぞって従事するようになったことは容易に察知できるだろう。

この強い在日同胞の連帯意識は、実は西成区だけの現象ではなく1920年代国内外のコリアンたちの間で見られた。日本政府の朝鮮支配対策が武力による統治から同化を強要する「文化政治」へと転換した後に行われた言論、出版、結社の自由の制限に反発する形で、多くの民族主義、社会主義的な運動が学生やインテリ、さらに労働者の間で活発になっていった（朴1979、Mitchell1981）。特に注意を引くのは、全国に2000人以上の同盟員をもつ在日朝鮮労働総同盟は大阪に10支部をもっており、そのなかでも西成朝鮮労働同盟は同盟員数250人を保持し

ており、大阪では最大の規模を誇っていたという事実である（朴1979）。これらの事実を総合すると、西成区における当時の在日コリアンのエスニック-エンクレイヴの連帯感・ネットワークがいかに頑強であったかということが確信できる。

さらに労働市場における日本人と在日コリアン達の競合関係も、西成区の在日コリアンの結束が固かったもう一つの理由として考えられる。この西浜スラムに独自の共同体が存在していたことは先にも述べたが、1910年以降の朝鮮からの渡航者の増加以後、スラムの共同体にすむ日本人とコリアンはいつの間にか資本主義市場における競合相手と変わっていく（杉原、玉井1996、Mitchell1981）。そしてこの労働市場における競合関係はやがて異民族グループ間に対立意識を目映えさせる。米国のアジア系移民が大戦前後にカリフォルニアで体験したのがこれであり、米社会学ではこれをエスニック・アンタゴニズム（民族的敵対心）と呼ぶ（Wilson1985）。

この西浜でも、日本人である部落民と在日コリアンたちの間でもこの異民族間の労働市場における対立（エスニック・アンタゴニズム）があり、特に就職口が限られていたことから、そのほかの地域に比べてこの地区のエスニック・アンタゴニズムは特にひどかったように思われる。しかし、今回の聞き取り調査のなかではそのような事実を裏付ける話を聞くことは出来なかった。むしろこの仮説をくつがえすような事実を述べる人々がいた。その一例をここで上げる。

「私な、37年ぶりかで、こないだ朝鮮の日本人妻じゃないけど、いったん（韓国に）帰ったんよ。お母さん見にな。ほんで、自分のお母さんは、『日本という国はええ国はええ国であったかて、その差別の多い国や』っていうことをな、言うて。それでもな、……（中略）……（母は）今宮のことは忘れられへんって、人情的なとこやて。『ほんでな、今はなお母さん、昔エタといわれたその人が皆立ち上がって、今住宅保障やらしてから、ものすご良うなってるんやで。』っていうたらな、『もういっぺん遊びに行きたい。』いうてたけど、よう実現させんとな亡くなってしもてんけど。」

もちろん当時の西浜地区におけるエスニック-アンタゴニズムの存在有無をはっきりと確認するためにはもっと多くのデータが必要である。今回の調査ではその収集には残念ながら及ばなかった。しかし、今回集めたデータは今後日本における民族人種関係研究を進展させていく上で価値の高い資料であると確信する。

以上が西成区に生まれたエスニック-エンクレイヴがどのように発展していったかについての仮説を含んだ検証概説である。次に、こうして発展していったエスニック-エンクレイヴの戦中戦後の様相を述べていきたい。

(c) エスニック-エンクレイヴの縮小 SさんとQさんの話しを元に……表2-④、⑤、⑥

1940年代後半、徴兵によって空洞化した労働力の埋め合わせをするため、そして兵力の補充のために朝鮮人の強制連行が始まる。本調査の聞き取りに応じてくれた一世のSさんは、この強制連行の犠牲者の一人である。Sさんははじめ九州の炭鉱へ強制連行され労働を強いられる。終戦後、祖国に帰ることが様々な理由から難しかったSさんは、日本で生まれた自分の子供にせめて自分の民族の教育を受けされたいと思い、大阪へ一家で移住する。

「昭和17年に、強制キョウヨウ（強制連行）で。長崎県、北松浦郡、三越炭鉱ですね。それで、九州でずっと炭鉱で働いておって、それで（戦後どうしても子供の教育問題でな、自分たちやっぱ自分の民族教育、やっぱさせたいって（思い）。……（中略）……それだけ、こう大阪来てみたら学校近くあるもんだから（で）すね。それで、大阪に降りてきて。まあ苦労しました。」^{注3}

Kさん、LさんそしてSさんの話が示唆する限りでは、この頃から在日2世の人口が増加し始め、大阪に民族学校ができたこともあり、在日コリアンエスニック-エンクレイヴは拡大の一途をたどっているように見える。しかし、終戦と同時に長年待ちわびた祖国の独立に胸を踊らせ、こ

^{注3} その当時民族学校があったのは大阪や東京方面だけであった。

の頃かなりの数の在日コリアンが帰国の途をたどる。この時期を境に西成区を含め全国の在日コリアンエスニック-エンクレイヴはその拡大の動きを止めたと思われる。

独立後間もなく朝鮮戦争が勃発し、3年間に渡る紛争の末、ついに彼等の祖国は長い南北分断の歴史を歩むことになる。在日コリアン達のエスニック-エンクレイヴもこの南北分断の余波を受けることになる。はっきりとした統計は公表されていないため、どちらの国籍を持つ人が多くて少ないのかはわからないが、西成区に住む在日コリアンは現在もそれぞれ北朝鮮と韓国の国籍を持ち、どちらかの国を支持したり一方を敵対視する人もなかにはいる。こうして在日コリアン全体の連体感や団結力は、政治の波に打ちのめされ弱まっていく。

その後、北朝鮮による帰国事業などがあり、在日コリアンエスニック-エンクレイヴは政治的に分裂し、縮小していく。Qさんの兄も西成から北朝鮮へと帰った人の一人であった。

「長男が北朝鮮へ行って死にましたね。……（中略）……荷物を送ったら『ありがとう』とか『何か送ってくれ』っていう手紙が向こうから来るんですわ。それがちょっと途切れたからっていうので、どないなってるやろうということで、うちのおふくろの弟さんが北朝鮮人なんですわ。大学の医学部の教授やってるから、そのついで、北京周りで入ってもらったんですわ。そしたら実は死んでたと。『骨はどうしたんや』っていったら、『どこいったからわからへん』、『原因は何や』っていったら、全然、一切何もいいませんわ。原因不明です。」

その後ニューカマーやベビーブームに生まれた在日3世の増加により多少の人口変動を見せたと思われるが、以前の様な激しい流出入はなく、近年は帰化が進むなか統計上国籍別に見られる人口の減少と若い世代の人口の減少、及び区外流出やバブル経済崩壊後の皮革産業界の不況など様々な理由からエスニック-エンクレイヴは現在縮小傾向にある。

以上が、本調査結果と現在手元に入手できた資料からわかった西成区の在日コリアン社会の形成の歴史である。ただし、この検証結果は、まだ多くの仮説や推測に頼った部分が多く、大阪市全体の在日コリアンの歴史を解明するためにも、この結果は今後さらに多くの当事者からの聞き取り調査研究によって、より精巧にされなくてはならないだろう。また、マイノリティのコミュニティの現状を理解する上でも、この形成の構造をより専門的に把握をする必要があり、将来この分野の専門家の調査への参加が希望される。

第3章……西成区における在日コリアンの定住性

在日コリアンたちがどのような経過を経て西成区に定住をするようになったかは、大まかではあるが既に述べた。ではこの西成区に50年以上定住し続ける在日コリアン達は、西成区での生活をどのように感じているのであろうか。本調査では、彼等に西成区への定住意思と住み心地についてアンケートとインタビューで質問を試みた。その単純集計といくつかの項目別のクロス集計を参照しながら、彼等がこの地区での定住を希望しているのかどうかということの検証を行おうと思う。

【1】西成区居住在日コリアンの定住意思

本調査のアンケートのなかで彼らの西成区における定住意思を問う質問を試みた。その結果、「ずっと住み続けていきたい」が27.1%、「出来れば住み続けていきたい」は28.3%で、西成区で定住をする意思のある人は全体の55.4%ということになる。反対に「出来れば引っ越したい」は12.7%、「出来るだけ早く引っ越しをしたい」は1.2%となり、西成区での定住を望んでいない人はたった13.9%であった。これは定住を考える人に比べ、極端に低い数である。この単純集計の結果だけで、西成区の在日コリアン全体の定住意思を断定することは出来ないが、定住意思のある人がない人より約4倍の差があることを考慮すれば、この結果と西成区全体の在日コリアンの統計をとったときの数字との間に極端な開きはないと思われる。

住み心地に関する単純集計をみると「住み心地がやや悪い」あるいは「非常に悪い」と答えた人は全体のたった5.4%にすぎなかった。逆に「住み心地がややよい」、「非常によい」と答えたのは45.8%と約半数である。それより若干多い割合が「普通」と答えた人で、ほとんどの人が「普通」、あるいは「住み心地が良い」と感じている。これら二つのクロス結果をみると、非常に住み心地が良い、やや良いとした人はやはり住み続けていきたいと答えており、反対に住み心地が悪いとした人はできれば引っ越しをしたいと答えており、X(カイ)2乗検定をした結果も自由度16度、危険率5%で有意であった。

(表3-2: 定住意識-単純集計)

項目	件数 (%)
1. ずっと住み続けたい	45 (27.1)
2. 出来れば住み続けたい	47 (28.3)
3. どちらでもいい	51 (30.7)
4. できれば引っ越したい	21 (12.7)
5. 出来るだけ早く引っ越したい	2 (1.2)
N.A.	- (0.0)
N=166	

(表3-3: 住み心地-単純集計)

項目	件数 (%)
1. 非常に住み心地がよい	39 (23.5)
2. やや住み心地がよい	37 (22.3)
3. 普通	80 (48.2)
4. やや住み心地が悪い	5 (3.0)
5. 非常に住み心地が悪い	4 (2.4)
N.A.	1 (0.6)
N=166	

(表3-3: クロス結果)

項目	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	NA	Total
1. ずっと住み続けたい	29 (64.4)	7 (15.6)	9 (20.0)	0	0	0	45
2. 出来るなら住み続けたい	8 (17.0)	17 (36.2)	20 (42.6)	0	1 (2.1)	1	47
3. どちらでもいい	0	7 (13.7)	42 (82.4)	1 (2.0)	1 (2.0)	0	51
4. 出来るなら引っ越したい	2 (9.5)	6 (28.6)	7 (33.3)	4 (19.0)	2 (9.5)	0	21
5. 早く引っ越しをしたい	0	0	2 (100.0)	0	0	2	
N=	39 (23.5)	37 (22.3)	80 (48.2)	5 (3.0)	4 (2.4)	1	166

【2】定住意思に影響する要因

本調査の単純集計結果から、在日コリアンの西成区における定住意思が高く、そして彼等が西成区は住み心地がよいと感じているということは大体わかった。では、一体何が彼等の定住意思を促し、または削いでいるのだろうか。

かつての移民問題研究者は、国家間の人口の移動や定住はホストになる地域と出身地域の両方に要因がある場合起こると考えていた。つまり現在居住している地域に移住する動機と原因（プッシュ要因）、例えば家賃の高騰や立ち退き、環境の劣悪化等があった場合と、ある一定の地域に移住したくなるような要因（プル要因）、家賃や物価が低い、仕事がある等の条件がその別の地域にあった場合の両方が合致したとき、人口流入／流出が激しくなるというわけである。しかし近年、この『プッシュ-プル説』は国家間の人口移動の説明をする場合、世界構造がそれに及ぼす影響力が説明できないため不十分であるとされている（石1991）。

国内における、特に同じ都市部における地域間での比較的少数の人口移動の説明をする時にも同じことが言え、人口の流動は経済、社会、政治、都市化など様々な要素が重なり合い起こるものと考えerほうが適切であろう。ただし、同じ都市部における地域間での比較的少数の人口移動の説明をする時には、このような『プッシュ-プル説』の様な考え方もある程度の説得力を持っているとしてよいと思う。

本調査では西成区にも在日コリアンに定住を促す要因、あるいは移住を考える要因となっているものがあるのか、そしてあればそれはどういったものなのかを調べてみることにした。定住意思に関するアンケート結果と彼等の西成区での生活を快適、あるいは不快にしている事柄を聞いた結果、さらにこれら二つをクロス検定してみた結果を踏まえ、彼等の定住／非定住に対し影響力をもつ可能性があると考えられる要因を模索してみることにする。

<重複式回答>

表3-4 (単純集計---快適にしている事柄)

項目	件数 (%)
1.隣近所の人間関係	118 (71.1)
2.住宅の状況・環境	68 (41.0)
3.治安(火事や犯罪の発生)	53 (31.9)
4.人権保護対策	83 (50.0)
5.在日コリアンの数	98 (59.0)
6.学校教育の内容・環境	70 (42.2)
7.部落の存在	79 (47.6)
8.釜ヶ崎の存在	22 (13.3)
9.商店街・スーパーの数や値段	123 (74.1)
10.交通の便	111 (66.9)
N.A.	6 (3.6)
M.T.	831 (500.6)
N	166

表3-5 (単純集計---不快にしている事柄)

項目	件数 (%)
1.隣近所の人間関係	24 (14.5)
2.住宅の状況・環境	71 (42.8)
3.治安(火事や犯罪の発生)	75 (45.2)
4.人権保護対策	44 (26.5)
5.在日コリアンの数	18 (10.8)
6.学校教育の内容・環境	57 (34.3)
7.部落の存在	38 (22.9)
8.釜ヶ崎の存在	101 (60.8)
9.商店街・スーパーの数や値段	17 (10.2)
10.交通の便	34 (20.5)
N.A.	6 (3.6)
M.T.	485 (292.2)
N	166

アンケート調査では在日コリアンたちに彼等の生活を快適にしているもの不快にしているものは何かという質問をした。その単純集計の結果が(表3-4、3-5)にある。これをみてもらってもわかるように、西成区の生活を快適にしている事柄として選ばれた事柄のうち最も多かったのが、『商店街やスーパーの数や値段』、続いて『近所の人間関係』そして『交通の便』などである。一方、西成区の生活を不快にしている事柄として選ばれた事柄のうち最も多かったのが、『釜ヶ崎の存在』であった。その他『住宅状況』『治安の悪さ』などが続いて多い。

表3-6 (A) と3-6 (B) は在日コリアンの西成区での定住性と彼等の生活を快適／不快にしている事柄に関する質問をクロス集計した結果である。この結果を元にここでは西成区のまちのどのような事柄が彼等の定住意思や住み心地に影響を及ぼしているのかを検討してみたい。

表3-6 (A)

定住性 X 西成区での生活 (快適)

ずっと住み続けて生きたいと答えた人 X
西成区での生活を快適

1) 隣近所の人間関係	3 5 (77.8)
2) 商店街・スーパーの数や値段 ／交通の便	3 4 (75.6)
4) 部落の存在	3 0 (66.7)
5) 人権保護対策	2 9 (64.4)
6) 住宅状況・環境	2 8 (62.2)
7) 在日コリアンの数	2 7 (60.0)
8) 治安	2 3 (51.1)
9) 学校教育の内容・環境	1 8 (40.0)
10) 釜ヶ崎の存在	1 4 (31.1)

住み心地が非常に良い X 西成区での生活を快適

1) 隣近所の人間関係	3 0 (76.9)
2) 交通の便	2 9 (74.4)
3) 商店街・スーパーの数や値段	2 8 (71.8)
4) 部落の存在 ／人権保護対策	2 5 (64.1)
6) 住宅状況・環境	2 4 (61.5)
7) 在日コリアンの数	2 3 (59.0)
8) 治安	2 0 (51.3)
9) 学校教育の内容・環境	1 6 (41.0)
10) 釜ヶ崎の存在	1 0 (25.6)

出来ることなら住み続けていきたいと答えた人 X
西成での生活を快適

1) 商店街・スーパーの数や値段	3 4 (72.3)
2) 隣近所の人間関係	3 3 (70.2)
3) 交通の便	3 1 (66.0)
4) 在日コリアンの数	2 4 (51.1)
5) 学校教育の内容・環境 ／人権保護対策	2 0 (42.6)
7) 部落の存在	1 7 (36.2)
8) 住宅状況・環境	1 5 (31.9)
9) 治安	1 1 (23.4)
10) 釜ヶ崎の存在	3 (6.4)

住み心地やや良い X 西成での生活を快適

1) 商店街・スーパーの数や値段	3 2 (86.5)
2) 隣近所の人間関係 ／交通の便	2 7 (73.0)
4) 在日コリアンの数	2 5 (67.6)
5) 部落の存在	1 9 (51.4)
6) 人権保護対策	1 8 (48.6)
7) 住宅状況・環境	1 6 (43.2)
8) 学校教育の内容・環境	1 5 (40.5)
9) 治安	9 (24.3)
10) 釜ヶ崎の存在	4 (10.8)

早く引っ越しをしたいと答えた人 X 彼等の西成
での生活を快適

1) 部落の存在 ／商店街・スーパーの数や値段	2 (100.0)
3) 近所の人間関係 ／住宅状況・環境 ／人権保護対策 ／学校教育の内容・環境 ／交通の便	1 (50.0)
8) 釜ヶ崎の存在 ／在日コリアンの数 ／治安	0

非常に悪い X 西成での生活を快適

1) 近所の人間関係	4 (100.0)
2) 在日コリアンの数 ／部落の存在	3 (75.0)
4) 人権保護対策 ／商店街・スーパーの数・値段	2 (50.0)
6) 学校教育の内容・環境 ／交通の便	1 (25.0)
8) 住宅状況・環境 ／治安 ／釜ヶ崎の存在	0 (0.0)

出来ることなら引っ越ししたいと答えた人 X 西成での生
活を快適

1) 隣近所の人間関係 ／在日コリアンの数	1 5 (71.4)
3) 商店街・スーパーの数や値段	1 4 (66.7)
4) 交通の便	1 1 (52.4)
5) 人権保護対策	1 0 (47.6)
6) 部落の存在	9 (42.9)
7) 学校教育の内容・環境	7 (33.3)
8) 住宅の状況・環境	5 (23.8)
9) 治安	4 (19.0)
10) 釜ヶ崎の存在	1 (4.8)

やや悪い X 西成での生活を快適

1) 在日コリアンの数	5 (100.0)
2) 交通の便 ／商店街・スーパーの数・値段 ／隣近所の人間関係	4 (80.0)
5) 人権保護対策 ／学校教育の内容・環境	2 (40.0)
7) 住宅の状況・環境 ／部落の存在	1 (20.0)
9) 治安 ／釜ヶ崎の存在	0 (0.0)

表3-6 (B)

定住性 X 西成区での生活（不快）

ずっと住み続けて生きたいと答えた人 X 西成での生活を不快

1) 釜ヶ崎の存在	21 (46.7)
2) 学校教育の内容・環境	18 (40.0)
3) 住宅の状況・環境 ／治安	12 (26.7)
5) 人権保護対策	9 (20.0)
6) 交通の便	8 (17.8)
7) 商店街・スーパーの数や値段 ／在日コリアンの数	7 (15.6)
9) 近所の人間関係 ／部落の存在	5 (11.1)

非常によい X 西成での生活を不快

1) 釜ヶ崎	19 (48.7)
2) 学校教育の内容	16 (41.0)
3) 住宅	12 (30.8)
4) 治安	9 (23.1)
5) 人権保護対策	7 (17.9)
6) 在日の数 ／商店街・スーパーの数や値段 ／交通の便	6 (15.4)
9) 部落の存在	5 (12.8)
10) 近所の人間関係	4 (10.3)

出来れば住み続けていきたいと答えた人 X 西成での生活を不快

1) 釜ヶ崎	27 (57.4)
2) 住宅の状況・環境 ／治安	22 (46.8)
4) 学校教育の内容	13 (27.7)
5) 人権保護対策	11 (23.4)
6) 部落の存在	10 (21.3)
7) 交通の便	8 (17.0)
8) 近所の人間関係	7 (14.9)
9) 商店街・スーパーの数や値段	3 (6.4)
10) 在日コリアンの数	2 (4.3)

やや住み心地がいい X 西成での生活を不快

1) 釜ヶ崎の存在	25 (67.6)
2) 治安	20 (54.1)
3) 住宅の状況・環境	17 (45.9)
4) 学校教育の内容・環境	15 (40.5)
5) 人権保護対策	9 (24.3)
6) 交通の便 ／部落の存在	7 (18.9)
8) 近所の人間関係	5 (13.5)
9) 商店街・スーパーの数や値段	2 (5.4)
10) 在日コリアンの数	0 (0.0)

早く引っ越しをしたいという人 X 西成での生活を不快

1) 在日コリアンの数 ／釜ヶ崎の存在 ／治安	2 (100.0)
4) 隣近所の人間関係 ／住宅の状況・環境 ／人権保護対策 ／学校教育、内容 ／交通の便	1 (50.0)
9) 部落の存在 ／商店街・スーパーの数や値段	0 (0.0)

非常に住み心地が悪い X 西成での生活を不快

1) 住宅の状況・環境 ／治安 ／釜ヶ崎の存在	4 (100.0)
4) 学校教育、内容 ／交通の便	3 (75.0)
6) 商店街やスーパーの数や値段 ／人権保護対策	2 (50.0)
8) 在日コリアンの数 ／部落の存在	1 (25.0)
10) 隣近所の人間関係	0 (0.0)

出来ることなら引っ越ししたいという人 X 西成での生活を不快

1) 釜ヶ崎の存在	16 (76.2)
2) 住宅の状況・環境	13 (61.9)
3) 治安	12 (57.1)
4) 学校教育の内容・環境	9 (42.9)
5) 部落の存在 ／人権保護対策	7 (33.3)
6) 交通の便	6 (28.6)
7) 商店街やスーパーの数や値段	4 (19.0)
9) 隣近所の人間関係 ／在日コリアン	1 (4.8)

やや住み心地がわるい X 西成での生活を不快

1) 釜ヶ崎の存在 ／治安	5 (100.0)
3) 住宅の状況・環境 ／部落の存在	4 (80.0)
5) 学校教育の内容・環境 ／人権保護対策	3 (60.0)
7) 商店街やスーパーの数や値段 ／交通の便	1 (20.0)
9) 隣近所の人間関係 ／在日コリアンの数	0 (0.0)

【3】ソフトよりもハードの非定住、ハードよりもソフトの定住

西成区に「ずっと住み続けていきたい」という人が、自分の西成区での生活を快適にしている事柄として選んだもののうち一番多かったのは『近所の人間関係』で、続いて『商店街やスーパーの数や値段』、『交通の便』、『部落の存在』などがあつた。これは「西成区から早く／できれば引っ越しをしたい」と答えた人が、西成区の生活で快適と感じる事柄として一番多く選んだものの結果とほぼ共通する。一方、「西成区から出来れば／早く引っ越しをしたい」という人が不快に感じるもので一番多かったのは『釜ヶ崎の存在』、続いて『住宅環境』、『治安』であつた。『釜ヶ崎の存在』についてはそれを不快と感じるという答えが最も多い点では「西成区に住み続けていきたい」という人と「住み続けていきたくない」という人は共通しているが、「西成区に住み続けていきたい」という人が生活を快適にしていると感じる事柄として、いわゆるハード部分ともいえる『交通の便』や『商店街やスーパーの数や値段』以外に『隣近所の人間関係』や『部落の存在』といったソフト面を快適と答えた人が多かったのに対し、「西成区に住み続けていきたくない」という人はソフト面に関しては『釜ヶ崎の存在』だけをあげ、その他は『住宅の状況や環境』、『治安』といったまちのハード面ばかりを不快な事柄として多く上げている。

サンプル数が小さいことやそれに費やす十分な時間がなかったことから、複雑な統計処理は本調査では行わなかったが、ここまでの集計結果からの分析でいえることは、彼等の西成区での定住／非定住の両方に共通して影響していると考えられる事柄は生活のハード面、すなわち経済的側面（代表例：スーパーが近所に少ない）及び住居面（代表例：自宅が老朽化している）、そして交通の便（代表例：駅から遠い）などがある。これは西成区の在日コリアンだけにみられる特別な傾向ではなく、おそらく西成区住民全体、あるいは西成区以外の住民の定住・移住を調べたとき一般的にみられる傾向であると言えるだろう。

ただ定住に関して、生活のソフト面ともいえる『近所の人間関係』及び『部落の存在』などが在日コリアンが西成での定住を望むことと関連性があるという点は西成区的な特徴と言えないだろうか。さらに、彼等の非定住に関して、『住宅環境』『治安』といったハード面ばかりで、『人間関係』などのソフト面はこの調査の結果をみる限りでは彼等の定住意思の時ほどの関連性はあまりないことも関心を引く。

このクロス集計結果で注目したいもう一つの事柄は、「ずっと住み続けていきたい」と答えた人に『釜ヶ崎の存在』を「快適」すなわち「不快と言う程でもない」とした人が、「引っ越しをしたい」という回答をした人より極端に多いということである。（釜ヶ崎=快適：「ずっと住み続けていきたい」14（31.1%）+「できれば住み続けたい」3（6.4）=17（37.5%）釜ヶ崎=不快：「早く引っ越ししたい」0+「できれば引っ越ししたい」1（4.8）=1（4.8%））つまり『釜ヶ崎の存在』に対する考え方も、彼等の定住、非定住に何か関連性があるのかもしれない。

彼等の住み心地と西成区で不快／快適に思う事柄とのクロス結果も、定住性とそれのクロス結果とほとんど同じであつた。つまり、住み心地が非常によいと感じている人が一番多く快適と選んだ事柄は『近所の人間関係』や『商店街やスーパーの数や値段』であり、住み心地が悪いと答えた人も人間関係は快適と答えている人が多く、住み心地が悪いとした人が不快に感じている事柄で多かったのはやはり定住性とのクロス結果と同様に、『釜ヶ崎の存在』『治安』『住宅状況・環境』であつた。さらに釜ヶ崎を不快でないと答えた数は、住み心地がよいと答えた人が14人もいるのに対し、住み心地が悪いとした人のなかには全くいなかった。

【4】被差別意識と定住性の相関関係

(表3-7)

項目	★件数 (%)	M.T.	N
ずっと住み続けたい	17 (37.8)	47 (104.4)	45
できることなら住み続ける	17 (36.2)	49 (104.3)	47
どちらでもいい	19 (37.3)	54 (105.9)	51
できることなら引っ越し	9 (42.9)	24 (114.3)	21
できるだけ早く引っ越し	1 (50.0)	2 (100.0)	2
Total	62 (38.0)	176 (106.0)	166

-クロス集計一部抜粋:紙幅の都合上そのほかの項目を省略

-★件数=西成区で一番差別されているグループは在日コリアンと答えた人

では、差別と定住性の相関関係はどうだろうか。彼等の定住性と被差別意識とをクロス集計してみた結果を見ると、西成区で一番差別を受けていると思うグループを「在日コリアン」と答えた人のうち、西成区にずっと住み続けていきたくないという割合の方が若干多い。これは今まで述べてきた事柄と、一見矛盾しているように思えるが、西成区からできれば引っ越ししたい答えた人で在日コリアンが一番差別されていると答えた人と聞き取り調査をした結果、彼等が引っ越しを望む一番の理由はこの西成区で差別を受けているからということより、むしろ西成の外へ出たとき西成出身の在日であるとして何か言われることや、あるいは先ほど述べたような「浮浪者が多いこと」といった差別とは全く無関係の事柄が理由と答えていた。そのなかから一例を下に引用する。

◇「(西成区外の) 高校でがんばって本名でいったんだけど、もう3年生で卒業間近かで、もう耐えきれへんで、ちょっと登校拒否なってる子がいるんですよ。(その子の学校では) 先生方も周りの子供たちも、まず本名のことを理解してくれない、それと西成区住んでることもいわれる。……(中略)……もちろんそうじゃない高校もあるんやろうけど、でもやっぱり大半そういう高校のほうが多いと思うんですね。そしたら何のためにこの地区はそういう教育してるんやろうって。それがよそに反映でけへんねやったら、それこそ井のなかの蛙でね。……(中略)……だから、そういう環境を考えたときにね(引っ越しを考える。)環境が悪いって意味じゃなくってね。」

これらのケースをこの集計から取り除けて考えれば、在日が西成区で一番差別されていると思えば定住したくないと答えた人の割合は定住したいと考える人との割合より少なくなる。本調査結果だけでは差別と定住性との明確な相関性は全くないとは断定できないにしろ、民族差別はそれだけで彼等の非定住や定住を促す強力な要因でないと考えて間違いはないのではないかと。さらに、差別がそれだけで彼等の定住を促さないということや、これまで述べた彼等の定住性に関する仮説を裏付ける彼等の発言を聞き取り調査からここに引用するので参照していただきたい。

聞き取り調査から――

これから西成区に住んでいきたいですか?

◇「私はどこにもいきたくない。人情味があるわな。人情味がな。……(中略)……(人間が) あったかい。差別はどこいったってあると思うわ。どこいったってあると思う。そやけどまあ西成は人情味がある。」
(韓国籍・60代・女性)

◇「どちらとも言えないですね。あんまり、小さいときから変わってない言うんか、あんまり整備されてない言うのか、道路なんかでも。何となくですけど、他所より（整備できてないと）そう思うんですね。ほったらかし状態にされてるような……余りきれいじゃないですよ。（きれいじゃ）ないような気がするんですよ。他所の地域というか、区域と比べると。道路とかなんかでも。子供のためによくないんじゃないかとかって気がしますね。道狭くって、車危ないし。（でも）人間的には悪い人住んでないと思うんですよ。かえって親しみやすい人が多いような気がするんですね。H区やL区とかちゃんとし住宅街って言うんか、そういう（ところの）人とかってツツツしてるんですよ。（そういうところに住んでいる）お母さんとか、そういう奥さん達ね。だから、西成区では『おかあちゃん』みたいな感じで、呼び方も（親しみやすい風に）変っちゃうんですけど。住むにはそんな悪いところじゃないと思うんですけど。」
（帰化日本国籍・30代・女性）

◇「（人間関係は）快適ですね。もう朝なんか、おはようございますとかいって、『カレーつくったんやけど食べへん』ってね（近所の人声が声をよくかけてくれる）。……（中略）……うちはお隣さんとか日本の人多かったけど、ホルモン焼きとかね、やっぱり本物のキムチは違うなあとか、そういう（在日コリアンと日本人の友好な関係があるというの）は西成ぐらいじゃないです。他は結構シビアでしょうね。僕の知ってるP県の南区なんてのが多いんですけどね、完璧に（在日コリアンは）シャットアウト状態のところが多いですよ。……そういう意味では西成の方が人間関係はいいと思いますね（でも住み続けていきたいとは思いません。（できれば）芦屋ぐらいに住もうかおもいますね。やっぱりきれいし、高級なイメージがありますから。……（中略）……やっぱり、一筋縄では変わらないでしょう、まち自体が。ぼく自身が西成で生まれてそこからとんでいったのが18で、それからずっと30幾つまで、一番ええ時にでていったわけですから。で、帰ってきて西成に染まれるかというたら、染まりっこないですわ。だから、いいところしか見ていなかったら、P県のええところしか見えないから。別にP県がええところやないんですよ。そこもそんな大したところじゃないんですけども、西成が特に悪く見えるんですわ。で、むこうが特に良く見えてしまうんですね」
（韓国籍・40代・男性）

◇「（住み続けていきたい）と思います。西成に限らずやっぱり生まれて育ってそこでまた結婚して暮らせるということは、すごい幸せなことと思うんやんか。小さいときから住んでたらやっぱり住み心地よくなるし、……（中略）……私は西成で生まれて西成で育って結婚して西成で暮らせて（良かったと思う）。」
（韓国籍・20代・女性）

◇「今のままやったら嫌ですね。もうちょっと住みやすい…、住みやすいって言うたら住みやすいんですけど、もうちょっと遊べる場所とかつくってもらえるんやったら住みたいですね。商店街とか近くにあるし、田舎じゃないから。でも、そら住みやすいまちやけど逆に周りに何もなかったらどないすんのか。人だけいれて周り何もなかったら、あの、どっかA市あたり問題なってるじゃないですか。住宅（は）年寄りばかりで周り何もなくて。（西成も）ああいう状態に将来なんのんちゃうかなって思ってるんですよ。何か、何か要りますよ。絶対。住宅だけじゃなくて。……（中略）……僕サッカー好きですからグラウンド欲しいですね、芝生のでっかいの。んじゃ、そこでコミュニケーションも生まれるし。だから遊べるものを作るんじゃなくて、遊べるスペースを与えて、そこに人が来て何かをして遊ぶってスペースが、だから遊園地じゃなくて広場とか（が欲しい）。」
（韓国籍・20代・男性）

◇「親しみやすいゆうたら親しみやすいですね。他のそういう地区と違って、同じ差別されてる人が一致団結してるんですね。気持ちあるんちゃいますかね、やっぱりお互い助け合ったりとかそういう気持ち、他の地区より強い思いますよ。」
（韓国籍・20代・男性）

◇「将来的に子供のこと考えると、校区の良いところに行かせたいっていうのはやっぱりありますよね。ちょっと犯罪とかやっぱり多いんで。……（中略）……やっぱり怖いんですよ。夜とか歩

くと。子供たちもちょろちょろしてるし。商店街のなか最近浮浪者だらけですし。ほんなら夜ちょっとお菓子買いに行くのでも怖かったりするから。まあ、あの、商店街とか銭湯が多いのんがわりと好きなんで。まあ物も安いし、自分が生活する分はいいと思うんですけど。何かね、なにしとっても結構オッケーというか、……（中略）……公園のよことかも皆な歌とか歌ってますよね。ああいう乗って西成独特かかって。何が起こってもおかしくないっていうのが面白いなって思うんですけど。住みやすいと思いますね。」（韓国籍・20代・女性）

◇「（住み続けていきます）主婦としては安いし、住みやすいし。」（韓国籍・60代・女性）

◇「そうですね、ずっと住んでいきたいですね。今までの生活パターンが変わってしまうのも、それもしんどいですからね。けどもう少し環境のいいところにも住みたいなあとは思います。」（韓国籍・30代・男性）

◇「西成の一番好きなのは自分が生まれ育った街やし、今の家も小さい頃から育ってるし、やっぱり友人関係も西成が一番多いし、だからわざわざ出ていく必要もないし、できればここにずっと住んでそういうの（大切に）していきたいというのがあるから。……（中略）……そういう生活を今までやってきたように、これからもしていきたいと思ってるから別に出ていきたいと思いません。住めばやっぱりね、周りの人が冗談で言いますけど、住めば都と僕は（思います。）（僕も）冗談で言いますけどね、西成恐いとこやねん（って、でも）どんなけ便利ええか言うて、ミナミ出んのんすぐ行けるしとか言うて、交通の便もええし、生きている利便性もすごくあるし。」（韓国籍・30代・男性）

◇「私あんまりそういう（釜ヶ崎が不快だという）意識ないんですよ。……（中略）……まああんだけ日雇労働者があって、確かにええ所じゃないですわ。子ども連れていけるところでもないし。まあいうたら、ほんま働いきなど。一つ、人間の心理なんかひとつぱっとやる心理あるでしょ、あそこらは。なんかなったら、大きくなって全国ニュースで新聞で出ますやん。（でも言えば）ただそれだけ（のこと）ですわ。うちが、それならうちの生活レベルがなんの問題ないし……（中略）……釜ヶ崎を全部なくしてどこ行くかいうたら、釜ヶ崎からちゃうとこ行くでしょ。結局うちのほうに来るんか、ひょっとしたら神戸の方に行くんかわからんでしょ。結局いまの基地の問題とっしょですやん。どっかおちたらどっか行かなあかんわけですよ。その人がまた困るわけですよ。ただそのレベルですわ。……（中略）……私は生活レベルも基盤もこっちが好きなんですわ。ごちゃごちゃとしてて、さっき言うた人情味あふれるいうかね。（西成区にずっと住みたいというのは）いうたら西成が好きなんですわ。ただそれだけですわ。」（韓国籍・40代・男性）

【5】西成区生まれと定住性の相関関係

（表3-8）

項目	①	②	③	④	⑤	NA	Total
1.西成区生まれ	16 (20.0)	25 (31.3)	23 (28.7)	15 (18.8)	1 (1.3)	-	80
2.引っ越してきた	28 (33.3)	22 (26.2)	27 (32.1)	6 (7.1)	1 (1.2)	-	84
N.A.	1 (50.0)	-	1 (50.0)	-	-	-	2

注：①ずっと住み続けていきたい ②できることなら住み続けていきたい ③どちらでもよい
④出来ることなら引っ越しをしたい ⑤できるだけ早く引っ越しをしたい

本調査では、西成区で生まれた人とそうでない人との数がほぼ同数であった。引っ越してきた人口を性別でみると女性のほうが男性より多い。これは結婚をして西成区へ来たというケースが多いためであり、年齢別では高齢者のほうが多いが、これは本国生まれの一世の方が含まれているためである。ちなみにこの属性と定住性とクロス集計をとってみたが社会学的に有意な相関関係はほとんどなかった（自由度4、危険率5%）。

【6】世代別にみる定住意識

世代別に西成区居住の在日コリアンの定住性を見てみると、明らかに世代が低くなるにつれ彼等の西成区における定住意識が低くなっており、逆に世代が高くなるにつれ定住意識が高くなっている。世代の年齢分布は、1世は60歳以上が81.3%を占め、2世は30代及び40代そして50代が特に多く、3世は圧倒的に20代および30代が多い。つまり、在日コリアンの西成区での定住意識は高齢者に最も高く、若い青年層に最も低いのである。社会学的に検証した結果、自由度12度、危険率5%で有意であった（カイ2乗検定）。ただ、できることなら早く引っ越したいといった強い移住願望は、どの世代を見ても少ないことから、彼等の西成区移住願望は極端に強いものではないのかもしれない。先ほどの聞き取り調査からの引用で上げられていたが、聞き取り調査のなかで若い世代からは西成区におけるハード面の改善をしてもらいたいという声があった。「若者が遊ぶ場所が少ない」や「町が汚く、浮浪者が多いので友達を連れてくるのが恥ずかしい」などがそれである。なかには「いろんなところに若いうちに住んで見たいと思うから」といった単純に自分の視野を広げたいという青年独特な意見も上げられた。

(表3-9)

項目	①	②	③	④	⑤	NA	Total
1世	12 (75.0)	1 (6.3)	3 (18.8)	-	-	-	16
2世	31 (31.3)	29 (29.3)	27 (27.3)	10 (10.1)	2 (2.0)	-	99
3世	2 (4.1)	16 (32.7)	20 (40.8)	11 (22.4)	-	-	49
その他	-	1 (50.0)	1 (50.0)	-	-	-	2
Total	45 (27.1)	47 (28.3)	51 (30.7)	21 (12.7)	2 (1.2)	- (0.0)	166

注：①ずっと住み続けていきたい ②できることなら住み続けていきたい ③どちらでもよい
④出来ることなら引っ越しをしたい ⑤できるだけ早く引っ越しをしたい

【7】まとめ

今回の調査では、在日コリアンは西成区での定住意識が高い傾向があることを支持する結果が多く出た。完璧なまちであるとは思ってはいないにしろ、彼等の多くが西成区での生活に対し、特に不快と感じておらず、むしろ住み心地がよいと思っているようである。定住を希望する人は人間関係や経済的及び物理的な生活側面に対して快適と感じており、さらに釜ヶ崎に対する不快感が低いのが特徴である。一方、定住を希望しない人の特徴は住宅や交通の便等の物理的な側面に対して満足していないうえ、釜ヶ崎に対する不快感があるという点である。もちろん、非定住を希望する人のなかには人間関係を理由の一つに上げる人もいたが、それだけが彼等の非定住願望を促す決定的要因になっていると考えるのは難しい。すなわち、生活のハード面はそれだけで彼等の非定住願望を促すのに対し、生活のソフト面はそれだけで非定住を促すことはなく、むしろそれがハード面とあい重なった場合に非定住願望を増進させるきっかけになると考えられる。

また、在日コリアンの定住意識は全体的にみると高い傾向にあるが、世代別にみた場合、世代

が若くなるにつれ西成区における定住願望が弱まっていることは注意を喚起する。若年層の人口流出は、西成区全体の現象であるとされているが、在日社会もこの現象に関して例外ではないようである（大阪市同和事業促進西成地区協議会・大阪市西成解放会館1992）。しかし、たとえ若年層が中高年層より定住願望が弱いといっても、彼等の移住願望は本調査のクロス集計を見る限りでは際立って高いとは言えない。自分の世界を広げたいと西成を離れる若者を止まらせるのは難しいにしろ、ただ単純に娯楽を楽しめない、町が汚いという理由からできれば引っ越したいと願う若い世代の人口の流出はこれらのハード面の改善によっていくぶん防げるのではないだろうか。これからのまちづくりに彼等の声をどう注意深く聞き入れることができるのか、そして長年はなれた朝鮮半島ではなく、ずっと生活をしている思い出の多いこの西成区で生を全うしたいといった在日コリアン一世たちの願いがいかにかこのまちによって尊重されるかといったことを、これからの西成区のまちづくりを考えるのなかで検討されるべき課題なのではないだろうか。この結果を踏まえながら、次の章では彼等の共生性の検証を行いたいと思う。

第4章……西成区における在日コリアンの共生性

【1】西成の共生性①--他の調査結果との比較

(a) 在日コリアンの結婚観からみられる共生性

在日コリアンと日本人との、いわゆる国際結婚が近年増加の一途をたどっていることは、既にそのほかの調査から明らかになっている（森田1996）。結婚は社会学的にも一般常識的にも最も親密な社会関係であり、このような国際結婚の増加は、彼等と日本人との社会的距離(Social Distance) がいかに狭まってきているかを示唆している。だが、この社会的距離の狭化は排除を乗り越えんとするマイノリティ自身の同化が進んでいることにも起因しているとし、これが本当の意味での統合の証ではないという見方をする人もいるだろう。しかし、結婚というあらゆる側面において重要な社会関係が両グループ間に数多く結ばれていっていることは、両者の互いに対する意識の変化、偏見や予断の希薄化してきたことの兆しであることは否定できない。

この調査では、彼等の結婚観について尋ねた。アンケート調査の結果、自分の配偶者は在日コリアンであって欲しいとこだわると答えたのは「絶対に在日コリアンと結婚したい」と「できるだけ在日コリアンと結婚したい」の両方をあわせてもたった14.7%であったのに対し、「在日であるか余りこだわらない」と「在日であるか全くこだわらない」という答えは合計61.8%で、圧倒的にこだわらないという人のほうが多い結果となった。これは子供の結婚相手に対してもいえることで、在日であって欲しいという人は25.9%、こだわらないと答えた人は53.8%となり、こちらもこだわらないという人のほうが多かった。年齢世代別にみると、やや一世及び年齢の高い人に「結婚相手は在日がよい」という答えが多いが全体的にいてこだわらないという人が増えつつあるといえる。

自分の結婚相手（独身者対象） 表4-1

項目	件数 (%)
1.絶対在日コリアンと結婚したい	1 (2.9)
2.できるだけ在日コリアンと結婚	4 (11.8)
3.余りこだわらない	9 (26.5)
4.全くこだわらない	12 (35.3)
5.できるだけ在日コリアン以外と結婚	1 (2.9)
6.絶対在日コリアン以外の人と結婚	2 (5.9)
N.A.	5 (14.7)
N	34

あなたのお子さんの結婚相手（全員対象） 表4-2

項目	件数 (%)
1.絶対在日コリアンと結婚したい	9 (5.4)
2.できるだけ在日コリアンと結婚	34 (20.5)
3.余りこだわらない	39 (23.5)
4.全くこだわらない	47 (28.3)
5.できるだけ在日コリアン以外と結婚	3 (1.8)
6.絶対在日コリアン以外の人と結婚	4 (2.4)
N.A.	30 (18.1)
N	166

子供の結婚相手 表4-3

	在日と	こだわらない	在日以外(日本人)	その他	無回答
兵庫県 (N=160)	55.6	33.8	1.3	2.5	3.1
西成 (N=166)	25.9	51.8	4.2	-	18.1

次に本調査の結婚観に関するデータを、他の地域で行われた調査が調べたそれと比べ、結婚観を通して西成区居住の在日コリアンの共生性を考えてみたい。1993年に、韓国兵庫青年会議所の企画によって兵庫県下で行われた在日韓国・朝鮮人の意識調査をみると、そこでも本調査のように対象者となった在日コリアンの結婚観についての質問を行っていた。その結果と本調査結果をまとめたものが表4-3であるが、これをみると西成区の在日コリアンのほうが兵庫県の調査対象となった在日コリアンに比べ「結婚相手は在日であるかこだわらない」という答えが多い

(辻村 et al. 1994)。聞き取り調査ではこの比較結果を支持するような意見を聞くことができた。その意見とまたそれ以外の意見を、この比較結果を考察するための参考資料として以下にまとめておく。

聞き取り調査から――

何故に結婚相手は在日かどうかこだわらないのですか？

◇「娘は嫁いでるんです。(相手は)日本人と。同級生とね。西成区の人と。……(中略)……私としてはできたら、韓国の人としてもらいたかったけど、三世になるからね、彼女は。三世になるから友達がほとんど日本人なんですね。これから私らが国へ帰って生活することもないし。本人さえよければ、それで幸せになるんだったら、日本の方でもいいんじゃないかって主人と話し合っただけです。その変わり、彼のほうもちゃんと籍をかえてしまって、ちゃんと入籍済みました後でね、まあ一年ほどかかりましたけど。籍はいるのに手続き軟化して、ちゃんと日本人にしてしまっただけなんです。そういうようなことを(娘婿が)ちゃんというてくれたしね。だから、彼女の幸せならそれでいいと思うようになった」

◇「そら、こだわらないですよ。わしも日本人と結婚してるしね(笑)。子供も日本の奥さんがやっぱり結婚して。ふたりがそうですな。長男坊が、同じ、同じ同胞で結婚してるけど。あとふたりはもう日本人と。(相手の親御さんなんか反対などなにも問題は)ないです。(去年韓国に)行くときに連れていったですよ。家内も一緒に行ったんだけど、長男坊夫婦とうちの夫婦と娘、5人でいったんですけども……(中略)……皆喜んでました。……(中略)……(子供の結婚相手は)一人は西成生まれ。(西成の)商店街のところ辺。アリヤしっかりしてますよ。(笑)」

◇「誰でもいいんじゃないかなって。お互いのことわかりあえるものならば、在日であろうが、日本人であろうがどこの国の人だっていいですよ。」

(b) 大阪人権研究会の調査結果との比較から見た共生性

今度は大阪人権研究会がした「国際理解」についての調査結果の一部と本調査の在日コリアンの西成区における被差別体験を比較を少しここでを行い、西成区における在日コリアンの共生性を検証したいと思う(大阪人権研究会1989)。この研究会が1989年度に行った大阪市居住日本人の国際理解についての調査のなかで、「在日韓国・朝鮮人に対する差別」についての調査項目があった。そこでは日本人が、相手が在日韓国朝鮮人であることを特に意識するのは、どのような場合であるかについて質問がされ、その結果が左下に記してある。その右は、在日コリアンが頻繁に体験したことがある差別の本調査結果である。

表4-4
日本人が在日コリアンを意識するとき

1) 結婚のとき	66.9%
2) 隣近所で生活するとき	23.0%
3) 従業員として雇うとき	20.7%
4) 仕事の上で関わりを持つとき	18.1%
5) 同じ職場で働くとき	15.5%
6) 特に意識しないと思う	14.7%
7) 一緒に飲食したりするとき	12.4%
8) 子供を同じ学校に通学させるとき	10.1%
9) 同じグループで活動するとき	9.8%
10) その他	3.1%

(大阪人権研究会「国際理解について」より)

表4-5
頻繁に+たまに自分に起こった差別

1) 言葉による差別	24.1%
/公共の場での差別	
3) 就職差別	21.7%
4) 住宅入居差別	16.3%
5) 結婚・交際での差別	14.5%
6) 友達ができにくい	8.4%
・友達が去っていった	
/職場・学校の仲間外れ	
8) 暴力をふるわれた	3.6%
9) その他	2.4%

(本調査結果より)

もちろん、これら二つの調査が行われた時期や調査対象者数の違いがあるため厳密な比較検証は難しいが、常識的に考え在日コリアンが体験する差別もこの結果にある程度一致したものになるという予想は立てられるだろう。本調査の結果では、在日コリアンが最も頻繁及びたまに経験する差別の形態は言葉や公共の場での冷遇が一番多く、続いて結婚差別及び就職など仕事に関する場所での差別であった。結婚差別や就職差別を実際にする、あるいは差別をする可能性をもつ人が差別発言や公共の場で彼等に冷たく接したりすることは往々にしてありえるため、本調査の結果は大阪人権研究会の日本人を対象とした意識調査の結果と大体一致していると考えてよいだろう。

しかし、今回の調査とこの日本人対象の意識調査とが一致しない点が1つある。それは『隣近所で生活をするとき』という項目である。学校、職場、近所で仲間外れにあったという人は、全体の8.4%でしかなく、同じ聞き取り調査で隣近所の日本人との付き合い（冠婚葬祭など）で何か不快な思いをしたかという質問に約70%（N=20）が『全くない』と答えた。彼等の生活を快適／不快にしている事柄に関する質問の結果『近所の人間関係』は快適と答えた人がとても多く、人間関係が及ぼす彼等の西成区での定住への影響に関しては先の章で述べたとおりである。これは大阪人権研究会の調査の『隣近所で一緒に生活をするとき』が、日本人が在日コリアンを意識する二番目に多い場合である結果と矛盾している言えるのではないだろうか。勿論、近所の人間関係に関する質問をした大阪市全体の在日コリアンの調査や同じ質問を含んだ西成区の日本人の調査が無いとさらに厳密な検証はできてないが、先に述べた彼等の定住性に人間関係が影響していないことを考慮に入れてこの比較結果を考えると、長年同じ西成区に住んできた在日コリアンたちと日本人の共生性は高いことを支持している。

【2】西成の共生性②---在日コリアンの被差別体験と被差別意識

以上の結果に基づいて、西成区における在日コリアンとそのほかの人々との共生性は高いという結論を導くのはまだ早い。後日行った聞き取り調査では以上の結果と一見矛盾する意見を述べる在日コリアンが多かった。この意見を分析しながら、彼等の西成における共生性が本当に高いかどうかを確認する検証をここで行いたいと思う。

(a) 矛盾する在日コリアンの被差別体験と被差別意識

本調査では、対象者となった西成区の在日コリアンに最近（ここ2～3年のあいだ）表4-4に列挙したような差別があったかどうかを聞いてみた。その結果、頻繁に起こった差別として一番多かったのは「住宅の入居を断われた」および「公共の場で（役所や銀行など）相手の待遇が悪かった」（両方19（11.4%）N=166）で、つづいて「就職差別」及び「結婚や交際の差別」（両方16（9.6%））が多かった。たまに起こったというので一番多かったのは「韓国・朝鮮人をばかにする言葉で呼ばれたり、なじられたりした」（28（16.9%））であった。

「とても頻繁に起こった」と「たまに起こった」という答えを合計した結果、一番多く在日に起こったと考えられる差別は「言葉による差別」や「公共の場で（役所や銀行など）相手の待遇が悪かった」というものであった。この公共の場は一体どこを指しているのかを後日の聞き取りで質問したところ、一番多かったのは警察署（警察官）であった。言葉の差別も多かったが、これは公共の場での差別や就職の面接のとき、または結婚を断われたとき在日であることを悪い意味で指摘されたことなどが含まれており、言葉による差別がそのほかの差別と独立しているというより、むしろそのほかの差別と重複していることのほうが多いようである。

表4-6

差別	ある ^{注1}	ない	NA
1) 公共の場での差別 ／言葉による差別	40 (24.1)	121 (72.9)	5 (3.0)
3) 就職差別	36 (21.7)	123 (74.1)	7 (4.2)
4) 住宅の入居差別	27 (16.3)	130 (78.3)	9 (5.4)
5) 結婚差別	24 (14.5)	135 (81.3)	7 (4.2)
6) 友達を作りにくい・友達が去っていった	14 (8.4)	146 (88.0)	6 (3.6)
7) 学校や職場、近所での仲間外れ	14 (8.4)	147 (88.6)	5 (3.0)
8) 暴力をふるわれた	6 (3.6)	155 (93.4)	5 (3.0)
9) その他	4 (2.4)	30 (18.1)	132 (79.5)

N=166

聞き取り調査から――

公共の場での差別を受けた／聞いたことがあるとありますが
これはどこで、誰から受けたのですか？

◇「(知ってる在日の人が) お巡りさんに、車に乗ってて、検問かなんかでお巡りさんに止められて、…… (中略) ……『外人登録は』って、いきなりお巡りさんに言われたとか。その人自体は港区のかたなんですけども、家の近くっていうか、港区とかどこのその警察とかちょっと分からないんですけども、結婚してはる方でそんなに行動範囲広い方でないと思うんで市内であることは間違いはないとおもいます。いきなりそんなこといわれたって、えらい怒ってはって。(この話しを聞いたとき) ひどい話 (と思いました)。免許証で、韓国とかそういうのを見て登録証をだせとかじゃなくって、いきなり窓あけて、顔みるなり。だからあの韓国人の方独特いうか、目がこう細くてきれいな人なんです。だからそんなの、日本人かどうかもわからないはずなんですよ、ほんとに。失礼ですよ。」

◇「そうですね。あの免許証の切り替えの時なんか、かなり待遇悪いですね。警察ですね。もう、かなり。あのまず最初に『免許証切り替えか、免許証みせてみい』っていうでしょ。で、外国人登録証みせる。『あっちじゃ』横柄な、もう、すごい横柄な口調で。普通の他の人が何人かいてはって、で、(その人達には) そんな待遇はないんですよ。もう、明らかに免許証みて、あっ国籍みてっていう(さべつ。) それはそのD署の話ですけど……」

この次に多かったのは就職差別である。これは就職活動をするとき、就職差別があることを見越して、差別をされることの少ない外資系や韓国系企業などに就職先を絞る人も少なくないため、これだけの数にしかならないのかもしれない。もし、これが日本人と同様に様々な企業へ面接を受けに行っておれば、この数はもっと増えるのかもしれない。ちなみに、アンケートの質問では「貴方が在日であることで次のような事柄(差別)は起こったことがありますか？」という聞き方をしたが、聞き取り調査のなかで、彼等がただ在日であることだけではなく、彼等が西成にいる在日であることでも差別をされ、彼等は二重の差別を受けること可能性を持って暮らすことも分かった。その例をここに紹介する。

^{注1} ある=「頻繁に起こった」と「たまに起こった」との合計。

就職活動時にどのような差別を受けたのですか？

◇「あの面接行ったときにですかね。そんな時に、普通履歴書ってこれが表やったら、（内容が書いてある表のほうを）普通伏せて置くじゃないですか、面接官って。それをこう（表をむけて）置きよったんですよ。それで、そのとき住所のところと本籍のところアンダーラインはいつて。西成区と韓国って所がアンダーラインはいつたから、『ああこれが差別なんか』って思って。そんなときは何も思わなかった、（何もいわなかった）って言うか、そのときはあきれて、もう敬語も忘れてしゃべってましたけどね。いや、なんか、僕一人だけ面接官がゆうてくる態度が違うから。いや、周りの集団面接でやったから、あと二人おったんですけどね。その二人には優しく聞いとったんですけどね。（その二人の履歴書にアンダーラインは）なかったです。それで僕の場合だったら、ちょっときつっていうのかな。なんかちょっと変わってるんですよ。質問の内容とか。どんな感じやったやろ。もう頭真っ白になりましたから。一気に全部……。そのときの事あんまり覚えてないんですけどね。それだけが印象に残っただけで。二重差別やおもって。」

このような理不尽な二重の差別がどれだけ頻繁に在日に起こっているのかは本調査だけでは把握できないが、たとえ実際に受けた人の数が少なくとも、この聞き取り調査の話のような差別が実際に起こったという事実とそしてこれからもそれが起こりえるという可能性を我々は無視してはいけなだろう。

しかし、全体的に言って今回の調査結果ではこれらのような差別を受けたことが全く無いという答えのほうが多かったのも確かである。それゆえに、彼等に対する差別はなくなっていったという声さえ時折聞くこともあるが、この引用のように一部の在日コリアンのごく平凡な日常のなかで、突如日本人なら決して受けることなど無い差別を実際に受けている。この事実は、彼等に対する差別が今日、姿を消していったわけでないことを裏付けている。

結婚差別や就職差別など、彼等の差別体験は主に西成区以外で起こっていることも聞き取り調査からわかった。それを裏付けるように、学校や職場、近所で仲間はずれにあったという在日は14（8.4%）にしか過ぎない。結婚差別においても、他の地区の人と結婚しようとしたとき差別を受け、現在は西成区出身の日本人と結婚をしているという人はいても、西成区出身の人から結婚差別を受けて結婚できなかったという話しは少なくとも聞き取りのなかではなかった。

では、これで彼等の西成区における共生性は高いと結論づけるべきなのか。たしかに他の地区と比べ西成区は、被差別部落内の在日コリアンとそこに住む日本人との共生度は高いと言っていだろう。結婚観や近所付き合いの快適さ及び近所における差別の少なさ等の本調査結果もそれを支持している。しかし、アンケート調査の単純集計結果からはこの結論とはやや矛盾する結果が1つあった。それが彼等の被差別意識に関する質問への解答の集計結果である。

本調査のアンケート調査において、「西成区ではどのグループが一番差別されていると思いますか？」という質問に対し、最も多かったのは在日コリアンで、表4-7を見てもらってもわかるように全体の約4分の1弱の在日コリアンが自分たちが一番差別をされていると思うと答えており、その次に部落民という答えが続く。

表4-7<重複式解答^{注2}>

項目	件数 (%)
1) 部落民	41 (24.7)
2) 韓国・朝鮮人 (在日を含む)	63 (38.0)
3) 障害者	23 (13.9)
4) 高齢者	2 (1.2)
5) 中国人	3 (1.8)
6) 東南アジア人 (フィリピン/タイ人)	16 (9.6)
7) アメリカ人	- (0.0)
8) その他	16 (9.6)
N.A.	12 (7.2)
M.T. =	176 (106.0)
N =	166

部落民が一番差別されていると思う在日コリアンが多いことは、彼等が自分たちの隣人である部落民たちの受けている差別の苦しみに対し理解を持っている表れともとれる。また、聞き取りを行った在日コリアンのなかには、解放同盟の運動に対し高い評価を示す人もいた。特に同和対策を受けている在日に関しては肯定的な意見を持っている人が目立っていた。

聞き取り調査から――

同和対策や解放同盟西成支部の運動に対して貴方はどう思いますか？

◇「(西成区は)他のそういう地区と違って、同じ差別されてる人が一致団結してるんですね。……(中略)……やっぱりお互い助け合ったりとかそういう気持ち、他の地区より強いと思いますよ。…(中略)……同和対策(については)、自分が今、奨学金受けてますからねえ、それはやっぱりあった方がいいんじゃないですかねえ。うちの妹もうすぐ高校の(進学)でありますしうちそんなに金ないんでね、やっぱりそういう事業がなくなるとね、ちょっと困るんでね、ちょっとあった方がいいと思います。(同和対策は逆差別だとは)別に思いませんねえ。やっぱりなんだかんだ言ったって、まだまだ他の地区よりも経済面とか苦しいと思いますんでね、やっぱりこの地区やっぱり靴とかそういう産業でなってますからね、その産業なんか不景気みたいなんでね、やっぱりもろに経済に受けると思うんでね、やっぱりそういう同和対策事業というのは必要と思いますね。……(中略)……(同和対策事業や解放同盟の運動は)別に悪くはないと思いますけどね。……(中略)……別に解放会館あるのが当たり前やと思ってますしね、生まれてからずっとありますし、そういう同和対策も生まれてからずっと受けてますし。」

他の地区の在日コリアンに対しこのような質問をした調査がないため、これが果たしてこの地区だけの特徴なのかどうかは確信を持っては言えないが、戦後からずっと西成区に共に生活する在日が、部落民が受ける差別やそれに対する運動への一定の理解があるのはむしろ自然なことなのかもしれない。

しかし、気になるのは先ほど述べたように、西成区内での隣近所や学校、職場などでの差別は少ないと述べる在日コリアンたちが何故自分たちが西成区で一番差別されると感じているかということである。この疑問を解くために、さらに彼等が西成区のなかで感じている事柄について耳を傾けた。その結果を報告しながら、彼等の共生性についての最後の検証を行い、本章のまとめを導いていこうと思う。

^{注2} アンケートでは重複式ではなかったが、重複式として集計を行った。

【3】西成の共生性③---部落民と在日コリアン

西成区の共生性②のところでは在日コリアンの被差別体験に関する集計をまとめた表4-4を載せていたと思う。その表のなかで彼等に起こった差別のうち4番目に多かったものに「住宅の入居を拒否された」があった。本調査の調査票（アンケート用紙）にこの住宅差別に関する項目を載せるとき調査員の念頭にあったのは、住宅賃貸・売買契約等を交すとき提出した住民票などから日本国籍でないとわかって民営の不動産業者から入居を拒否されるというタイプの住宅差別であった。しかし、アンケート調査終了後に行った聞き取り調査からは、この予想とは異なる回答が対象者から返ってきた。住宅の入居を断わられた事があると答えた人のほとんどが公共住宅への入居を断わられた／あるいは入居できない事実のことを指摘していたのである。そして、このことはなぜ多くの在日コリアンたちが西成区で一番差別されているグループは在日自身であると答えたのかにも深く関連していた。

(a) 同和対策事業と在日コリアンの「心の溝」

在日コリアンの公共住宅の入居拒否と彼等の被差別感の関連性を説明する前に、西成区の公共住宅の成り立ちについて説明をする必要がある。西成区の公営住宅は大きく分けて3つの特色がある。まず、地方自治体が都心部の高騰する住宅料にあえぐ一般市民への経済的な補助を目的として建てられた「大阪市公営住宅」、そして不良・密集住宅、老朽・危険家屋などに対し住居環境改善を目的に建てられた「改良住宅」がある。この改良住宅への入居は先に説明した公営住宅と違い、居住権が入居基準になる。すなわち、住環境改良対策適用地域に住んでいて、改良住宅建設のため立ち退きを余儀なくされた人たちが、基本的にこれらの改良住宅の入居者となる。そしてその他に、いわゆる「同和向け住宅」がある。この住宅は既存の地方自治体の住宅対策事業の目的と共に、同和対策事業の持つ目的も兼ねて建てられた住宅である。

西成区に、この同和向け公共住宅が建設されるまでにはかなり複雑な背景がある。筆者の西成区の住宅闘争に関する乏しい歴史的知識を補うために、当時を熟知される部落解放同盟西成支部の方々から西成区における住宅闘争の歴史の概略を拝聴することにした。支部のお話によると、「焼土の街から（部落解放同盟西成支部1993）」にも書かれているように、1956年から始まる国道新設計画と環状線新設計画により、西成区の荒地にバラックを建てて住んでいた部落住民を大阪市が「不法占拠」の名目で強制的に立ち退かせようとしてきたころから、この地区での住宅闘争は始まる（部落解放同盟西成支部1993）。この立ち退きを迫られ追い詰められた住民は部落解放同盟西成支部の事務所の扉を叩き、当時の部落解放同盟大阪府連の委員長であり、また大阪市同和事業促進協議会の書記長でもあった松田喜一氏のところにやって来て、立ち退き期日の延長と補償金の増額を市に求めたいと相談に来た。そこで松田氏は、彼等が本当に望まんとするのは、立ち退き料の値上げでも立ち退きでもなく、この土地で生活を続けられる住居であり、部落民の居住の権利を侵害してきた行政へ住宅補償の要求をするべきだとし、立ち退き反対及び住宅要求の運動を開始した。この運動は様々な悪戦苦闘の末ついに成功を収め、1959年には闘争で勝ち取った第一番目の公営住宅が、この西成の町（出城通）に建設された（部落解放同盟西成支部1993、部落解放同盟大阪府連合会、大阪府同和事業促進協議会、大阪市同和事業促進協議会1975、大阪市同和事業促進協議会1973）。

この運動には部落民だけでなく、同様に立ち退きを迫られたり、住宅難にあえぐ在日コリアンも参加していた（本調査聞き取り結果より）。しかし、第一番目の住宅は、要求者が300人余り居たのに対し、80戸しか建設されなかったこともあり（西成支部談、大阪市同和事業促進協議会1973）住民の住宅要求を満たすものとはならなかった。

そして、数年間の停滞期間を経て、再び住宅闘争の火が1966年に燃え上がる（部落解放同盟西成支部1993）。1963年に北津守に新たに48戸の住宅が建てられるが、これは同和対策事業として建てられたのではなく、大阪市の独自の計画で建てられたため管理人は市の職員で、家賃は通常通りという新たな条件が設定されていた（部落解放同盟西成支部1993）。これに対し部落解放同盟西成支部は、新たに西成同和地区住宅要求期成同盟を結成し、市にこれらを一般住宅扱いせず、彼等の要求（一律的な住宅建設でなく、児童会館・集会場などの併設等）を盛り込

んだ住宅にすることを認めさせることに成功する（部落解放同盟西成支部1993、西成支部談）。だが、こうして実現した住宅には、在日コリアンの入居は認められなかった。そこには公営住宅法などにおける国籍条項という法の壁の存在や、そもそも同和対策が部落民の自立への支援という施策であること、さらには部落解放運動や在日コリアンの運動そのものが発展段階にあったことが影響したと考えられる。

理由のいかんはともあれ、共に運動に立ち上がり同じように苦勞を強いられてきた在日コリアンは、対策の恩恵を受けることはできなかった。そして、この事はそれから30年余りの年月を経て、在日コリアンの心のなかに思いがけない心の溝を作ってしまった。本調査で浮き彫りにされたこの心の溝を、彼等の声で表わしたいと思う。

聞き取り調査から――

なぜ在日コリアンが一番差別されていると思うのですか？

◇「（差別されるのは）コリアンの方が多いと思います住宅一つに入るにしても、コリアンだったらダメって言うから。でも普通、市はコリアンを入れるんやけども、こっち（西成）ではダメだって。それは差別だと思えます。同じ住宅をこう申し込んでも、一家、要するに旦那さんか（奥さんの）どっちか日本の籍持ってたらいいんやけども、やっぱり両方国籍無かったら入れないとかそういう事がずっとあるんでね、選挙権が無いからダメだとか」

◇「（何故在日が西成では一番差別されていると思うかという、）例えば、住宅問題にしろ在日韓国・朝鮮人は入り難いですよね。就職（差別）プラスそうですね、後、あの堂々と自分の事を話せるような状況じゃないかなという……（中略）……部落民っていうたら今ここに住んで、一応国籍は日本籍ですよ。……（中略）……在日って言ったらまたちょっと違うなあと。隠していかなくてはいけな様な状況に、部落に住んでても何処行っても一緒なんじゃないかなって。（部落の人は）ここに住んでる事が分かりますやん。地域の中ではね（部落の人は、部落に住んでる限りは隠さなくてもいい）。外へ行けば隠すでしょうと思いますよ。隠して生きてる人はいっぱい居てるからね。……（中略）……（でも部落の人は一旦西成区域の中に入って来れば隠す必要は無いし、自分自身も）もお自然と、「あっ（部落の中に）住んでんねんなみたい」（という感覚を持っている）。まあみんな意識的に部落民やと思って生きてるわけじゃないやろうけど。ただ在日の方は、やっぱりそれが一何か引かかる部分かなあ。（在日が比較的居住の多い所に住んでても、日本人が全く居てない地域は）無いからね。理解し合えてる日本人ばかりでもないし、だから（部落民と違って在日は）西成区で住んでるっていう事をまず一方で隠すかもしれへんし、その次に国籍も隠さなアカンかもしれへんと。（二重の差別を在日は受けている）と私は思うんですよ。いや、それは部落民が楽とかそんなんじゃないんですけどね……（中略）……（在日は他のマイノリティたちと比べて）もお歴史から全然違うし、強制連行とかの時代がまあ植えつけられているし、未だに韓国・朝鮮帰れですもんね。（そう考えれば在日が一番差別されているという結論になる）」

◇「（部落の人だって在日を差別すると思う。）文化温泉のまあ向に公園なってるでしょ、（あそこらへんにバラックが）ピッシリ建ったんよ。で、（松田）喜一の下で働いてる人らが『住宅当たるんやから参加せえ、参加せえ』ゆうて、（朝鮮人やろうが、日本人であろうが）関係ないねん。ほんで、その先生は落ちたしな。2年か3年ほどして、あの住宅立ち上がったんや。ほんで後で、今潰してるけど、出城に建ち出したんや。第一が。そんで（住宅が）建ってる時に、『なんぼ運動したかて、あんたら（朝鮮人は）入られへん。』って、他の（運動をしていない）人やで、野次馬が、あたしら（朝鮮人が）運動してる事を笑うわけや。普通の家持ってる人やとか、（生活が）安定している人やろうな。『あんななんぼしたかて、（住宅なんて）当たるか。あんたらだまされてんねん、だまされてんねん。』って（周りの運動してない人は）いうけどな、うちらそれでも（住宅要求の運動）やっとなんや。……（中略）……でそれで住宅闘争で立派に家建って、あそこへ入れるんやっていうたら気が

ウキウキしてな。ほんである日、文化温泉の2階で鍵渡すから、皆取りに来るようになっていうて、あの時分は皆に、運動した人全部に言うたわけや。ほんで、いったらな、朝鮮人は7人か8人おったわ。ほんで、わしらも入れんねんなあ、うれしいなあっていうてたら、『あんたらはあんたらでな運動せんなあかん』って初めていうたんや。（松田喜一さんではなく）したの人らがや。あんたらはあんたらで、朝鮮人は朝鮮人で、朝鮮人が（公営住宅に）入ったためしがないから、朝鮮人は朝鮮人で運動しなあかんって事になったんや。……（中略）……（その人達に）『そう（初めから）いったらわしら（運動に）参加せえへんのに。朝鮮人がは入れへんていうたら（始めから）参加しいへんのに。なんで今ごろなって、（こんなこと）するねん！』っていうたら、『あほんだら、なにむかすんだ、外出え、文句あったら外出え！』ってどなられてん。わたしはね気性が気性やから、わたしもな『子供連れてても外でるけども、あんたら（住宅の）運動したら住宅もらえる言うたんちがうんか。それやったら家帰ったって雨漏る住宅やわ。バラックやし。（そんな家にまた帰らないといけなくらいやったら）ここになあんたらに殺されるわ。』っていうたら、何にも言えへんねん。『私は出るとこ出るで。家帰ったかて、貧乏で麦ご飯しか食べられへんねんから。結構なこっちゃ！あんな（刑務所入れられても）麦混ぜてても人がしてくれた飯食えるねんから。私は出るとこ出るで！』っていうたら、となりの人が『Wさんそんな言わんかてな、うちの袖のしたでほうかむりして、騙して（住宅）入ろ』っていう事になったんや。それで『私は（人）を騙してまで（住宅には）入らへん。』（と言い返した。）そしたら、そこにうちへ運動（の勧誘に）来た人が座ってるわけや。それで、『兄ちゃん、あんた言うてや。あんたが家あたるから運動せえ言うたんちやうんか』っていうたら、そのひとスーッと外出てまうんや。で、結局私が入れたから、朝鮮人の人らも入れたわ。……（中略）……私は別に女やからなにもせえへんと思っというたんやない。夢中になっていうたんや。カーっとなって。だって当たる思て鍵もらいにいったんやもん。……（中略）……結局入ってからはなにもいわれなかった。」

◇「（在日が一番差別されると思う原因は）初期の問題ですね。つまり日本人はこういう待遇（同和対策）が受けられて、コリアンはうけられないっていう、そういうことがありましたんで、そのときに何故、もうちょっと考えてもらわれへんかったのかなって。運動の中で。解放運動は部落の人にとっては十分であったが、在日コリアンに関しては十分の一も満たされていないであろうと。あんたら関係ないんやっていわれますんで。部落の方にもいわれます。（運動にかかわる人にも）いわれます。あんたらはこの法律の中では、あんたらには適用されないんや。今までも、住宅の問題でもそうでしょ。その、部落解放に関する住宅の、住宅を良くしていく運動であって、コリアンのための運動ではないという。それを明確にいわれましたからね。えーと、もうかなり前に言われたことがあるんですよ。（XXさんより）よりもっと古い人です。自分らの運動やのに、おまえらはひっついてるだけやんけって、なってますでしょ、普通。『自分らの暮らしを良くするのに君ら（在日が）ひっついたら、やりにくいこともようさんあるんや』と（いわれたことが）あります。今言うたように、これは部落解放のための運動であって、対策であって、在日コリアンの生活を良くする運動ではないんやって。地区内で住んどって、同じ待遇が与えられないっていうのはですね、地区限定にしといて、なおかつそこで選って（分けて）しまったというのが。同じようなボロの家住んでる人が隣同士で、隣の日本人はあの住宅あたってたけど、自分ところは与えられない（のは）なんでやねん！（と思っ）説明聞きにいったら、そういう説明うけて、近所の人受けてかえってきたし。……（中略）……（同和対策事業には在日に対する差別が）ありますね。差別というか、向こうのいうた人は区別（で）、差別じゃない区別（だ）と（して）ってはるんやけども、言われた側からしたら差別されてんねんなあって思ってしまうでしょ。（そうやって在日と部落の間の）溝がどんどん掘られていったんですよ。その初期に（できたもの）が。」

解放運動および同和对策事業に関して、どのように思われますか？

◇「部落っていうか同盟地区の住宅に、朝鮮、外国籍の人の人は入れないでしょ。だから、あの、なんちゅうか、（同和向住宅に在日は入居できないということ）を聞いたときにすごく、ちょっと、腹立ってね。うちの子供がすごくその住宅にはいたいって。それで、わたしに『お母さんが運動せえへんから、僕は住宅にもは入れへん！』っていうからね、で、『そうじゃないって、朝鮮人やから入れへんねん。』って言って（子供が）『えーっ』っていうから、『あの住宅は外国籍の人は入れないから、日本籍の人しか入れないから、お母さんが運動せえへんから入れへんのやないんや』みたいな話をしたときにね、うちの子供は、あの、その子がまだ小学校のときやってんだけど、うちの子供はもう『僕は一生マンションには住めないんだっ！』って（嘆いたことがある）。もうやっぱり、そういうふうにとるでしょ？子供やからね。もう、あの住宅はマンションやと思って、うちは長屋やから、（子供にとっては）すごい憧れがあるんですよ。『ああいうマンションに住みたいっ！』っていうね。だから、そういうんでなんかすっごくそのときに腹立ってね。」

◇「在日の人は市営住宅入れなかったでしょう。これはおかしいですね。何が差別反対なんか、ピンときませんよね。市営住宅で、他は入れるのに、なんでここだけ入れへんねんてね。大阪市営住宅は入れるでしょ？在日でも市営、府営は入れるでしょ。（でも部落地域内での同和向け住宅は）入れない、それが差別なくすってどういうことかなってね（それは）不快ですわね。……（中略）……。今でも存在してるでしょう。住宅、韓国の人はいれないというのは、まだ、よっぽど特殊な事情がない限り、強制立ち退きとかね。……だから同和だけだから、同和むけのあれだからって事なんですよ。ね、おかしな話です。（それは）もちろん、行政と（運動側との両方が在日を排除している）と思う。」

◇「確かに教育の面で（同和对策）はいいです。住宅、住宅も確かに立派になっていいです。でもそこに乗れない人。……（中略）……ただ新しく開発する対策はしてて、前から古くある家は傷んでも言うて行かなければ直してくれないでしょ。それでもきれくなる人はいいですよ。その（古い住宅に）おる人で今にも壊れそうになっている人とかはどうされているのかと思います。全体的に考えたらやっぱりいいですけど、（でも私たちは公営の住宅に）入居もできないし、ここでさえ在日に対する差別が出るんです。私も西成にきていろんな運動とかしてもらったりしています。けれどやっぱりつきあうと言えば学校関係が多かったです。ですから教育というのは本当に助かっています。ですけど現実に解放会館の人でも韓国・外国人に対して本当に理解してくれてやってくれているのか？義務的にやってくれているのかというのは特別知りたいとも思わないですけど教育の部分は受けているから言えないんです。だけど100%個人的な問題になってきて、例えば住宅のことに対しても言ったとおりになるかといったらならないこともあるでしょ。住宅に入っていないという部分もあります。」

これらの発言は、アンケート調査で聞いた彼等の特別対策に対する考え方にも反映している。アンケート調査でも同和对策事業は逆差別と思うかという質問をしたところ、「特別対策は逆差別である」と答えた人が21.1%、そして「どちらともいえない」という答えが47.0%で、「特別対策は逆差別ではない」と同和对策事業に対し賛同する人は31.1%である。彼等も保育所や教育面で対策を受けているにかかわらず約7割の在日が特別対策が逆差別ではないと言い切れてないのは、彼等もその特別対策から対象外とされた事実があったことが影響していると考えてよい。

表4-8

項目	件数 (%)
1. その通りだと思う。特別対策	35 (21.1)
2. 特別対策は逆差別ではない。	52 (31.3)
3. どちらともいえない。	78 (47.0)
N.A.	1 (0.6)
N	166

【4】まとめ

ここまで西成区における在日コリアンと日本人との共生性について検証してきた。彼等の結婚観や差別体験および近所の人間関係などを見ると、日本人と在日コリアンとの関係は良好で、この地区における彼等の共生性はその他の地区に比べて確かに高いといえよう。同じ差別の痛みのわかる部落民や同胞が多いこの地区では、自分の民族性を隠しながら暮らさなくてはいけないというプレッシャーが、そのほかの地域に比べ少ないからだ。

しかし残念ながら、西成区における在日コリアンの共生性は絶対的なものではない。先に上げた在日コリアンの部落民やその運動に対する思いや考えから、西成区の部落民と在日コリアンとは、同じように差別を受ける仲間として共存しているとは言い切れない。西成区居住の在日コリアンのなかには、明らかに同和向け住宅に入居できないことで、部落民に対しある種の心の溝を作った人達がいる。

ただし、この溝は部落民が部落民でない人に対して持つ溝や、在日コリアンが全く差別を受けることのない部落民以外の日本人に持つ心の溝とは形成された背景がすこし違う。第1期の住宅闘争のなかで一部の在日コリアンが運動の成果の対象外になってしまったのは、部落民がはじめから意図してたことであったのか、あるいはなかったのかは十分な歴史的な資料が無く、今となってはわからない。しかし、はっきりしているのは第2期の住宅闘争で建設された同和向け住宅入居に、国籍条項という法の壁が在日コリアンの入居の前に立ち上がったことや部落民たちの様に在日コリアンの自立を支援する施策がなかったことは、部落民と行政が在日コリアンを意図的に排除するために生じたものではなく、むしろ差別に蝕まれた社会が結果的に生んだ制度・構造化された差別であったということである。つまり、既に古くから社会のなかに入り込み社会構造の一部となってしまった差別が、新しく作られた社会制度や施策へも影響を及ぼしたのだ。

むろん、これがどのような経過で生じたにしろ、在日コリアンが対策の恩恵から対象外となることで、将来、彼等との相互関係に及ぼす悪影響の可能性を未然に気付き、それを回避することが不可能であったわけではない。しかし、この社会構造のなかに深く浸透してしまった差別が及ぼす将来の影響を十分認識し、在日を含む対策を要求するといった精神的な余裕が、在日コリアンと同様に差別にあえぎ、自ら必死に社会的地位向上を目指す当時の部落民たちに果たしてあっただろうか。また、それから40年後、ここまで自分たちが日本に定着し同化し、日本社会での共生の重要性がこれほどまで高まることを、在日コリアン自身も予見出来ただろうか。

たしかに、その困難を共に乗り越える姿勢が、このまちの第2期以降の住宅闘争のなかで生まれ、発展しなかったことは悔やまれる。先のエスニックエンクレーブの形成の説明のなかで触れたが、かつて西成の人々は差別という共通の苦しみを背負うもの同士、互いに肩を寄せあい生きていく姿勢を持っていた。しかし本調査の結果から、社会構造化されてしまった差別が生んだ同和向け住宅への在日コリアンの入居拒否は、「在日は部落民からも差別される」という印象を西成区に住む在日コリアンに与え、西成で運動が始まった頃にかすかに生まれた在日と部落民との絆を強化する機会を、互いに見失わせていった。そして、いつのまにか両者の間に深い心の溝を残してしまったのだ。

この溝は果たして修復可能なのか、もしそうであるなら一体どこまで修復できるのか、そして在日コリアンはこの溝を生めることを望んでいるのか？---彼等の心の溝に関する議論の続きは、

再び在日コリアンのアイデンティティに関する第7章と、その次の在日コリアンの社会参加に関する終章のところで行う。それらの章の前に、一度視点を彼等の教育に関する考え方に置いてみたい。

第5章……在日コリアンの民族教育観

教育は、あらゆる社会の問題や現象を把握するときに、必ず着目される項目の一つである。なぜなら、問題の原因も解決策も『教育』のなかにあることが多いからである。また、次世代の育て方のなかには、自分自身が理想と考える生き方が投影されているため、その人／集団がどのような「自己実現」や「アイデンティティの確立」、そして「個性の開花」を望んでいるのかを理解する上で、最も重要な側面であると考えられる。本調査では、西成区居住の在日コリアンの民族教育に対する考え方について幾つかの質問をした。このアンケート結果と、それを元に行った聞き取り調査の結果から、彼等がもつ子育て、特に民族教育に対する考え方と現在の民族教育の在り方について議論をしたいと思う。

【1】日本における民族学校の存在

現在、日本における朝鮮学校はまだ一条校と認められておらず、そこに通う在日コリアンの子供達の教育を平等に受ける権利が迫害されている事実は、一般報道等でもよく伝えられている。これらの問題はとても複雑であり、それだけで一つの調査が行えるほどに大きな問題であるため本調査差報告書の紙面の都合上、それらの問題をここで触れることはひかえることにする。

本アンケート調査で対象となった166人の在日コリアン達に朝鮮・韓国学校等の民族学校は必要と思うかと聞いてみたところ、民族学校は絶対に必要あるいは必要であるが今のやり方には問題があると答えた人が全体の過半数（55.4%）をやや上回るという結果になった。表5-1と5-2をみてもわかるが、日本の学校における民族教育に対する考え方とほぼ一致した結果である。

表5-1
問37. 日本の小中学校での「民族教育」

項目	件数 (%)
1. 「民族教育」は絶対に必要だ	53 (31.9)
2. 「民族教育」は必要だ問題有	49 (29.5)
3. 「民族教育」は特に必要ない	25 (15.1)
4. 「民族教育」は全く必要ない	7 (4.2)
5. 「民族教育」のことはよくわ	28 (16.9)
N.A.	4 (2.4)

N = 166

表5-2
問38. 日本の「民族学校」

項目	件数 (%)
1. 「民族学校」は絶対に必要だ	56 (33.7)
2. 「民族学校」は必要、問題有	36 (21.7)
3. 「民族学校」は特に必要ない	24 (14.5)
4. 「民族学校」は全く必要ない	6 (3.6)
5. 「民族学校」よくわからない	37 (22.3)
N.A.	7 (4.2)

N = 166

後日行った聞き取り調査のなかで、必要／不必要と答えた人々に何故そう思うのかと尋ねたところ、必要と答えた人の理由は「自分の国の文化や歴史をきちっと勉強できる場所として必要である」や、「自分は行かないが（行かなかったが）、言葉をしっかり学びたい人のためには、一つの選択肢として必要である」等が挙げられた。反対に必要でないと答えた人は、「ニューカマーには必要だが、別にこれから日本に住んでいくものには特に必要ない」や「偏った教育をするのなら要らない」というような理由を述べていた。アンケートの自由回答では現在の民族学校の在り方の問題点として「学校経営」「朝鮮学校に対する偏見、理解不足」や「学校の教育内容への政治的思想の影響や大学進学の高難さ」等が挙げられた。その自由回答と聞き取り調査の結果の一部をここで紹介するので参照してもらいたい。

(自由回答から……)

- 「専門学校としか認められない点が多い」 (韓国籍・24才・女性)
- 「朝鮮学校は、日本のことを教えない。韓国学校は半々だが、韓国語の会話も出来ない。」 (朝鮮籍・30代・女性)

- 「日本の学校のカリキュラムもクリアーしないと、大学受験のときは大変だった。」
(朝鮮籍・30代・女性)
- 「少し民族学校は経済的にとてもしんどい。もっと日本国は、目を広くあけて援助すべきだと思う」
(朝鮮籍・40代・女性)
- 「学校運営のための資金難。学力（日本の公立学校同様）、一世中心になっている。」
(韓国籍・40代・男性)
- 「形の上で文化交流や他のことをやっていますが、その関係者に報われる体制が出来ているのか。
しんどいままだと続かなくなる。」
(韓国籍・50代・女性)
- 「北と南のもめごとを持ち込まない。統一する必要がある。」
(韓国籍・60代・女性)
- 「学力が低いのでレベルアップして欲しい。」
(韓国籍・70代・男性)

聞き取り調査から――

民族学校についてどう思いますか？

◇「いや、絶対そっち行きたいっていう子がいるかもしれないじゃないですか。日本の学校より。そういうの考えたら、自分じゃなくて、他の人が必要とするんじゃないかなって。」
(韓国籍・20代・男性)

◇「うーん、母国へ帰るなら（言葉や文化習慣をしっかりと学習できる教育は）必要でしょう。母国へ帰って、向こうで生活するなら必要でしょう。そのまま在日で一生終える人には必要ないと思います。日本の（学校の）方が、日本の生活に適した教育だと思います。」
(韓国籍・30代・男性)

◇「（民族学校に行くのは）多分、本人の意志やなくて親の意志ちゃいますか、それはほとんど。別に高校進学の際に多分ほとんどの子は民族学校行きたいといって勉強している子は、多分ほとんど僕の知っている限りでは誰もいてませんでしたけど、やっぱり親が行けって言われるから行く子が多いんじゃないですか。親はまだ、今は知りませんが発祥の時には基本的には、まだまだ今と違って僕らと感覚違ってまだ戻る気でおったかもわかりませんしね、北朝鮮とか韓国に。韓国同士で集まらなあかんという意識もあったかもしれませんしね。ばらけていると弱いから固まっておらな防衛でけへんという意識もあったかもしれませんし。それはわからないですけどね。」
(韓国籍・30代・男性)

【2】日本の学校における民族教育

社会的抑圧をうけるマイノリティにとって、教育、特に民族に関する教育はただ単なる知識の習得以上の意味を持つことが多い。日本の学校に通学する彼等にとっての民族教育は、自分自身のことを理解するきっかけであるだけでなく、メジョリティ達の自分達に対する理解を促すきっかけでもあるのだ。私がここであえて紙面をさくまでもなく、差別を根絶・予防するために教育機関がいかに重要な役割と影響力を持っているかは、今まで世界中の多くの研究者や活動家たちによって議論されてきた（田中1996）。もちろん、教育によってのみこれらの問題が解決できるとするのはやや短絡的すぎるかもしれないが、教育は確かに人間の持つ予断や偏見をなくし、予防するのに大きな影響力を持つことは教育研究者の研究結果によって確認されている（平沢1994）。

西成区における、主に在日コリアンの子弟を対象にした日本の学校での民族教育（民族学級）に対する当事者の考えを本調査で聞いたところ、多くの無視できない意見が上げられた。その結果を紹介しながら、以下ではどのような民族教育を在日コリアン達は求めているのかを考察したい。

(a) 在日からみた日本の学校の民族学級

今回調査の対象となった在日コリアン166人中、日本の学校における民族教育（民族学級）は必要であると答えた人が61.4%と全体の過半数を超え、必要でないという答え（19.3%）の約3倍であった。この結果をみる限りでは、西成地区における民族学級の存在は彼等のニーズに応じているように見える。しかし、内訳をみると『民族学級は必要だけれども現在の民族教育の在り方には問題がある』と答えた人が、必要と答えた人の約半数を占めている。これを後日行った聞き取り調査の結果と総合して分析したところ、当事者の在日コリアンたちが、日本の学校の民族教育で不満と感じている主な点は、次の3つに分類できた。以下で各々を検証していく。

① 民族学級の内容

37番の質問で『必要だが問題あり』という答えを選んだ人のうち『内容が不十分である』と自由記述した人はかなり目立っていた。それら自由記述と聞き取り調査から一部引用しているので参照してもらいたい。

◆自由回答から……

- 「質的にも、量的にも少ない。」 (韓国籍・20代・女性)
- 「在日の歴史をきっちり教えて欲しい。」 (朝鮮籍・40代・女性)
- 「民族の子供達だけ集めての仲間意識や文化にふれる事も大事だが、どうして今、自分は日本に住んで生活しているのか、原点を理解する(という指導が不十分)」 (韓国籍・40代・女性)
- 「本当の真実を伝えられているか否か(が疑問)」 (韓国籍・30代・男性)
- 「教師自身があまり理解しないまま子供達に接している」 (韓国籍・40代・女性)

聞き取り調査から——

民族学級の内容についてどう思いますか?

◇「母国語を教えるくらいはいいと思うんですよ。それだけくらいでやめとった方がいいと思うんです。首突っ込んだら、政治とか、思想からできますので。……(中略)……言葉を教えるのも、北よりの指導者でしたら、北よりの言葉でしゃべってしまうんですよ。方言ってあるでしょ。南の方の人間が聞くと通じないという、南の方の言葉も北の方には通じないというがあるんで、濟州島の言葉が本土で通じないとかあるんで、そんなんを、どれを標準語として教えてるのかなという疑問はあります。(多様性を)全く考えずに、在日コリアン(全部)ひっくるめてっていうても、在日コリアンの中にはいろんな人いますからね。」 (韓国籍・30代・男性)

ここで特記しておきたいのは、指摘された問題点のうち『在日の歴史』に関する教育が不十分であるという答えがかなり目立っていたということである。すなわち、どうして自分達が現在、在日コリアンとして日本で生活しているかという点をもっと教育の現場でしっかりと教えてもらいたいという要望や、現在の日本の歴史教育、特に日韓併合あたりの歴史教育に対する不満を表わす意見が、聞き取り調査でも多く上げられた。また、現在行われている言葉や文化に関することの教育水準の向上を求める声が少なかったことも特に注意を要する。

② 民族学級の参加者

「在日コリアンだけを対象にして民族教育を受けさせるやり方は適当でない」という意見も、自由回答と聞き取り調査のなかで目立っていた。また、その他の問題を指摘した人のなかでも、日本人と在日を別々にして行う現在の民族教育の在り方は問題であると指摘した人も多く、民族教育への日本人の参加がないことを問題とする意見は他のものに比べて決して少ないとは言えない。なぜ彼等が日本人も参加すべきだと考えているかを、自由回答と聞き取り調査の結果から分析・検証していきたい。

◆自由回答から……

- 「日本人と一緒に学んだらいいと思う」 (韓国籍・20代・男性)
- 「民族学級の発足もわかっているつもりですが、歴史は流れています。皆なで学習したほうがよい。日本人の子供も興味をもって参加したいという子はいてるはず、サークルにしていく必要大。民族学級で遊び学ぶ子は楽しく、参加しない子は学習。お互いに問題あり」 (韓国籍・30代・男性)
- 「X 小学校の民族学級は、民族のみで日本人の参加がない。」 (韓国籍・30代・女性)
- 「国籍に関係なく、英語の教科のように皆なが習えばいい。」 (韓国籍・40代・女性)

聞き取り調査から——

民族学級に日本人が参加していないことはどう思いますか？

◇「それがちょっとおかしいんですね。みんなが知った方が本当の教養になるしね。日本人も教養になるし韓国にも教養になって分かり合うんですけど、何かそこらいろんな考え方の親がおるんでしょ。行ったらあかんという親がいたり、いろんな問題があったみたいですけど、本当に文化人になろうと思ったら(様々な事柄について)知らんことには文化人にも国際人にもなれないんですよ。……日本の人も一緒に(で)なんぼ韓国が知っても日本人が知らないと絶対理解できないし、前にも進まないし、ほんとの文化人でもないし国際人でもないと思う。」 (韓国籍・50代・女性)

◇「今の民族学級、私の知ってるこの民族学級は、みんなと一緒に挨拶とかは覚えていってるみたいですけども、違う意味で、何て言ったらええねんやろ、だから一番重視したいのは日本人と共に頑張るみたいな所らへんですよね。そこが(今の民族学級は)何か欠けるような気がするし、誇りを持って生きさすのはいいねんけども、そこで(日本人と在日の子供を)分ける事は無いんじゃないかなと思うんですよ。うん、だから日本人の子が言葉覚えとかそんなじゃなくて、そういう今までの、これからのみたいな……共にですよね。うん、して当たり前じゃなくって、自然にそうならないといけないんじゃないかな。だってね、在日コリアンのしんどきなんていうのは日本人にわかるわけではない(のは)当たり前だと思うんですよ。ただわかっていう姿勢って言うんですか、知ろうという姿勢って言うのは私、大事やと思うんですよ。一緒に生きていく中でね。だから、それを自然な形でつながっていかへんかったら、きっかけは何でもいいんですけども、ダメなんじゃないかなって。そうする事によって在日コリアンの事が分かっていくっていう風な事になるんですけどね。(現実には)難しいですけどね」 (韓国籍・30代・女性)

◇「(省略)……子供がはじめて小学校入ったときに、民族学級があつて、参加するときに、自分もすごうれしかったんですよ。…(中略)……結局、隠すとか、(あえて自分から)言うとかじゃなくって民族学級にさえ行けば、ああこの子は朝鮮人なんや、韓国人なんやみたいな、(ということを承知の)上で付き合ってくれる。子供同士が。その子供がどう思っているかはわからへんねやけどね。そんなところで、自分自身が小学校のときに無かった、その民族学級というのが子供には(あるから、ここは)すごくいい場所やなって(思った)……(中略)……日本の学校に民族学級というのは、もち

ろん朝鮮の子に対しても必要やけど、日本の子に対しても、やっぱ必要かなって。自分が小中学校の時にはなかったから、自分自身が言わへんかったら知らへん子ていたんですよ。わたしが朝鮮人やっていうのはね。近所の子はみな知ってても。中学校なんて何個かの小学校から上がってくるでしょ。通名でいってるから、誰かが、他の日本の子が『あいつ朝鮮やで』っ言わへん限り私のこと朝鮮人てわからへんわけでしょ。そこで、その変な入り方したら、イメージ悪い入り方したら、その日本の子はかわいそうにずっと朝鮮人っていうののイメージが悪いじゃないですか。でも、日本の学校に民族学級があって、いいイメージで入ると、やっぱその日本の子にとっては朝鮮人ていいんだというイメージが育まれるんだと思うんですよ。ね、そうするとやっぱり、悪いイメージでばかりで入るより、ちょっとでもいいイメージで入るほうが、その子の知らず知らずしてる差別っていうのをもっと身近に考えれるんじゃないかなって、日本の子はね。それから勿論うちの子が、もちろん民族学級に行くことによって、『あ、リー君（仮名）は朝鮮人なんや』みないな。だって、リー君リー君ていうてたって、今だに日本人やと思ってる日本人の子はいてるんでね。変な話（笑）。そういうので、やっぱり無いよりかはあるほうがいなくて。自分の子にだけじゃくって、日本の子に対してもね。」

（朝鮮籍・40代・女性）

◇「あの、6時間目に民族学級ってあったんですよ。在日の子らは民族学級行かされて、日本の子らは補修という形なんですけど、すぐ帰れるんですよ。小学生の僕らからしたら『なんで先帰れるの』ってそういう気持ちがあったんですよ。俺らも帰らせてやって。補習と偽って帰ってる日本人が嫌やったっというか、うらやましかったんですね。帰って遊べるから。」

（韓国籍・20代・男性）

◇「（日本人は受けずに、在日の子供だけ受けているというのは）何か差別されているような気がする、私は。やっぱり、特別にあないせんかって。一緒に、仲間やから、同じ生徒やねんから、日本の習うときは一緒に習て、韓国人の習うときは一緒に習て、私それがええと思うねんけど、私いっつもQ小学校に……（中略）……行くねんけど、もういっつもチャング叩いてな、すんあの、長橋小学校の先生に教えてもらてんねん私自身がな。せやから『先生、ものすご賑やかですわね』っていうたら、なにや『民族学級してますねん』ちゅうたって、私何にも言いません。もういうたかて、私一人言うのになりますの。そやから、もう、はっきり言うて、私はそれも差別やないかなって思います。特別に、そんなせんなことあれへんがな。」

（韓国籍・60代・女性）

◇「小学生にキム君とかね、本名と言うとかね、そりゃ西成ではいいと思いますわ。だからその子たちが大きくなって、西成の形でどっか違うところにいったら、絶対つぶれますわ。そのとき、時代が変わってればいいんですけどね。いまはもう韓国あれだけサッカー強いから、いけるとは思いますけど、子供に選択権がないでしょう。誰かが決めたいでしょう。（それは）おかしいですね。子どもの人権はどこいったんかなっていう気がしますね。その親の人権もあるやろうし、運動会なんかに行っても、日本語でまず説明して、それから韓国語で説明してね、その二つでええんかな、中国語はどこいくねん、英語はどないすんねんっていう話しになりますよ、そら。だからそれは子どもたちが自分たちで決めて実行すればいい話しでね（西成区の学校は、大人のエゴが）多いんじゃないかなって、だからいいとは思いませんね」

（韓国籍・40代・男性）

以上の引用からわかるように、在日の人の中には日本の学校における民族教育は民族的な自覚を高め、自分の文化を受け継ぐ場であるだけではなく、日本人との共生、相互理解を促すためのものでなくてはならないと考えている人も多くいる。聞き取り調査をするなかでは、もちろん日本人と在日は別々にしたほうがよいと答えた人もいたが、それは全体を通してあくまでも少数派であった。

③ 民族教育の進め方

現在西成地区内の小学校の民族教育において、在日コリアンの児童に対する本名の指導や民族学級への積極的な参加の促進は大変重要視されている。本調査の初期段階に実施したオブザベーションで、調査員である筆者も西成区内の小学校、中学校の民族教育現場に行った。そのとき現場の指導者の方々と面会する機会があり、そこで彼等の学校での本名指導の積極的な取り組みに関する話をした際、指導教員の方は大阪市教育局の学校教育指針の存在について触れられていた。

後日、大阪市教育局の平成9年度の学校教育指針を参照すると、確かに指針の「在日外国人（主に在日する韓国人・朝鮮人）の幼児・児童・生徒の教育」で、「在日外国人の幼児・児童・生徒が民族的自覚を高めることが出来るようにするために、本名を使用する指導を徹底し、学校の教育活動全体の場で科学的認識に基づいて指導する」よう求められていることがわかる（平成9年度学校教育指針、資料提供：大阪市教育局事務局総務部）。

さらに、この指針を踏まえて昨年9月に「本名指導をすすめるために」という指導の手引き書が作成されている。そのなかには、「在日・韓国・朝鮮人が通名を名乗っていることを個人の問題に転嫁したり、通名を名乗っている状況に疑問を抱くことなく放置してはならない」とし、教職員自身が「子供達の本名を知り、本名を呼ぶことが出来るように自らを変えていくこと」、就学案内などの公簿の氏名記載に当たっても「区役所から届く名簿に基づき本名で宛名を記入することが大切である」と述べており、保護者の連帯については、「公簿や卒業証書は本名記載が原則であることや中学校では公立高等学校の受験願書などに本名を書くことについては必ず伝える」よう求められている（「本名指導」をすすめるために（指導の手引き書）資料提供：大阪市教育局事務局総務部）。

では、当事者である在日コリアン達は、こうした背景のなか現在行われている民族教育の指導の進め方やその内容、そして自分達の名前等をどのように受け止めているのだろうか。本調査結果から出てきた彼等の名前と学校の民族教育指導、特に本名指導に対する思いや意見をここで一部紹介しながら、西成区の在日コリアン達の民族教育の指導方法に対する考え方を検証していこうと思う。

◆自由回答から……

- 子供の意思を聞いてからやるべき。 (韓国籍・30代・男性)
- 在日を、朝鮮人、韓国人と同一視すること。 (韓国籍・30代・女性)
- 本人の意思に関係なく強制的すぎる。 (韓国籍・40代・男性)
- 現在のやり方はしらないが、むかしは受けたくもないのに、無理やり受けさせるところがあった。 (韓国籍・20代・男性)

聞き取り調査から——

貴方の名前（通名と本名両方）についてどのように感じていますか？

◇「そうですねえ。小学校、中学校の友達には本名で言われてますからね、まあ、家でもだいたい、家では半々ですけど、だいたい本名で言われた方が結構親しみ持ちやすいですかね。やっぱり日本の友達、まあ高校の友達、大学の友達とかはだいたい山下君（仮名）と言われてますから、まあやっぱり本名で言われた方がよけい親しみ持ちますね。1番親しい子しか、チョンイリ（仮名）て呼びませんからね。……（省略）……名前のことでしたらやっぱり今ですね。これからどうしようか、就職してからどっちでいこか悩んでますね。それ以外は、別に何とも、まあ多少高校いくときどっちでいこかと多少思いましたけど、それはまあ高校、大学ですから別に日本名で行っとこかという軽い気持ちですけど、これからどうしようかと思ってまね。就職の時は……ちょっとそこまで、一応本名で行こかなと思っ

てますけどね、どっちみち死ぬまで通名で行ってると思わないし、いつかわかることと思いますしね。就職したら。」 (韓国籍・20代・男性)

◇「何でも田中(仮名)でいってます。ええ、もう差別が怖いので、……もういわれますね。確かに。入院しとったメンバーのなかでも、もう、悪口をモロいいますわ。」 (韓国籍・60代・女性)

聞き取り調査から——

本名を使ってよかったと思いますか?

◇「ちょっと高校のときにちょっとボーイフレンドがいたんですが、その子を私、ずっと日本人だと思ってつきあってたんですよ。そしたら、ある日言われて。実は自分は在日って。私は、まあ、本名で行ってたんで。だから、まあそういうなんで(本名で行っていることで)寄ってくるみたい感じがするんですけどね。で、向こうにしたら憧れがあるみたいなんです。自分は隠してるのに、(私は)堂々としてるっていうので。…(中略)…最初から(名前を伝えて自分が在日だと)ゆっちゃえば楽なんで、すごく仲良くなってそれゆって(相手に)離れられたら自分もショックだけど、最初からゆっとけば、そんな傷つくこともないし。差別する人だったら(最初から)よってこないだろうしって思うし。…(中略)…うちとこの姉なんか、通名で高校行ってたんですけど、(中学の卒業)アルバムを持ってきて欲しいって言われたんで、名前がリャン(仮名)ではいってるじゃないですか?…(中略)…(姉は)中学はS中なんで本名でいって、で、高校のときに持ってきて欲しいと言われたのが、(アルバムの名前は、本名の)リャンではいってるので、(名前の部分)を削ったりとかして。ほんでどうしようもなくなってしまっ。だんだんだんだん滅茶苦茶になって。『どうしよう、どうしよう!』とか大慌てなりましたけどね。(通名でいってたらそんな思いをしてた)かもしれないね。いまは想像つかないけど。」 (韓国籍・20代・女性)

◇「最近まで通名で何処へ行くのにも、お医者さんでも何でも通名でいってました。お嫁に来る前の通名でいってました。……(中略)…ここ1・2年はね、別に、あのお医者さん行っても『どっち書きます?』って言われても、好きなように書いてくださいって、本名書いてくれたらもお本名で何処へでもいきます。…(中略)…何かこっちへ来てそういう事にこだわらなくなったって、今までは本名でいったら、それまでは以前までは本名でいったら恥ずかしいとか、そういうのがちょっとすごくあったんで自然に別に、通称使っても後で本名が分かるし、別に本名でいったっていいんじゃないかと思う。かえって通称使っている人の方が恥ずかしくないかなってそういう気が。…(中略)…やっぱり本名の方がしっくりきます。」 (韓国籍・50代・女性)

これらの人をみると、確かに通名(日本名)の使用は本当の自分を偽る自己否定をする否定的なことで、反対に、本名を使うことやそれを使い続けることは彼等にとっては肯定的な姿勢であるという印象をうける。しかし、本調査の聞き取り調査から明らかになったことはこれだけではない。この調査結果でわかったもう一つの事実は、日本名を使っている自分もマイノリティであるという自覚を持ち、在日である自分を否定していない人も多くいるということである。つまり、通名イコール差別への恐れ/在日である自分を否定しているという公式が当てはまらない人もいるということである。それを明示する例もここで紹介しておきたい。

聞き取り調査から——

通名を使われるのは何故ですか?

◇「別に理由は何もないんやけど、結局皆なが知ってるから。あの本名で(私のことを皆なが)知って

たら、本名使うけど、通名が皆な知ってるから」

(韓国籍・60代・女性)

◇「…(省略)…自分自身ではね、もちろん本名も通名も自分の名前としてもってるんで。だから結局中学校時代まではずっと通名で過ごしてきたんで、それ自体(通名)がその自分のなかで押し付けられているものとしては受け取ってないから。……(省略)…自分自身で、本名やから差別されとか、その通名のほうが得やとかというのは余りない。」

(朝鮮籍・40代・女性)

◇「…(省略)…例えば本名でいってても中身は全く日本人の場合があるでしょ。でもなんぼいってもわからない。絶対本名使ったからいじめられるとかもない。本名やからええ、悪いとは言えない。ほんと一番いいのは何にもないのが理想。……(中略)…あまり名前プライドもって本名でいけという考え方じゃない。名前というのはひとつのアクセサリーと思っている。ですから本名乗ってるから偉いとかそういう考え方は持ってないです。」

(韓国籍・50代・女性)

◇「……(省略)…名前呼び方で、たぶんその指導される方が形式主義に囚われていて、あの名前を漢字でかくでしょ。それを韓国読みの音読みに直して、ハングルでかかせるんですよ。名前というのは、呼ばれることが全てなんで、『いつも読んでる名前、そのまま何でハングル書かせへんのか』って昨日もちょっと学校の先生呼んでかなりいうたんですけどね」

(韓国籍・36才・男性)

これと同様の傾向が民族教育を受ける、受けないということに関してもみられた。特に注意を引いたのは民族学級の必要性は認めつつ、親自体の子育て観や子供の意思自体を無視してまで、子供に民族教育を強制的に受けさせることは問題であると指摘する人もいる。ちなみに、これらの回答が差している民族学級は主に小学校である。

◆自由回答から……

「現在のやり方はしらないが、昔は受けたくもないのに無理やり受けさせることがあった。」

(韓国籍・23才・男性)

「子供の意思を聞いてからやるべき」

(韓国籍・37才・男性)

「本人の意思に関係なく強制的すぎること」

(韓国籍・45才・男性)

「民族教育を受けたいか、受けたくないかということが選べない」

(朝鮮籍・43才・男性)

聞き取り調査から——

民族学級の指導の在り方についてどう思われますか?

◇「家はもうみんな日本籍なんです。主人が日本人やから。でもここの学校(小学校)は、(自分の)子供に言ってなかったんやけど、学校で自然に勝手に教えるみたいですよ。お母さんはコリアンや、在日コリアンやっていう事を学校が勝手に教えてくれるみたいですよ。やっぱり親の口から言って、勝手にそういうことはやっぱり、人権の何とかって勝手に先生がね、お宅のお母さんはこないしてあの…コリアンやから民族(学級)入んなさいとかね、そういうことは勝手に教えて欲しくないなあっと思いました。やっぱり最初はね、主人と一緒にあった当時は、もう日本の人やから別に私らもね、国の行儀作法とか教えなくてもいいし、ここに生まれてるし、今さら向こうに帰るとかしたって生活できないから、こっちのやつ教えたほうがいいし、名前も日本名やと思って子供にもそういう話しは全然しなかったし、親戚のところへも行ってなかったんでわからなかったんやけど、学校から帰ってきて、学校の先生が(貴方のお母さんは在日だから、貴方も在日なのだ)と子供に)言って、で子供がちょっとこう戸惑う時期があつてね。よその同級生、子供の同級生の親御さんに隠してるのに勝手に、ずーっと日本のね、生活をしてたのに、ある日学校に行ってそういう事言われて、子供が質問されててね、すごく戸

惑っていう家も何件かあったいうてね。…(中略)…よくそういう話をききました。民族、民族って言い張って、民族の授業すんのはいいねんけど、こう、家庭に先に来ないで生徒にねポンって言ってしまいうでね。それは私らにしたら人権侵害っていうか、それはちょっと親を無視してね。それがちょっと…。ここはコリアンの人もいっぱいいてるし、別に同じ西成っていうても玉出とか住之江のあっちのほうじゃなくて、固まっているから別に本名言ったから、言うてどうのこうのっていうのは無いやろうけど、みんなもう知ってるしと思って半分開き直った気持ちであれしてるけど、やっぱりこう急に(されると)私ら(も戸惑うし)、どうして学校の先生はそういうこと勝手にするのかなとか思って。そりゃ民族教育も大事やけどね、親がやっぱりしたくないことを無理強いしてね、そういうことはやっぱり控えて欲しい。全然そういう事に親も、関係無い親、家庭もあったみたいですしね、それを子供に言われてね、もうすごく親自体が戸惑ってる家が何軒かあったみたいやしね。」^{注1}

(朝鮮籍・50代・女性)

◇「…………(中略)…………(本名指導のことで)僕が思っていたのは、解放同盟がやってるゼッケンつけてますよね、基本法制定とか石川さんは無実だとか、ほんだらお前らはそのゼッケンをつけて生活ができるのか。自分が部落民だということを公に出して仕事やったらそれぐらいの気持ちがあるんやったら例えば韓国人に対して本名で社会通念でやれというのわかるけど、自分達は隠そうと思えば隠せるんですよ、部落というのは。そやけど本名を名乗った時点で韓国人というのは隠せないですよ。本名やねんから本名名乗れというのは正論なんです。ただ、情勢というのは個人個人違うから、それをへんに強制するのはおかしいと思うし、逆に言ったら自分らがゼッケンをつけて生活できるのかといたら誰もしてないでしょ。だからそういう感覚の違いというのがあって、ある程度軋轢(あつれき)があると思うんですけどね。基本的には、一緒にしなければいけないんですけど末端の方ではいろいろあると思います。…………(中略)…………民族学級に行って初めて自分の名前知りましたからね。親も知りませんでしたからね。韓国人の人でよう通名と本名があるでしょ、漢字も違うやつ、うちところは一緒やったから親は韓国語を気にせんと名前決めてると思いますよ。だからユンファ(仮名)っていう読み方すらここで初めて教えてもらったんですよ。親も多分知らなかったはずですよ。親自身がわかってないですからね、韓国語1つしゃべられへんし。それとこんな仲間がおんのかというのわかりましたね。自分だけじゃない、韓国人ていう意識はありましたけど、そんなんいちいち聞きませんよね、韓国人韓国人韓国語って。例えばそんなとこ顔出してこいつらもそうやったんかとかいう一瞬仲間がおるなという安堵感がありました。民族学級いうかそれを韓国人・朝鮮人だけやったらええんか、それとも日本人も含めたなかでやったらええんか。それを例えば韓国人だけクラブ活動みたいな形でやらす事自体がええんか、ほんだら周りの人間はほっといたらええのかと、そのへんの事がわからない。例えば学校でやるんやったら人権問題として全部トータルで、例えば部落問題やったらみんなで作るような形でそれも一緒にやったらどうか。あえて分離する必要あんのか。それも含めて(問題だと思ふ)。」

(韓国籍・30代・男性)

以上の聞き取り調査及びに自由回答の分析結果を踏まえ、次に本調査のアンケート結果と他の地区で行われた調査結果との比較をし、在日が民族教育をどのように考えているかを考えていきたい。

(b) 神奈川県調査との比較

両調査は「あなたは、あなたのお子さんやお孫さんなど若い世代の人達に広い意味での自分の民族についての教育を受けさせたいと思いますか?」という彼等の民族教育観に関して同じ様な質問をしている。そして、その結果を比較してみると、西成区のほうが神奈川県より「是非受けさせたい」という答えが少なく、「本人次第」という答えは、逆に西成区のほうが神奈川県の調査結果より多い(表5-3、5-4参照)。神奈川県と本調査ではサンプル数が全く違うため、こ

^{注1} 自分自身に在日コリアンという自覚がない親--自分もダブルスで、コリアンだったほうの親と死に別れたりした人達の事をここでは差している。

の比較結果の确实性は高いとは言えないが、聞き取り調査で民族指導における『本人の意思を尊重』を望む人が多かったことから、この結果は民族教育に関する自主性をもとめる在日の一定の意思表示ともとれなくはない。

表5-3 (本調査結果)

項目	件数 (%)
1.ぜひ受けさせたい	29 (17.5)
2.別に必要とは思わない	23 (13.9)
3.できることなら受け	32 (19.3)
4.関心がない	10 (6.0)
5.本人次第	64 (38.6)
N.A.	8 (4.8)

N =	166

表5-4 (神奈川県内在住外国人実態調査より)

項目	件数 (%)
1.ぜひ受けさせたい	285 (32.9)
2.別に必要とは思わない	152 (17.6)
3.できることなら受け	171 (19.7)
4.関心がない	44 (5.1)
5.本人次第	204 (23.6)
N.A.	10 (1.2)

N =	886

(c) 何が在日であるかを決めるのか

アンケート調査のなかで彼等の民族教育観を理解するために、「貴方が在日コリアンとして子供や若い世代に一番伝えたいことは何ですか?」という自由記述形式の質問をした。それを分析した結果、最も多かったのは「在日コリアンとしてなぜ自分が日本に存在するのかということ」や「自分や祖先、特に一世達がどのようにして日本に来たかという歴史を伝えたいということ」であった。その他、多かったのは「奢るのではなくむしろ卑下するなという意味での民族としての自覚や誇りをもつということ」や「差別に負けない」、「日本人との共生を目指せ」などが多く、儒教の教えや言葉など文化的な事柄を伝えたいという人はとても少なかった。なぜ、彼等は歴史のなかで迫害されてきた自分達の文化を継続させていくことを、民族教育のなかでの最重要課題としないのだろうか。

聞き取り調査で、言葉や文化的な伝承は特に重要でないという答えた人々に、何が在日にとって一番重要なのかということを知りたいところとても興味深い答えが来てきた。その一部をここで紹介するので、彼等が在日として何を大切にしているかを考える上での参考資料にしてもらいたい。

聞き取り調査から――

◇「気持ち的にいろんな状況のなかで、自分は朝鮮人で、言葉習いたい、でも習われへん。でも気持ち朝朝鮮人なら(それでいい)。自分のルーツをちゃんわかって、親をちゃんわかって先祖をわかって、自分が何人かとわかると…(言葉は)問題じゃ…(ない)。(大切なのは)意識の問題であって…(文化ではない)。」

◇「……(省略)……(自分の子供に名前を就けると)読み直しが出来る様な名前にするか、それとも本名そのものにするのかは悩んだけど、私自身が、主人もそうだけど本名で生きることが偉いじゃなくって、ダブルスの子供としてどう生きるかみたいところへんが大事やから別に金田美央(仮名)でもいいと思ったんで、……(省略)……自分が、その子自身が生きていくなかで自分は自分は『金田美央(仮名)』になりたいとか、『キム・ミアン(仮名)』になりたいという話が出てきたときに、私は子供の意見を尊重しようと(思うんです。)その代わりに隠さず、何でも親が生きてきた道のりを話していけたらいいかなって(思っています。)日本に生きる在日として、どう生きていってもら

うか……私自身は（大切だと考えています。）…またもっと違う考え方あると思うんですけど、私自身、本名でいくから偉いとか在日韓国朝鮮人を皆なに見せびらかしていきっていくのが偉いとは思ってないんですよ。日本人と（共に）どう生きるか（が大切だと思う。）。ま、名前が一番最初にわかってしまうことで一番楽かもしれないけど、生まれたまんまそのまんまで来たら楽かもしれないけど、私自身の生い立ちからでいったら、通名出来て本名になりまた通名になりって来たなかで自分が親に言われずに気付いた部分でよかったと思ってるんでね。隠したりしいの、知ってる、言える友達にはいええのしてきた自分が悪くなかったなっと思って。」

【3】まとめ

在日コリアンたちの教育に対する考え方が、いかに時代とともに変化する社会の影響を受けながら多様化していったかは今まで様々な調査結果から報告され、議論されてきた（大阪府外国人教育研究協議会1997、辻村 et al. 1994）。そして、それらの調査結果を支持するかのようになり、多様化する西成区の在日コリアンの教育観の実態も本調査結果から明らかになった。

在日コリアンの名前や民族教育に関する問題は歴史的に複雑な背景をもっており、これらの問題に対し、一概に何が一番良くて悪いのかということを見極めることは至難である。現在行われている日本の学校における民族教育の歴史を振り返ると、その誕生は称えられるべきものでこそあれ、誹られるべきものではない。大阪府外国人教育研究協議会の『21世紀を展望する多文化共生教育の構想』という著書のなかで西成区をはじめ、その他の小学校でどのようにして民族学級が誕生したのかが触れられており、それを読んだだけでも行政からの援助等が確立されていない状況のもと、現場の教員たちと保護者の協力によって現在まで民族学級が支えられ継続させてくれたことがいかに大変なことであるかがわかる（大阪府在日外国人教育研究協議会1997）。そして、当事者たちのその努力にはただ感服するばかりである。しかし、逆に言えばそのような素晴らしい活動背景をもつ地域であるからこそ、本調査で明らかになった在日コリアンたちの現在の民族教育に対する不満は、調査をする者の注意を特に喚起させた。

性別、年齢、学歴の三つの属性のみで選んだ聞き取り調査の対象者20人中、民族学級の内容を知っていると答えた人は15人いたが、そのうち民族学級の在り方に何らかの不満があり、ある特定の問題点を明確に指摘したのは15人全員であった。さらにアンケート調査からは彼等が民族教育における自主性を求めていることを示唆する結果が出たことは既に述べた通りである。勿論サンプル数の少ない今回の調査では、西成区に居住する在日コリアンの民族教育観の全容を把握することはできない。ゆえに、この調査結果を民族名と日本名のどちらがよいかどうか、民族学級を子供は受けるべきか受けないべきか、あるいは民族学級の在り方が間違っているか否かという議論に使われるべきではない。しかし、今回の調査結果は今後の民族教育の在り方を構想するうえで、重要な参考資料の一つとして活用されるべきであることは強調しておく。

今日、差別によって民族名を名乗りたくても名乗れないという在日が存在するのは事実であり、民族名で生きたいと願う者や民族名を使用している者の生き方は社会で、特に教育の現場では尊重されなくてはならない。しかし、そのような歴史的背景をも踏まえたうえで、日本人との共生を望まんとする在日があえて選んだ日本名使用は無視されるべきなのか、それとも民族名使用と同様に認められるべきなのだろうか？---その答えは、これから当事者を含めた様々な人々との議論と対話のなかで慎重に導かれなくてはならないだろう。

近年、様々な社会学者たちの研究結果やその他在日自身の著す書籍のなかでもみられるように、自己表現/自己確立が社会的抑圧によってままならない在日コリアンの多くは、多少の個人差はあるものの、大小なりともアイデンティティの葛藤を経験している（福岡1991）。そんな社会の抑圧の狭間で心揺れ動かせる彼等を助け、そして励ますはずの民族教育がなぜ一部の在日コリアンたちに『強制的民族教育』として映っているのか。どうして彼等が『強制』ではなく『共生』の民族教育をして欲しいと訴えているのかを我々は考え、議論する時期にさしかかっているのかもしれない。そして、その事こそが今回の調査結果を通して我々に送られた一番大切なメッセージであった様に思う。もう一度、民族教育の現状を査定し、より素晴らしい民族教育を将来築き上げるために、これからの民族教育の在り方について建設的な議論をするきっかけをこの地域で早急に持たれる事を希望しこの章を終わる。

本稿は在日コリアンの、特に自分たちの人権問題に関する考え方を中心に焦点を当てているが、ここでは少し視点を変えて、日本社会における在日コリアン問題以外の人権問題に対して彼等が持っている考え方にすこし目を向けてみたいと思う。ただ、これらに関するデータはその他の章でのデータより少し量的に少ないため、込み入った分析をするのは難しいが、本章では彼等が持つこれらの問題に対する思いの紹介とその概説に重点を置き、出来る限りの検証を行おうと思う。

【1】釜ヶ崎・あいりん地区問題について

聞き取り調査では、在日コリアンの釜ヶ崎・あいりん地区に対する考え方は様々であるが、共通していたのは釜ヶ崎の問題は西成地区の問題だけではなく国に責任がある問題だと捉えた答えが多かったことである。また、西成区に対する偏見や差別があるのは釜ヶ崎・あいりん地区の存在に大きく起因するという意見が多かったことや、この問題解決に対する姿勢が消極的であるのが印象的である。

聞き取り調査から――

釜ヶ崎・あいりん地区についてどう思いますか？

◇「あっこ匂いがたまらんですね、新今宮の駅とか使うことたまーに南海とか乗るときあるでしょ、匂いがあるんで、それぐらいで別に浮浪者がどうか別にいいですね。おっても別にあなた達も一生懸命生きてるんやから（という思いだけで、不快なのは）別に匂いだけです。……（中略）……できればあなた達もちゃんとしたところで住んだほうがいいと思いますけど、まあ別にそれは難しいんじゃないかな。（西成区にあるということで西成の人達で何かすべきだとは）思いませんね、あんまり。別にあれは行政の仕事だと思いますからね、やっぱり。（西成区民も）まあ、多少何らかの形で関わったらいいと思いますけど、積極的にはどうかなあって思いますけど。」

◇「やっぱりそういうところがあるというのは社会の漏れた方の固まりになっているということでしょう。ですから、でもそれは西成だけの責任違うからね。ないほうがいいけどある意味では逆にガンバラんとあかんというのがありますやんか。差別じゃないですけど社会が悪いと言うところになるんですけど。」

◇「難しいね、この（あいりん）問題、うーん。第一にこっちへ来た時にやっぱり怖いとは思ってたんですよ、道歩くのが。で、その方がどんな方かもしれないのにそう風なん思うのは自分は恥やと思ってたんですけども、自然に怖いのは怖いでいいと思うんですよ。汚いのは汚いでいいと思うんですよ。不潔な部分の人も居てるっていうのはいいとは思っただけでも、何とかその、もうちょっと違うように、あの人達の事情みたいな部分ってあるでしょ。社会的な差別っていう部分で言えばね。だっていい人もいっぱい居てるんですよ、それはここに住んで初めて知っただけでも、一見み（た）だけで人を判断しちゃあいけないなど。ただこの問題が一番重大になるのは、全国的に重大になってるから、それを何とかそうじゃないように、持っていきたいなとは思っただけですよ。（この問題に対して何かすべきなのは）国でしょうね、やっぱり。国、市、又周りに居てる者（も一緒に協力して改善していくべき問題だと思う。）」

◇「やはり、地域が独特でしょう。汚いし、臭いし、働いてへんし、どっかおかしいでしょう、そんなん。働きたくても働けないようなら話は別ですけど、働く意欲があるのかようわからないし。やっぱり、あれはなくなった方がいいでしょうね。もう、あれだけ時代も過ぎたんだから……（中略）……日本の中から（なくなったほうがいい）でしょう……（中略）……（釜ヶ崎やあいりん地区の問題改善）は、正確に言えば日本国の問題でしょう。あれ、あれをつくったのは日本国、国がつくったやつですからね、もとは。だから国が解決する問題であって。もちろん、西成区とあわせてね、西成区、大阪市、それから国っていう風に（していけばいいと思う。）」

◇「存在自体は別に悪くはないと思います。しかたないし。仕事があるからあそこに居るわけですからね。現場がたまたまそこにあっただけのことですからね。存在自体には問題ないと思うんですけど。……（中略）……どけっ言うてどく問題でもないですしね。その人らが悪いわけでもないし、たまたま西成にあるってことですからね。ただイメージは悪くしてるのは間違いないと思いますよ。だけどそやから言うてどっか行けい問題でもないと思うんでね。……（中略）……（あいりん地区を西成から）なくしていかなあかん。けど（なくしていかなあかんとか言い出したら）それはエゴなると思いますね。……（中略）……まあ確かにイメージは悪くしてますよね。西成＝あいりん、釜ヶ崎地区になりますからやっぱり電車でも通ったたら、たまに暴動起こしてますしね。まあこれの問題について僕も実際何とも言えませんよね。ただ結果的には悪いイメージ出してますよね。恐いことやいうのん助長してますよね、西成＝恐いとこ、ガラ悪いとこいうのは、ほとんどここ指してるかもしれせんけどね。」

◇「あってもいいおもう。あの人らは好きでなった人らが多いじゃないじゃないですか。弁護士とかやめてなった人とかいてますから。自分でなりたいて思ってた人らのことやから、別にあってもいいんちゃうかなって。ああいう生き方で生きようと思っただ人らの生き方をかえるのは酷やと思う。（それに対する偏見は彼等のために）無くしてやりたいですね。（あいりん地区のために西成区のイメージが悪くなってることは）マスコミが悪いと思う。西成のもっと中へ入ってこいって言いたいですね、外だけとらんと。」

収入別に釜ヶ崎に対する不快感をみると、釜ヶ崎に対する不快感を示すのは収入の高い在日コリアンが多い。釜ヶ崎に対する彼等の意識は、彼等の民族性に関係するというよりむしろ社会的階級の差に関係するのかもしれない。

表6-1

☆収入と「釜ヶ崎」に対する不快感とのクロス<重複式解答>

釜ヶ崎は自分の生活を不快にしている (%)	
1. 10万円未満	13 (48.1)
2. 10万～20万円	19 (61.3)
3. 21万～30万円	14 (70.0)
4. 31万～40万円	8 (61.5)
5. 41万円以上	11 (84.6)
6. その他	13 (59.1)
N.A.	23 (57.5)

N=	166

【2】 障害者問題について

第4章の表4-5をもう一度ここでも紹介するが、これを見てもらうとわかるように、障害者は西成区で一番差別されるグループであると答えた人は調査対象者全体の約1.5割（13.9%）

であった。これは、ニューカマーの外国人や高齢者たちが一番差別されているという答えよりは多いが、部落民や在日が一番差別されているという答えに比べるとかなり少ない。つまり彼等の多くは障害者は自分たちや部落民ほど差別されていないと感じているのではないかと考えられる。

聞き取り調査で、西成区で一番差別されているのは在日コリアンであると答えた人達に、何故そう思うのかをきいたところ、部落民には支部があり、障害者には障害者会館があることを指摘し、彼等に対する差別の取り組みは在日の問題よりも西成では進んでいるという声を良く耳にした。

もちろん障害者の人が一番辛い思いをしているという声もなかにはあったが、その多くは家族に障害を持つ人達からの意見であったため、これらのアンケート調査及び聞き取り調査の結果と併せて考えて、在日コリアンが障害者問題への関心や理解がその他の人々と比べても低いとまではいえないが、とても高いとは決して言えない。

表4-5

項目	件数 (%)
1) 部落民	41 (24.7)
2) 韓国・朝鮮人 (在日を含む)	63 (38.0)
3) 障害者	23 (13.9)
4) 高齢者	2 (1.2)
5) 中国人	3 (1.8)
6) 東南アジア人 (フィリピン/タイ人)	16 (9.6)
7) アメリカ人	- (0.0)
8) その他	16 (9.6)
N.A.	12 (7.2)
M.T. =	176 (106.0)
N =	166

聞き取り調査から――

障害者の問題についてどう思われますか?
(特に西成区においてはどう思われますか?)

◇「(障害者は)優遇されている。深く接触したことはないけれどやっぱり普通の人らよりもいい意味で特別やねんという目はあると思います。いじめられてるとかじゃなくて。……(中略)……(差別というより)区別という感じです。……(中略)……(悪い意味での区別)じゃなくて優遇的に区別されてると言うことです。(在日は)だからその精神的にハンデが問題になっている。まして今は片親、離婚がむちゃくちゃ多いでしょ。登校拒否とかいろんな問題。個人的にこうだとは言えないですけど、その子にとったら精神的なハンデで学校がおもしろくないとか、その子だけに責めたらあかんと思う節がある(という部分で、障害者よりつらいのかもしれない)。」

◇「障害者差別いうてもあんまり無いんじゃないかな。まあ、わたしとこの中に障害者いてないからそう思うんかもしれんけど。ただ道の問題とか、交通の問題とかで、逆に言うたらどんどんよおなってますやん、障害者の方には。まあいまね、まつおか先生一生懸命やってはるから、障害者会館とかね、お年寄りのために。まあだいぶ西成も福祉の街みたいになってきてるない意識の方が強いですわ。」

◇「人間の心理として社会的弱い人間というのは1番不満のはけ口として利用されることが多いと思うんで、実際、西成は部落解放同盟が非常に強いんで、面と向かってそういうことを言う人が少ないと思うんですよ。やっぱり力関係もあるし、民族問題にしても組織が確立されてきてますからね。ただ、障害

者問題というのは、貧富の差を関係なく、人種の差関係なく、どこにでもある問題なんですけど、その人たち自身で、僕から見たらすごく弱い立場であって、例えば解放運動している人でも民族運動している人かって、逆に言ったら障害者の事に対したら差別者かもしれませんし、僕も障害者の問題をどこまでわかっていんのかと言われたら難しいです。変に気を使うことが逆に差別なのかというところへんが僕も自分自身でわかっていないんでね。人権尊重とか言うのはわかりますが、ここまで気を使ったら逆に変な差別になるのか、もっとつっぱねやなあかんのか、同情になるのかがごっつい見えにくいと思うんですよ。部落差別にしても民族差別にしても根本がわかっているから簡単なんです。差別しているのか、あかんというのが。障害者の問題と言ったら、やっぱりどうしても同レベルで平等に見るといったらやっぱり劣ってくるんですからね。逆に障害者の人を優遇するのが、いいのか悪いのか僕もそれはわかりません。これが平等なんか差ついているのもこのままで同じ目で見ているのかかわからないしね。」

◇「学校とか行ってる時でも、なんかやられてるのは、やっぱり障害者やから。言われたりやられたりしてるのは。んで、歩いとって見とってても、障害者がなんか困ってそうにしてんねんけど、なんか助けない。『なんやこいつ』ゆうような目でみんな通っていきはるから。」

【3】老人介護について

在日コリアンが、これからの高齢化していく日本社会でどのように対応していくのかということとは近年高い関心が寄せられているテーマであり、これをテーマにした調査も既に行われている（庄谷怜子、中山徹1997）。老人介護問題は、本調査の主要テーマとは直接関係がなかったため込み入った探究はしていないが、アンケートのなかで「公的老人介護保険」への認識度と、聞き取り調査では老人介護に対する考えを少し聞くことにした。これだけのデータから、彼等の老人介護に対する態度や考え方について明確に把握することはできないが、今後の調査の基礎資料にはなるはずである。

アンケートの「公的介護保険制度」に関する認識度や20人の聞き取りから言えることは、介護はもう家族だけでは出来なくなるという危機感を在日たちは持っているということである。「公的介護保険制度」の認識度は69.2%と約7割で、決して低いとは言えない。ちなみに、年齢別による認識度の差は見られなかった。自分の介護をしてもらいたい人で一番多かったのは配偶者（つれあい）で、続いて子供が多い。しかし、後日の聞き取り調査では、これはあくまでも理想であり、現実的には施設等のヘルパーでもよいという意見も多かった。

人並みならぬ苦勞を重ねて戦中戦後を生き抜いてきた1世の背中を見て育った2世、3世が、彼等の介護に対し全く無関心であるとは考えにくい。しかし、本調査からは、彼等の介護に対する考え方も日本人のそれと大きな違いがあることを示唆するデータはほとんど出てこなかった。在日コリアンの社会・民族的属性と彼等の老人介護に関する考えとの相関関係を把握するには、今後より丁寧な調査をする必要があると思うが、彼等の介護観が日本人のそれと同じであるかはいかにかわらず、我々が介護という問題のなかで認識しておかねばならないことは、「老い」は民族、経済、社会的な属性に全く関係なく生を受けたもの全てに迫る現実だということである。

今、彼等を国籍条項によって排除し続けてきた日本社会は、高齢化社会という将来を間近に控えている。かつての年金制度や国民保険制度のように、これから作られていく介護保険制度が国籍条項という法の壁によって在日コリアンを排除することは、絶対に回避されなくてはならないだろう。彼等を排除するという発想から、「老い」という人間の普遍的現実をしっかりと認識して、マンパワーの必要性の高まりが最も顕著である福祉分野への在日コリアンの社会参加を日本人と同様に歓迎するという発想へと転換していく必要がある。

以上を踏まえ、次に紹介する在日コリアンの介護に関する考え方を参照し、思慮してもらいたい。

表6-2

☆あなたは自分が介護が必要になった場合、誰に介護してもらいたいと思いますか？〈重複式解答〉

項目	件数 (%)
1. つれあい (夫/妻)	99 (59.6)
2. 子供	60 (36.1)
3. 親戚	8 (4.8)
4. 日本人のホームヘルパー	30 (18.1)
5. 在日コリアンのホームヘルパー	25 (15.1)
6. 老人ホームのヘルパー	29 (17.5)
7. その他	12 (7.2)
N.A.	3 (1.8)
M.T. =	266 (160.2)
N =	166

表6-3

☆三年後に、医療保険制度と同じように、高齢者の介護にも「公的介護保険制度」が導入されようとしていますが、あなたはこの制度についてご存知ですか？

項目	件数 (%)
1. 制度内容を良く知っている。	14 (8.4)
2. 新聞やテレビなどの報道で聞	101 (60.8)
3. 聞いたこともない。	50 (30.1)
N.A.	1 (0.6)
N =	166

表6-4

☆年齢別クロス：自由度8、危険率5%でカイ2乗検定をした結果、社会学的な有意値は出なかった。

	①	②	③	NA	Total
18~29歳	1 (3.3)	19 (63.3)	10 (33.3)	- (-)	30
30~39歳	4 (11.4)	24 (68.6)	7 (20.0)	- (-)	35
40~49歳	6 (15.4)	21 (53.8)	12 (30.8)	- (-)	39
50~59歳	1 (3.4)	20 (69.0)	8 (27.6)	- (-)	29
60~69歳	2 (6.1)	17 (51.5)	13 (39.4)	1 (3.0)	33
	14 (8.4)	101 (60.8)	50 (30.1)	1 (0.6)	166

注：①制度内容を良く知っている ②新聞やテレビなどの報道で聞いたことがある ③聞いたこともない

聞き取り調査から――

老人介護は誰がすべきだと思いますか？

◇「だれがすべきって決めると全然足らなくなるんで、皆ながしないと駄目じゃないかなって思うんですけど。(両親の介護) そうですね、親はしたいですね。」 (20代・女性：介護経験なし)

◇「(親の介護をすべきなのは) 娘。やっぱり娘ののがええと思う。関係にもよるけどね。私はもし自分の母が倒れたりしたら、私がみたいなああって思います。姑さんが倒れたらそれなりにみてあげたいけど、姑さんの娘さんがいてるから。できるところまではみてあげたいけど、その親の意見っていうのも

あるでしょ。」

(20代・女性：介護経験なし)

◇「子供とか、やっぱり、どっちか元気でしたら夫婦とか、その子供ですね。みれる人がいなかったり、皆仕事もたないとだめとかそういう事情があれば、そういうセンタとかも、はいるのにもお金がいりますけどね……。」

(30代・女性：介護経験なし)

◇「(介護は)別に家族じゃなくてもいいと思ってるし、やれる、まあ私ちょっとボランティアの方でお弁当配りした事があるんですけど、そういう風にみんなできればいいと思うし、うん、自分の家族だけが犠牲になるとか、あの、ヘルパーさん達が手助けしてるからもおしいやみたい感じには思いたくないですよ。うん。ただそういう問題って具体的に言うたら難しい事がいっぱいあるんで、関わっていったら一番ベストじゃないかなと(思います)」

(30代・女性：介護経験なし)

◇「(介護は)できる人がするべき。身内でも子どもでも生活に追われててできへんとかいろんなパターンがあるでしょ。そしたら近所でできる人が手伝ってあげるとか。」

(40代女性：介護経験なし)

◇「そうでなかったら普通子どもって言うのは見て義務的なのもあるでしょうけど、生活しながらは実際みれない。やはり専門的な方に任せた方が本人にもいいと思います。私は子どもにみてほしいとは思わないです。専門的なところでみてほしい。」

(50代女性：介護経験なし)

◇「まあ家の人が見たらしたらいいやろうけど、なかなか家の人ではみれないんじゃないですか。だから今新しく出てくる、そのヘルパーさんとかああいう人をもっと地域でこう、もっとその高い料金じゃなくて、安く回ってくれる人がおたらいいと思いますよ。(自分は)娘に介護して欲しいと思うけど、わりと親子っていうのはその、してくれそうでしてくれないからヘルパーさんとか病院に入るとかになるんじゃないですか」

(50代女性：介護経験なし)

◇「姑が痴呆症にかかって、しばらく一緒に、したんですけど。主人も働きに行かなくなるし、大変だったんですよ。あっちの病院で3ヵ月置いてもらい、また、兄弟で1週間交代でみて、買い物にもみられないから、弟のほうは、子供たちがおるから、ちょっとおばあさんみときやゆうて、買い物にも出れるけど、私の場合は主人が出てしまったら、もう、私一人やから、買い物にも行けないし、どこ行くかわからないし、どこに便するかわからないし、その便をとって食べるしね。そんな状態だったから、やっと、病院、施設みたいところへは行って、それでも3か月おたら出されるんですよ。それを何件かやってね。それでやっと、いま、大阪市のH園っていうところへね、入れてもらったんですけど。そういうこと見てみると、子供も大変やし、本人はもう痴呆症やからわからないけど、もしほかの病気の場合だったら、本人も辛いと思うんですよ。だから、『そういう施設に入ってみてほしいなあ、老後は』と思います。病気なった場合に、そりゃ一番いいのは子供やけどもね、子供の生活つぶす病気にはなりたくないしね。もしなった場合これはいわれへんからね、なった場合は、あの、やっぱり施設でみてもらいなっておもいますね。」

(60代・女性：介護経験あり)

◇「どうやら、そのときの自分の立場によります。そのときもし自分が一人身やったら面倒みますけど。もしそのとき家庭持ったらわからないです。もしこのまま自分が(したい仕事につくと)するじゃないですか、(そうすると)いつ(家に)帰ってこれるかわからん状態やから、奥さんにその家族面倒みてなって事になってしまうじゃないですか。このままでいくと。あんまり自分の奥さんには負担をかけずに。そういうんでは、ホームやセンターがあったほうがいいと思う。」

(20代・男性：介護経験なし)

◇「年寄りの介護ですか。んーそうですねえ。うちのおばあちゃんは自分で自炊とかしてますからねえ、働いたり。だから身につまった問題で(はあまりない)。1番ええのは、やっぱりその家族がやるのが1番ええもんですけどね、やっぱり限界あると思うんで、やっぱり行政が何らかの形でやっぱり介入した方がいいんじゃないかな。ホームヘルパーとかああいう制度ももっとちゃんとやって。」

(20代・男性：介護経験なし)

◇「一番いいのはやっぱり子どもちゃいますか。面倒みやなあかんとします。まだみてませんけど。みてもらってる方ですけど、まだ。自分は老人ホームとかに入ったらいいなと思います。子どもには迷惑かけたくないと思うから。(でも、自分の親の面倒は)みてあげたいと思う。やっぱり自分で思うのは今まで世話なってるから、お返しできるのはそれぐらいしかないから。それとやっぱり生活が違うと思うんですよ。僕らの世代と。例えば老人ホームに入るといってもただで入れるわけちゃうし、将来のことを考えて生きているわけちゃうし、それは備蓄しているか知りませんがね、多分そこまで考えてないと思うんですよ。きれい事言ったらそうやけどやっぱり負担なんのは間違いないんでね、親子でも絶対ケンカはするし、あつれきというのは絶対に出てくると思うから。まあ親の分については自分がそういう風にしたいけど、自分については子どもに負担かけたくないなあと逆に思うから。そういうことを視野に入れてやっぱりやっていかなあかなあと思いますけどね。」(30代・男性：介護経験なし)

◇「そりゃあ親の恩返し(だから子供がすべき)。……(中略)……儒教でも、年いったら子どもが親をみるのは当然のことちゃうか。そうですね。まあそうですやん、小さいころから小学校でも教えてもらたでしょ。バスは行って、お年寄りおったら席を譲りなさいと。まさに当然のことですね。だから前も息子と電車乗って、パッと息子が何もいわんとパッと立ったから、そんな時一言声かけなあかんと(言い聞かせた)。(年寄り扱いされることを)嫌がる人もいますやん。でも、やるスタイルはやっぱりちゃんとやってんねんな、いう意識が出てきますから。ただ堂々言うのと、パッとのいたら、やっぱり子ども恥ずかしいからダメでしょうけど、そういう気持ちやったら年いっても親がとかお年寄りとか、そういう気持ちどんどん増えていくんちゃうかな。だから介護がどうの、もちろんお子さんおれへんかったらヘルパー受けるとかしかたないけど、子どもが元気だったらそりゃあ子どもがやるのが当然でしょ。うちの親父もちょっと何回か入退院していても寝たきりゆうか、ほとんど歩けませんからね。病院連れていくのもわたし半日さいても行きますよ。」(40代・男性：介護経験あり)

◇「お年寄りの介護はね、本来は家族でしょうね。家族が一番いいんでしょうね。一番よくわかっているし、それは僕側の意見であって、このへん私もずるいんですけど、もし私が介護される方になったら、家族は嫌です。家族って、小さい頃から(知っている家族に)見られたくないところってあるじゃないですか。元気な頃もあって、それがトイレの下の世話なんてのは、普通、違う人がやってくれる方が有り難いですね。(だから現実的にはお年寄りの介護も)ヘルパーさんとかね、プロがやるべきでしょうね。(その方が本人にとっても)いいと思います。(これからは)それはもう、政府がみないことには…、子供は(あてに)できない」(40代・男性：介護経験なし)

◇「この前はな、それは息子がおるから、(子供にみてもらいたい)言うたけれども、やっぱ身体障害者(会館)いってみたら、皆なな、あんだけの親切に何(世話)してくれる(ので、)そこ行きたいですわな。大事にしてくれましたよ。(きちんとした施設であれば)行てもいいですね。このまえ、息子おるからなにして言うたけれども、ほんとに身体障害者(会館)いってみたら、若い女性たちがなほんまに芯から大事にしてな。涙が出るほど(感動しました)。」(70代・男性：介護経験なし)

【1】在日コリアンの定義の曖昧さ

在日コリアンのアイデンティティの在り方を論じる前に、彼等のアイデンティティがいかに複雑で曖昧なものであるかを例示する話しを少ししたいと思う。

欧米へ行ったり、あるいは欧米の人と話しをしたことがある在日コリアンの方で、在日である自分のことを説明し、相手に理解してもらおう事が大変難しいと感じた方は多いと思う。何故なら、国籍法が出生地主義¹⁾を取っているアメリカやフランスの人には、日本で生まれた2世3世の在日コリアンが日本国籍に無く、今だに外国人としての扱いを社会で受けているということは大変奇妙に映るのである。

筆者自身も、初めてアメリカへいったとき、実に単純なある一つの質問を返答するのに悪戦苦闘したことを覚えている。海外でなら誰もが頻繁に聞かれる、“Where are you from? (どこの出身ですか?)”というこの何の変哲もない質問がそれであった。この質問を額面通りとらえて「日本からきました。(I am from Japan.)」と答えれば、相手は必ず在日である私を日本人として捉える。何故なら、この質問はどこの国から来たということだけではなく、「貴方は何人ですか」という国や民族のアイデンティティも聞いているからだ。しかし、「日本から来たが韓国人です(I am from Japan, but I am Korean.)」と答えれば、韓国生まれで韓国語がぺらぺら話せると誤解される。当時まだ16歳であった私は困り果てた挙句、「日本から来たが、韓国人で、しかし韓国語は話せない」と一気に答え、逆に相手をとて混乱させてしまった。「何故君は日本で生まれて日本語しか話せないのに、自分を韓国人と思うのか?」そんな質問をされたとき私は考えこんでしまった。「なぜ私は自分のことを日本人と思わないのか?」そんな疑問が心を駆け巡った。でも、日本では「私、在日やねん」と日本の子にいうと、「えっ、あんた外人やったん?」という反応がしばしば返ってくる。韓国/朝鮮人であると言うには同化しすぎており、かといって日本人とも言い切れないこの存在---何と曖昧なんだろうと、自分の存在の複雑さを初めて実感したことを私は今でも鮮明に覚えている。

では日本の法律はこのような在日コリアンをどう定義してるのだろうか。現在の日本の法律に目をむけると、多少の変化は見られるが、基本的には国籍条項や帰化制度という面において、確かに在日コリアンを『外国人』として捉えている(金1995)。特に、帰化制度は在日を外国人として扱う極めて象徴的な例であろう。現在は、日本人と結婚した、あるいは結婚をする場合や家族全員が帰化を行う場合などは、比較的簡単に手続きが整う。しかし簡単になったといっても、いままでの異常なまでに困難であった帰化制度を背景にしているからそう感じるだけで、その国に生まれた事実だけで、国籍の選択や取得をする権利が認められる制度と比べれば何とも面倒なものである。

日常生活においてはどうか。前章で紹介した大阪市民の国際理解調査をみると、日本人はこの国で50年以上にも及ぶ居住の歴史をもつ在日コリアンと、最近来た文化的な習慣及び言語においても日本人とは生活習慣や言語において大きな隔たりを持つニューカマーの人々と区別して見る傾向が少しはあるものの、全ての人々が在日コリアンをそのほかの在日外国人と区別して認識しているわけではない(大阪市人権研究会1989)。教育機関においても、在日コリアンをニューカマーと同じ定住外国人と一括りのマイノリティとするのか、そしてさらにそれらの子供とメジョリティを分けるのか、それに対する総括的な方針の設定と実践は、まだ提唱の段階で確立はされていない(大阪府外国人教育研究協議会1997、外国人教育)。

では、当の在日は自分たちをどう捉えているだろうか。外国籍であるが日本社会の構成員であり、その権利は定住をする日本社会に属するマイノリティであると捉えているのか?それとも、やはり日本より韓国や北朝鮮にこそ彼等の意識は帰属するのか?---これらの疑問に対する答えは、少なくとも社会科学的にはまだ十分に立証されていない。

¹⁾ その国の領土内で生まれたという証明があれば親の国籍に関係なく帰化などの手続きを踏まずに、出生した国の国籍を取得/選択できるとのこと

在日コリアンの歴史を見ると、彼等の意識を全く無視して彼等の社会的定義がされてきたことが多いことがわかる。日韓併合から始まる朝鮮半島の植民政策は彼等の朝鮮人としての国家的アイデンティティを踏みにじり、一方的に日本人となることを強要した。そして平等な権利のない日本の国民すなわち「皇国臣民」として定義した（宮田・金・梁1992）。しかし終戦後、彼等の日本国籍は一方的に奪取され、彼等はまた外国人であることを余儀なくされた。そして、今度は彼等が韓国／朝鮮人としてのアイデンティティを保持、継承しようと民族学校を設立すれば、日本社会はそれを妨害した（山田・朴1994）。そして、同化が進んでいき、彼等の定住が揺るぎないものになった今、彼等が日本社会の構成員としての公務職等への就職や参政権を要求すれば外国人だからといって拒否をされる（仲原1993）。

彼等は一体どう定義されるべきで、彼等はどうか自分を定義すべきなのか。在日は外国人であるのかそれとも日本人なのか、それとも全く違ったカテゴリーに分類されるべきなのか。日本社会はこれらのことを十分に思慮することなく、彼等の生活を制限したり、意識の在り方をしばしば誤解してきた。最近になってようやく彼等のアイデンティティが社会科学や文学、マスコミ等で盛んに取り上げられるようになったが、それはまだほんの始まりでしかない（福岡1991、良知会1997、金井1997）。

彼等が、自分たちをマイノリティとして捉えているのかそれとも居住社会とは逸脱した外国人として自分を捉えているのかを把握することは、彼等の周辺を囲む日本人にとって大変重要なことである。そして、そんな自分たちのアイデンティティの在り方を周りに理解してもらうことは、在日コリアンである彼等がこれから日本で自分たちの社会生活を向上させていく上でも重要なことである。なぜなら、在日コリアンが一体何者であるのかを冷静かつ客観的に理解せずして彼等との共生の実現は難しいし、そんな他者からの理解無くして在日コリアンの社会進出や生活の安定も実行できないからだ。そして、そういった彼等の意識構造を掌握することは、本調査の最終目標である『彼等のこれからの社会参加への促進、個性の開花、そして自立の応援』への第一歩なのである。

本調査では、一連の在日コリアン及びその他のマイノリティに関する国内外の調査を参考にしつつ、在日コリアンのアイデンティティは果たしてマイノリティとして形成されているのか、あるいは朝鮮半島（韓国・北朝鮮）に帰属意識を感じる外国人と感じているのかということを経験的な手法で検証してみることにした。

【2】 アイデンティティの類型検証

(a) マイノリティ市民型と永住外国人型の検証

在日コリアンが、市民意識や感覚の高いマイノリティとしてのアイデンティティ（マイノリティ市民）、あるいは永住を決めたがあくまでも外国人（永住外国人）としてのそれをもっているのかを検証するにあたり、私は5つのコードクエスチョンセット（鑑別用質問：Code Question）を用意した（Hein1994）。これらの質問に対する彼等の答えと、それらの答え方などを総合分析した結果に基づいて、彼等がどのようなアイデンティティを形成しているのかを調べていった。これらのコードクエスチョンセットには、アンケート用紙で既に聞いている質問が含まれており、それらに関しては何故その質問項目をそのように答えたかということを中心に聞いた。そしてその答えが導かれる要因となる彼等の考え方や体験を具体的に話してもらった。全ての質問を表7-1にまとめている。

コードクエスチョン-セット (5sets of questions)

コードクエスチョン セット① (民族教育に対する考え)

- ☞民族教育は在日にとって必要だとおもいますか？それは何故ですか？そしてどんなことを民族教育では教える／教えないべきだと思いますか？

コードクエスチョン セット② (社会的距離)

- ☞在日は部落民と違うと思いますか？
- ☞日本人と在日コリアンとではどちらが付き合いやすいですか？
- ☞結婚相手が日本人であるか、在日コリアンかということにこだわりますか？
- ☞貴方にとっての朝鮮半島とはどういう存在ですか？
- ☞日本人と本国の韓国人どちらが近いと思いますか？
- ☞オリンピックはどちらを応援しますか？在日はオリンピックではどちらの国の代表になればいいと思いますか--日本／韓国／北朝鮮？

コード・クエスチョン③ (在日コリアンにとって重要な問題)

- ☞差別問題 (結婚、就職) / 経済問題 / 教育問題 / 政治問題についてどう思いますか？

コード・クエスチョン④ (国籍に対する考え)

- ☞帰化したいですか、それともしたくないですか？それは何故ですか？
- ☞日本の国籍法 (帰化制度を含む) の在り方についてどう思いますか？
- ☞国籍条項についてどう思いますか？

コード・クエスチョン⑤ (社会参加に対する考え)

- ☞在日コリアンの社会参加 (地域 / 国レベル) についてどうお考えですか？
- ☞選挙権 (被選挙権) は欲しいと思いますか？なぜですか？それが無いことに対してどう思ますか？

第一のコードクエスチョンセットは、民族教育に関する質問である。まず、民族教育は在日にとって必要か、それとも不必要と思うかという質問で、「日本人がもつ在日に対する予断や偏見をなくし、両者が共生をすることの重要性を強調されなくてはならず、在日と日本人の両方に対して必要である」という答えや、「在日の子供が、日本社会の在日に対する差別に動揺しないようにするために必要だ」という答えはマイノリティ的特徴と識別した。反対に「韓国人 / 朝鮮人として、当然母国の言葉や歴史を学び理解することは必要である」といった答えのように、差別や日本人との共生等には言及せず、文化的な事柄の習得の重要性のみを強調した答えは外国人的特徴と分別した。そして、その両方を重要と指摘した答えは外国人とマイノリティの特徴が混在したマルチプル (混在型) と類別した。

第二のコードクエスチョンセットは社会的距離についてのものである。そのうちの一つ、部落民との社会的距離に関する質問に対し、「(部落民のほうがその他の日本人より) 近いと思う。やっぱり、普通の日本人はよそから見て別になにもいわれへんし、韓国人や部落民は結婚しようかなと思ったら、でけへんし……」という風に、マイノリティとして在日と部落民の社会的存在を平行的に認識している答えはマイノリティ的な特徴として類別された。ただし、先に少し触れが、この質問に関して、公共住宅の入居に際し国籍条項があったことで、部落民との社会的距離を広げたことがあった。このことに関してはマイノリティ市民型の特徴の概要で詳しく触れる。

一方、部落民をそのほかの日本人と全く区別せず、彼等が受ける不平等な処遇は差別ではなく身内の苛めの様なもので、在日が受けるそれも民族 (/ 人種) 主義的な差別

(Ethnocentrism/Racism)というより、国同士の対立あるいは外国人に対する反発や嫌悪感(Xenophobia)であるという答えなどは、外国人的な特徴であるとした。そして、その両方の特徴が混在する答えは、さきほどと同じようにマルチプルと区別された。

社会的距離に関する質問で、日本人との関係にも焦点をあててみた。「日本人と在日コリアンとの付き合いやすさに特に差はない」や「日本人とのほうが付き合いやすい」など、日本人との社会的距離の隔たりがほとんどないといった返答は全てマイノリティ的であると判別された。一方、在日コリアン(あるいは韓国/朝鮮人)とのほうが絶対に付き合いやすく、日本人には親しい友人はほとんどいない、または全くいないという答えは外国人的な特徴と類別された。そして、本当にわかりあえるのは在日であるとする一方で、日本人だってわかりあえることもあると両方の意見が混在した答えはマルチプルと分別された。その一例を紹介する。

「やっぱり、在日ゆうか、韓国人、在日の人の(心)根は一緒ですわ。全然(何故一緒なのかは)そこへんわからへんけども、我々がそやから日本人、なんぼ親しい一番の友人やと思っとっても『日本人である)おまえには(在日の気持ちは)ぜったいわからへん。』(とおもいます。)絶対です。……(中略)……(日本人の友達)『そんなもん関係あるかいな、同じ血流れてるやん。』そんなん(は在日だって)わかっると、わかっているけども(日本人にはわからない思いが在日にはある。)……(中略)……でもいざ(弟が)強制的に(両親が結婚を反対しているにかかわらず、自分の日本人の)彼女連れて家つれてって、おふくろなんかめっちゃめっちゃ怒って、まあゆうたらもう見とうないゆうかんじやったけど、連れていって一緒にごはん食べたら、次の日からころっと変わりましたわ。こんなええ子おんねんって。そらやっぱり対人間やねんから、そら(わかりあえることもある)。」

社会的距離のコードクエスションのなかには彼等の結婚観に関するものもあり、日本人との結婚に全くこだわりをもたないや、在日だけと国籍などにこだわるのはむしろおかしいという答えをマイノリティの特徴、そして絶対に在日がいい、日本人とは文化的な習慣やしきたりが違う事その理由として強調した応答は外国人的な特徴であるとし区別された。「(日本人と)結婚をして、ずーっといっけて、やっぱり同じ国の人がいいなと思いました。……(中略)……子供の結婚相手は特にこだわりませんが……」といった両方の見解を含んだ答えはマルチプルの特徴と判断された。

さらに、朝鮮半島とそこに住む人々との社会的距離に関する質問もした。朝鮮半島は自分にとっては外国であるといった答えはマイノリティ、朝鮮半島が本当の自分の国で、日本は外国という答えは外国人、そして自分の国であるが日本ですむべきだと思う、愛着があるといった答えはマルチプルと識別した。さらに、朝鮮半島に生まれ住むコリアン(韓国/朝鮮人)と日本人とではどちらのほうに親近感がわくかという質問に対し、「食生活も、着てるもんも違うし、やっぱり(向こうの韓国人は)違うなあと思う。(近いのは)日本人のほう。」等の答えはマイノリティと分類した。そして少し考え方などは違うが生まれ住んでる国は違おうともやはりコリアン(韓国/朝鮮人)のほうに親近感が日本人よりもあるという答えは外国人の特徴と識別された。そしてどちらともいえない、どちらにも親近感がもてないという答え、例えば「だから、(在日である自分は)皆ながよく言うハンチョッパリ(半日本人)かなと思います。」といった答えはマルチプルと類別された。

社会的距離に関する最後のコードクエスションは、オリンピックに関する彼等の感情についての質問である。ここでは、「オリンピックを見たとき、貴方はついどちらを応援してしまうか?」、そして「在日は日本と韓国や北朝鮮のどちらの代表になったらいいと思うか?」という質問で、「日本を応援する」や「在日は日本代表になるべきで、韓国などの代表になるのは不自然である」という答えはマイノリティ的な特徴とされた。反対に、オリンピックは常に韓国や北朝鮮を応援し、在日は日本代表ではなく自分の国籍の国の代表で出るべきであるという答えは外国人的な特徴であると類別された。一方、「どっちらいうたら私半々なんですわ。今回、韓国ワールドカップ出場できるからいいですけど、そういうときやっぱり日本にも出場して欲しい。」というような中間の答えはマルチプルとされた。

第三のコードクエスションは在日コリアンにとって重要な問題は何かという質問である。就職差別、結婚差別、そして帰化や国籍条項による差別といった一連の差別問題を、特に重要な問題だと強調した答えはマイノリティ、一方で本国の経済衰弱による民族学校の運営の困難さや、朝

鮮半島の南北問題などを特に重要な問題とし、日本人から差別などの問題はそれらと比べて重要でない、あるいは全く言及されないという応答は外国人的特徴と判断された。そのほか、本国の親戚との付き合いの持続及びチェサなどの文化継承が最重要という答えも外国人的であると判別された。指紋押捺や結婚の難しさは差別ではないと差別の重要性を肯定しない一方で、地方参政権の取得は重要であるというような答えはマルチプルとした。下はそのようなマルチプル型の答えの一例である。

◇「……（省略）……まあ一回手帳が切れて呼び出されて、親子して呼び出されて警察まで呼び出しきたんですかな。親と一緒に。ちょうど、高校ですわ。クラブもあるし、せやけどちょうどその時うちの高校がちょっと甲子園でとって、そんな時やから警察（に呼び出されるのは迷惑だと思ったが）、……（中略）……でもわたし指紋するのなんにも問題ないんですわ。通常の俗に言う指紋押捺ね。そりゃあ犯罪者みたいでいやですけどね。どっかにわたしは、郷に入れば郷に従えみたいなどこあるんですわ。意識的にゆったらあんまりこだわってないですね。ただひとつ、不明瞭な点が幾つかありますよね。こっちの国の、法律でも、ここまでしてるんやから、何で（何も）してくれへんんとか。参政権でもそうですよね。」

第四のコードクエスチョンセットは、国籍についての質問である。まず、帰化に関して、帰化することは日本の差別に屈服するようなので抵抗がある、あるいは日本の帰化制度の在り方に対し不満や疑問を強く抱くが、日本社会への参加を強く望むため、帰化をしてでも参政権を獲得したいという答えは市民としての意識の高いマイノリティ的な特徴であると判別された。一方、韓国や北朝鮮に対する愛国心や忠誠心がある事を理由に帰化は考えないという答えは外国人的であった。その代表的な一例を下に紹介しておく。ちなみに、これら両方の特徴をもつ回答はマルチプルとした。

◇「自分たちまあ、平和なって、朝鮮は朝鮮、韓国は韓国で、始めはそうでないけど、分かれてしまってから、今北朝鮮籍っていうのは、いま私ら朝鮮籍変えんですわ。変えんと生まれ故郷は韓国だけでも、北のほうに、そらまあ、死ぬまでも自分は（北朝鮮籍を）持つですわね。何故かっていうと、向こう（北朝鮮）は将来の見込みが多いですよ。今から十年もすれば、（北朝鮮は）2005年ぐらいなるとでっかい国になりますよ。南北統一できたときは、それはもう、とにかく2020年までには何とかしても、金日成首席が言ったですよ、『2020年までにはブロックでも、戦争しても、とにかく統一するんだ』って。その気力が全部（北朝鮮には）あるんですよ。あるからな、韓国が何を注目して統一するかっていうたらな、予算変えたんが何のために予算かえたりするかってちゅうたら、なに一つも嘘ばかりしてから、自分たち盗人ばかりして、それは国民に嫌らしいことしてしまっただけから、それじゃ国は守りきれんですわ。北はしっかりしてますわ。うん。いろんなことはあってもだな。」

次に、現在の日本の法律の在り方についての質問をした。現在の帰化や国籍法のあり方は在日コリアンを排除する意図的な人種／民族差別であるという回答はマイノリティ的、そしてそれらは単なる法律の種類であって別になにも感じないといった答えを外国人的特徴と類別された。差別的な要素があることは認めるが、法律であるためしかたがないという答えはマルチプルとした。

国籍条項に関しても、法律の在り方と同様な傾向があり、国籍条項によって公務員として働く自由が制限されていることは差別と考える答えはマイノリティ、そして日本の行政の仕事には関心や興味はないという答えは外国人的特徴であると捉えられた。地方レベルでの制限の緩和は認められるべきだが、国レベルはまだ在日には無理かもしれないという答えはマルチプルとした。その代表的な一例を下に上げる。

「被選挙権の問題も絡んでもそうですけど、大阪あるいは近畿に生まれ育ってね、それで行政府のなかに入って仕事したいという若い子生まれてきてあたりまえのことね。それをまあ仕事したいということも、まあ背景でなってきたんでね、私は勿論日本社会が国家意識の形成、公権力の行使する場所以外という表現を使ってますけども、その範囲でできれば解放していただいたほうがね、いいんじゃないかと思ってるんですけどね。（国力を行使する範囲での国籍条項撤廃は）は私自身の意識のなかにそこまでは要求する気はないですね。それは完全に日本人として生きることを要求されますからね。国益にぶつかった場合どうするんですか。たとえば日韓で今竹島の問題、これ外務省が

基本的に窓口ですよね、これ国益にからんでるんですよ。双方の海の問題があってね、これは善悪の問題じゃなくて取り合いですよ、領土のね。それが在日韓国人中心の外務省の高官がね、韓国の政府と交渉はできないですよ。」

第五番目、最後のコードクエスションは社会参加に対する彼等の考え方に関する質問である。社会参加、特に国政など社会的にレベルの高い社会参加を特に支持し、差別の撤廃に役立つ等をその理由とした答えはマイノリティ、そして地域活動レベルでの社会参加は支持しても、国や政治レベルでの社会参加は同化の進行を促す事を懸念し支持しないという答えを外国人的な特徴として類別された。また、さきの国籍条項のところと重複するが、地域レベルの参加は政治や市民活動にはかなり積極的に支持するが、国レベルとなるとやや消極的な答えはマルチプルと分類した。

これらのコードクエスションらに対する彼等の応答や自分の回答に対する論理展開の在り方を総合した結果、彼等のアイデンティティは大きく分けて次のような5種類の型に分類できた。

- ①マイノリティ市民完全型 (EMC: Entirely Minority Citizen Orientation)
- ②マイノリティ市民潜在型 (PMC: Potentially Minority Citizen Orientation)
- ③混在型 (MLT: Multiple Orientation)
- ④永住外国人潜在型 (PRA: Potentially Resident Alien Orientation)
- ⑤永住外国人完全人型 (ERA: Entirely Resident Alien Orientation)

<表7-2: マイノリティ市民型及び永住外国人型パーセンテージ分布表>

類型	(%)
マイノリティ市民完全型	25
マイノリティ市民潜在型	30
混在型	20
永住外国人潜在型	10
永住外国人完全型	15

(注) N=20

今回はインタビューをした人数が比較的少なかったため、この類型別パーセンテージ分布が、どのような意味をもつのかは残念ながら深く追求することは難しい。ただ、マイノリティ市民型がその他の類型より比較的多く、さらに永住外国人型が少なかったことは、いかに彼等の同化の進行と定住性の進歩が高いかを示しているといえ、彼等の意識がそれらの要因に影響を受け着実に変型をしていると考えられる。さらに、混在型の存在は、在日コリアンの曖昧な社会的定義の狭間で揺れ動いているという彼等の心の葛藤の徴憑であり、そして今日在日コリアンの意識の在り方が多種多様であるといわれる由縁である。

(b) 永住外国人型の特徴 (Attributes of the Resident Alien Orientation)

永住外国人型は民族教育の存在理由やその内容の重点を朝鮮／韓国の文化継承や国民意識の強化に置いているのがその特徴の一つである。朝鮮／韓国語が話せてこそ朝鮮人や韓国人としての心を理解できるというのがこの類型の主張である。その一番顕著な例を紹介する。

「言葉はしっかり習わなアカンと思います。やっぱり違いが、言葉で違いがわかると思います。やっぱりアジア系みんな同じ顔してるから、わたしらだって日本語ばあーつとしゃべってたら日本人と間違えられるけど、やっぱり言葉から通じる気持ちってぜんぜん違う。私がずっと朝鮮学校出

たせいかもしれんけど、今でもほんとに気持ちをわって、自分の底からの気持ちをわってしゃべる日本の友だちも、うわべの友だちはたくさんいても、その友だちいてないから。やっぱり、言葉は重要。（自分の気持ちを表現するのは）朝鮮語のほうがしやすいし、やっぱり通じるものがあるっていうのかな。（やはりその違いを朝鮮人としてわかっとかなければ）いけないと思います」

この発言をした在日コリアンの対象者はその後もいかに言葉が自分たちのアイデンティティにとって大切かを述べていた。これは後述するマイノリティ市民型と正反対の傾向である。

社会的距離に関し、先ず永住外国人型の部落民に対する考え方は、先にも述べたが部落民は彼等を差別するその他の日本の人々と何ら差はないというものである。つまり、彼等にとっては部落民も同じ「日本人」であり、部落民の方が自分に近いと感じるというような、差別されているもの同士の共感というものは余り感じないと主張する。永住外国人型と類別されたある在日コリアンは部落差別のことについてこう語っている。

「あの、部落の人達は日本の中からのイジメでしょ。うちうちでの、なんていうの、出身が違うからって、あんたらの先祖はこんなして、まあ言えばいやしい人みたいな。で、その子孫やから、あんたらもいやしいねんって。同じ土地にいながらいいじめる。ほんとと家族の中でいけば、出来のいい子が出来のわるい子いじめてるみたいな感じするけど、朝鮮人っていうのはいろんな歴史があって、渡って来て渡って来た人たちももちろんいるけれど、中にはそうじゃない人達もおるでしょ。大きい意味での国と（の問題と）、小さい意味での人と人との差別っていう感じやからぜんぜん（違う）と思う。……（中略）……あたし（朝鮮人は同和対策を）をみて、『この人たち、差別差別って言ってるけど、自分たち差別されるよう仕組んでんのんちゃうかな』って外で見てずっと思ってたから、その意識がない限りずっと続くんちゃうかな。国の問題やから朝鮮人に対するっていうことは国の問題でしょ。やっぱりなんていうのかな、知ろうってする人が多いんじゃないですか。」

永住外国人型は、部落民は日本人であってマイノリティだとは基本的には認めていない。そして、自分たちを在日の問題に関しても、マイノリティとメジャーリティとの間の問題であると考えず、国と国同士の問題であり日本社会における差別構造や意識のせいではないという考え方をするのがこの類型の特徴である。すなわち、たとえ様々な制限を自分たちの民族的な属性によって受けていても、それをメジャーリティからの民族差別とはとらえず、むしろ外国人が外国で受けざるをえない処遇という風に捉えている。そしてそれらの問題解決策は、部落民の場合はマイノリティとしての扱いを取り除くこと、そして在日の問題解決は、国家間の関係改善と理解の促進にあり、メジャーリティの差別意識の根絶や彼等のマイノリティに対する理解の向上といった相互関係改善にあるとはしない。さらに、日本での居住年数のほうが長い、あるいは日本でしか住んだことがないのかかわらず、本国の韓国／朝鮮人への親近感の方が、部落民やその他の日本人よりも強くわくというのもこの型の特徴である。この型は日本人との親密な信頼関係を築き上げる可能性に対し大変消極的である。そのことを明確に表示する発言をここでいくつか紹介するので参照してもらいたい。

◇「やっぱりこう、あの友達とかそっちの方が腹割って話し易い事は確かやね。（同胞）友達とかね。韓国人のね。やっぱりそっちの方が、あの言いたい事いい、あの言えるしそれあるわね。そっち（韓国人同士）の方がもちろん言い易い。あの日本人の場合、どっちかと言うと浅いからねつき合いのなにが浅いから、もお。……（中略）……昔はあの、その工場で、あの一緒にまあ日本人、日本人の方でもね、そりゃあつき合いやとったのに、お互いにまだ、あの、そこ辞めて他の所行ってしまったらそれできれちゃう。その日本人の場合はねでも韓国人の場合はもお、切れんわね。……（中略）……やっぱり習慣の、あの同じ共通の文化を、あの持ってるっていう感じかな」

◇「すぐ（日本人は）心変わるんですよ！ いっぺん友達作りかけてね、本当の芯からわしの心を出して、友達の心引っぱりこむまでは相当日にちかかります。（友達なるのは）同じ同胞のほうがやっぱり早いすわ。わしを気をだしてもらって（考えを相手に打ち明けて）、向こうの気をすぐもらって（相手の考えもこちらに率直にってもらった）場合に、ああこういうまあ精神もつとるんだってすぐ分かるんだけど、日本人はそうじゃないんですよ。ああそうかそうかって返事だけするけど、後

からポロってこうにして（本音を後からポロっと出す）。まあ、裏に入りますな。」

永住外国人型の結婚観は明確で、同胞同士の結婚を強調するそして結婚相手の条件はさらに厳しく、「（結婚相手は韓国人ということのほかにも）もう一つ、まだ条件付けてるけど、それはあくまでも親の願望であって、必ずしもそうせえつと言うんじゃないけども、出来れば韓国人、又出来れば済州島の人がいいなあって言って。……（中略）……娘はもお日本人と結婚してもええわって感じやけど、出来ればウチの息子の場合は、うん、まあ、気持ちの上ではもお70～80%は韓国人とやって欲しいなっていう気がする。」といった具合に、同郷の同胞が望ましいとさえ考える。

そして、この型は朝鮮半島（韓国と北朝鮮）を祖国、自分の国であると考え、反対に日本を外国として見ている。「（朝鮮人は朝鮮半島に住むべきだと）考えます。（自分の国以外は）住むべきじゃないし、自分がここしか知らんからここにおるっていうのもあるんですよね。海外に行くチャンスもないし、いきたいとも思わないし。やっぱり北、朝鮮の方が自分の国っていうのが。やっぱりどうしても日本は外国（自分は）外国人っていう、在日朝鮮人っていうのが常に頭にある」というこの発言を聞けば彼等が明らかに外国人と自覚しているのがよくわかるだろう。

社会参加は、基本的に日本での永住を永住外国人型もマイノリティ市民型も考えているため、居住地区等への愛着、定着度は高く地域の活動への参加を活発にしている人も永住外国人型に多くいるが、国家としての日本への愛着度は低く、日本社会での社会参加や自分の社会的地位の向上に対してはこの型のアイデンティティをもつ人は消極的である。自分の住んでいる近所／地域の住人としての意識はあっても、日本社会の一員あるいは日本国籍をもつものと同格の権利が与えられ、義務を果たすべき一市民としての自覚は比較的低いのがこの型の特徴ともいえる。ゆえに日本社会における参政権獲得への関心が低く、参政権をもつことは同化の進行の促進になりかねないと懸念する。

この類型の人々の関心の方向性は、外側（日本社会）に向いているのではなく、むしろ内側（韓国／朝鮮人社会）を向いており、どのような問題が在日コリアンにとって重要だと思うかという質問に対しても、永住外国人型の在日は「北朝鮮と韓国の分裂問題」や「子供が同胞と結婚して韓国の親戚付き合いを続けてもらいたい」、「朝鮮学校が同化せずに存続するか」等の問題のほうへの関心が高い。差別問題や日本社会での共生といったことにはほとんど触れられなかった。また、現在の帰化制度に対しては、「だからあれは法律で決まってるもんやからね、法律の問題があるな。それは、韓国人だから差別するんじゃないかって、法律で、だからそれは韓国人であるとかアメリカ人であるとか、どこの国でも同じなになるはずやから。まあ特には差別とは思って無い。」といった、後に述べるマイノリティ市民型とは全く対照的な見解をもっている

総括的に言って、永住外国人型は日本社会の構成員としての意識が希薄であり、そのため自分たちの権利の帰属は経済的な事柄を除き、日本社会にあるとは考えていない。それゆえに、永住外国人型は自分自身や在日一般が受ける不平等な処遇や問題を差別と直接的に関連させたり連想させたりしないし、部落民に対するマイノリティとしての連帯感や親近感も持っていない。彼等は自分たちに対する日本社会の不平等な処遇に対し『外国人だからあたりまえ』『お金がないから』というように、民族ではなく単なる国籍の違いや経済力の差を原因であるとする。そして、社会参加に関しては地域レベルでは参加意欲のある人もいるが、国のレベルになるととても消極的で、その将来の可能性についても否定的であった。つまり彼等は自分のことを日本という外国に永住する外国人として自らを捉え、日本社会の差別の階級組織構造（Ethnic and Racial Hierarchy）のなかに自分の存在を自覚していないのである。

(c) マイノリティ市民型の特徴 (Attributes of the Minority Citizen Orientation)

永住外国人型とは対照的に、マイノリティ市民型は差別や偏見にとっても敏感であるのが大きな特徴である。彼等の関心は自分たち文化的属性や国家意識の保持というものではなく、日本社会にはびこる差別をなくす、あるいはそれを乗り越える、そしてメジョリティと共存するといった事柄である。

マイノリティ市民型は、民族教育が果たすべき最も重要な役割は文化の継承や保存ではなく、

日本社会における差別に負けず、そしてそれをいかに根絶していくのかということであると強調する。彼等が民族教育の存在理由として日本人との共生や日本社会の差別の存在を強調しているかを明示する例を上げる。

◇「北南関係無く、日本でどう生きていっていかってという所らへんの歴史から始まった、その子自身を取り巻く日本人との在り方との民族学級って言う…（中略）…共に学んでいくような民族学級だったらいいんですけど。文化とか、そら在日の子が学んで身につけていく部分も大事なんですけども、言葉とか、文化とかは。でも違った意味での、日本で日本の人とどういかに暮らして、これから生活していく、って言う部分での民族学級じゃないと、在日コリアンだけがやったら私はダメやと思ってるんです。…（中略）……だから一番重視したいのは日本人と共に頑張るみたいな所らへんですよ。」

◇「ただ日本側から見たらアジア蔑視というのは絶対ありますからね、意識の中で。やっぱり下やと思ってますやん、中国にしる何にしる。我々（日本人）より下という感じで。欧米諸国に対してはちょっと上やという感覚で見えますやん、憧れがあって。その根底にありますやん意識の中に。だからようゆうてんのはフランス人形も美しいが、民族衣装を着た人形も美しいけど美しい差は一緒やねんけどフランス人形の方がええというイメージが絶対ありますやん。日本人の根底の中に、それが根本的にあるから差別の意識が無意識のうちに入ってるという状況がでてるんちゃうかなと思いますけどね、僕は。……（中略）……（そういった考えは正しくないという日本のメジョリテに）わからそうと思ったら当然日本人の人も民族学級があったら入った方がええと思いますしね。……（中略）……（在日は）韓国行っただって生活はできへんし、韓国からはよそ者やと思われし日本でもよそ者やと思われてるし、わけのわからん立場で弱い立場は間違いないんですけど、ただ、圧倒的にこれから日本に住んでいこうという人が多いと思いますよ。在日で将来韓国に帰る気はもうとうないと思いますよ。その中でどういうふうにやっていくかというのはわからないということです。難しい立場。国を超えた問題やと思いますよ。在日の部分で言うたら。……（中略）……（日本に住んでいる在日への韓国／朝鮮文化の伝承や在日の渡航の歴史、差別の現状に関する教育は）何もなしでええと思うんですよ。（しかし）何もこっちが思わんでも周りが勝手に何でもしてくれるでしょ。ほっといてくれないでしょ、周りが。例えば韓国人の子がこれからずっと日本に住んでいって完全に同化してまいりますよね、意識も。……（中略）……ただ、周りが勝手に言うでしょ。自分は意識せんでも。日本と韓国の意識がなかったら周りの日本人が韓国人やと勝手に蔑視してくれるわけでしょ。その時に初めてまたよそ者かという感じになっていきますやん。だから知った方がええと思いますよ。その時に動揺せんように。」

社会的距離に関して、永住外国人とは異なりマイノリティ市民型は、日本人とのほうが本国の韓国人よりも近く感じるといい、本国の韓国／朝鮮人は遠い存在であるという。朝鮮半島は自分にとっては「（朝鮮半島は）自分の国ではないですね、祖先の国。曾おじいちゃん・おばあちゃんの国っていう。日本ですね、自分の国は。生まれた国が自分の国でしたらね。いったことがない国が、自分の国ということはありませんでしょう」という風に、自分の国ではないと感じるのがこの類型の特徴である。

結婚観もこれと同様に、永住外国人型のそれとは実に対照的で、マイノリティ市民型は結婚相手が在日であるかどうかこだわらない。友人関係においても、日本人との交流がマイノリティ市民型は多く、日本人との相互理解を大切にして、在日だけで固まるのはよくないという次に紹介する例のような考えの人も多かった。

◇「在日コリアンの友人でしたら、僕らは僕らの枠内でしか、考えられませんので、乗り越えられません。日本人の友人がおって、理解する日本人がおってこそ、はじめて乗り越えていけると思うんですよ。いけたんですよ、また。在日コリアンの友人だけでしたら、いつまでたっても朝鮮部落ですよ。」

しかし、部落民との社会的距離に関してはその他の社会的距離との検証に比べやや複雑であった。全体的には、部落民も在日コリアンも日本社会から差別を受けるマイノリティとして同一視しているマイノリティ市民型が多かった。しかし、部落民をマイノリティであると認めながら

も、彼等も在日コリアンを排除する人間でもあるという見方をするマイノリティ市民型がいた。なぜ一部のマイノリティ型が部落民との社会的距離の隔たりを感じるようになったのかの原因の一つとして、先の在日コリアンの共生性に関する第4章でも述べた、在日コリアンが同和向け住宅の入居の対象外扱いを受けていることが考えられる。既に述べたが、西成区の在日コリアンは、結婚観や近所の人間関係に対する思いから見ても、全体的にいて、そのほかの地区の在日よりも居住区内の日本人との共生性が高いが、唯一それと矛盾した現象は彼等の部落民に対する不信感や彼等からの疎外感であった。そして、このことは一方で彼等のマイノリティとしての意識を促進させたが、マイノリティ市民としての意識は削ぐ影響も及ぼしている。そのことをよく伝える例をここで上げたい。発言者はそのほかのコードクエスションにおいて完全にマイノリティとしての応答をしていた在日コリアンである。

聞き取り調査から――

部落民と在日コリアンは違うと思いますか？

◇「うーん、そうですね。あんまり（部落民も在日コリアンも）違わないとおもうんですけど、……（中略）……彼らの方が在日コリアンを差別的な目で見ることも、多々あると思うんですよ。自分らが差別をうけてたから、もう一つ差別するものがほしい。先ほどいった枠内、枠外の問題ですね。自分らは枠の中やていう。その枠の中の一番はじっこにおる人たちが、どこで線を引くかいうたら「国籍」だけでしょ。どっからどこか、どっから部落かというのも、すべてわからなく、そういうのはあってはならんというの、地域でわけるといってませんでしょ。で、もうかなり僕らの子どもの年代になってきたら、そういうのが完全にわからなくなっ、だんだん、だんだん薄まっていけると思うんですけども、在日コリアンの問題はちゃんと「国籍がちがう」という問題がありますのでね。……（中略）……ホームレスの人でも、わたしらの民族衣装を着ている人めがけて『この朝鮮め』いうて、いうてる人いましたんでね。『お前らホームレスやないか』って、もうケンカなるでしょう。……（中略）……どういふんか、自分らは日本人やと。枠内やと。お前らは枠外やという。で、部落差別問題はあくまで枠内の問題であって、在日コリアン問題は枠外の問題やという、その日本人的な考え方が根強いんですよ。……（中略）……在日コリアンもその枠内にいれてほしいんですけども、彼らは決して。見た目では、もう、いうてことは枠内、同じようにいうてんですけど、心の中では枠外やねんど、（日本人である自分の）妻を通じて聞かされるんですよ。……（中略）……思い出しましたけども、僕らがいまから十何年前ですか。高校生ぐらいの時ですね。その同和地区の特別措置法がしっかりできてる頃ですね、いまみたいにだんだん消えていった状況じゃなくして、しっかりしてた頃は、同じ地区内にその部落の人、地区内にすんでた部落の人、で、特別措置の対象になって、在日コリアンは対象じゃないと。そこで明らかに行政の差別があったんですよ。それが一番、部落の人が僕らを差別する原因をさらに、そこで溝を深めてしまったんですよ。慌てて行政もこれではいかんと溝を埋めにかかったんですけど、もう入った溝はとれないですよ。」

この在日コリアンは、自分たちを在日は日本社会で枠外視されている部落民からもわけ隔てられているから、自分は部落民との連帯感を感じないという。しかし、その反面、部落に対する偏見や差別（例えば同和対策は逆差別であるというメジョリティの意見）に対しては、部落民同様に「そしたらあんたら三百年も差別されつづけたら人らの気持ちわかるか、あんたらにはわからんやろ」といいたいと述べていた。つまり、この対象者は在日として日本社会で差別を受けるものの辛さは自分には分かるかといっているのである。しかし、その後彼はこう続けた。「（でも日本人ならそれまで部落差別を受けたことがなくても西成区に）引っ越してきて三年たったら、その（同和対策を受ける）権利が与えられるのはなんでなんかなあと、疑問に思うんですよ、はい。もう、（三十年すんでる在日には）くれへんくせに、三年すんでる日本人はくれる、どういうこっちゃねんって。そこで矛盾があると。部落出身者でなかったら、地区内に三年すめば権利が与えられる。おかしいなあ（と思う）。」

このように、その他の部分ではマイノリティ市民型の特徴を最も顕著に持っている在日コリアンが、彼等にとって一番近い立場であるはずの部落民に対し大きな心の隔たりを持っている事

は、在日コリアンが国籍条項によって同和地区特別対策から対象外とし除外された背景を持つこの地区独特の特徴であるといえよう。ただし、この社会的距離の隔たりは、永住外国人のそれとは区別される。なぜなら、永住外国人と違い、マイノリティ市民型はアフーマティヴ・アクションから除外されたという事実を外国人であった為に受けた処遇とは捉えていないからだ。むしろ、そのような除外は同じマイノリティに対しては行われるべきでない述べている。しかし、この在日コリアンの同和向け住宅入居拒否が意図的であった、なかったの如何にかかわらず、これによって結果的に生じてしまった同じマイノリティ同士の心の溝が、在日コリアンの市民としてのアイデンティティ確立の妨げる一方で、外国人としてのアイデンティティの高揚を生む可能性を秘めていることは否定できない。

国籍条項や帰化の在り方、及び国籍法については、上のような複雑な検証は必要がなかったほど、永住外国人型とは対照的な特徴がはっきりと見られた。現在の日本のそれらは明らかに在日コリアンを排除する民族／人種差別であると考えており、これはマイノリティ市民型の大変顕著な特徴である。

◇「僕は出生地主義でええんちゃうかなと思いますけどね。経験からゆうて、ほんたら確かにアメリカも差別あると思いますけどね、あるけど日本みたいに見えにくくないんちゃうかなと思うんですよ。まあ言うたら人権にうるさいですよ。一応法的にはそれしたらそれによってお互いに何も差ないわけですよ。お互い平等ですよ。他文化ですけどね。選択権が例えばその人らにあるとしたら、さっき言うたように同じやと思うんですよ。そうなりたいと思ったらそうならええし、いやいやこの国が自分の親の国を選びたい言うんやったらそれでええし、だから自由であってこそ初めて選べる状態であって、例えば今言う出生地主義でも選べるわけですよ。アメリカ国籍取ったって違う親の国籍、例えば選べるでしょ。そういうふうな形にしとけばそういう形が一番美しいんちゃうかなと思うんですよ。選択権の余地が本人にあるというのが、子どもにはないですけど親になりますけどね。そういう（米国では子供に親と同じ外国籍をもせたい場合生後数日いないに申請すれば、帰化などの手続きなしで申請できる。18歳以上になると自分の意思でその外国籍のままで生きるか、それともアメリカ国籍を復活させるか選べる）形のが僕は美しいと思いますよ。本人の意思決定でできるのが、今の情勢やったらお願いせなあかんわけしょ。だから逆に言うたら帰化がマイナスイメージにとられてんのが、その部分やと思うんですよ。……（中略）……結局（帰化の制度について）僕もよう知りませんが、例えば在日の場合と在日と違う、例えばよその国から来た人の帰化の申請と例えば差があんのが、ないんか。例えば永住権持ってる人の帰化の申請と永住権持っていない人の帰化申請でどんなけ差があんのか。……（中略）……その差ゆうんは何か。帰化自体ゆうのはあると思うんですけどね、それを在日の人に適用してええんか悪いんかというところへんが僕も何とも言えません。……（中略）……だからね、それを一般の例えば外国人の人と（在日を）一緒に今比べてんのか知りませんが比べてるんやったらそれもおかしいし、違うんですから。過程が。例えば永住権持ってる人と永住権持っていない人と例えば比べるにしたって多分違うと思いますよ。僕の感覚で言や。永住権持ってる人はずっと住むいう前提で来てるんですからね。その査定を例えば一律で同じような評価の仕方であえだめ、よし悪し、っていう選別の仕方何か変っちゃうかなあと思うし。それこそお願いして、お願いします、はいだめですゆうて言われてどないなんねん。しやけどゆうて、ここで生まれ育ってここでずっと住んでいくつもりやのに例えば財産がないから素行が悪いからあきませんって言われた時、そんな人おるかどうかわかりませんが、多分すごい精神的なプレッシャー与えられると思いますよ。だからもともと基本的な帰化っていうこと自体がよくないと思います。だからさっきの話に戻りますけどそういう流れの方がええと思いますよ。今の現状で帰化したい人がおればもっと簡素化いうのん必要ちゃうかなあと思うんですよ。」

◇「（国籍条項）は差別でしょうね。決定的な差別ですね。完全にその、母国語もしゃべれない人間に対して、お前は韓国人やっていう決めつけですね。先祖がコリアンやから、お前もコリアンや。日本で生まれてもコリアンやっていう。何世たってもそうじゃと。そんな、ずっとずっと日本に生きとってそんなやぞと、いうことが見えるんですよ。法律の中に」

彼等の社会参加に対する考え方や姿勢も、彼等は永住外国人とは違って、社会参加に対してと

ても積極的である。マイノリティ市民型は日本社会における経済的成功だけでなく社会的な成功にも関心があり、むしろ後者への関心のほうが高い事が多い。

◇「公の場に出てって欲しいから、（町会長などより市議員などの方が是非なって欲しいとアンケートでは答えたん）です。町会長とあって、その町会の会長じゃないですか。（だから、町会長とPTAと先生とホームヘルパーに）在日の人になったからって日本が変わる訳じゃないじゃないですか。（社会参加のレベルが低い）って思いますね。僕のなかでは。（反対に市議員などは日本に与える影響が大きいから是非そうって欲しいと思う。）国会のあのなかにいる議員の椅子に在日の人があれば、国は変わっていくんじゃないかな。良いほうに変わっていくとおもいます。国民にたいして、国民っていうか、日本に住んでる人にたいして。住みやすい日本になってなってくれると思いますよ。もしそうなった場合は、そういう日本人とかそういうのなくなってるって考えたいんで、日本人じゃない、その他の国籍の人らも住みやすい国になって（欲しい。）」

こういった社会的地位の向上への関心が高いゆえに、地方国政両方の参政権の要求は強く、その理由として自分達の日本社会における経済的貢献（税金をはらっている）よりも、日本で生まれ育った人間としての権利の主張をするのである。

◇「ずっと日本に生まれ育ったわたしがね、もちろん選挙権があるからって選挙に行くかいどうかは別にして、全てに自分の意見を反映させる場がない。で、なにか決まったことに対して反論も出来ずに、ただたんに決まったことに対して、黙ってということ聞いていけない。大きいことでも小さいことでも。それって変やなって。これがだから、さっきいわれたように、韓国から今ぼって来てやったら、そう感じてなかったかもしれないけど、やっぱり、日本で生まれ育って、自分は朝鮮人やけど、変なはなし外国から、日本たたかれたらやっぱりそれも腹たつんです。なんでって。日本もがんぼってるやんっみたいどころでね。だからオリンピック見て、バレーでも日本と全然知らん国がやってたら、日本応援するしそんな気持ちがあるのに、なんか、ただそんな気持ちも認めてもらえてへんのかなって。日本の国には。なんぼ韓国と日本がやっても、心情的にはつい、日本を応援したくなるっていうところもあるのに。でも、それすら、認められてないような気がするんです、日本の国にね。選挙権がないことは。だから、それってやっぱりすごく寂しい。何もかも、日本が嫌やるとかね、嫌いやとかっていう意識はないんですよ。もちろん一世の人にはあるかもしれないけど、それもだんだん薄れるし。そんな気持ち（自分には）さらさらないし、だから、いろんなニュースで外国で日本のこと色々いわれたら、なんでそこまで言われなあかんのとあって思う気持ちもあるし、やから、忠誠心じゃないんですよ、もちろん、日本に対するね。じゃないんやないやけども、なんかそんな（日本を応援したくなるような）気持ちもあるのに、やっぱり自分の意志を、たとえ町内会のことにして、市のことにしたって、言う場所がないっていうのは、やっぱり変やし、寂しいかなって。だから、それが、選挙権が与えられることによって解消されるかどうかは別としてね、でも、もし選挙もし行ったら、もっと関心ももつようになるやろうし、自分が思ってる人がとおったりなんかして、ちょっとその反映されるかもしれ変と思ったときにね、選挙権ってあったらいいなって。」

以上を概括すると、マイノリティ市民型は彼等が日本社会で住む上で経験する理不尽な差別や外国人としての取り扱いを、エスニック（/レイシャル）マイノリティに対する民族（/人種）差別であると考え。そして日本への定着及び愛着また市民としての責任感が非常に高く、それに比例して社会参加も、いくらかの個人差はあるが、永住外国人型の人々と比べ全体的にとっても能動的かつ積極的である。民族教育に関しては、永住外国人型は『韓国人として当然必要』と考えているのに対し、同じく必要と答えたマイノリティ市民型は『日本社会の理解を促進させ、差別をなくす』というようにマイノリティとメジョリティの共存を重視している。さらに、日本社会が差別構造を持つ社会であると見定め、またその差別の階級組織構造（Ethnic and Racial Hierarchy）のなかに自らの存在を知覚している。そして自分たちの出生地が日本である事実を最大の理由とした参政権の要求がとて高い。このことはこの型がなぜマイノリティ型ではなく、マイノリティ市民型と称されるかの一番の理由でもある。

ただし、このマイノリティ市民型は単なる同化型ではない事を強調しておきたい。なぜなら、マイノリティであるという意識は、メジョリティと自己を区別した時にはじめて形成されるもの

であり、自分が完全に日本人であると自覚したときには形成されない。たしかに、文化的な同化はマイノリティ市民型を生む重要なきっかけの1つである。しかし、この結果を見てもわかるように、帰化したものも含めたマイノリティ市民型の在日コリアンのなかに完全な日本人としてのアイデンティティを持っているという人は誰一人としておらず、彼等はいくまでもマイノリティとしての在日コリアンのアイデンティティを持っている。そして、この事実は彼等の意識が日本人へと同化したのではなく、むしろ平等な人間として自分の住んでいる土地へ適応し変化していることを示していると言えよう。

(d) 類型の社会科学的存在検証 (Interval Validity Test)

これらの類型が単なるマイノリティや外国人としての特徴の寄せ集めだけでなく、社会科学的にも確認された存在であると証明するには、マイノリティ市民型と永住外国人型が互いに異なった方向性を持つことを科学的に検証する必要がある。この方向性を検証するために、これらの型のあるコードクエスチョンに対する答え方に相関関係が存在するかどうかを調べてみた。以下はこれら両類型の社会科学的存在の検証結果である。

彼等の偏見に対する敏感度を調べてみたところ、アンケートで取り上げた3種類の西成区に対する偏見を含む発言に対する両類型の反応は、幾つかの点で互いに異なることが確認できた。先ず、「西成区は色々な人種が住んでいるところである」という発言に対し、非常に腹立たしいという反応をしたのはマイノリティ市民型のほうが多く、永住外国人型は同じ発言に対して特に何も感じないという反応が多い。これは自由度2度、危険率5%で社会学的に有意である。一方、「西成区は臭い、汚い」という発言に対する反応は、社会学的数値(自由度2度、危険率5%)では有意でなかったが、パーセンテージ上ではやはりマイノリティ市民型のほうが不快感を示す傾向がやや強い。また、「西成区は犯罪の多い、柄の悪いところだ」という答え方も社会学的な検定結果では有意な数値はでなかったが(自由度2度、危険率5%)、パーセンテージをみると、こちらもマイノリティ市民型のほうが腹立たしいという答えが多く、永住外国人型に何も感じないという答えが多かった。

表7-3 ^{注2}

	MC (1+2)	RA (1+2)
西成区は色々な人種の住んでいる。	55%	0%
西成区は臭い、汚い。	45%	20%
西成区は犯罪が多く、柄が悪い。	27%	20%

つぎに、彼等の社会参加に関する姿勢も、マイノリティ市民型と永住外国人型の反応には幾つか差異がみられた。社会学的な数値ではマイノリティ市民型と永住外国人型の差は確認できなかったが、パーセンテージを見ればマイノリティ市民型のほうが公務員、市会議員、地方国政参政権等で永住外国人型よりそうなって欲しいという希望が特に高いことがわかる。

^{注2} MC=マイノリティ市民型, RA=永住外国人型, (1+2) =非常に腹立たしい+腹立たしい

表7-4 注3

社会参加	MC (1+2)	RA (1+2)
1) 町会長	26.7%	13.3%
2) PTA会長	26.7%	6.7%
3) 学校の先生	46.7%	13.3%
4) ホームヘルパー	40.0%	26.7%
5) 公務員	66.7%	26.7%
6) 地方参政権	60.0%	26.7%
7) 国政参政権	60.0%	26.7%
8) 市議員	60.0%	20.0%
9) 総理大臣	26.7%	6.7%
10) オリンピック	53.3%	13.3%
M.T.	70 (466.7)	27(180.0)
N	15	15

(e) デモグラフィックな特性と類型の相関関係

表7-5

デモグラフィックな特性	MC (マイノリティ市民型)	RA (永住外国人型)
<性別>		
男	45%	60%
女	55%	40%
<年齢>		
20代	36%	0
30代	36%	0
40代	18%	20%
50代	0	20%
60代以上	9%	60%
<世代>		
1世	9%	80%
2世	27%	20%
3世以上	64%	0
<学歴>		
小学・中学校	9%	40%
高校	55%	20%
短大以上	36%	40%
専門学校	0	0
<収入>		
10万円未満	0	40%
10-20万円	36%	0
21-30万円	0	0
31-40万円	18%	0
40万円以上	0	0

注3 MC=マイノリティ市民型, RA=永住外国人型, (1+2) = ぜひそうなって欲しい+できればそうなって欲しい

<国籍>		
韓国	82%	60%
朝鮮籍	9%	40%
帰化済	9%	0
<日常の付き合い>		
日本人の方が多い	64%	60%
在日の方が多い	36%	40%
同じぐらい	0	0
<親友>		
日本人の方が多い	64%	40%
在日の方が多い	18%	40%
同じぐらい	18%	20%
<朝鮮／韓国語能力>		
できる	36%	100%
(ほとんど)できない	64%	0
<本国の親戚との交流>		
年に一回以上連絡をとっている	18%	40%
特に重大なことがあれば連絡とる	9%	40%
住所だけはわかっている	0	0
全く住所も分からない	27%	0
親戚は全くいない	9%	20%

(注) 上のパーセンテージ (%) のなかには合計が100にならないものがある。これは小数点を全て四捨五入したことと、無回答の分を省略しているためである。言語能力に関して、『できる』はコミュニケーションがネイティブスピーカーと可能な能力以上を含み、単語を知っている程度でコミュニケーションをとるまでには至らない場合は『(ほとんど)できない』に含まれる。

デモグラフィックな特徴をマイノリティ市民型と永住外国人型別に見たとき、これら二つの類型間で異なる特徴が見られたのは、先ず年齢と世代である。この二つの属性間に社会的に有意な差を示す数値は、残念ながら今回は検証できなかった(自由度4、危険率5%)。しかし、表7-5に載せてあるパーセンテージを見てもらうと分かるように、マイノリティ市民型は3世以上の30代より若い世代に多く、その反対に永住外国人型は50代以上の1、2世人に多く分布している。つまり、一部の極端な例外を除き、日本社会への社会参加に対し積極的な姿勢および差別に対する敏感度やマイノリティとしての在日意識は、日本でしか生活のしたことのない若い世代に多い傾向がある。このことは、米国のポルテスのキューバ移民の民族意識の研究結果(Portes1984)やハインの東南アジア系移民のアイデンティティ研究結果(Hein1994)とも重複をする。

今までの研究結果は、社会経済的地位と彼等のマイノリティとしての意識の高さとの関連性があることを支持してきた。しかし、本調査結果では、収入や学歴において社会的に有意な数値は知覚できなかった(収入：自由度5、学歴：自由度4、危険率両方5%)。学歴では中学校以下が永住外国人型に多いことが、パーセンテージ上では見られ、そのほかの研究結果と同様の傾向を若干示しているが、これだけではこれまでの研究結果と本調査の結果が一致しているとは断定できない。このことに関する言及は、もっと大きなサンプルでの調査結果を待たねばならないだろう。

国籍による類型間の差異についても、一般的見解はもっと大きなサンプルで調査をするときまで控えたいと思う。ただ、政治的な支持や思想の違いが、マイノリティ的思考、あるいは外国人としての自覚を促進するのにおいて影響力があるという可能性だけは示唆しておく。

日本人との日常付き合いは、マイノリティ市民型も永住外国人型もほとんど同じ結果であるが、親しい付き合いの相手(親友)となるとマイノリティ市民型は日本人という答えが多く、永住外国人型は在日という答えがマイノリティ市民型より若干多くなる。本国の親戚との交流に関しても、カイ二乗検定結果は有意ではなかった(自由度4、危険率5%)が、頻繁に交流があるのはマイノリティ市民型より永住外国人型のほうが多い。

朝鮮／韓国語能力をみると、マイノリティ市民型にできないという人が多く、永住外国人型にはできるという人しかいない。『読む』という能力以外、つまり『書く』、『聞く』、『話す』

という能力では、永住外国人型は「できる」という答えが一番多く、マイノリティ市民型は「全くできない」という答えが一番多かった。これらは自由度3、危険率5%で有意である。このことから、同化がかなり進みメジョリティとの差異がほとんどなくなっているのにもかかわらず外国人としての処遇を受けることが、彼等に外国人としての自覚よりもマイノリティとしての意識の高揚を促進していると考えられるだろう。

【3】まとめ

以上の検証結果から、一部の在日コリアンのなかには日本社会の構成員（市民）及び差別の対象となっているというマイノリティとしての高い意識があり、その一方で外国人としての意識の高い在日コリアンたちもいるということが確認された。彼等のアイデンティティが別々の特徴を備えた2種類の類型に大別できたことによって、我々は在日のアイデンティティは社会の様々な要因から影響を受けながら多様に変化をする対象であり、いつの時代も同様に不変的なアイデンティティなど彼等は持っていないということがわかった。この事実は、現代社会学の2大民族理論体系のうちの一つ、ナゲルやオーザックが唱える「社会的構成論：“Social constructionist Perspective”」の方を支持する（Nagel1994、Olzak1983、Yinger1985）。すなわち、我々の調査結果は「社会的構成論」と対局の「原初的特性重視論（福岡1997）：“Primordial Perspective”」が唱える「『民族意識や民族性は血族関係の延長である（van de Berghe1981, Yinger1985）』が故にその意識の在り方は簡単には変化や衰退または消滅はしない」というよりも、むしろ「マイノリティのアイデンティティは彼等の社会におけるメジョリティとの社会経済関係と交流、その他様々な社会的要因によって影響され変化し構成されていく」という性格をもつという考え方に呼応する。この事実は今調査結果の信頼性を著しく高め、彼等のアイデンティティの形成への理解を高めてくれただけではなく、在日コリアンのアイデンティティの研究がいかに社会科学のなかで重要な意味を持っているかを示している。

ここで、各々の類型についても一度概括すると、マイノリティとしてのアイデンティティは、文化的な同化がより進み日本社会への愛着度や定住意識が朝鮮半島に対してのそれよりも高い、若い世代の在日多い。一方、外国人としてのアイデンティティは、文化的な同化がマイノリティ型より進んでおらず、日本人との友人としての交流がマイノリティ型より比較的少なく、2世以上の中高年層に多い。

これらの両型の特徴は、各々のタイプのアイデンティティが形成されることになった要因でもあると言える。つまり、マイノリティ型のアイデンティティが形成されるには、一部の例外を除き、日本人との親密な交流があり、メジョリティや社会に対する認識や理解が高くなくてはならない。もちろん、今回の調査では確認できなかったが、学歴もそういった事柄を促進させるのに大きな影響力を持つと考えられる。自分たちの住む社会への認識が高まり、朝鮮半島へのそれが低くなれば、彼等は認識度の高い社会の方の構成員として自分たちを捉えるようになり、メジョリティと何ら大きな差異なく社会生活している自分が受けるよそ者（外国人）としての排除を差別であると捉え、自己を差別という社会的抑制を受ける対象であるマイノリティとして自覚するようになる。

外国人型のアイデンティティの形成はこの逆である。すなわち文化的同化がさほど進まず、言葉などが理解でき、本国に関する情報入手が活発にできるような生活スタイルを持っていると、おのずから朝鮮半島に関する認識が高まり、そして同胞との交流関係も多くなっていく。その結果、居住社会に対する愛着がそれほど高揚しなくなり、最終的には自らを日本に永住する外国人として捉えるようになる。

これらの類型の各々の特徴を再度踏まえたうえで、先ず注意を喚起しておきたいことは、この調査結果は彼等の生き方の批判に使われてはならないということである。彼等のアイデンティティの類型の差異は各々の要因が生んだ意識構造の違いであり、そのどちらが良くて悪いかという判断や批判したりすることはできない。また、いずれのアイデンティティをとってみても、この国で生きていこうと考えている事には変わらない。だからこそ、彼等のアイデンティティはいかなる在り方をとっていても彼等が居住する社会から尊重されなくてはならず、今調査結果は我々がどのように互いのアイデンティティを尊重していくのかということへの模索の為に活用される

べきである。

次に、アイデンティティの検証のまとめとして述べておきたいことは、本調査のような短期間の調査だけでは確認できなかった様々な要因はまだあるということである。それらの研究については今後の調査へと委ね、本調査結果が参考資料として活用されることを期す。さらに、今回は調査の対象者の数が少なく、全体の人口の世代や国籍別に彼等の人口分布が分からないため西成区や日本社会には今マイノリティ市民型的なアイデンティティを持つ人が多いのか、それとも永住外国人としてのアイデンティティを持つ人が多いのかを述べるまでには及ばない。しかし、今までそのほかの地区で行われた在日コリアンの調査報告を総括して考えると、今後マイノリティ市民型のアイデンティティを持つ在日は増えても、永住外国人型のアイデンティティがオールドカマーの在日のなかで増える可能性は低いと言えよう。今回の調査結果からわかるように、永住外国人型の属性の特徴は年齢が高い1世、民族的な文化的要素（言葉など）の継承度合が高い人に多い。永住外国人型のアイデンティティを持つ高齢の一世の数はこの先減少し、現在の状況のもとでは在日コリアンの文化的同化は進行していく可能性のほうが高い。故に、もし何か彼等のアイデンティティを大きく揺るがような出来事（戦争や在日コリアンの徹底的排除など）が起こらない限り永住外国人型のアイデンティティがオールドカマーの在日に急増することは考えにくい。

しかしながら、今調査が分析したアイデンティティの在り方が、将来また新たな形を取るという可能性は十分に考えられる。特に彼等と部落民との相互関係は、彼等のアイデンティティの変化に今後大きな影響をあたえることが今回の調査結果から予測できる。なぜなら部落民は永住外国人型、マイノリティ市民型の両方の隣人であり、またマイノリティ市民型にとっては精神・社会的に一番近いグループなのである。そのような部落民との相互理解や共同運動・活動がどれだけ今後発展していくかは、彼等の社会的地位の向上に大きな影響を与えるだろう。

最後に、もし在日コリアンの文化的な同化だけが進み社会的統合が進まなければ、彼等のアイデンティティはどうなるのだろうかということを考えてみたい。日本に生まれ育った彼等が、1世に多く見られるような永住外国人型のアイデンティティを持つようになるは考えにくい。しかし、社会的な排除がはびこるなかで彼等がマイノリティ市民としてのアイデンティティをより発展させていくとも思えない。また、彼等に対する理解が促進されず不平等の改善がなされなければ、日本社会からそして朝鮮半島からも逸脱、孤立したアイデンティティの形成が余儀なくされる可能性すらある。どこからも排除されるそんな孤独なマイノリティになることを、当事者は望んでいるだろうか。

もしこの西成のまちや大阪のまちが在日コリアンとの共生共存を目指し、彼等のより積極的な社会参加を望むなら、在日を取り囲むこのまちの人々は在日コリアンに対し一体何をすべきなのか。そして、このまちとこの社会での共生と共存が在日の願いでもあるとすれば、在日コリアンたちは今この日本社会で何をすべきなのか。もうすでにこの課題に対して積極的に取り組んでいる人にはその答えは明確なのかもしれない。しかし、本当にその取り組みは適切な方法をとっているのだろうか。これら全てに対する答えはこのまちに暮らすあらゆる種類のアイデンティティの持つ者たちとの対話のなかにある。

終章……在日コリアンの社会参加の可能性

この章では今までの分析結果を踏まえ、そしてアンケートの結果と聞き取り調査で聞いた彼等の問題意識や関心を分析しながら彼等の社会参加についての考え方を分析し、彼等の西成区のまちづくりへの参加者としての可能性を検証していこうと思う。

【1】日本社会への参加意欲

在日コリアンたちが、どのような社会参加をどれほど望んでいるかを知るために、表8-1のような事柄がそうなって欲しいか、あるいは欲しくないかをアンケートのなかで聞いてみた。その結果、そうなって欲しいという答えが一番の多かったのは「外国籍の在日コリアンが公務員として働く資格がもっと認められる」(86.2%)で、続いて「外国籍の在日コリアンに地方参政権が認められる」(82.6%)、「外国籍の在日コリアンに国政参政権が認められる」(77.7%)であった。ちなみに、PTA会長や町会長が少ないのは、既に在日コリアンの参加が見られており、「どちらとも言えない」という答えが多かったためである。総理大臣に関しては、そうなって欲しくないという答えのほうが多いが過半数を下回っており、これは地方参政権すら認められていない彼等にとって、現在の日本社会でこのようなことはありえないため想像もできないといったところだろうか。それでも、約3割は「ペルーのフジモリ大統領のように……」と在日の完全な社会参加を望んでいる。この結果から、圧倒的多数の在日は日本での社会進出・参加を強く望んでいることがはっきりと分かる。

表8-1
(全て外国籍の在日であることが前提)

項目	①	②	③	N.A.
町会長増える	30.1%	9.0%	53.6%	7.2%
PTA会長増える	28.3%	5.4%	58.4%	7.8%
日本の学校の先生増える	54.2%	4.2%	33.7%	7.8%
ホームヘルパー増える	53.0%	1.2%	39.2%	6.6%
公務員の資格が認められる	86.2%	1.8%	7.2%	4.8%
地方参政権が認められる	82.6%	4.8%	7.8%	4.8%
国政参政権が認められる	77.7%	5.4%	11.4%	5.4%
市議員になる	69.9%	4.8%	19.9%	5.4%
総理大臣になる	33.1%	19.2%	41.0%	6.6%
オリンピック日本代表になる	57.9%	5.4%	30.7%	6.0%

N = 166

- ① そうなって欲しい事柄 (アンケート: 是非そうなって欲しい+出来ればそうなって欲しい)
 ② そうなって欲しくない (アンケート: 絶対にそうなって欲しくない+出来ればそうなって欲しくない)
 ③ どちらでもいい

【2】西成区のまちづくりへの参加意欲

(a) 在日はまちづくりに貢献できる？できない？

公務員になる資格や地方国政参政権（選挙、被選挙権を含む）が認められるという広いレベルでの社会参加意欲が、在日コリアンのなかでは全体的に高いことがわかったが、今度はまちづくりといった地域レベルの社会参加に対する彼等の意欲はどうなのかを調べてみたい。先の表8-1では、PTA会長や町会長といったものに在日になって欲しいという意見は少なかった。先にも述べたが、これは既に西成区では比較的多くの在日コリアンが積極的に参加しているので、今以上に積極的になる必要性を余り感じないというのが、その主な理由であった。では、在日コリアンの多くは地域レベルの社会参加に対して本当に積極的であるのだろうか。

表8-2

項目	件数 (%)
1. とても貢献できると思う。	52 (31.3)
2. やや貢献できると思う。	41 (24.7)
3. どちらともいえない。	56 (33.7)
4. あまり貢献できるとは思えない。	11 (6.6)
5. 全く貢献できると思えない。	3 (1.8)
N.A.	3 (1.8)
N =	166

表8-2は「在日コリアンは西成区のまちをよくするのに貢献できると思いますか？」というアンケート調査の質問の単純集計結果である。表を見てもらってわかるように、「貢献できる」という答えは56.0%で、「できない」の8.4%に比べるとはるかに高い。彼等の日本や西成区での定住性の高さから考えると、地元住民として西成のまちづくりに参加する彼等の意思がこれだけあってもおかしくはない。まちの改善、まちづくりに貢献できると答えた人達の意見を一部ここで引用し、彼等がなぜ自分たちはまちづくりに貢献できているのか、また自分たちはそのために何をしたらいいと思っているのかを知る手がかりにしてみたい。

◇「（まちを）よくするのは。まあ（在日も貢献）できるんじゃないですかね。やっぱり西成の街見る限り経済的にもね、韓国人のやってる仕事って地場産業多いですしね、西成の。その部分あるし、特に西成は解放運動もあるし、その中で韓国人の問題っていうのも今すごく取り上げてやってますからね。（在日）おれへんかったら（産業とかは成り立たない。）まあ（在日がいたほうが）バランスええんじゃないですかね。……（中略）……だから、韓国人が何かするとかはそんな区別はないですけど、やっぱり住んでる人が、努力で、じゃないかなって思うんですけど。まあ、むずかしいですけどね。」

◇「（在日はまちを良くするのに貢献）できると思う。その人によると思う。在日とか関係なくて、そんな好きの方がおれば貢献できると思う。（こういう分野やったら在日の方が活躍できるというの）はないな。……（中略）……（自分は）やってみたいっていうのはない。やってもらわな困っているのはやるけど。」

◇「発展という意味でよく解らないけれど、結構立派な人を知り合いとか親戚にもっている人がいてるんじゃないです。在日の方がイメージから低いというような悪いというようなのがあるでしょ。でもすごくいい人もいっぱいいてるし、そうかといってそういう人らはあまり表に出ないと思うけど、何しろ

複雑ですね。」

◇「具体的には思いつかない。何が出来るのかな？（でも西成のまちが良くなればいいのにと）思いますね。出来ることがあるんなら、していきたいですけど、でも、何をすればいいのかっていうのはないですよ？あいらん地区をわたしがどうすることも出来ないし、道が狭いのを広くすることも出来ないし、具体的になっていったら、何をすればいいのかわからないですけど。」

◇「西成にはやっぱり在日コリアンがたくさん住んでるからじゃないですか。企業もいっぱいそういう靴屋さんとか、やっぱりそういう関係でいっぱいしてるし、こちら辺はやっぱり靴で生きてきた街やから、在日コリアンは特によおけいやってるんで、それは（貢献できるし、産業とかの面でも貢献はできる）たくさんそういう風にしてる人がいてると思うんですよ、会社とかでも。何か同和建設でも韓国の人いてるでしょ。あの代表者に」

◇「ある意味でね、社会的な活動みたいなものはね、生活のなかに余力がなければなかなかできない部分もありましてね。日々の生活におわれるとなかなかできないんですけども、そろそろそういう時代にね、各地域でね在日コリアンが活躍すべき時代に（今我々は）はいつてると思うんですよ。ところが全体の雰囲気とかなんかで、日本の政治の事は我々に関係ないってということがどっかにありましてね、出ていない。潜在的に能力がある人はいっぱいおるんです。ずいぶんぬけるんですけど。たまたま参加する機会とか場所とかないんで出てないということであってね。そういう意味では地域社会に貢献するね、一つの道を作っていたらね、そうすべき時代にもうはいつてると思うんですよ。あの一町内会程度でしたら皆さんやってるでしょ。あの程度は。あと、あの一地域社会の持つてる問題でね。老後問題でもいいですけど、あえて国籍の問題ね、……（中略）……（様々な活動の）のなかにね優秀な在日韓国人をあててピックアップしてね、このメンバーにいらしてね。活躍する場所を作るとかね。神奈川県とかいくつか出てますね。初期はやっぱりそれしないとなかなか、行政側でリードしないとなかなか出てこないと思いますけど。当初はね。（どんな分野で活躍できるかといえば）2世以降の範囲はね、一般的な日本のね、市民レベルでいえばね、経済的な活動活発にしている人もいますけどそれなりにね、教養身につかないとね、活躍してる人もいますし。いろんなひといますからね。いろんな分野の人おりますけど、日本の社会に知られていないだけでね。」

西成のまちを良くするために、在日が一体どんなことが出来るかということに対しては、かなり積極的で具体的な意見から、消極的で曖昧な意見まで様々である。しかし、多くは自分が住むまちを改善する努力は、国籍にかかわらず、すべきであると明確に述べている。在日はどのような分野で活躍できるかという質問には一部「靴関係など産業面での貢献」といった答えもあったが、「特に在日であるから出来る／できないという分野はない」という答えが目立った。むしろ、日本人と共に何でもやっていくべきだという意見の方が多かった。

しかし、これで在日コリアンは皆まちづくりへの参加に意欲的であると結論づけ、今後実際にまちづくりの一員として彼等を組み入れていく構想を練るには、単純集計の「どちらともいえない」の33.7%の内容を検討する必要がある。何故、彼等が「どちらともいえない」または「貢献できない」と消極的な答えをしたかを、聞き取り調査で聞いてみたのでその一部を引用する。

◇「どちらともいえないというか、何もやってないでしょ。そんなに何もやってないでしょ。西成のためにいうか、西成、区民の在日コリアンが（だから）なんともいえないですね。直接なんかでっかいイベントもやってないしね。……（中略）……われわれが貢献してるかっていうて別にしていけど、せやけど何も、在日でここで大阪で住ませてもらて、じぶん貢献したことないですわ。……（中略）……町会長になったら、町会のためにいろいろするんですから。そしたら、市議員になったらいうて、在日コリアンのためだけにするんかいいうたら違うでしょう。西成区でなったら、西成区のためにするわけでしょ。在日コリアンのためだけにやったら、他の票取れませんやん。そうでしょ。在日コリアンだけの票はとれても、他の票がとられへんかったら通りませんよ。そういうことは、市会

議員いうことはその区・所の地盤のために一生懸命することですよ。国政レベルになると、国のためにいっしょうけんめいするべきですよ。だけどいまの制度だったら、先にこっちで選出されなアカンから、みんなこっちに恩恵を持ってくるですよ。公共事業であっても。だからみんな国民投票にして…わたしが思うのは、そうなったら政治的な問題になるから、なんぼ言うても私ら参政権ないから、言うてもしゃあないなゆう意識持ってるんですよ。」

◇「僕の知ってる周りの人で、ろくな事やってない人が多すぎるんでしょうね。たぶんそんなヤツにそんなことできるとはおもいませんわ。（例えば）いっぱいいますよ。働きながら生保もらってるヤツもおるし、そんなヤツにまちづくり（ができるかという）以前の問題でしょう。（在日にそういうひと）が多いですね、そういう悪さを平気でやりますね。……（中略）……だからそれでお金をいっぱい貯めて、資本金なんかつくて、会社何かやってる人も結構知ってますよ。税金も脱税もなんでも、この世の悪いことは…なんでもやってますわ。それで成功しはる人も多いですわ。だからどの話しは皆知ってますからね、法事とかで皆集まるでしょう。そんな連中に、それが崇拜されているような連中に貢献なんて。（成功してる在日でも、その成功の）仕方に問題がある。（そのような在日に、貢献、まちをよくする貢献なんて）絶対、できないですわ。（しかし、自分自身はまちづくりに貢献を）もちろんしたいですよ。現時点でも町づくり運営委員会なんかとかね。（もし在日が心を入れ替え、まちづくりをしたいと思うなら、脱税など）そういう不正はしたらアカンなっていう分野で活躍できるでしょうね。警察官、なんていうんですか。福祉課が手の届かないようなところで、『お前やったら（取り締まれる）』っていうところでは貢献できるでしょう。……（中略）……まちづくりはね、別に在日に限らず、本当にきちっと自分たちのまちをよくしていこうという気持ちさえあればね、本当に浄化心っていうかね、そういうことにはどんどん参加して行くべきでしょうね。（在日がまちづくりに参加していくのに必要なことは）まず、不正を全部正して、洗いざらい元に戻して、それからでしょうねテーブルにつくのは、こっちでこんな事やって、こっちでよいことやるなんて、許されないでしょう」

◇「どちらともいえませんね。貢献できるかいうたら、どんな貢献できるかわからないし、できないっていえば何でできないか答えられないし、答えがないんですよ、この（社会参加の）問題に。在日であるから、特徴いかせるといのは少ないと思うんですよ」

「どちらともいえない」や「在日は貢献できない」という答えたひとのその理由は、「出来る」と答えた人の理由と重複する部分がある。つまり、どこでどんな貢献を在日としてすればいいのかよくわからないということである。なかにはかなり具体的な意見を述べる人もいたが、多くの方は「参加したいがどのように参加すべきなのかよくわからない」と言っている。日常生活において、なんらその他の日本人と変わらず生活している彼等のなかに、「在日として」の参加していくことに、少し戸惑いさえ感じている人もいる。つまり、「どちらともいえない」と答えは「何をしたいのかわからない」という思いの投影であると考えられる。

(b) まちを良くするのに大切なもの

表8-3 <重複式解答>

項目	件数 (%)
1.老朽密集住宅の改善	20 (12.0)
2.道路・交通網の整備	18 (10.8)
3.緑地・公園の整備	10 (6.0)
4.産業商業の振興 (皮産業や商	29 (17.5)
5.高齢者や障害者などへの福祉	28 (16.9)
6.教育やボランティアなどの人材	7 (4.2)
7.釜ヶ崎問題や同和問題などの人	25 (15.1)
8.西成区民自身の努力	36 (21.7)
9.その他	4 (2.4)
N.A.	2 (1.2)
M.T.	179 (107.8)
N	166

まちを良くするには何が大切かという質問をした結果、一番多かったのは西成区民自身の努力で、続いて産業や商業の振興であった。後者は西成の皮革産業等に従事している在日が多いことに一致していると考えてよいのではないか。前者の、西成区民自身の努力が一番大切であるという答えに関しては、そう答えた人の理由の一例を上げるのでこの単純集計の結果を考える上での参考にしてもらいたい。

◇「(西成区の街をよくするのに一番大切なのは、西成区民の)努力ですね。立ちションしない。ゴミを(そこらへんに)ほらない。」

◇「(区民自身の努力が大切)だと思う、一人一人の。『あんたらがすんやからいいわ』ではダメだと思います。この街は何か改善してアメリカのあの、障害者の街みたいにするらしいんですね。私ら車椅子だって聞いたんやんけど障害ある、アメリカの障害者の人は、私は障害やって言う事を見せて、見せびらかして生きていくってまあ、そういう言い方したらそうなるけど。ここの街もいずれかそういうようにして、だからパソコン通信、家でも買い物出来るように、そういう目標に向かってしてるらしいですから、一人一人もやっぱり協力があつた方がいいと思う。(色んなプロジェクト)やってますけどね、やっぱりみんなが協力したら1日でも早く出来ると思うし(在日であってももっと参加していけばいい)と思いますよ、住んでる以上はね。学校の事でもそうだけども、保育所の事でも。住んでるのに何で、学校へ行ってるのに協力しないのかな。だってお金も安くしてもらってるのに、集会とか行って行ったら嫌って、それはおかしいと思う。私がですよ。嫌やったらもお自分の学校へ、高い所へ入れたらいいと思う。保育所でもね、ここの保育所に入れるけども、その制度は受けてるけども、色んな面が出たくないって言うんやったら、あの普通のね1万7千円だったら7千円の料金払ってしたらいいと思うんです」

◇「だから、韓国人が何かするとかはそんな区別はないですけど、やっぱり住んでる人が、努力で、じゃないかなって思うんですけど。まあ、むずかしいですけどね。」

西成のまちを良くするのに大切なのは「区民の努力」であるという答えが多いことは、彼等が在日のまちづくりへの貢献の思いと関係しているのではないだろうか。つまり、西成のまちを良くするのは「区民の努力」が大切と答えたことと、そして彼等が「在日として出来ることは何かわからない」という戸惑いは、彼等が西成のまちの改善は「在日であることの自覚」より「区民であることの自覚」ではないかと考えているところから出ているのかもしれない。

(c) アイデンティティ類型と西成区のまちづくり

結論から言えば、西成区のまちづくりに対し永住外国人型とマイノリティ市民型のアイデンティティの類型別の見解の差異は、ほとんど見られなかった。たしかに、外国人型に行政のバックアップを求めるといった意見はでなかったが、先の章でも述べたように地域レベルの参加に関しては永住を考えている外国人型も決して消極的ではない。永住外国人型は自分の居住する地域での社会参加に対してのみ積極的で、これを地方や国政の参加というようには発展させてはいないが、下の引用からもわかるように、自己をマイノリティとして捉えようと朝鮮半島に帰属意識を持つ外国人であると捉えようと、自分が永住を決めた土地への愛着や責任感はある。

◇「(在日はまちづくりへの貢献はできるし、実際やっている。) あのですね。自分がここで、……(中略) ……ここ迂路おっても、まあ迂路の前もキレイにやってますよ。裏はまあ手Iつけんけども。綺麗にやってるし、今日もですね、結局仕事帰ってきて、結局その自分とこ(で) 昼ご飯食べて、自転車乗ってきて、ちょうどその会館の裏のですな、会館の裏に片方入り口の方こう斜めなって、とにかく砂がながれてくるんですよ。なんとかこれ、ネ(わし) がするようせんなあかんっておもて、くるくると立ち退きされたところ行って(煉瓦を探しに) 見たら、本当(に) 良いヤツあるところは入られせんし、帰るとき友達におうて、『向こう引っ越し(た) 新しい家に、そこに煉瓦があるから。』(って教えてもらって) それを……(中略) ……煉瓦ちょっと(使って修理) しようと思つて。(そんなふうに) 何かこう自分たちで考えてね、とにかく綺麗にするっっちゃうとかな。そうするようなことは、まあ、皆なわしだけじゃなくて、(町会) の班長皆なが、やっぱりそういうのしてるけど。わし今(気になるのは) 北津守の方あそこはとにかく石山が山ほどですわ。きのう、この間一週間前に……(中略) ……保育所(のあたり) がきれいに(なっていると聞いて) 見に(いったら) ……(中略) ……何か(子供が) 泣きよるから『どうしたの』って聞いたら、(尻餅をついて) ちょっと血が出てよったんですよ。『ああ、これなんとかせんアカンな』て思て、それを、全部石を取って下穴掘ってそこ埋めて、そらもう何時間かかりましたか。なあ。それ、その土を上全部綺麗にして、なんぼこげても(こけても)、怪我せんように。そういうふうになんか一つでも自分のやっぱ、人に(が) 見て見かけ良いようにするのが、まあまちづくりのああ言うもんですわ。それだけじゃなくて、他ん所もそういう風にして行くんですわ。そらもう、皆、綺麗、綺麗のほうにしたほうがな、うん、まあ、良いじゃないかと。」

◇「けっこう朝鮮の人って多いでしょ。そういう面で考えたんですけど、何かできることあるんちがうかなって。どんなことできるのかな。だからね、ほんとに視野が狭いからわからへんけどホームヘルパーとみたいな感じで、自分たちも一人住まいの朝鮮の人ってぜんぜんわからへんけど、捜してってちょっとご飯でもつくってあげたりそういう簡単なこと。やっぱり口に合うものと合わないものあるからそういう簡単なことはできるん違うかなっていうかんじで。」

(d) 世代別に見た西成区のまちづくりへの参加意欲

表8-4

項目：	①	②	③	④	⑤	NA	Total
1世	7 (43.8)	4 (25.0)	-	3 (18.8)	-	2 (12.5)	16
2世	30 (30.3)	28 (28.3)	33 (33.3)	5 (5.1)	2 (2.0)	1 (1.0)	99
3世	14 (28.6)	9 (18.4)	22 (44.9)	3 (6.1)	1 (2.0)	-	49
その他	1 (50.0)	-	1 (50.0)	-	-	-	2
Total	52 (31.3)	47 (24.7)	56 (33.7)	11 (6.6)	3 (1.8)	3 (1.8)	166

注：①とても貢献できる ②やや貢献できる ③どちらともいえない
④あまり貢献できない ⑤全く貢献できない

世代別には彼等の社会参加の意識に社会的に有意な差異はなかった（自由度12、危険率5%）。ただし若い世代、特に3世に「どちらとも言えない」という答えが多いのが目立つ。被定住思考が1世や2世に比べて低い若い世代の3世が、まちづくりに対してもやや消極的であることは注意を喚起する。この集計結果を考える上での参考までに、在日コリアンは西成区のまちづくりには貢献できないと答えた若者の意見を一部引用する。

◇「いまの日本の国のなかでやっても何もかわらないんじゃないかな。もうちょっと、在日韓国人の、その見てもらうっていうんか、その権利っていうんですか。そのもうちょっと色々なことができるようになったときに動き出したら認めてもらえるんじゃないかなって。（もうちょっと）強さがあつたら。今のまんまやっても。強さが足りないんでしょうね。公の場に出ていくその勇気とか。そこら辺もつと力ついたら周りもそれ見てくれるって思うし。内輪でやってるから、『あ、又なんかやってんな』っていう、そんなんやろうっておもうから。」
(韓国籍・20代・男性)

◇「(なにができるのか) 特になにも思いつかない。だから、韓国人が何かするとかはそんな区別はないですけど、やっぱり住んでる人が、努力で、じゃないかなって思うんですけど。まあ、むずかしいですけどね。」
(韓国籍・20代・女性)

【3】在日コリアンの社会参加実現にむけて

彼等の社会参加、特に西成区のまちづくりに対しての思いに国籍や民族的な違いが否定的に影響はしていないことは、今までの分析からわかったと思う。そして彼等が、一部個人的な差はあるものの、全体的にはその他の西成区の住民に比べて勝ることことあれ、全く劣ることなどない社会参加意欲があることもわかった。では、その彼等の望む社会参加の道筋はどうやって建設していけるのだろうか。

最近、多民族国家である米国のマイノリティたちの間で、“Panethnicity”（パンエスニシティ：民族の結合）という社会現象が見られる（Espiritu1992、Lopez & Espiritu1990）。このパンエスニシティ（民族の結合）は彼等の民族の違いにかかわらず「人種」というカテゴリーで同一視され差別される、ラテン系移民、アジア系移民、そしてネイティブアメリカンたちの間でみられる現象のことである。彼等は、当初、自分たちの民族的な差を強調して別々に運動を進めようとしていたが、個別に分割することで数的に縮小すること、そしてたとえ民族的な差を強調してもメジョリティからは同類として差別される事などから、互いの文化的な違いを認めながらも民族の差を超え結束し、マイノリティである共通の目的（人種差別の撤廃）を見い出して共に運動を進めるようになった。ネイティブアメリカンの部族間の違いを超えた「オールトライブ運動（Indians of All Tribes）」に始まり、このパンエスニック運動の在り方はラテン系やアジア系にも広がっていった（Espiritu1992）。彼等のこの民族結合（Panethnicity）は、アメリカ人としての同化する2世以上の若者の間では「アジア系アメリカ人（Asian American）」という新しいカテゴリーのアイデンティティの誕生の原点にもなっている。また、このことは彼等の少数民族としての権利を確保するための運動を徐々に前進させている（Takaki1989）。

このようなパンエスニック運動は、アメリカだけに見られる現象ではなく、この西成にもかつてあった。第1期の住宅闘争などに見られる在日コリアンの参加は、まさにこのマイノリティ同士の連帯であり結合であった。たしかに、当時彼等のなかに部落解放運動に共に参加しているという明確な意識はなく、ただ単純に「立派な家が欲しい」という思いから偶然に参加する様になっただけなのかもしれない。しかし、その始まりがどうであれ、解放運動に参加する過程で在日コリアンたちが抱いた希望は「家がもらえる」という物理的な充足ではなかった。長い年月を経て、ゆっくりではあるが着実に「人間として平等に生きていく」という精神的な充足を望み始める者が、このまちの在日コリアンのなかにはいる。

本稿終章のまとめを導くまえに、西成のまちづくりへの参加を特に強く望んでいる在日コリアンたちの声をここに紹介する。彼等の社会参加への思いを知る資料として用いてもらいたい。

<いいまちに住んでるねっていわれたいから……>

◇「水平社ができた時ね、そのときからでも、それこそ住宅たてるときでも、同和の保育所つくるときでも、朝鮮の方もかなり参加されてるんですよ。運動に対してね。なんか、だからずっと、その、ずっとそういうのに参加してきてんねんから、もちろん今、自分たちが住んでる西成を良くするためやったら、なんでもしようって。それこそ、変なはなし、さっきのはなしに戻るけど、あいりん地区のことがあって、いまフェスティバルゲイトができて、そこらが綺麗になって、そのそういう人達が目には見えなく、フェスティバルゲイトの近くに対して目には見えなくなって、じゃあその人達はどこへいったんやっていったら、鶴見橋へ来たり、その公園で寝てる人が増えたりって、その、一応感覚としてね、向こうからこっちにきてる。それを悪いとは言わないけれど、でも、そういう人達が来る事によって、子供が安心して公園で遊べない。鶴見橋なんか、子供が塾から帰ってくる10時ごろになったりするときに、やっぱり、おっちゃんらがようさん寝てるってとかっていうたら、見た目も考えるでしょう？そんなときに、その人達をどうこうしようじゃないけれど、やっぱり、自分が住んで、子供を育てる地域をね、よそからね、そんなとこに住んでるのなんて私言われたくないの。だから、私が友達に言われて、『ええ、西成に嫁にいったん』って言われて、『そんなとこに住んでるの』って、それを子供のときまで言われたくないんですよ。だから、……（中略）……その、西成を良くするって、その、どういふようによくするって具体的にはわからないんやけどね、やっぱり子供たちが大きくなったときに、『ああ、いいとこ住んでんなあ』って、それがどういふ意味でいいとこなんかわからへんねやけども、『ああ西成っていいとこ住んでんねんなあ』っていわれるまちにはしたいから、やっぱり、在日であっても外国人であっても、その良くしていきたいって気持ちは一緒やと思うからね。そういう、その出来ることがあれば、していきたいって気持ちはつよいから。」（40代・朝鮮籍・女性）

<心の溝を生めることから始めよう……>

◇「運動の方針の仕方でも、例えば部落差別の分の運動の仕方と在日の人動き方というのは多少違うと思うんですよ。だからよう言う、足踏まれたもんしかわかれへん痛みうふうな言い方しますけど、ただ、足踏まれてないもんに踏まれてない人間にどんなけ巻き込みさすか。主になってやっていかなあかんのは本人かもわからんけど本人以外、例えば日本人の人が韓国人の問題取り組んだらあかんのか。部落の問題、部落以外の人に取り組んだらあかんのか。っていう問題点でどういふふうに理解してるかですよ。主観にならなあかんあかんて言うとして、ほんだら韓国人は部落差別やったらあかんのか、そんな暇あったら在日運動せいつて言うんか、それが正しいんかどうかは僕もわからない。僕は違うと思うんですよ、それは。当然ともに横のつながりというのはやらなあかんし、今やってると思いますけど、だからよく言う一個だけの差別解消なんかありえないですよ。部落差別がなくなって在日朝鮮人だけ残るとかそんなことは多分あり得ないです。人間の考え方としてなくなっていくときは全部なくなっていくのが当然ですから。」（30代・韓国籍・男性）

◇「部落に住む在日韓国・朝鮮人っていう言い方をするんですけどね。部落の地域には居てるけどもやっぱり、うーんどう言うたらいいんやろ、生き方考え方、うん、歴史何もかもが違うと思います。だけどうん、まっ部落に住んでるから、こーいう在日、韓国人の方もいらっしゃいます。私は部落に住んでるから在日韓国・朝鮮人やけども、部落民じゃないみたいなの……。……（中略）……（在日韓国・朝鮮人であれば部落住んでいても部落民にはならないというふうに）に思ってる人もいっぱい居てると思うんですよ、そういう事考えれば地域柄、何て言ったらいいん、部落民やでみたいなの。部落民は日本人やとか思ってるかもしれんね。……（中略）……私自身は（大阪の別の）部落で生まれて、育って部落問題から入ってったんで、在日問題は後だったんですよ……。……（中略）……部落問題から取り組んできたんで、全然そんな意識無かったけども、ここに来て初めて何かそういう風な事は自分自

身は思わないけども、だから思ってる人が居てるっていうのにハッと気づいた。だからここは、市営住宅に在日の方が入れないってかかっていう事情もあったりしたら余計にそんなんが出てくる。だから部落民も在日韓国・朝鮮人をこの差別してるやないかみたいな（意識が）。……（中略）……で、部落民の人は韓国人の靴屋の産業をしてる人なんかお金持ちとか居てるでしょ。『えーやんか』と、『あんた達はそんだけ商売で稼いでるから』とか。そんな（相互理解の欠落）は良く多々ある様な気がしますよ、聞いた限りではね。うん。だから何かお互いに、何か、うーん、世帯主が日本人じゃなければ住宅入れない。立ち退きじゃなげと、在日の人は入れないとか、何かそんなんよ一聞きますね。だから、住宅も入れるように運動しなアカンなぁーと思う人は少ないでしょ。うん、私は思うけどね、やってやりたいとは思うけどね、出来ないわね、なかなか。……………（中略）……………（部落問題と在日コリアン問題は）問題点も違うんですけども、でも気持ち的に言えば、差別されてきたモンにとれば、差別されてる方のことは分かりますやんか、でその地域に住んでるって事は、ちょっとでも自分はそこに近づけるっていう部分ですよ。私ね、別の所に住んだ事が無いからね。部落民として生きてきた何年間っていうのも本当はあって、（大阪の別の部落の方で）そこで芽生えた在日運動なんで、ちょっと考え方が違うかもしれないんです。そうですね、問題点は色々違っててもね。ただ一緒には考えて闘っていけない部分ではないですけども……………（中略）……………（親近感を感じるのはむしろ）被差別部落に住んでる日本人ですよ……………（中略）……………（西成区のまちを良くしていくことに、在日は）貢献して一緒に（やっていけばいいとおもう）別に卑下する事もないし。ああ、まちが良くなるんならば、うーん、どんな事やねんやろ。いざ言われたら分からへんけど。そうやな、だから自分らだけがいいんじゃないって、一緒に何でも力を合わせていけば力になるかなと。……………（中略）……………（在日も日本人も）一緒にしていけないといけないんじゃないかなあと思うし。（もっと積極的になればいいと思う。でも今の現状は）なかなか、自分らは関係ないみたいな思うんちゃうかなー私自身はそう思わへんけども、運動してない人なんかやったら。でも綺麗になったらいいやんみたいな、そんな思いの人も多いしね。私だってあんまりその、まちづくりに関して（日本人と）話した事無いけど、綺麗になればいいし、あの、古い家が無くなってね、綺麗に建て替えられたらいいのにみたいなね、具体的な事言えばみんなそういう事しかみんなは言わへんけども、住み良いように、（在日の人も努力をすることは）出来るんじゃないかなあと思うんです。出来ないよ、ここで住んでいって一緒に暮らしていく部分では避けて通れないんじゃないかなあと思うんです」
(30代・韓国籍・女性)

【4】まとめ

今回の調査は、彼等の社会参加を模索するために彼等のこのまちに対する思いや考えを理解しようとして始められた。そして、本稿は彼等の西成区へ来た歴史から始まり、現在の彼等のまちに対する様々な思いをアンケート調査と聞き取り調査の結果から検証してきた。

残念ながら、本調査は彼等の社会参加を実現する為に必要な問題の全容を明らかにしたわけではない。厳しい調査の条件のなか明らかにできたのは、彼等の意識のごく一部分でしかなかった。しかし、このことは本調査が全く成果を上げなかったということを意味しているのではない。この調査は、この西成区のまちに様々な理由でやって来て定住するようになった在日コリアンたちが、彼等の50年以上に渡る西成区での居住の歴史のなかで、このまちの闘いと勝利、発展と停滞を常に目撃し続けている証人たちであることを証明した。そして彼等は、その西成という「焼土の街」の戦いの傍観者では決してなかったことも、今回の調査では確認できた。

彼等の多くが、自分たちが長年住んできたこのまちに愛着を感じ、時には不満を感じながらも、今このまちで自分たちの将来を見い出そうとしている。あいりん地区や住宅環境などに対して著しい不満を抱える一部を除き、彼等の大半が西成区の気取らない人情味のある人間関係に満足し、西成での生活は快適であると言っている。そして、教育面でも、彼等の多くがこの地域の学校における民族教育の存在を肯定していた。しかし、その進め方に対しては様々な不満を抱える人もいたこと、そしてそのことは、彼等が在日コリアンという個性を開花させ自己実現さ

せていく上で大変重要な課題であったことを再記しておく。

社会参加意欲についての検証結果では、彼等のほとんどが日本社会への参加を強く望んでいることがわかった。日本社会で彼等の参政権が認められることについては、アイデンティティの在り方によって差が多少あったが、西成のまちづくりへの考えに対してはアイデンティティの在り方にかかわらず、ほとんどが積極的な姿勢を持っていた。ただし、自分たちのまちを、これからどうやって改善していくべきなのかという具体的な発想の展開やその実行には躊躇している人達も多いということも今回の結果のなかで示唆されていた。

さらに、我々は社会的に曖昧な立場をとる彼等のアイデンティティが、いかに様々な要因に影響され常に揺れ動いていることも知ることができた。同じ国の、同じまちに暮らしながら、あるものは社会から逸脱した外国人としての自我を形成させ、あるものは社会のなかで共生を目指すマイノリティとしての自我を持つようになった。しかし、両者は共通して差別に負けずしたたかに生きる逞しさを備え、そしてその反面に差別の痛みを知る繊細さも持っている。

そんな逞しさとしたたかさ、そして彼等の繊細さをよく表わしている引用を最後に紹介し、この調査全体のまとめを論じようと思う。この引用は、西成がまだ「焼土の街」であった頃からの土地に住み、第1期の住宅闘争にも参加している在日コリアンのものである。この引用と内容が重複したものが前章（第3章：在日コリアンの共生性）のなかでも載っているが、そこでもあったように彼女は、住宅闘争の運動成果の恩恵を、朝鮮人であることを理由に危うく受け損ねるところだった。しかし、持ち前の能動的かつ積極的な性格から自分の要求を通し、彼女は住宅の入居を果たしたが、その後も何度となく自分が在日コリアンであるため西成の人達から差別を受けたと言う。彼女はそのことを次のように述べ、西成の在日コリアンとして体験した様々な事から、自分は一体何を学んだかということを語ってくれた。

◇「私あの何年か昔やけど、あの住宅ね、闘争のときに、あの、松田さん、松田喜一言う先生の応援に、選挙の運動にどれだけいったもんか。市へ行って座り込んだり、あの、何に、お茶汲みに言ったり、なにしたり、してもな、さて（住宅）へはいるようになったら、皆な鍵くれんねんけど、私だけくれへんねや。ほんでな、隣座ってる人が、まあよう知って、うちの行動をよう見とったひとや。『Wさん、ほうかむりしたらいいねん。ほうかむりしてでも、うちらは入れてやる。』って、こう言うねん。私ゆうたん、『ほうかむりしては、よう入らん。私は人並みにしたんであるし、ほうかむりして（まで）は住宅入るとは思わへん。堂々とはいるねん。』って。ほんで、みんなに鍵渡しても、私にくれませんねん。ほんで、あくる日、松田先生が、その、風呂屋の2階に居てましてんや。他の人寝てたから、もう朝はよいつて。『先生、私、住宅くれへんねん。差別せんとか、せんとか言うたかて、これ、差別はここから出てんのちがいますのん？』言うたら、私の頭なでながら、『Wさん、よう知ってる。あんた、一生懸命頑張んの、よう知ってる。神様が見てる。そやから、住宅当たるように、神さんがしてくれるはずや。帰ったり、いったん帰ったり。』いうて、帰って。ほいで、うちの主人が、（私が運動手伝いにいってるあいだ）もう子供のオシメ替えてへんから、すそはただれてるしなあ、もう、『ああ、もうやめとけ、やめとけ。もうどっかで、アバラ小屋すむようなことがあってもやめとけ。もう、応援にいくなよ。』っちゅうて（主人が）いうて、主人に内緒で私（又）いきましたんや。ほんで、1週間してから、（住宅の）鍵もってきてくれてん。そんで、3階あたってな。それを、私が黙っとったら何にもしてくれへんねんや。……（中略）……ほんでな、読み書き、週に一回いっても、……（中略）……あの、初め、あの、朝鮮人はあかんねやと、あの、わたしがな、あの、こういう生活やで、奉公いったりする生活やで、学校はY小学校2年までいっただけやねん。ほんで、したときに、あの、きたから、その子供おうて、そのお寺でな、読み書きをやってる言うて、……（中略）……、『ああ、違う違う。あんたら違うねん。』っていうて放り出されて。ほんで、そこが、駄目になって、その学校が、学習が、文化温泉の2階、今言うとった松田喜一のあの2階でやっとなですわ。ほんで、今度入れているくれるやろうて、子供おうていいたら、あの、いれてくれへんねん。そこな。玄関中入らしもせえへんねんな。ほんで、それから、何年かたって、もう（字を習うことを）あきらめてましたんや。ほんだら、病院いいたら、こっちの横手の人が、募集してるから、今やったら入れるで、と言うから、入りましたんや。私、もう恐ろしから、私もう、日本人と名前だけ化けて入りましたんや。ほんだら、二か月ほどしてからな、Gさん言う婦人部長がな、皆なもう、皆の前で、皆帰

るときやから入り口が一杯ですねん。そこでな、『Wさんあんたちよっこちおいで』って（呼ばれて、そして）『何ですの』（っていくと）、『あんた、一体何処のもんや？』って。（言われたが、その人は実は）いっつも運動するとき一緒にやっとなつたひとや。何年か、見ないうちに向こう部長なって、私は平民そのものや。『私、その住宅におりますよ。』って言うたらな、『あの、何処のもんか知らんけどな、あんたらはここ入れるとこちゃうねん。明日、10時に鞆もっといで。』って、こういうねん。そやから、あくる日10時にな、行って、鞆やら返そう思て、あんまり悔しいからな。返そうおもたら、その人（婦人部長）じゃなく、他の人の部屋に連れていって。……（中略）……名前は知らんけど、あの人が、『来る気は、これから頑張る気はあるか』っていうから、『頑張る気がありゃこそ、こないしてきてんねんけど、そないにな、何するんやったら、わしは字習えんでもしゃあないわ。』と、いうてしたら、『頑張ってください』言うて、鞆も取り上げんと歸らしてくれたんや。しゃあから、そういう偉い人も（なかにはいる。）結局、色々話し合うたん違うかな。それから、国際文字国際、識字年な、あれが始まったんや。それから、人数が増えたんや。うちはいってるときは、5、6人。先生のほうが多いねん。うん。もう日本人ばっかしやからな。ほんで、今はもう、30人ほどおりますよ。せやからな、私もう、ねえちゃんにはじめて言うけども、ほんまに悔しいこと何べんあったか。……（中略）……（しかし在日の人も部落の人も基本的には）一緒やと思う。（差別されるという）意味でもな。あの、生野区のほういったかて、差別は一緒やで。そやから私思うのは、差別されてる、するない、（差別問題解決の）本元は（差別されているもの同士が）差別したらアカンゆうことや。自分ら部落民いうて、今まで差別されてきた（者自身）が又差別したらアカンゆうことや。私に言わすと。……（中略）……部落の人がな力合わせてやってるから、こんなけのまちもできるし、住宅もできるわけやから。そんなに、差別されるからどうのこうのやなく。力、そら、もう朝鮮人も頑張るけど、よう頑張ってはるわ、西成住んではるひともな。よう頑張ってはる。……（中略）……こち（西成のほうへ）来るの嫌がる人もおる……（中略）……そういう差別するひとは馬鹿やと思う。私はそう思う。私は無学で何にも分からんけど、ええか悪いかぐらいは分かるんでな。やっぱ、そういう人は馬鹿だと思わ。こんなけっこうなん（様々な福祉施設）ができて喜ばなあかんのにな、それを逆に差別する言うのはかわいそうな人や。……（中略）……（在日のひとは西成の町をよくするのに貢献できると思う。）大いにな。みんなや。道も広して欲しいし、私ら自転車乗るからやな。あの、信号のとこの大きな柱、電信柱あんなものけて欲しいし。色々注文はようけある。（在日の人ならこういうこと貢献できるということは）ないと思う。できることは在日も日本人も一緒にな。……（中略）……今10年間の間は（差別も）雪解けのようだったいうけど、それも結局お互いに頑張るからこんなけなつたと思うで。……（中略）……朝鮮人の人もここ（部落の）人と一緒にようけあの時分は（運動に）参加していた……（中略）……学生運動って、ねえちゃんら知らんやろうな。あのなかに（運動に参加して、デモに出かけたときに）私紛れこんだんや。ほんで子供おうたままなデモに出えいうから、ほんで若し貧乏やし、パンの一つでももらえたらええわと思て参加したんやけど、（デモの途中で学生運動のデモのなかに）紛れこんでしもたんや。もうそれと（私たちのデモ）が一緒のとなり同士で演説して、終いにやデモに入ったわけやねん。ほんだら、私らは私ら、あの人はあの人らでしたつもりやけど、いつの間にかばらばらになって！ほんでその学生のなかにジグザグデモのなかに入ってしもたんや。ほんだら出るに出られへんねや。棒もってこないしてやってんねんやもん。ほんでやな、あの時分に『アブナイ！！』ってちゅうてやな、後ろからうちを抱き上げて外へ連れ出してくれたのは、松田慶一（部落の）人やねん。あの人もなあ、えらい市議員なって、もう死んだけどな……。（昔は私も）いろんなデモにでた。いまはもうしんどいわ（笑）今日もなんか昼から何かあねんて。（私は）なんにもいわれへんけど（参加する）。もう看板や！（笑）あの時分もいっつも看板（みたいな）もんやったけど、この年なつたらもう看板しかあらへんけど……」

遠い記憶をたどりながら、自分の運動とこのまちのことについての思いを、彼女は2時間に渡り一生懸命語ってくれた。自分が在日コリアンとして参加した解放運動を振り返り、彼女はこのまちに生きるもの全ての努力を高く評価している。そして、部落民の人々から差別されたことがあっても、彼女は現在もこのまちでの様々な運動の参加をやめていない。たしかに、若く貧しかった頃は運動への参加の動機は「パンを一つでももらえたらいい」という単純なものではな

かったと、彼女自身も振り返る。しかし、年老いた今もなぜ彼女は運動の参加をやめないのだろうか。彼女のような在日コリアンの運動の参加を、差別を撤廃するために力になりたいと共生を願う思いからであると捉えるのか、それとも運動を傍観し漁夫の利を待つ外国人と捉えるのか---それはこのまちを「人間が人間らしく生きるまち」へと築いていこうとする全ての人々の選択である。

このまちが今まで気付かず、あるいは気付いていたにもかかわらず放置してきた数々の問題は既に述べた通りである。そうして放置された諸問題は、このまちの住民の間に深い心の溝を作ってきた。その溝は様々な形態をとっているが、私はこれらの溝の修復に対する施策は一貫して共通であると思う。

このまちの様々な心の溝を埋めるには、互いとの建設的な対話が必要である。そして、その対話は3つの努力によって初めて成り立つと私は考えている。一つ目の努力は、先ずその溝のきっかけを生じさせた人達が、溝の縁に歩みよることである。そして、何故この溝が出来てしまったのかを自ら振り返らなくてはならない。二つ目の努力はこの溝をもつ人々が、この溝を持ったままこの先ずっと生きていくべきなのかどうかを自問することである。そして、その溝の縁に歩み寄ってきた人々を無視せず、彼等と向き合い自ら正直に思いの全てを打ち明けなくてはならない。最後に、この溝を作ることに直接関与せず、また溝を持っていない人々が傍観することをやめ、人間らしく生きていく仲間としてその縁に立ち寄り、問題解決への協力をすることである。

これらの努力は、もちろん大変難しく時間と忍耐を要する。しかし、このまちには大きな障害の数々を乗り越えて、逞しく発展していく力があることを、私は調査員として自信を持ってこのまちの人々に伝えたい。地元最大のネットワークと活動力を持つ解放同盟西成支部は、この心の溝を埋めるのに一番大きな役割を果たしてくれるはずである。そして、この調査が彼等の協力があつたからこそ成し遂げられたことで、彼等の前向きな姿勢は証明されたはずである。また、多くの在日コリアン達がこの調査に応じてくれたことも、在日コリアン達のなかに高い問題意識があることと、彼等がこのまちに対し大きな希望を抱いていることを明示している。

この西成のまちは、確かに在日コリアン達を排除をしたという大きな過ちを犯した。このような過ちを、このまちは決して繰り返してはいけない。しかし、同時にこのまちの人々は、この過去に囚われてはいけないのだと私は思う。過ちは人間である以上、誰もが犯すものである。だからこそ、過ちを起こした者ほど人間らしい。

我々は本調査を通して、西成のまちと共に喜怒哀楽して生きる多くの在日コリアン達と出会った。この調査が明らかにできた彼等の実態はわずかではあつたが、それでも我々は、彼等の心でくすぶる「共生」という希望の火を、共に見つけることができたはずである。我々は、いま在日コリアン実態調査という形で、その火を絶やさぬための第一歩を踏み出した。この第一歩は、これからこの調査に携わった人だけでなく、この報告書を読んだ全ての人々の手によって無限の歩みにされていかななくてはならない。

このまちにある「共生」という火種が、明るく逞しく燃え立つ炎となって西成の人々のなかで輝いていくことを願い、本調査報告書を締めくくる。

おわりに……

今回の調査が完成するまでに、実に様々な人からの協力があったことを最後に述べておきます。まず、部落解放同盟西成支部の方々には、今回の調査を実施する過程で様々な協力をしていただきました。とりわけ、アンケート調査のとき100名にも及ぶ調査員の動員は、調査票回収率を上げることに大きな貢献をしてくれました。大阪のような大都市で、縁故を通じて200名以上の対象者を探し当てることが可能であったのも、これらの支部員の方々の協力があったからこそです。

厳しい条件のもと行われた今回の調査は、本調査グループのメンバーだけでは乗り越えることができない問題に何度となくぶつかりました。しかし幸運にも、調査の趣旨を理解して下さった学者の方々からの非公式の協力があり、これらの困難をどうにか乗り切ることができました。なかでも、関西大学の石元清英先生、そして私の恩師である関西外国語大学助教授の奥田均先生と米国ウィスコンシン大学のジェレミー・ハイン先生は、自らの多忙な研究活動の合間をぬって、今調査に多大な助力を下されました。これらの方からの助力・助言がなければ、この調査は暗礁に乗り上げていたかもしれません。

そして、今回のアンケート及び聞き取り調査に協力をして下さった西成区の180名の在日コリアンの方々にも、心から謝辞を述べたいと思います。突然とも言える行政からの実態調査に戸惑われた方も少なくはなかったことでしょう。それでも、忙しいなか貴重な時間を作って調査用紙に記入して下さい下さった方や、その後さらに数時間にも渡る聞き取り調査に応じて下さった方々が大勢いました。これらの方々なしに調査の完成は有りえなかったでしょう。貴重なご意見を提供して下さい下さった西成の在日コリアンの皆様一人一人にもう一度感謝の言葉を送ります。本当にありがとうございました。

この調査の実施に当たり、在日コリアンの実態の様々な側面に焦点を当てるよう努めました。が、時間や人員、そして基礎データの不足などもあり、本調査ではカバーしきれなかった点が幾つかありました。これらの点を、今後どうしていくのかも本調査グループに残された大きな課題です。報告書では、できるかぎり詳しく今調査でわかった事柄の検証・論述をするよう励みましたが、まだ不十分な箇所が多々あります。それらの点については、この報告書を読まれた皆様に批判をしていただき、今後の参考にさせていただければと思っております。

西成区で初の在日コリアン実態調査も、ようやく幕を閉じます。調査員として私が西成で過ごしたこの一年は、色々なことがあったせいか随分早く過ぎていった気がします。この一年を振り返り、研究者として、在日コリアンとして、そして一人の人間として本当に沢山のことを西成の人々から学ばせてもらいました。

このまちで仕事が決まったとき、「エライことになったな」と他人から何度も言われたことがあります。しかし、西成で一年間仕事をして、このまちのことを嫌だと思ったことは一度もありません。むしろ、自分の住んでいる「西成が好きやねん」と言う在日コリアンを同じ在日としてうらやましいとさえ感じました。

在日である私を見て、「根無し草」と呼ぶひとがいます。故郷のない中途半端な人間だと、私は何度も馬鹿にされ、その度に寂しい思いをしました。差別を受ける日本社会のことをどうしても自分の故郷として、受け入れたいのに受け入れられないという心の矛盾を抱えながら、私は25年あまりの人生を過ごしてきたのです。

この夏から数年間、私は研究活動のため日本を離れ、米国に渡ります。もし西成と出会っていなければ、私はどうなっていたのだろうと最近よく考えます。西成と出会わずに米国に渡っていれば、きっと私は本当の「根無し草」になっていたかもしれません。

あの夏の暑い日に私が作った調査票を配ってくれた支部員の人々、仕事の合間をぬって、自分より半分以上年下の私に貴重な人生の話をしてくれた在日のオモニやアボジ、そして未熟な私を温かく支えてくれた調査グループのメンバーたち……。言い尽くせないほど沢山の人々の優しさは、私の心に逞しい根を生やしてくれました。

このまちをはなれた後も、私はきっと何度もこのまちの事を思い出し、そしてこのまちのことを世界に伝えていくでしょう。末筆になりましたが、このような素晴らしい機会を私に与えて下さったヒューマンライツ教育財団の皆様に厚く御礼申し上げます。

本当に皆様ありがとうございました。

平成10年3月

愼 和枝

資料編

西成区在日コリアン人権意識調査用紙

- 1) あなたの性別は？ 男 ・ 女
- 2) あなたの年齢は？ _____ 才
- 3) あなたは何世ですか？当てはまるものに○をつけてください。
() 1. 一世 () 2. 二世 () 3. 三世
() 4. その他：
- 4) あなたは結婚していますか？ 以下の中から当てはまるものをえらび、() に○をつけて下さい。
() 1. はい、結婚しています。 () 2. いいえ、結婚していません。
() 3. はい、しかし別居中です。
() 4. はい、しかし配偶者は亡くなりました。
() 5. 離婚しました。
- 5) 子供はいますか？ はい ・ いいえ
はいと答えた人に聞きます。何人お子さんがいてらっしゃいますか？ _____ 人

..... あなたのお仕事についてお伺いいたします。

- 6) あなたの職業は何ですか？当てはまるものに○をつけてください。
() 1. 会社員 (業種： _____ 担当： _____)
() 2. 自営業 (業種： _____)
() 3. 専門職 (職種： _____)
() 4. フリーター、パートタイマー (職種： _____)
() 5. 学生
() 6. 無職
() 7. その他 (職種： _____)
- 7) 仕事をしている方に聞きます。あなた個人の月収を教えてください。自営業をされている場合は一ヶ月の平均的な売り上げで考えてください。
1. () 10万円未満 2. () 10万～20万円
3. () 21万～30万円 4. () 31万～40万円
5. () 41万円以上 6. () その他：
- 8) お仕事で接するのが多いのは在日コリアンの方ですか？それとも日本の方ですか？
() 1. 在日コリアン () 2. 日本人
() 3. 大体半々 () 4. その他
- 9) あなたは仕事場で日本の名前を使っていますか？ それとも民族名を使っていますか？
() 1. 日本名 () 2. 民族名
() 3. その他：
- 10) 仕事場の人はあなたが在日コリアンであることを知っていますか？
() 1. 皆知っていると思う。

- 2. 全員ではないが知っている人はいると思う。
- 3. わからない。
- 4. 皆知らないと思う。

.....
 あなたのお住まいや地域のことについてお伺いします。

- 11) あなたのご近所の人あなたは在日コリアンであることを知っていますか？
- 1. 皆知っていると思う。
 - 2. 全員ではないが知っている人はいると思う。
 - 3. わからない。
 - 4. 皆知らないと思う。

- 12) あなたは西成区で生まれましたか？それとも、引っ越してきましたか？
- 1. 西成区で生まれた。
 - 2. 引っ越してきた。(いつ：約 年前)

- 13) 以下の事柄はあなたの西成区での生活を快適にしていますか？それとも不快にしていますか？ 快適にしていると思うものすべてに○、不快にしていると思うものすべてに×を付けて下さい。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 隣近所の人間関係 | <input type="checkbox"/> 2. 住宅の状況・環境 |
| <input type="checkbox"/> 3. 治安 (火事や犯罪の発生) | <input type="checkbox"/> 4. 人権保護対策 |
| <input type="checkbox"/> 5. 在日コリアンの数 | <input type="checkbox"/> 6. 学校教育の内容・環境 |
| <input type="checkbox"/> 7. 部落の存在 | <input type="checkbox"/> 8. 釜ヶ崎の存在 |
| <input type="checkbox"/> 9. 商店街・スーパーの数や値段 | |
| <input type="checkbox"/> 10. 交通の便 (バス、電車、道路など) | |

- 14) あなたの西成区の一番好きなところは何ですか？また一番嫌いなところは何ですか？

- 15) 全体的に言って西成区はあなたにとって住み心地のよい場所ですか？
- 1. 非常に住み心地が良い。
 - 2. やや住み心地が良い。
 - 3. 普通
 - 4. やや住み心地が悪い。
 - 5. 非常に住み心地が悪い。

- 16) あなたはこれからも西成区で暮らしていこうと思っっていますか？最も適当だと思うものを一つ選んで○をつけてください。
- 1. ずっと住み続けていきたい
 - 2. できることなら住み続けていきたい
 - 3. どちらでもよい
 - 4. できることなら引っ越しをしたい
 - 5. できるだけ早く引っ越しをしたい

- 17) 西成区について次のような言い方をする人がいます。それぞれの発言に対するあなたの意見に最も近いものを一つ選んで○を付けてください。

- 17-1) 「西成区はいろんな人種が住んでいるところだ。」
- 1. 非常に腹立たしい。
 - 2. 腹立たしい。
 - 3. 特になにも感じない。
 - 4. その通りだと思う。
 - 5. まったくその通りだと思う。

17-2) 「西成区は臭い、汚い。」

- () 1. 非常に腹立たしい。 () 2. 腹立たしい。
() 3. 特になにも感じない。 () 4. その通りだと思う。
() 5. まったくその通りだと思う。

17-3) 「西成区は犯罪の多い、ガラの悪いところである。」

- () 1. 非常に腹立たしい。 () 2. 腹立たしい。
() 3. 特になにも感じない。 () 4. その通りだと思う。
() 5. まったくその通りだと思う。

18) つぎの事柄は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

あなたが 重要な問題であると思うものにはすべて ○ を、
小さな問題であると思うものにはすべて △ を、
全く問題ではないと思うものにはすべて × を付けてください。

- () 1. 部落差別問題 () 2. 在日コリアン差別問題
() 3. 高齢者問題 () 4. 障害者問題
() 5. あいりん・釜ヶ崎問題 () 6. 住宅環境問題
() 7. その他：(なるべく具体的にお書きください。)

19) つぎの事柄は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

あなたが 重要な問題であると思うものにはすべて ○ を、
小さな問題であると思うものにはすべて △ を、
全く問題ではないと思うものにはすべて × を付けてください。

- () 1. 部落差別問題 () 2. 在日コリアン差別問題
() 3. 高齢者問題 () 4. 障害者問題
() 5. あいりん・釜ヶ崎問題 () 6. 住宅環境問題
() 7. その他：(なるべく具体的にお書きください。)

20) 全体的にいて、西成区ではどのグループが一番差別されていると思いますか？

ひとつだけ選んで○を付けてください。

- () 1. 部落民 () 2. 韓国・朝鮮人(在日を含む)
() 3. 障害者 () 4. 高齢者
() 5. 中国人 () 6. 東南アジア人(フィリピンやタイ人)
() 7. アメリカ人 () 8. その他

21) 全体的にいて、日本ではどのグループが一番差別されていると思いますか？

ひとつだけ選んで○を付けてください

- () 1. 部落民 () 2. 韓国・朝鮮人(在日を含む)
() 3. 障害者 () 4. 高齢者
() 5. 中国人 () 6. 東南アジア人(フィリピンやタイ人)
() 7. アメリカ人 () 8. その他

.....
あなたの生活体験についてお伺いします。
.....

22) 過去2～3年のあいだに、以下のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

あなたに、とても頻繁に起こったものにはすべて ○を、
たまに起こったことがあるものにはすべて △を、
全く起こったことがないものにはすべて ×を付けてください。

- 1. 韓国・朝鮮人をばかにする言葉でよばれたり、なじられたりされた。
- 2. 日本人から在日であるために暴力をふるわれた。
- 3. 就職を断わられたり、就職活動時に不快な思いをした。
- 4. 結婚や交際を断わられたり、交際中や結婚後不快な思いをした。
- 5. 友達をつくりにくかったり、友達が去っていったりした。
- 6. 公共の場で（役所や銀行）在日である為に、相手の待遇が悪かった。
- 7. 学校や職場、近所で仲間外れにあった。
- 8. 住宅の入居を断わられた。
- 9. その他：（なるべく具体的にお書きください。）

23) あなたが(22)の質問のような差別を乗り越えるのに一番大きな役割を果たした人は誰ですか？ 下から一つ選んでください。*

- 1. 親
- 2. 兄弟姉妹
- 3. 親戚
- 4. 日本人の友人
- 5. 在日コリアンの友人
- 6. 日本人の学校の先生
- 7. 在日コリアンの学校の先生
- 8. 行政の人権相談窓口
- 9. 民団や総連などの民族団体
- 10. その他の人権団体
- 11. その他：

24) 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、次のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？（家族、親戚、友人、知人などに）

とても頻繁に耳にしたものにはすべて ○を、
たまに耳にしたものにはすべて △を、
全く耳にしたことがないものにはすべて×を付けてください。

- 1. 韓国・朝鮮人をばかにする言葉でよばれたり、なじられたりされた。
- 2. 日本人から在日であるために暴力をふるわれた。
- 3. 就職を断わられたり、就職活動時に不快な思いをした。
- 4. 結婚や交際を断わられたり、交際中や結婚後不快な思いをした。
- 5. 友達をつくりにくかったり、友達が去っていったりした。
- 6. 公共の場で（役所や銀行）在日である為に、相手の待遇がわるかった。
- 7. 学校や職場、近所で仲間外れにあった。
- 8. 住宅の入居を断わられた。
- 9. その他：（なるべく具体的にお書きください。）

25) つぎの事柄は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

あなたが 重要な問題であると思うものにはすべて ○を、
小さな問題であると思うものにはすべて △を、
全く問題ではないと思うものにはすべて ×を付けてください。

- 1. 日本人と結婚するのが難しいこと。
- 2. 日本の地方、国政への参政権がないこと。
- 3. 朝鮮語が話せないこと。
- 4. 経済力がないこと。
- 5. 就職が難しいこと。

- 6. 祖国に帰って、暮らせないこと。
- 7. 日本国籍がないこと。
- 8. 帰化が難しいこと。
- 9. いじめられたり、馬鹿にされたりすることが多いこと。
- 10. 日本人の友達がつくりにくいこと。
- 11. 国籍条項のせいで奨学金を受けたり、公務員になることが難しいこと。
- 12. 民団と総連の仲が悪く、在日どうし団結力がないこと。
- 13. その他：（なるべく具体的にお書きください。）

26) 三年後に、医療保険制度と同じように、高齢者の介護にも「公的介護保険」制度が導入されようとしています。あなたはこの制度についてご存知ですか？*

- 1. 制度内容を良く知っている。
- 2. 新聞やテレビなどの報道で聞いて、少し知っている。
- 3. 聞いたこともない。

26-A) 上で「知っている」または「聞いたことがある」と答えた方に聞きます。制度がスタートしたら、あなたは保険に加入したいと思いますか？*

- 1. ぜひ加入したい。
- 2. 制度を良く理解したうえで決めたい。
- 3. どちらともいえない。
- 4. 加入しようとは思わない。

27) あなたは自分が介護が必要になった場合、誰に介護してもらいたいと思いますか？
あてはまるものすべてに○を付けてください。*

- 1. つれあい（夫／妻）
- 2. 子供
- 3. 親戚
- 4. 日本人のホームヘルパー
- 5. 在日コリアンのホームヘルパー
- 6. 老人ホームのヘルパー
- 7. その他：（なるべく具体的にお書きください。）

.....
あなたの地域などでの活動についてお伺いします。

28) あなたはどのような活動に参加していますか？あるいはしたことがありますか？

現在参加しているものすべてに○を、もし、今何にも参加していない方は、今まで参加したことがあるものすべてに△を付けてください。また、役員などをして活発に参加している、または参加していたものには◎を付けて下さい。

- 1. PTAの活動
- 2. 町会の活動
- 3. 子供会の活動
- 4. ボランティア活動
- 5. 民団・総連の活動
- 6. 習い事など、講習講座

内容：_____

- 7. 在日コリアン同士の会

内容：_____

- 8. その他：

34) あなたは民族の言葉（韓国語／朝鮮語）をどれくらい知っていますか？

「できる」というものには 1、
「少しできる」というものには 2、
「いくつかの単語程度ならできる。」というものには 3、
「全くできない」というものには 4 を付けてください。

1. 話すこと（会話） 2. 聞くこと（理解）
 3. 読むこと 4. 書くこと

34-A) この質問は一世の方だけにお聞きします。あなたは日本語の読み書きができますか？そしてそれをどのように学びましたか？

1. 読み書きできない。
 2. 独学で学んでできるようになった。
 3. 学校で学んでできるようになった。
 4. その他：

35) あなたは、あなたのお子さんやお孫さんなど若い世代の人達に広い意味での自分の民族についての教育を受けさせたいと思いますか？

1. ぜひ受けさせたい 2. 別に必要とは思わない
 3. できることなら受けさせたい 4. 関心がない
 5. 本人次第

36) あなたが在日コリアンとして子供達にこれだけは伝えておきたい、あるいは一番伝えたいことがあればお書きください。*

37) 日本の小中学校での「民族教育」についてあなたの考えに最も近いものを一つ選んで○を記入してください。*

1. 「民族教育」は絶対に必要だと思う。
 2. 「民族教育」は必要だと思うが、現在のやり方には問題があると思う。
→あなたが一番問題だと思うことを挙げてください。
 3. 「民族教育」は特に必要ないと思う。
 4. 「民族教育」は全く必要ないと思う。
 5. 「民族教育」のことはよくわからない

38) 「民族学校」について、あなたの考えに最も近いものを一つ選んで○を記入してください。*

1. 「民族学校」は絶対に必要だと思う。
 2. 「民族学校」は必要だと思うが、現在の「民族学校」には問題があると思う。
→あなたが一番問題だと思うことを挙げてください。
 3. 「民族学校」は特に必要ないと思う。
 4. 「民族学校」は全く必要ないと思う。
 5. 「民族学校」のことはよくわからない。

あなたの家族についてお伺いします。

39) あなたの家族のなかで朝鮮・韓国語を話す人はいますか？

はい (誰? :

いいえ)

40) あなたの家での生活に、次のようなことがありますか？あるというものすべてに○を付けてください。

- 1. キムチなど民族料理をよく食べる
- 2. 人形、置物など民族的なものがある。
- 3. 自分、あるいは家族が民族衣装を持っている。
- 4. チェサ (民族式の先祖供養) をしている。
- 5. 母国の本や歌のCDやカセット・ビデオテープなどがある。
- 6. 母国の踊りを自分、あるいは家族が知っている。
- 7. その他: (なるべく具体的にお書きください。)

8. 全く民族的なことはない。全て日本式だと思う。

41) あなたは韓国や北朝鮮に今まで何回行ったことがありますか？

- 1. 韓国: _____ 回 2. 北朝鮮: _____ 回
- 3. どちらへも行ったことが全くない。

行ったことがある方に聞きます。

41-A) 渡航の目的は主に何ですか？当てはまるものすべてに○をしてください。

- 1. 親戚訪問 2. 観光
- 3. 仕事関係 4. 友人訪問
- 5. 墓参り 6. 留学・ホームステイ
- 7. その他: (なるべく具体的にお書きください。)

41-B) どれぐらい滞在したことがありますか？一番長かった滞在期間を教えてください

42) あなたは韓国／北朝鮮に親戚がいますか？当てはまるものすべてに○をして下さい

- 1. 祖父母 2. 父母 3. 兄弟姉妹 (のいずれか)
- 4. 孫 5. 子供 6. 叔・伯父、叔・伯母
- 7. いとこ、またいとこなど
- 8. その他:

42-A) その親戚との連絡はありますか？

- 1. 年に一回以上連絡しあっている。
- 2. 特に重大なことがあれば連絡しあっている。
- 3. 住所だけは分かっている。
- 4. 全く住所も分からない。
- 5. 親戚は全くいない。

43) あなたが日常おつきあいをしている人々は、日本人のほうが多いですか？それとも在日コリアンのほうが多いですか？

- 1. 日本人のほうが多い 2. 在日コリアンのほうが多い
- 3. 半々である

44) あなたが家族以外で一番親しくしている日本人、在日コリアンはそれぞれ何人ぐらいいていますか？

- 45) あなたは頻繁に交流する家族以外の在日コリアンの方はいますか？
() はい () いいえ
- 46) (45) で「はい」と答えた方に聞きます。それは誰ですか？
() 1. 親戚
() 2. 近所の人
() 3. 学校や仕事場で知り合った人
() 4. 子供の学校関係の人
() 5. 民団や総連を通して知り合った人
() 6. 同胞の会やサークルにはいって知り合った人
() 7. その他：(なるべく具体的にお書きください。)

.....
あなたの結婚観・体験についてお聞きします。
.....

- 47) あなたは今までに自分が在日コリアンであることで結婚や交際を断われたことがありますか？
() はい () いいえ
- 48) あなたは今までに結婚や交際をする過程で、自分が在日コリアンであることで親戚付き合いなどにおいて差別を受けたことがありますか？
() はい () いいえ
「はい」と答え方、申し訳ありませんができるだけ具体的にどのような差別を受けたのかを教えてください。

- 49) 配偶者がいらっしゃる方に聞きます。あなたの配偶者は日本人ですか？在日コリアンですか？
() 1. 在日コリアン () 2. 日本人
() 3. その他

- 50) 配偶者がいらっしゃらない方に聞きます。次のうちからあなたの意見に最も近いものを一つ選んで、○を付けてください。
() 1. 絶対在日コリアンと結婚したい。
() 2. できるだけ在日コリアンと結婚したい。
() 3. 在日コリアンであるかどうかあまりこだわらない。
() 4. 在日コリアンであるかどうかまったくこだわらない。
() 5. できるだけ在日コリアンでない人と結婚したい。
() 6. 絶対在日コリアン以外の人と結婚したい。

- 51) あなたのお子さんの結婚についてお聞きします。次のうちからあなたの意見に最も近いものを一つ選んで、○を付けてください。
() 1. 絶対在日コリアンと結婚してほしい。
() 2. できるだけ在日コリアンと結婚してほしい。
() 3. 在日コリアンであるかどうかあまりこだわらない。
() 4. 在日コリアンであるかどうかまったくこだわらない。
() 5. できるだけ在日コリアンでない人と結婚してほしい。
() 6. 絶対在日コリアン以外の人と結婚してほしい。

国籍についてお伺いします。

- 52) あなたの国籍を教えてください。当てはまるものを一つ選んで○をつけて下さい。
 1. 韓国籍 2. 朝鮮籍 3. 日本国籍 (帰化済)
 4. その他:

53) 今、日本の法律が変わり、日本で生まれたり日本に長年住んでいる在日コリアンは帰化のような複雑な手続きをせずに日本国籍を採れることになったと仮定してください。そのとき、あなたは日本国籍を採ろうと思いませんか？それとも今の国籍のままですか？理由を添えて教えてください。

1. 日本国籍を採る。 2. 日本国籍は採らない。

その理由:

54) 日本の国籍法では、日本国籍を持たないもの、またその子供が日本国籍をとるときは『帰化』をいう手続きを採らなくてはならないことになっています。しかしアメリカなどでは親が外国籍でも、その子供がアメリカ国内で生まれた場合、その子供は生まれたときに自動的にアメリカ国籍を取ることができます。あなたはどちらの国籍法がよいと思いますか？

1. 日本の国籍法 2. アメリカの国籍法

55) 今の法律のままでも帰化をしたいと思いませんか？

1. ぜひ帰化したい 2. できれば帰化したい
 3. どちらでもいい 4. できればしたくない
 5. ぜったいにしたくない 6. わからない

55-A) 帰化したいと答えた一番大きな理由は何ですか？

55-B) 帰化したくないと答えた一番大きな理由は何ですか？

56) 以下の事柄についてあなたが

- | | | | |
|------------------|-----------|---|----------|
| 「ぜひ、そうなってほしい。」 | というものすべてに | 1 | を、 |
| 「できればそうなってほしい。」 | というものすべてに | 2 | を、 |
| 「どちらともいえない。」 | というものすべてに | 3 | を、 |
| 「あまりそうなってほしくない。」 | というものすべてに | 4 | を、 |
| 「絶対そうなってほしくない。」 | というものすべてに | 5 | を付けて下さい。 |

56-1) 外国籍の在日コリアン町会長がもっと増える。

56-2) 外国籍の在日コリアンPTA会長がもっと増える。

56-3) 外国籍の在日コリアンの学校の先生がもっと増える。

56-4) 外国籍の在日コリアンのホームヘルパーがもっと増える。

56-5) () 外国籍を持つ在日コリアンが日本人と同じように公務員として働く資格が認められる。

56-6) () 外国籍を持つ在日コリアンの地方参政権が認められる。

56-7) () 外国籍を持つ在日コリアンの国政参政権が認められる。

56-8) () 外国籍を持つ在日コリアンが市議員になる。

56-9) () 外国籍を持つ在日コリアンが総理大臣になる。

56-10) () 外国籍を持つ在日コリアンでもオリンピック日本代表になる。

57) 我々が質問をしたこと以外に何か付け加えたいことがありますか？ 個人的なことでも、在日コリアンに関することでも何でも構いません。あれば下の空白に自由に記入してください。

58) 後日、調査・研究員が今回アンケートに答えて下さった方にまた改めて質問をさせていただくことがあるかもしれません。もし再度ご協力いただけるのであれば、下の「協力可能」のほうに○を付けてください。また皆様の都合のよい曜日と時間帯を教えてください。

() 協力可 (都合のいい曜日：)
(都合のいい時間帯：)

() 協力不可

ご多忙な日々を過ごされておられる皆様にはなかなか難しいかもしれませんが、皆様のご協力なくしては、今調査は有意義なものには仕上がりにません。何とぞご理解の上、ご協力お願い申し上げます

以上でもってアンケートを終了させていただきます。皆様のご協力に調査員一同心より感謝いたしております。

実施責任 大阪市市民局人権啓発課
企 画 (財) ヒューマンライツ教育財団
理 事 長 松岡 徹
主任調査研究員 慎 和枝
協 力 西成区在日コリアン人権意識調査実行委員会
委 員 長 松岡 徹

西成区在日コリアン人権意識調査単純集計

問1. あなたの性別は？

項目	件数 (%)
1.男	: 75 (45.2)
2.女	: 91 (54.8)
N.A.	: - (0.0)

N =	: 166

問2. あなたの年齢は？

項目	件数 (%)
1. 18～29歳	: 30 (18.1)
2. 30～39歳	: 35 (21.1)
3. 40～49歳	: 39 (23.5)
4. 50～59歳	: 29 (17.5)
5. 60～69歳	: 33 (19.9)
N.A.	: - (0.0)

N =	: 166

問3. あなたは何世ですか？当てはまるものをつけてください。

項目	件数 (%)
1.一世	: 16 (9.6)
2.二世	: 99 (59.6)
3.三世	: 49 (29.5)
4.その他	: 2 (1.2)
N.A.	: - (0.0)

N =	: 166

問4. あなたは結婚していますか？

項目	件数 (%)
1.はい、結婚しています。	: 108 (65.1)
2.いいえ、結婚していません。	: 34 (20.5)
3.はい、しかし別居中です。	: - (0.0)
4.はい、しかし配偶者は亡くな	: 9 (5.4)
5.離婚しました。	: 14 (8.4)
N.A.	: 1 (0.6)

N =	: 166

問5. 子供はいますか？

項目	: 件数 (%)
1.はい	: 123 (74.1)
2.いいえ	: 41 (24.7)
N.A.	: 2 (1.2)
N =	: 166

問5. 子供は何人ですか？

項目	: 件数 (%)
1.1人	: 17 (13.8)
2.2人	: 43 (35.0)
3.3人	: 37 (30.1)
4.4人	: 19 (15.4)
5.5人	: 1 (0.8)
6.6人	: 3 (2.4)
7.7人	: 1 (0.8)
8.8人以上	: 1 (0.8)
N.A.	: 1 (0.8)
N =	: 123

問6. あなたの職業は何ですか？当てはまるものをつけてください。

項目	: 件数 (%)
1.会社員	: 29 (17.5)
2.自営業	: 39 (23.5)
3.専門職	: 12 (7.2)
4.フリーター、パートタイマー	: 22 (13.3)
5.学生	: 9 (5.4)
6.無職	: 33 (19.9)
7.その他	: 21 (12.7)
N.A.	: 1 (0.6)
N =	: 166

問7. (仕事をしている方に) あなた個人の月収を教えてください。自営業をされている場合は一カ月の平均的な売り上げで考えてください。

項目	: 件数 (%)
1.10万円未満	: 26 (21.1)
2.10万～20万円	: 31 (25.2)
3.21万～30万円	: 20 (16.3)
4.31万～40万円	: 13 (10.6)
5.41万円以上	: 13 (10.6)
6.その他	: 16 (13.0)
N.A.	: 4 (3.3)
N =	: 123

問8. お仕事で接するのが多いのは在日コリアンの方ですか？それとも日本の方ですか？

項目	: 件数 (%)
1.在日コリアン	: 19 (15.4)
2.日本人	: 76 (61.8)
3.大体半々	: 23 (18.7)
4.その他	: 4 (3.3)
N.A.	: 1 (0.8)

N =	: 123

問9. あなたは仕事場で日本の名前を使っていますか？それとも民族名を使っていますか？

項目	: 件数 (%)
1.日本名	: 107 (87.0)
2.民族名	: 13 (10.6)
3.その他	: 2 (1.6)
N.A.	: 1 (0.8)

N =	: 123

問10. 仕事場の人はあなたが在日コリアンであることを知っていますか？

項目	: 件数 (%)
1.皆知っていると思う。	: 82 (66.7)
2.全員ではないが知っている人	: 30 (24.4)
3.わからない。	: 4 (3.3)
4.皆知らないと思う。	: 5 (4.1)
N.A.	: 2 (1.6)

N =	: 123

問11. あなたのご近所の方はあなたが在日コリアンであることを知っていますか？

項目	: 件数 (%)
1.皆知っていると思う。	: 98 (59.0)
2.全員ではないが知っている人	: 56 (33.7)
3.わからない。	: 10 (6.0)
4.皆知らないと思う。	: 2 (1.2)
N.A.	: - (0.0)

N =	: 166

問12. あなたは西成区で生まれましたか？それとも、引っ越してきましたか？

項目	: 件数 (%)
1.西成区で生まれた。	: 80 (48.2)
2.引っ越してきた。	: 84 (50.6)
N.A.	: 2 (1.2)
N =	: 166

問13. 以下の事柄はあなたの西成区での生活を快適にしていますか？快適にしていると思うもの。

項目	: 件数 (%)
1.隣近所の人間関係	: 118 (71.1)
2.住宅の状況・環境	: 68 (41.0)
3.治安（火事や犯罪の発生）	: 53 (31.9)
4.人権保護対策	: 83 (50.0)
5.在日コリアンの数	: 98 (59.0)
6.学校教育の内容・環境	: 70 (42.2)
7.部落の存在	: 79 (47.6)
8.釜ヶ崎の存在	: 22 (13.3)
9.商店街・スーパーの数や値段	: 123 (74.1)
10.交通の便（バス、電車、道路）	: 111 (66.9)
N.A.	: 6 (3.6)
M.T. =	: 831 (500.6)
N =	: 166

問13. 以下の事柄はあなたの西成区での生活を快適にしていますか？不快にしていると思うもの。

項目	: 件数 (%)
1.隣近所の人間関係	: 24 (14.5)
2.住宅の状況・環境	: 71 (42.8)
3.治安（火事や犯罪の発生）	: 75 (45.2)
4.人権保護対策	: 44 (26.5)
5.在日コリアンの数	: 18 (10.8)
6.学校教育の内容・環境	: 57 (34.3)
7.部落の存在	: 38 (22.9)
8.釜ヶ崎の存在	: 101 (60.8)
9.商店街・スーパーの数や値段	: 17 (10.2)
10.交通の便（バス、電車、道路）	: 34 (20.5)
N.A.	: 6 (3.6)
M.T. =	: 485 (292.2)
N =	: 166

問14. あなたの西成区が一番好きなのところは何ですか？また一番嫌いなのところは何ですか？

項目	: 件数 (%)
1.記述あり	: 91 (54.8)
N.A.	: 75 (45.2)

N =	: 166

問15. 全体的に言って西成区はあなたにとって住み心地のよい場所ですか？

項目	: 件数 (%)
1.非常に住み心地が良い。	: 39 (23.5)
2.やや住み心地が良い。	: 37 (22.3)
3.普通	: 80 (48.2)
4.やや住み心地が悪い。	: 5 (3.0)
5.非常に住み心地が悪い。	: 4 (2.4)
N.A.	: 1 (0.6)

N =	: 166

問16. あなたはこれからも西成区で暮らしていこうと思っけていますか？最も適当だと思うものを一つ選んで○をつけてください。

項目	: 件数 (%)
1.ずっと住み続けていきたい	: 45 (27.1)
2.できることなら住み続けてい	: 47 (28.3)
3.どちらでもよい	: 51 (30.7)
4.できることなら引っ越しをし	: 21 (12.7)
5.できるだけ早く引っ越しをし	: 2 (1.2)
N.A.	: - (0.0)

N =	: 166

問17-1. 「西成区はいろいろな人種が住んでいるところだ。」

項目	: 件数 (%)
1.非常に腹立たしい。	: 16 (9.6)
2.腹立たしい。	: 24 (14.5)
3.特になにも感じない。	: 61 (36.7)
4.その通りだと思う。	: 46 (27.7)
5.まったくその通りだと思う。	: 18 (10.8)
N.A.	: 1 (0.6)

N =	: 166

問17-2. 「西成区は臭い、汚い。」

項目	件数 (%)
1.非常に腹立たしい。	: 33 (19.9)
2.腹立たしい。	: 51 (30.7)
3.特になにも感じない。	: 39 (23.5)
4.その通りだと思う。	: 31 (18.7)
5.まったくその通りだと思う。	: 12 (7.2)
N.A.	: - (0.0)
N =	: 166

問17-3. 「西成区は犯罪の多い、ガラの悪いところである。」

項目	件数 (%)
1.非常に腹立たしい。	: 28 (16.9)
2.腹立たしい。	: 43 (25.9)
3.特になにも感じない。	: 38 (22.9)
4.その通りだと思う。	: 50 (30.1)
5.まったくその通りだと思う。	: 6 (3.6)
N.A.	: 1 (0.6)
N =	: 166

問18. つぎの事柄（1 部落差別問題）は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	: 110 (66.3)
2.小さな問題である△	: 36 (21.7)
3.全く問題ではない×	: 14 (8.4)
N.A.	: 6 (3.6)
N =	: 166

問18. つぎの事柄（2 在日コリアン差別問題）は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	: 110 (66.3)
2.小さな問題である△	: 36 (21.7)
3.全く問題ではない×	: 12 (7.2)
N.A.	: 8 (4.8)
N =	: 166

問18. つぎの事柄（3 高齢者問題）は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	: 111 (66.9)
2.小さな問題である△	: 39 (23.5)
3.全く問題ではない×	: 9 (5.4)
N.A.	: 7 (4.2)
N =	: 166

問18. つぎの事柄（4 障害者問題）は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	: 100 (60.2)
2.小さな問題である△	: 45 (27.1)
3.全く問題ではない×	: 12 (7.2)
N.A.	: 9 (5.4)
N =	: 166

問18. つぎの事柄（5 あいりん・釜ヶ崎問題）は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	: 93 (56.0)
2.小さな問題である△	: 47 (28.3)
3.全く問題ではない×	: 16 (9.6)
N.A.	: 10 (6.0)
N =	: 166

問18. つぎの事柄（6 住宅環境問題）は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	: 80 (48.2)
2.小さな問題である△	: 51 (30.7)
3.全く問題ではない×	: 26 (15.7)
N.A.	: 9 (5.4)
N =	: 166

問18. つぎの事柄（7 その他）は西成区のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 7 (4.2)
2.小さな問題である△	: 2 (1.2)
3.全く問題ではない×	: 9 (5.4)
N.A.	: 148 (89.2)
N =	: 166

問19. つぎの事柄（1 部落差別問題）は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 110 (66.3)
2.小さな問題である△	: 36 (21.7)
3.全く問題ではない×	: 10 (6.0)
N.A.	: 10 (6.0)
N =	: 166

問19. つぎの事柄（2 在日コリアン差別問題）は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 115 (69.3)
2.小さな問題である△	: 35 (21.1)
3.全く問題ではない×	: 8 (4.8)
N.A.	: 8 (4.8)
N =	: 166

問19. つぎの事柄（3 高齢者問題）は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 130 (78.3)
2.小さな問題である△	: 24 (14.5)
3.全く問題ではない×	: 5 (3.0)
N.A.	: 7 (4.2)
N =	: 166

問19. つぎの事柄（4 障害者問題）は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 114 (68.7)
2.小さな問題である△	: 34 (20.5)
3.全く問題ではない×	: 9 (5.4)
N.A.	: 9 (5.4)

N =	: 166

問19. つぎの事柄（5 あいりん・釜ヶ崎問題）は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 78 (47.0)
2.小さな問題である△	: 50 (30.1)
3.全く問題ではない×	: 22 (13.3)
N.A.	: 16 (9.6)

N =	: 166

問19. つぎの事柄（6 住宅環境問題）は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 84 (50.6)
2.小さな問題である△	: 44 (26.5)
3.全く問題ではない×	: 22 (13.3)
N.A.	: 16 (9.6)

N =	: 166

問19. つぎの事柄（7 その他）は日本のなかでどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 5 (3.0)
2.小さな問題である△	: 1 (0.6)
3.全く問題ではない×	: 10 (6.0)
N.A.	: 150 (90.4)

N =	: 166

問20. 全体的にあって、西成区ではどのグループが一番差別されていると思いますか？

項目	: 件数 (%)
1.部落民	: 41 (24.7)
2.韓国・朝鮮人 (在日を含む)	: 63 (38.0)
3.障害者	: 23 (13.9)
4.高齢者	: 2 (1.2)
5.中国人	: 3 (1.8)
6.東南アジア人 (フィリピンや)	: 16 (9.6)
7.アメリカ人	: - (0.0)
8.その他	: 16 (9.6)
N.A.	: 12 (7.2)
M.T. =	: 176 (106.0)
N =	: 166

問21. 全体的にあって、日本ではどのグループが一番差別されていると思いますか？

項目	: 件数 (%)
1.部落民	: 39 (23.5)
2.韓国・朝鮮人 (在日を含む)	: 68 (41.0)
3.障害者	: 27 (16.3)
4.高齢者	: 4 (2.4)
5.中国人	: 2 (1.2)
6.東南アジア人 (フィリピンや)	: 15 (9.0)
7.アメリカ人	: - (0.0)
8.その他	: 12 (7.2)
N.A.	: 11 (6.6)
M.T. =	: 178 (107.2)
N =	: 166

問20. 全体的にあって、西成区ではどのグループが一番差別されていると思いますか？ひとつだけ選んで○を付けてください。

項目	: 件数 (%)
1.部落民	: 36 (21.7)
2.韓国・朝鮮人 (在日を含む)	: 63 (38.0)
3.障害者	: 19 (11.4)
4.高齢者	: 2 (1.2)
5.中国人	: 3 (1.8)
6.東南アジア人 (フィリピンや)	: 15 (9.0)
7.アメリカ人	: - (0.0)
8.その他	: 16 (9.6)
N.A.	: 12 (7.2)
N =	: 166

問21. 全体的にいて、日本ではどのグループが一番差別されていると思いますか？ひとつだけ選んで○を付けてください

項目	件数 (%)
1.部落民	: 33 (19.9)
2.韓国・朝鮮人 (在日を含む)	: 68 (41.0)
3.障害者	: 23 (13.9)
4.高齢者	: 4 (2.4)
5.中国人	: 2 (1.2)
6.東南アジア人 (フィリピンや)	: 13 (7.8)
7.アメリカ人	: - (0.0)
8.その他	: 12 (7.2)
N.A.	: 11 (6.6)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(1.韓国・朝鮮人をばかにする言葉でよばれたり、なじられたりされた。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 12 (7.2)
2.たまに起こった△	: 28 (16.9)
3.全く起こったことがない×	: 121 (72.9)
N.A.	: 5 (3.0)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(2.日本人から在日であるために暴力をふるわれた。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 2 (1.2)
2.たまに起こった△	: 4 (2.4)
3.全く起こったことがない×	: 155 (93.4)
N.A.	: 5 (3.0)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(3.就職を断わられたり、就職活動時に不快な思いをした。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 16 (9.6)
2.たまに起こった△	: 20 (12.0)
3.全く起こったことがない×	: 123 (74.1)
N.A.	: 7 (4.2)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(4.結婚や交際を断わられたり、交際中や結婚後不快な思いをした。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 16 (9.6)
2.たまに起こった△	: 8 (4.8)
3.全く起こったことがない×	: 135 (81.3)
N.A.	: 7 (4.2)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(5.友達をつくりにくかったり、友達が去っていったりした。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 8 (4.8)
2.たまに起こった△	: 6 (3.6)
3.全く起こったことがない×	: 146 (88.0)
N.A.	: 6 (3.6)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(6.公共の場で(役所や銀行)在日である為に、相手の待遇が悪かった。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 19 (11.4)
2.たまに起こった△	: 21 (12.7)
3.全く起こったことがない×	: 121 (72.9)
N.A.	: 5 (3.0)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(7.学校や職場、近所で仲間外れにあった。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 8 (4.8)
2.たまに起こった△	: 6 (3.6)
3.全く起こったことがない×	: 147 (88.6)
N.A.	: 5 (3.0)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(8.住宅の入居を断われた。)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 19 (11.4)
2.たまに起こった△	: 8 (4.8)
3.全く起こったことがない×	: 130 (78.3)
N.A.	: 9 (5.4)
N =	: 166

問22. 過去2～3年のあいだに、(9.その他)のような事柄は、直接あなたに起こったことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 3 (1.8)
2.たまに起こった△	: 1 (0.6)
3.全く起こったことがない×	: 30 (18.1)
N.A.	: 132 (79.5)
N =	: 166

問23. あなたが(22)の質問のような差別を乗り越えるのに一番大きな役割を果たした人は誰ですか？下から一つ選んでください。

項目	件数 (%)
1.親	: 31 (18.7)
2.兄弟姉妹	: 13 (7.8)
3.親戚	: 2 (1.2)
4.日本人の友人	: 18 (10.8)
5.在日コリアンの友人	: 9 (5.4)
6.日本人の学校の先生	: 3 (1.8)
7.在日コリアンの学校の先生	: 1 (0.6)
8.行政の人権相談窓口	: 2 (1.2)
9.民団や総連などの民族団体	: 10 (6.0)
10.その他の人権団体	: 3 (1.8)
11.その他	: 29 (17.5)
N.A.	: 50 (30.1)
M.T. =	: 171 (103.0)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、(1.韓国・朝鮮人をばかにする言葉でよばれたり、なじられたりされた。)のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 21 (12.7)
2.たまに起こった△	: 34 (20.5)
3.全く起こったことがない×	: 99 (59.6)
N.A.	: 12 (7.2)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、(2.日本人から在日であるために暴力をふるわれた。)のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 6 (3.6)
2.たまに起こった△	: 8 (4.8)
3.全く起こったことがない×	: 140 (84.3)
N.A.	: 12 (7.2)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、(3.就職を断わられたり、就職活動時に不快な思いをした。)のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 29 (17.5)
2.たまに起こった△	: 30 (18.1)
3.全く起こったことがない×	: 98 (59.0)
N.A.	: 9 (5.4)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、(4.結婚や交際を断わられたり、交際中や結婚後不快な思いをした。)のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 27 (16.3)
2.たまに起こった△	: 30 (18.1)
3.全く起こったことがない×	: 97 (58.4)
N.A.	: 12 (7.2)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、(5.友達をつくりにくかったり、友達が去っていったりした。)のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 11 (6.6)
2.たまに起こった△	: 15 (9.0)
3.全く起こったことがない×	: 127 (76.5)
N.A.	: 13 (7.8)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、（6.公共の場で（役所や銀行）在日である為に、相手の待遇がわるかった。）のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 17 (10.2)
2.たまに起こった△	: 18 (10.8)
3.全く起こったことがない×	: 118 (71.1)
N.A.	: 13 (7.8)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、（7.学校や職場、近所で仲間外れにあった。）のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 11 (6.6)
2.たまに起こった△	: 16 (9.6)
3.全く起こったことがない×	: 125 (75.3)
N.A.	: 14 (8.4)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、（8.住宅の入居を断われた。）のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 33 (19.9)
2.たまに起こった△	: 22 (13.3)
3.全く起こったことがない×	: 102 (61.4)
N.A.	: 9 (5.4)
N =	: 166

問24. 過去2～3年のあいだに、あなたの知っているほかの在日コリアンに、（9.その他）のような事柄が起こったと聞いたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.とても頻繁に起こった	: 3 (1.8)
2.たまに起こった△	: - (0.0)
3.全く起こったことがない×	: 40 (24.1)
N.A.	: 123 (74.1)
N =	: 166

問25. つぎの事柄（1.日本人と結婚するのが難しいこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 59 (35.5)
2.小さな問題である△	: 54 (32.5)
3.全く問題ではない×	: 42 (25.3)
N.A.	: 11 (6.6)
N =	: 166

問25. つぎの事柄（2.日本の地方、国政への参政権がないこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 122 (73.5)
2.小さな問題である△	: 26 (15.7)
3.全く問題ではない×	: 12 (7.2)
N.A.	: 6 (3.6)
N =	: 166

問25. つぎの事柄（3.朝鮮語が話せないこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 46 (27.7)
2.小さな問題である△	: 60 (36.1)
3.全く問題ではない×	: 53 (31.9)
N.A.	: 7 (4.2)
N =	: 166

問25. つぎの事柄（4.経済力がないこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 55 (33.1)
2.小さな問題である△	: 50 (30.1)
3.全く問題ではない×	: 53 (31.9)
N.A.	: 8 (4.8)
N =	: 166

問25. つぎの事柄（5.就職が難しいこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	100 (60.2)
2.小さな問題である△	39 (23.5)
3.全く問題ではない×	24 (14.5)
N.A.	3 (1.8)
N =	166

問25. つぎの事柄（6.祖国に帰って、暮らせないこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	31 (18.7)
2.小さな問題である△	30 (18.1)
3.全く問題ではない×	97 (58.4)
N.A.	8 (4.8)
N =	166

問25. つぎの事柄（7.日本国籍がないこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	70 (42.2)
2.小さな問題である△	40 (24.1)
3.全く問題ではない×	51 (30.7)
N.A.	5 (3.0)
N =	166

問25. つぎの事柄（8.帰化が難しいこと。）は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	件数 (%)
1.重要な問題である○	64 (38.6)
2.小さな問題である△	44 (26.5)
3.全く問題ではない×	50 (30.1)
N.A.	8 (4.8)
N =	166

問25. つぎの事柄 (9.いじめられたり、馬鹿にされたりすることが多いこと。) は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 42 (25.3)
2.小さな問題である△	: 38 (22.9)
3.全く問題ではない×	: 78 (47.0)
N.A.	: 8 (4.8)

N =	: 166

問25. つぎの事柄 (10.日本人の友達がつくりにくいこと。) は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 16 (9.6)
2.小さな問題である△	: 29 (17.5)
3.全く問題ではない×	: 112 (67.5)
N.A.	: 9 (5.4)

N =	: 166

問25. つぎの事柄 (11.国籍条項のせいで奨学金を受けたり、公務員になることが難しいこと。) は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 106 (63.9)
2.小さな問題である△	: 31 (18.7)
3.全く問題ではない×	: 24 (14.5)
N.A.	: 5 (3.0)

N =	: 166

問25. つぎの事柄 (12.民団と総連の仲が悪く、在日どうし団結力がないこと。) は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 69 (41.6)
2.小さな問題である△	: 45 (27.1)
3.全く問題ではない×	: 40 (24.1)
N.A.	: 12 (7.2)

N =	: 166

問25. つぎの事柄 (13.その他) は在日コリアンにとってどのような問題だとあなたは考えていますか？

項目	: 件数 (%)
1.重要な問題である○	: 2 (1.2)
2.小さな問題である△	: 4 (2.4)
3.全く問題ではない×	: 19 (11.4)
N.A.	: 141 (84.9)

N =	: 166

問26. 三年後に、医療保険制度と同じように、高齢者の介護にも「公的介護保険」制度が導入されようとしていますが、あなたはこの制度についてご存知ですか？

項目	: 件数 (%)
1.制度内容を良く知っている。	: 14 (8.4)
2.新聞やテレビなどの報道で聞	: 101 (60.8)
3.聞いたこともない。	: 50 (30.1)
N.A.	: 1 (0.6)

N =	: 166

問26-A・上で「知っている」または「聞いたことがある」と答えた方に聞きます。制度がスタートしたら、あなたは保険に加入したいと思いますか？

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ加入したい。	: 8 (7.0)
2.制度を良く理解したうえで決	: 68 (59.1)
3.どちらともいえない。	: 28 (24.3)
4.加入しようとは思わない。	: 10 (8.7)
N.A.	: 1 (0.9)

N =	: 115

問27. あなたは自分が介護が必要になった場合、誰に介護してもらいたいと思いますか？あてはまるものすべてに○を付けてください。

項目	: 件数 (%)
1.つれあい (夫/妻)	: 99 (59.6)
2.子供	: 60 (36.1)
3.親戚	: 8 (4.8)
4.日本人のホームヘルパー	: 30 (18.1)
5.在日コリアンのホームヘルパ	: 25 (15.1)
6.老人ホームのヘルパー	: 29 (17.5)
7.その他	: 12 (7.2)
N.A.	: 3 (1.8)

M.T. =	: 266 (160.2)
N =	: 166

問28. あなたはどのような活動に参加していますか？ 現在参加しているもの。

項目	件数 (%)
1.P T Aの活動	: 16 (9.6)
2.町会の活動	: 22 (13.3)
3.子供会の活動	: 7 (4.2)
4.ボランティア活動	: 3 (1.8)
5.民団・総連の活動	: 8 (4.8)
6.習い事など、講習講座	: 8 (4.8)
7.在日コリアン同士の会	: 5 (3.0)
8.その他	: 5 (3.0)
N.A.	: 58 (34.9)
M.T. =	: 132 (79.5)
N =	: 166

問28. あなたはどのような活動に参加していますか？ 参加したことがあるもの。

項目	件数 (%)
1.P T Aの活動	: 22 (13.3)
2.町会の活動	: 19 (11.4)
3.子供会の活動	: 19 (11.4)
4.ボランティア活動	: 13 (7.8)
5.民団・総連の活動	: 16 (9.6)
6.習い事など、講習講座	: 15 (9.0)
7.在日コリアン同士の会	: 9 (5.4)
8.その他	: - (0.0)
N.A.	: 58 (34.9)
M.T. =	: 171 (103.0)
N =	: 166

問28. あなたはどのような活動に参加していますか？ 役員として積極的に参加していたもの。

項目	件数 (%)
1.P T Aの活動	: 11 (6.6)
2.町会の活動	: 6 (3.6)
3.子供会の活動	: 2 (1.2)
4.ボランティア活動	: 7 (4.2)
5.民団・総連の活動	: 7 (4.2)
6.習い事など、講習講座	: 4 (2.4)
7.在日コリアン同士の会	: 3 (1.8)
8.その他	: - (0.0)
N.A.	: 58 (34.9)
M.T. =	: 98 (59.0)
N =	: 166

問29. 在日コリアンは、西成のまちを良くするのに貢献できると思いますか？あなたの意見に最も近いものを一つ選んで○を付けてください。

項目	件数 (%)
1.とても貢献できると思う。	: 52 (31.3)
2.やや貢献できると思う。	: 41 (24.7)
3.どちらともいえない。	: 56 (33.7)
4.あまり貢献できるとは思えない	: 11 (6.6)
5.全く貢献できると思えない。	: 3 (1.8)
N.A.	: 3 (1.8)

N =	: 166

問30. 西成のまちを良くするために一番大切だと思うことを一つ選んで○を記入してください。

項目	件数 (%)
1.老朽密集住宅の改善	: 20 (12.0)
2.道路・交通網の整備	: 18 (10.8)
3.緑地・公園の整備	: 10 (6.0)
4.産業商業の振興（皮産業や商	: 29 (17.5)
5.高齢者や障害者などへの福祉	: 28 (16.9)
6.教育やボランティアなどの人材	: 7 (4.2)
7.釜ヶ崎問題や同和問題などの人	: 25 (15.1)
8.西成区民自身の努力	: 36 (21.7)
9.その他	: 4 (2.4)
N.A.	: 2 (1.2)

M.T. =	: 179 (107.8)
N =	: 166

問31. 公営住宅家賃や保育料の減免など、同和地区住民を対象とした同和対策が実施されていますが、このような同和地区住民に対してのみ行われる特別対策は逆差別であるという意見があります。あなたはそのような意見に対してどう思いますか？

項目	件数 (%)
1.その通りだと思う。特別対策	: 35 (21.1)
2.特別対策は逆差別ではない。	: 52 (31.3)
3.どちらともいえない。	: 78 (47.0)
N.A.	: 1 (0.6)

N =	: 166

問32. あなたの最終学歴を教えてください。

項目	: 件数 (%)
1.小学校	: 14 (8.4)
2.中学校	: 48 (28.9)
3.高校	: 64 (38.6)
4.短大	: 4 (2.4)
5.大学	: 19 (11.4)
6.大学院	: - (0.0)
7.専門学校	: 8 (4.8)
8.その他	: 6 (3.6)
N.A.	: 3 (1.8)

N = : 166

問33. あなたはこれまでどこで民族教育を受けた経験がありますか？当てはまるものすべてに○してください。（ここでいう民族教育とは文化や歴史など、朝鮮・韓国にまつわる知識を得た体験を差しています。

項目	: 件数 (%)
1.母国の学校など	: 20 (12.0)
2.家族、親戚から	: 36 (21.7)
3.民族学校で	: 34 (20.5)
4.仲間内のサークルなどで	: 9 (5.4)
5.民族団体、教会などで	: 22 (13.3)
6.独学で	: 16 (9.6)
7.日本の学校で	: 36 (21.7)
8.全くない	: 43 (25.9)
N.A.	: 3 (1.8)

M.T. = : 219 (131.9)
N = : 166

問34. あなたは民族の言葉（韓国語／朝鮮語）をどれくらい知っていますか？1.話すこと(会話)

項目	: 件数 (%)
1.「できる」	: 18 (10.8)
2.「少しできる」	: 27 (16.3)
3.「いくつかの単語程度ならで	: 35 (21.1)
4.「全くできない」	: 56 (33.7)
N.A.	: 30 (18.1)

N = : 166

問34. あなたは民族の言葉（韓国語／朝鮮語）をどれぐらい知っていますか？2.聞くこと(理解)

項目	件数 (%)
1. 「できる」	: 21 (12.7)
2. 「少しできる」	: 37 (22.3)
3. 「いくつかの単語程度ならで	: 26 (15.7)
4. 「全くできない」	: 53 (31.9)
N.A.	: 29 (17.5)

N =	: 166

問34. あなたは民族の言葉（韓国語／朝鮮語）をどれぐらい知っていますか？3.読むこと

項目	件数 (%)
1. 「できる」	: 21 (12.7)
2. 「少しできる」	: 26 (15.7)
3. 「いくつかの単語程度ならで	: 12 (7.2)
4. 「全くできない」	: 74 (44.6)
N.A.	: 33 (19.9)

N =	: 166

問34. あなたは民族の言葉（韓国語／朝鮮語）をどれぐらい知っていますか？4.書くこと

項目	件数 (%)
1. 「できる」	: 18 (10.8)
2. 「少しできる」	: 24 (14.5)
3. 「いくつかの単語程度ならで	: 15 (9.0)
4. 「全くできない」	: 77 (46.4)
N.A.	: 32 (19.3)

N =	: 166

問34-A. (一世の方だけに) あなたは日本語の読み書きができますか？そしてそれをどのように学びましたか？

項目	件数 (%)
1.読み書きできない。	: 7 (43.8)
2.独学で学んでできるようにな	: 5 (31.3)
3.学校で学んでできるようにな	: 1 (6.3)
4.その他	: 1 (6.3)
N.A.	: 2 (12.5)

N =	: 16

問35. あなたは、あなたのお子さんやお孫さんなど若い世代の人達に広い意味での自分の民族についての教育を受けさせたいと思いますか？

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ受けさせたい	: 29 (17.5)
2.別に必要とは思わない	: 23 (13.9)
3.できることなら受けさせたい	: 32 (19.3)
4.関心がない	: 10 (6.0)
5.本人次第	: 64 (38.6)
N.A.	: 8 (4.8)
N =	: 166

問36. あなたが在日コリアンとして子供達にこれだけは伝えておきたい、あるいは一番伝えたいことがあるらお書きください。問

項目	: 件数 (%)
1.記述あり	: 50 (30.1)
N.A.	: 116 (69.9)
N =	: 166

問37. 日本の小中学校での「民族教育」についてあなたの考えに最も近いものを一つ選んで○を記入してください。問

項目	: 件数 (%)
1.「民族教育」は絶対に必要だ	: 53 (31.9)
2.「民族教育」は必要だと思う	: 49 (29.5)
3.「民族教育」は特に必要ない	: 25 (15.1)
4.「民族教育」は全く必要ない	: 7 (4.2)
5.「民族教育」のことはよくわ	: 28 (16.9)
N.A.	: 4 (2.4)
N =	: 166

問38. 「民族学校」について、あなたの考えに最も近いものを一つ選んで○を記入してください。

項目	: 件数 (%)
1.「民族教育」は絶対に必要だ	: 56 (33.7)
2.「民族教育」は必要だと思う	: 36 (21.7)
3.「民族教育」は特に必要ない	: 24 (14.5)
4.「民族教育」は全く必要ない	: 6 (3.6)
5.「民族教育」のことはよくわ	: 37 (22.3)
N.A.	: 7 (4.2)
N =	: 166

問39. あなたの家族のなかで朝鮮・韓国語を話す人はいますか？

項目	: 件数 (%)
1.はい	: 76 (45.8)
2.いいえ	: 84 (50.6)
N.A.	: 6 (3.6)

N =	: 166

問40. あなたの家での生活に、次のようなことがありますか？あるというものすべてに○を付けてください。

項目	: 件数 (%)
1.キムチなど民族料理をよく食	: 144 (86.7)
2.人形、置物など民族的なもの	: 72 (43.4)
3.自分、あるいは家族が民族衣	: 119 (71.7)
4.チェサ(民族式の先祖供養)	: 124 (74.7)
5.母国の本や歌のCDやカセット	: 59 (35.5)
6.母国の踊りを自分、あるいは	: 66 (39.8)
7.その他	: 5 (3.0)
8.全く民族的なことはない。全	: 14 (8.4)
N.A.	: 2 (1.2)

M.T. =	: 605 (364.5)
N =	: 166

問41. あなたは韓国に今まで何回行ったことがありますか？

項目	: 件数 (%)
1.1回	: 29 (17.5)
2.2回	: 16 (9.6)
3.3回	: 11 (6.6)
4.~5回	: 8 (4.8)
5.~10回	: 9 (5.4)
6.~25回	: 6 (3.6)
7.~50回	: 2 (1.2)
8.~100回	: - (0.0)
N.A.	: 85 (51.2)

N =	: 166

問41. あなたは北朝鮮に今まで何回行ったことがありますか？

項目	件数 (%)
1. 1回	: 4 (2.4)
2. 2回	: 1 (0.6)
3. 3回	: 1 (0.6)
4. ~ 5回	: - (0.0)
5. ~ 10回	: - (0.0)
6. ~ 25回	: - (0.0)
7. ~ 50回	: - (0.0)
8. ~ 100回	: - (0.0)
N.A.	: 160 (96.4)

N =	: 166

問41. あなたは韓国や北朝鮮に行ったことがありますか？

項目	件数 (%)
1. 韓国	: 86 (51.8)
2. 北朝鮮	: 6 (3.6)
3. どちらへも行ったことが全く	: 73 (44.0)
N.A.	: 4 (2.4)

M.T. =	: 169 (101.8)
N =	: 166

問41-A. 渡航の目的は主に何ですか？

項目	件数 (%)
1. 親戚訪問	: 55 (33.1)
2. 観光	: 38 (22.9)
3. 仕事関係	: 6 (3.6)
4. 友人訪問	: 7 (4.2)
5. 墓参り	: 50 (30.1)
6. 留学・ホームステイ	: 4 (2.4)
7. その他	: 9 (5.4)
N.A.	: 76 (45.8)

M.T. =	: 245 (147.6)
N =	: 166

問42. あなたは韓国／北朝鮮に親戚がいますか？当てはまるものすべてにをして下さい

項目	: 件数 (%)
1.祖父母	: 6 (3.6)
2.父母	: 9 (5.4)
3.兄弟姉妹 (のいずれか)	: 33 (19.9)
4.孫	: 3 (1.8)
5.子供	: 3 (1.8)
6.叔・伯父、叔・伯母	: 79 (47.6)
7.いとこ、またいとこなど	: 74 (44.6)
8.その他	: 19 (11.4)
N.A.	: 20 (12.0)
M.T. =	: 246 (148.2)
N =	: 166

問42-A. その親戚との連絡はありますか？

項目	: 件数 (%)
1.年に一回以上連絡しあっている	: 38 (22.9)
2.特に重大なことがあれば連絡	: 41 (24.7)
3.住所だけは分かっている。	: 26 (15.7)
4.全く住所も分からない。	: 34 (20.5)
5.親戚は全くいない。	: 9 (5.4)
N.A.	: 18 (10.8)
N =	: 166

問43. あなたが日常おつきあいをしている人々は、日本人のほうが多いですか？それとも在日コリアンのほうが多いですか？

項目	: 件数 (%)
1.日本人のほうが多い	: 97 (58.4)
2.在日コリアンのほうが多い	: 20 (12.0)
3.半々である	: 48 (28.9)
N.A.	: 1 (0.6)
N =	: 166

問44. あなたが家族以外で一番親しくしている日本人、は何人ぐらいいますか？

項目	: 件数 (%)
1.1人	: 4 (2.4)
2.2人	: 7 (4.2)
3.3人	: 34 (20.5)
4.~5人	: 26 (15.7)
5.~10人	: 35 (21.1)
6.~25人	: 8 (4.8)
7.~50人	: 3 (1.8)
8.~100人	: 4 (2.4)
N.A.	: 45 (27.1)
N =	: 166

問44. あなたが家族以外で一番親しくしている在日コリアンは何人ぐらいいますか？

項目	: 件数 (%)
1. 1人	: 13 (7.8)
2. 2人	: 16 (9.6)
3. 3人	: 13 (7.8)
4. ~5人	: 25 (15.1)
5. ~10人	: 24 (14.5)
6. ~25人	: 9 (5.4)
7. ~50人	: 2 (1.2)
8. ~100人	: 1 (0.6)
N.A.	: 63 (38.0)

N = : 166

問45. あなたは頻繁に交流する家族以外の在日コリアンの方はいますか？

項目	: 件数 (%)
1. はい	: 105 (63.3)
2. いいえ	: 51 (30.7)
N.A.	: 10 (6.0)

N = : 166

問46. (45で「はい」と答えた方に) それは誰ですか？

項目	: 件数 (%)
1. 親戚	: 39 (23.5)
2. 近所の人	: 41 (24.7)
3. 学校や仕事場で知り合った人	: 48 (28.9)
4. 子供の学校関係の人	: 15 (9.0)
5. 民団や総連を通して知り合っ	: 14 (8.4)
6. 同胞の会やサークルにはいっ	: 11 (6.6)
7. その他	: 9 (5.4)
N.A.	: 56 (33.7)

M.T. = : 233 (140.4)

N = : 166

問47. あなたは今までに自分が在日コリアンであることで結婚や交際を断われたことがありますか？

項目	: 件数 (%)
1. はい	: 29 (17.5)
2. いいえ	: 131 (78.9)
N.A.	: 6 (3.6)

N = : 166

問48. あなたは今までに結婚や交際をする過程で、自分が在日コリアンであることで親戚付き合いなどにおいて差別を受けたことがありますか？

項目	件数 (%)
1.はい	: 20 (12.0)
2.いいえ	: 135 (81.3)
N.A.	: 11 (6.6)
N =	: 166

問49. (配偶者がいる方に) あなたの配偶者は日本人ですか？在日コリアンですか？

項目	件数 (%)
1.在日コリアン	: 76 (58.0)
2.日本人	: 32 (24.4)
3.その他	: 2 (1.5)
N.A.	: 21 (16.0)
N =	: 131

問50. (配偶者がいない方に) 次のうちからあなたの意見に最も近いものを一つ選んで、○を付けてください。

項目	件数 (%)
1.絶対在日コリアンと結婚した	: 1 (2.9)
2.できるだけ在日コリアンと結	: 4 (11.8)
3.在日コリアンであるかどうか	: 9 (26.5)
4.在日コリアンであるかどうか	: 12 (35.3)
5.できるだけ在日コリアンでな	: 1 (2.9)
6.絶対在日コリアン以外の人と	: 2 (5.9)
N.A.	: 5 (14.7)
N =	: 34

問51. あなたのお子さんの結婚についてお聞きします。次のうちからあなたの意見に最も近いものを一つ選んで、○を付けてください。

項目	件数 (%)
1.絶対在日コリアンと結婚して	: 9 (5.4)
2.できるだけ在日コリアンと結	: 34 (20.5)
3.在日コリアンであるかどうか	: 39 (23.5)
4.在日コリアンであるかどうか	: 47 (28.3)
5.できるだけ在日コリアンでな	: 3 (1.8)
6.絶対在日コリアン以外の人と	: 4 (2.4)
N.A.	: 30 (18.1)
N =	: 166

問52. あなたの国籍を教えてください。当てはまるものを一つ選んで○をつけて下さい。

項目	: 件数 (%)
1.韓国籍	: 141 (84.9)
2.朝鮮籍	: 12 (7.2)
3.日本国籍 (帰化済)	: 12 (7.2)
4.その他	: - (0.0)
N.A.	: 1 (0.6)
N =	: 166

問53. 今、日本の法律が変わり、日本で生まれたり日本に長年住んでいる在日コリアンは帰化のような複雑な手続きをせずに日本国籍を採れることになったとき。

項目	: 件数 (%)
1.日本国籍を採る。	: 85 (51.2)
2.日本国籍は採らない。	: 64 (38.6)
N.A.	: 17 (10.2)
N =	: 166

問54. 日本の国籍法、アメリカの国籍法どちらの国籍法がよいと思いますか？

項目	: 件数 (%)
1.日本の国籍法	: 23 (13.9)
2.アメリカの国籍法	: 137 (82.5)
N.A.	: 6 (3.6)
N =	: 166

問55. 今の法律のままでも帰化をしたいと思いますか？

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ帰化したい	: 22 (13.3)
2.できれば帰化したい	: 33 (19.9)
3.どちらでもいい	: 40 (24.1)
4.できればしたくない	: 24 (14.5)
5.ぜったいにしたくない	: 17 (10.2)
6.わからない	: 17 (10.2)
N.A.	: 13 (7.8)
N =	: 166

問56-1. 外国籍の在日コリアン町会長がもっと増える。

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	: 19 (11.4)
2.できればそうなってほしい。	: 31 (18.7)
3.どちらともいえない。	: 89 (53.6)
4.あまりそうなってほしくない。	: 11 (6.6)
5.絶対そうなってほしくない。	: 4 (2.4)
N.A.	: 12 (7.2)
N =	: 166

問56-2. 外国籍の在日コリアンPTA会長がもっと増える。

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	: 20 (12.0)
2.できればそうなってほしい。	: 27 (16.3)
3.どちらともいえない。	: 97 (58.4)
4.あまりそうなってほしくない。	: 5 (3.0)
5.絶対そうなってほしくない。	: 4 (2.4)
N.A.	: 13 (7.8)
N =	: 166

問56-3. 外国籍の在日コリアンの学校の先生がもっと増える。

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	: 47 (28.3)
2.できればそうなってほしい。	: 43 (25.9)
3.どちらともいえない。	: 56 (33.7)
4.あまりそうなってほしくない。	: 5 (3.0)
5.絶対そうなってほしくない。	: 2 (1.2)
N.A.	: 13 (7.8)
N =	: 166

問56-4. 外国籍の在日コリアンのホームヘルパーがもっと増える。

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	: 44 (26.5)
2.できればそうなってほしい。	: 44 (26.5)
3.どちらともいえない。	: 65 (39.2)
4.あまりそうなってほしくない。	: 2 (1.2)
5.絶対そうなってほしくない。	: - (0.0)
N.A.	: 11 (6.6)
N =	: 166

問56-5. 外国籍を持つ在日コリアンが日本人と同じように公務員として働く資格が認められる。

項目	件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	116 (69.9)
2.できればそうなってほしい。	27 (16.3)
3.どちらともいえない。	12 (7.2)
4.あまりそうなってほしくない。	2 (1.2)
5.絶対そうなってほしくない。	1 (0.6)
N.A.	8 (4.8)

N =	166

問56-6. 外国籍を持つ在日コリアンの地方参政権が認められる。

項目	件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	113 (68.1)
2.できればそうなってほしい。	24 (14.5)
3.どちらともいえない。	13 (7.8)
4.あまりそうなってほしくない。	4 (2.4)
5.絶対そうなってほしくない。	4 (2.4)
N.A.	8 (4.8)

N =	166

問56-7. 外国籍を持つ在日コリアンの国政参政権が認められる。

項目	件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	102 (61.4)
2.できればそうなってほしい。	27 (16.3)
3.どちらともいえない。	19 (11.4)
4.あまりそうなってほしくない。	4 (2.4)
5.絶対そうなってほしくない。	5 (3.0)
N.A.	9 (5.4)

N =	166

問56-8. 外国籍を持つ在日コリアンが市議員になる。

項目	件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	79 (47.6)
2.できればそうなってほしい。	37 (22.3)
3.どちらともいえない。	33 (19.9)
4.あまりそうなってほしくない。	3 (1.8)
5.絶対そうなってほしくない。	5 (3.0)
N.A.	9 (5.4)

N =	166

問56-9. 外国籍を持つ在日コリアンが総理大臣になる。

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	: 36 (21.7)
2.できればそうなってほしい。	: 19 (11.4)
3.どちらともいえない。	: 68 (41.0)
4.あまりそうなってほしくない。	: 18 (10.8)
5.絶対そうなってほしくない。	: 14 (8.4)
N.A.	: 11 (6.6)
N =	: 166

問56-10.外国籍を持つ在日コリアンでもオリンピック日本代表になる。

項目	: 件数 (%)
1.ぜひ、そうなってほしい。	: 70 (42.2)
2.できればそうなってほしい。	: 26 (15.7)
3.どちらともいえない。	: 51 (30.7)
4.あまりそうなってほしくない。	: 3 (1.8)
5.絶対そうなってほしくない。	: 6 (3.6)
N.A.	: 10 (6.0)
N =	: 166

問57. 我々が質問をしたこと以外に何か付け加えたいことがありますか？個人的なことでも、在日コリアンに関することでも何でも構いません。あれば下の空白に自由に記入してください。

項目	: 件数 (%)
1.記述あり	: 28 (16.9)
N.A.	: 138 (83.1)
N =	: 166

西成区在日コリアン人権意識調査自由記述

自由記述 < 摘録 >

注意) 韓=韓国籍、朝=朝鮮籍、日=帰化済日本国籍

6) < 職業・業種 >

① 会社員 (業種)

事務員	(韓・21歳・女)	(韓・26歳・女)
ゼネラルコンストラクチャー (施工管理)		(韓・26歳・男)
婦人製靴 (縁故勧職)		(日・18歳・男)
飲食店		(韓・27歳・男)
婦人靴加工 (底付)		(韓・28歳・男)
婦人服メーカー (経理)		(朝・38歳・女)
金融業 (経理)		(韓・33歳・女)
建設業 (事務)		(韓・33歳・女)
金属業		(韓・31歳・男)
営業		(日・35歳・男)
運送業 (主務)		(韓・38歳・男)
海運業 (部長)		(韓・39歳・男)
皮革製品製造業		(韓・36歳・男)
病院の給食調理委員		(韓・46歳・女)
営業		(韓・40歳・女)
製甲師		(韓・48歳・男)
タクシー		(韓・42歳・男)
貿易		(韓・46歳・男)
靴メーカー		(韓・40歳・男)
土木業		(韓・40歳・男)
車のガラス屋		(韓・44歳・男)
事務		(韓・53歳・女)
靴裁断		(韓・54歳・男)
婦人靴製造 (代表者)		(韓・50歳・男)
婦人靴製造		(朝・59歳・男)
技術		(韓・53歳・男)
飲食業 (経理)		(朝・60歳・女)
警備 (学校用務員)		(韓・66歳・男)

② 自営業 (業種)

婦人靴製造 (縁故勧職)	(日・18歳・男)
婦人靴製造	(韓・36歳・男)
製造業	(韓・37歳・男)
婦人靴メーカー	(韓・39歳・男)
家電製品販売	(韓・35歳・男)
皮革	(朝・43歳・女)
製靴業	(韓・42歳・女)
くつ	(韓・45歳・女)
飲食店	(韓・40歳・女)
衣料品販売	(韓・46歳・男)
婦人靴製造業	(韓・42歳・男)
タイル工	(韓・49歳・男)

電気工事		(朝・43歳・男)
製甲師		(韓・41歳・男)
靴製造業	(韓・45歳・男)	(韓・44歳・男)
運送業		(日・49歳・男)
個人タクシー		(韓・47歳・男)
甲皮		(韓・50歳・女)
ベルト縫製		(韓・59歳・女)
婦人靴製造	(日・50歳・男)	(韓・59歳・男)
シューズ		(韓・54歳・男)
靴製造、加工業		(韓・51歳・男)
製革化業		(韓・50歳・男)
製甲		(韓・66歳・女)
製靴	(韓・63歳・女)	(日・63歳・女)
飲食業		(韓・65歳・女)
製靴業		(韓・63歳・男)
婦人靴製造		(韓・63歳・男)
靴卸		(韓・64歳・男)

③専門職（業種）

看護婦	(韓・26歳・女)	(韓・34歳・女)	(韓・35歳・女)
運送業			(韓・23歳・男)
内装業			(韓・25歳・男)
トラック運転手			(韓・28歳・男)
ホームヘルパー		(韓・31歳・女)	(韓・41歳・女)
裁断			(日・43歳・女)
ボードバリ			(韓・54歳・男)
くつ			(韓・60歳・女)
製靴底付			(韓・61歳・男)

④フリーター、パートタイマー（業種）

飲食店		(韓・25歳・女)
喫茶、パート		(朝・35歳・女)
キーパンチャー		(韓・37歳・女)
ウエイトレス		(韓・39歳・女)
事務員		(日・38歳・女)
婦人くつ		(韓・45歳・女)
靴仕上		(韓・44歳・女)
飲食		(朝・41歳・女)
靴製造（事務パート）		(韓・43歳・女)
チャレンジドの職員		(韓・42歳・男)
靴の仕上		(韓・58歳・女)
運転手		(韓・54歳・男)
くつ		(朝・62歳・女)
くつ仕上げ		(韓・62歳・女)
靴関係		(韓・61歳・男)

⑦その他

団体職員		(韓・22歳・女)
福祉施設職員		(韓・27歳・女)
きそ工事などの仕事		(韓・27歳・男)

福祉施設内常勤アルバイト	(韓・39歳・女)
家(製甲業)の手伝い	(韓・35歳・女)
給食調理員	(韓・35歳・女)
家業手伝い	(韓・32歳・女)
内職	(日・35歳・女)
土木作業員	(韓・37歳・男)
専業主婦	(韓・46歳・女)
ヒール内職	(韓・48歳・女)
内職	(韓・48歳・女)
靴の内職	(韓・55歳・女)
日働人夫	(韓・46歳・男)
土木	(韓・54歳・男)
内職(靴関係)	(韓・62歳・女)
生きがい事業団	(韓・78歳・男) (朝・76歳・男) (韓・79歳・男)

12) <区来住年>

3年	(韓・53歳・女)		
6年	(韓・64歳・女)		
7年	(韓・80歳・男)		
8年	(韓・35歳・女)		
9年	(韓・35歳・女)		
10年	(朝・35歳・女)	(朝・38歳・女)	
11年	(韓・59歳・女)		
12年	(韓・35歳・男)		
14年	(韓・39歳・女)		
15年	(韓・62歳・女)	(韓・19歳・男)	
16年	(朝・43歳・女)		
17年	(朝・41歳・女)		
18年	(韓・41歳・女)	(韓・40歳・女)	(韓・42歳・女)
	(韓・57歳・男)	(韓・31歳・女)	
20年	(韓・32歳・女)	(韓・33歳・女)	(韓・45歳・女)
	(韓・49歳・男)	(韓・50歳・女)	
23年	(日・33歳・女)	(韓・42歳・女)	(韓・48歳・女)
25年	(朝・50歳・女)	(韓・50歳・男)	
26年	(朝・62歳・女)	(朝・76歳・男)	
27年	(韓・45歳・女)		
28年	(日・38歳・女)		
29年	(朝・60歳・女)		
30年	(韓・47歳・男)	(韓・53歳・女)	(韓・54歳・男)
	(韓・62歳・女)		
32年	(韓・33歳・女)	(韓・62歳・女)	
33年	(韓・48歳・男)		
34年	(韓・54歳・女)		
35年	(韓・65歳・女)	(韓・51歳・男)	(韓・42歳・男)
	(朝・46歳・男)	(韓・45歳・男)	(韓・44歳・女)
	(韓・36歳・男)		
37年	(韓・60歳・女)		
38年	(韓・58歳・女)		
39年	(日・43歳・女)		
40年	(韓・73歳・男)	(韓・63歳・男)	(韓・66歳・男)
	(韓・59歳・男)	(韓・63歳・女)	(韓・59歳・女)

(韓・54歳・女) (韓・55歳・女) (韓・45歳・男)
 42年 (日・63歳・女)
 43年 (韓・48歳・男)
 44年 (韓・64歳・女) (韓・46歳・女)
 45年 (韓・54歳・男) (韓・63歳・男)
 50年 (朝・59歳・男) (韓・55歳・男) (韓・63歳・男)
 60年 (韓・66歳・女)
 63年 (韓・79歳・男)
 67年 (韓・78歳・女)
 65年 (韓・73歳・女)
 72年 (韓・78歳・男)

14) <西成区の一番好きなおとこ>

スーパーやお風呂やさんとか、コンビニが近いこと。 (韓・17歳・女)
 商店街があり、買い物が便利。交通面がよい。近所付き合いがよい。 (韓・21歳・女)
 物価が安い。 (韓・24歳・女)
 近くには、スーパーなどがあって、何でも安い所。 (韓・19歳・女)
 何でもありでおもしろい町だと思う。 (韓・26歳・女)
 人権問題について、取り組んでいるところ。 (韓・22歳・女)
 別にないが、自分が生まれ育った町なので嫌いではない。 (韓・26歳・男)
 住みやすく、深く親しみを感じる。 (日・18歳・男)
 家賃などの安さ。 (韓・28歳・男)
 人間関係。 (韓・20歳・男)
 ドロくさいところ。 (韓・25歳・男)
 交通の便がいい。 (韓・19歳・男)
 下町情緒があって肩をはずずに、生活できる。 (韓・39歳・女)
 買い物がしやすい。 (朝・35歳・女)
 気楽に住める。 (韓・34歳・女)
 住みなれているところ、したしみがある。 (韓・36歳・女)
 地下鉄が便利、物価が安い。 (朝・38歳・女)
 便利。 (韓・37歳・女)
 同じ様な在日韓国人が多いので、西成のなかでは、韓国人としての差別はほとんどなく、まわりの日本の人の方も、同じ人間やんかという感じで見ている。 (韓・30歳・女)
 物価が安い所が良いと思う。 (韓・31歳・女)
 下町で人情みがあるところ。 (韓・39歳・女)
 交通便利、物価安い、在日コリアンが多い。 (韓・35歳・女)
 やさしい人達。 (韓・30歳・女)
 市内のまん中で便利が良いところがよい。 (韓・35歳・女)
 交通の便がいい。 (韓・36歳・男)

人情味がある。 (韓・73歳・女)
 物価が安い。買い物がしやすい。 (韓・61歳・女)
 近所付き合い。 (韓・63歳・女)
 在日の方が多いので住み心地がよい。 (日・63歳・女)
 庶民的な所。 (韓・78歳・女) (韓・63歳・男) (韓・64歳・男)
 知り合いなどできる。 (韓・73歳・男)
 「住めば都」人間関係がよい。 (韓・78歳・男)
 物価が安いのですごく住みやすい。 (朝・76歳・男)
 人情味 (これがなければ西成ではない) (韓・61歳・男)
 なし。 (韓・17歳・男) (韓・28歳・男) (韓・27歳・男)
 (朝・43歳・女)

<西成区が一番嫌いなところ>

こじき (労働者) の人がたくさんいること。 (韓・17歳・女)
 ホームレスが多い。西成以外の人印象。 (韓・21歳・女)
 犯罪率が高い。 (韓・24歳・女)
 新今宮にいてる働いていない人達。 (韓・19歳・女)
 それにしてはあまり、問題意識が感じられないところ。 (韓・22歳・女)
 町自体に落ち着きがない。都市計画が考慮されていない。 (韓・26歳・男)
 この部落で、差別落書きが発生すること。 (日・18歳・男)
 一番嫌いなところは新今宮にねとまりしている労働者をほったらかしにしているところ。 (韓・23歳・男)
 周辺の異臭。 (韓・28歳・男)
 におい。 (韓・20歳・男)
 やほったいところ。 (韓・25歳・男)
 嫌いな所は、皆が言うようにガラが悪い。 (韓・28歳・男)
 ゴミゴミしている。 (韓・19歳・男)
 流入する人が増えている。 (韓・34歳・女)
 子供がのびのび遊べる場所が少ない。中学校とかイメージがまわりの人が悪く思うところ。 (朝・38歳・女)
 ゴチャゴチャしている。 (韓・37歳・女)
 交通量が激しすぎて住みずらい所が嫌である。 (韓・31歳・女)
 くさい。 (韓・39歳・女)
 言葉の使い方。 (韓・30歳・女)
 ホームレスがあふれ、治安も悪いが、何より汚い。町全体が不潔、臭気が漂う。
 人々の道徳観ねんの低レベル。 (韓・35歳・女)
 被差別意識がつよすぎる。事情がわかるけど、権利ばかりを主張して義務をあまり

にもはたしていない。 (韓・36歳・男)
 公園が汚い。 (韓・35歳・男)
 へんなおじさんが多い。 (韓・36歳・男)
 においの臭ささ、がらのわるさ、解放同盟の存在。 (韓・39歳・男)
 一歩区外にでると、差別のきびしさが始めてわかるのが非常につらい。地区内のつみあげが、外ではつようしない。 (韓・43歳・女)
 差別がある。 (韓・52歳・女) (韓・43歳・女)
 住民が西成をもっとよくきれいな所にしようと努力しないこと。 (韓・42歳・女)
 町がとても汚い。 (朝・41歳・女)
 大人の人の遊びが多すぎて、子供に悪影響が多くてこまっているし、どろぼうが多い。植木、自転車、よくとられてこまっています。 (韓・48歳・女)
 治安(若者のタバコ、単車やホームレスの数)。 (日・43歳・女)
 意地の悪い町内のお年寄り。 (韓・48歳・男)
 品が無い。 (韓・42歳・男)
 やくざものが多い。 (韓・46歳・男)
 町のあちらこちらにポイステのゴミが多すぎる。 (韓・40歳・男)
 浮浪者が目立つのが気になります。また、夏になると中高生の夜遊び等が気になります。 (韓・42歳・男)
 環境が悪いところ。 (韓・45歳・男)
 ガラが悪い。 (韓・50歳・男) (韓・57歳・男) (韓・45歳・男)
 異臭と浮浪者が多い事が嫌い。 (韓・55歳・女)
 自転車の盗難が多くイヤ。 (韓・59歳・女)
 におい、人間性。 (韓・59歳・女)
 南津守-韓国の人が少ないので差別された。 (韓・57歳・女)
 街がよごれている。 (韓・51歳・男)
 「西成」というイメージです。 (韓・59歳・男)
 マナーが悪い所(自転車のとめ方、つばのはき捨て、犬のフンなど衛生上に悪い)。 (韓・51歳・男)
 考え方がせまいのでいけんが合わず自分の気持ちを押しさえて付き合うこと。 (韓・60歳・女)
 道路が狭い。 (朝・62歳・女)
 最近治安が悪くなってきたのでは? (日・63歳・女)
 ホットできる大きな緑の公園が無い。 (韓・78歳・女)
 ホームレス問題。 (韓・73歳・男)
 釜ヶ崎に近いこと。 (韓・61歳・男)

<嫌いな所>

なし。 (韓・23歳・女) (韓・17歳・男) (韓・27歳・男)
(韓・35歳・男) (韓・46歳・男) (韓・63歳・女)
(日・49歳・男) (韓・61歳・男) (韓・63歳・男)
(朝・79歳・男)

<そのほかの解答>

好きも嫌いもないです。(あまりわからない)。生まれてからずっと西成です。外に出たことがないので。(韓・31歳・女)

同和地区の住宅の苦しいところもあると思うが、逆に色々な面で(特に金銭面)甘えている人が多いと思う。住宅、保育所等、西成の住民の団結力などはよその地いきよりかはいい面と思う。(韓・33歳・女)

住んでる人達は、とても親しみやすいように思います。長く住めば居心地のいい所だとは思いますが、でも、よその人達にはイメージが悪すぎます。住所を聞かれたりするのとはとても嫌です。(日・33歳・女)

好きでも嫌いでもない。(韓・40歳・女)

住めば都。好きも嫌いもなし。(韓・62歳・女)

旧15日に寺に行くだけ。外にでない。(韓・64歳・女)

わからない。(朝・76歳・男)

18) <西成区のなかでの問題>

⑦

人間生きていく上で何事も重要だと考えます。すべてが重要なことです。(日・27歳・女)

教育問題-水準。(韓・22歳・女)

各家庭で子どもに対する意識がうすく、もっと子ども達にも悪いことに対して、家庭で責任をもつという意識をもってほしい。部落、在日、外国人がたくさんいるという問題をちゃんとしたことをしていればみんなにみとめられるが、親がほったらかす家が多いのがきになる。(朝・38歳・女)

人々の道徳意識(特にマナーやエチケット)(韓・35歳・女)

土地改革・(解説不能)・・・道路(韓・38歳・女)

交通の環境(安全性の問題と利便性)(韓・46歳・女)

高齢者を65歳というのはおかしい。若年、障害者にも同じ待遇、施設がほしい。(韓・57歳・女)

高収入の人が低額住宅に入居していることがなっとくいかない。(日・49歳・男)

常識のない人が多い。(韓・61歳・女)

仕事の内容をもっとふやしてほしい。(朝・76歳・男)

19) <日本のなかでの問題>

⑦その他

基本的人権・・・パッと見た目は差別面が目につかない国だからこそ、内面的差別が目につかず、差別反対への道は開かれにくい。 (韓・21歳・女)

環境問題。 (韓・22歳・女)

マスコミが取り上げることを重要に感じ、世論もマスコミよりなのが気になり、自分はどう感じるのかを考える力がなくなるほどテレビ、ゲームにまどわされている。 (朝・38歳・女)

あまり意味がわからない。 (朝・59歳・女)

日本人一人一人が自分さえよければいいと思っている。 (日・49歳・男)

税金の使い方。(国民のために使われていない)災害などにもっと使うべき。ムダなダムなどに使っている。 (日・50歳・男)

もう少し、仕事のないようにじゅうじつしてほしい。 (朝・76歳・男)

20) <西成区で一番差別されているグループ>

⑧その他

わからない。 (韓・35歳・女) (韓・59歳・女)

差別にちがいない (韓・62歳・女)

21) <日本で一番差別されているグループ>

⑧その他

わからない。 (韓・35歳・女) (韓・59歳・女)

差別にちがいない (韓・62歳・女)

22) <差別体験>

⑧その他

在日というより、障害者ということのほうが生きにくい? (日・29歳・女)

前の同じ職場ではたっていた子と家族の話をしていたら、急に「私のお父さん朝鮮人嫌いやねん」と言われて、おもわずぜっくしてしまった事がある。

(韓・31歳・女)

在日であっても、韓国人というベールで見られているとは感じます。日本人から見た、創造的な外国人としてみられる。 (韓・50歳・女)

公にとか、面と向かってはなくても(高齢の為)、心の中ではしている人が多いと思う。 (韓・78歳・女)

くわしくは言われなかったが、何かいわれたことがあった。 (韓・63歳・男)

23) <差別を乗り越えるのに一番大きな役割を果たした人物・団体>

今のところそのような問題がありません。 (韓・21歳・女)

日本人、在日コリアンの区別ではなく、日本人+在日コリアンの友人。

(韓・19歳・女)

気にしない。 (韓・34歳・女)

自分自身 (韓・19歳・女) (韓・25歳・男) (韓・39歳・男)
 (韓・39歳・男) (朝・41歳・女) (韓・40歳・女)
 (韓・46歳・男) (韓・47歳・男) (韓・50歳・女)
 (韓・58歳・女) (韓・63歳・男) (韓・79歳・男)

誰にもいえない。 (韓・62歳・女)

帰化しており、自分で説明した。 (日・43歳・女)

自分のちから (韓・39歳・男)

子供を抱えて夫婦で生きてくる事で精一杯。特に誰にも頼った人はず。 (韓・78歳・女)

24) <他の在日コリアンの差別体験>

⑨その他

最近、親しい友人が日本人ばかりなのでわからない。 (韓・29歳・女)

親戚の子が交際している子の親に、2人のつき合いを反対された。 (韓・27歳・男)

学校で本名で行っている子が「いじめ」にあっている。 (朝・43歳・女)

子どもが中学時代、本名で行ってましたが、いろいろあった様で、本名を名乗りたがらない。国際結婚や社会情勢のためですが、思春期の子どもには、しんどいようです。 (韓・50歳・女)

25) <在日コリアンの問題>

⑨その他

戸籍と一緒に入れない。日本で生まれてるのに。 (韓・23歳・女)

民族教育が保障されていないこと。 (韓・22歳・女)

在日であることですべてを悪く思い、気持ちをもたないで人間として、りっぱな人になれば周りには人間として認めるといこと。在日ということに責任をすりかえないこと。 (朝・38歳・女)

知り合いの女の子は韓国人ですが、結婚をするのに日本人の男の子はダメと親が言うそうです。韓国人の中でも、反対に日本人を差別視するような人がいるのは困ることだなあとと思った。 (日・33歳・女)

各種の人権団体の活動も重要ですが、各個人の資質の向上努力(社会の構成員として)が一番大事。 (韓・46歳・男)

せめて、私が生きている間に、祖国が統一してほしい。テレビ等のニュースで北朝鮮の食糧難の事を思うと悲しい。 (韓・54歳・男)

27) <介護してもらいたい人>

⑦その他

戸籍に関係ないが、家族以外がよい。 (日・27歳・女)

知り合い以外の人なら誰でもよい。 (韓・19歳・女)

考えたことがないのでわからない。 (韓・23歳・男)

誰でもいい。 (韓・20歳・男)

わからない。	(韓・31歳・女)
私は二世なので国籍にはこだわりたくない。	(韓・41歳・女)
手話のできるヘルパーがいい。	(日・43歳・女)
国籍を問わずヘルパーのプロ。	(韓・42歳・男)
誰の世話にもならず暮らしたい。	(韓・57歳・女)
自分だけ。	(韓・54歳・男)

28) <地域活動>

⑧習い事・講習講座ー内容

部落解放同盟の病院で働いている。	(韓・26歳・女)
パソコン講座	(韓・19歳・女)
英語、スイミング、学習塾	(韓・17歳・男)
花アレンジメント	(朝・38歳・女)
チュム (韓国のおどり)	(韓・35歳・女)
韓国語	(韓・35歳・男)
エアロビクス、ヨガ	(韓・46歳・女)
婦人会 (韓国人)	(韓・45歳・女)
料理教室 (解館でやっていたやつ)	(日・43歳・女)
琴、花	(韓・57歳・女)
町内の体育部長	(日・49歳・男)
班長、韓国新聞の配送、民団費 (会費)	(韓・57歳・男)
生花	(韓・65歳・女)

⑦在日コリアン同士の会

民団野遊会等	(韓・39歳・女)
トッカビ子ども会	(韓・35歳・女)
在日朝鮮人の子弟の保護者会 (中学校)	(朝・43歳・女)
ソンチャバ子ども会	(韓・41歳・女) (韓・49歳・男)
障館の手話教室の講師をやっている。	(日・43歳・女)
日本に於ける祖国の統一運動。	(韓・46歳・男)
韓国大阪青年会議所、関西興銀青年会会長、関西興銀ブルーサークル	(韓・42歳・男)
朝文研	(韓・44歳・男)
西成商工会	(朝・59歳・男)
商工会、J C	(韓・59歳・男)
西成支部、東分会	(朝・60歳・女)
済州島同民協会	(韓・63歳・男)

民圓 (韓・61歳・男)

旅行会に入った事がある。(知り合い同士) (韓・79歳・男)

⑧その他

大阪靴メーカー協同組合(青年会) (韓・39歳・男)

妻の保育守る会活動や西成生きがい支援センターでのボランティア活動予定を見守っている。 (韓・38歳・男)

アボジ、オモニの会(小学校のみ) (韓・50歳・女)

30) <西成区の街づくりに一番大切なこと>

⑨その他

多くの人が西成に集まる所をつくり、町の繁栄をめざし、印象をかえること。
(大正、恵美須町と新しいものが増えているのに関わらず、西成はかわりを見せていない点) (韓・21歳・女)

働かなくても福祉でお金もらって生活したらいいという考え方が20代の人にもある。こういう精神からかえた方がいい。 (韓・34歳・女)

ホームレスの存在について行政が根本的に考えるべきだ。いつまでもイタチゴッコをしているか、見離しているかどちらかだと思う。 (韓・35歳・女)

立前ではなく、真心をこめて行政をやってほしい。 (韓・54歳・男)

32) <最終学歴>

その他

⑧大学専攻

一経済 (韓・21歳・女)

一看護科 (韓・26歳・女)

一英米文学 (韓・24歳・女)

一社会福祉 (韓・26歳・女)

一情報処理 (韓・22歳・女)

一工学部・建築 (韓・26歳・男)

一建築学 (韓・22歳・男)

一歯科技工師 (朝・38歳・女)

一経営学 (韓・39歳・男) (韓・46歳・男)

専門学校専攻一電気工学 (韓・37歳・男)

一美容 (韓・65歳・女)

小学校をまともに行っていない。 (韓・66歳・女)

どこにも行っておらず。 (韓・78歳・女)

山村の為、学校もなかった。 (韓・79歳・男)

36) <在日コリアンとして子どもに一番伝えておきたいこと>

在日コリアンも日本人もアメリカ人も人間であり、努力した人にはそれだけのことはかえってくるということ。又、誰にでも親切になれるようにすること。

- 法事の仕方 (韓・21歳・女)
- 差別を受けても、きっと絶対に1人はあなたの事をわかってくれます。 (韓・26歳・女)
- 主体性をもつこと。 (韓・19歳・女)
- 主体性をもつこと。 (韓・22歳・女)
- 在日韓国人が恥ずかしい訳ではないので、もし差別されても相手が理解するまで説いてほしい。 (日・18歳・男)
- 戦争のこと、文化のこと(歴史)、生きることの大切さ、自分の歴史。 (韓・17歳・男)
- 自分の生き方に誇りを持って生きろ。 (韓・20歳・男)
- 人は人です。 (韓・25歳・男)
- 在日であるというよりは、人間として恥ずかしくない人に成長してほしい。それが在日につながる。 (朝・38歳・女)
- 行政をあてにしない事。 (韓・37歳・女)
- 祖父母(父母)のしてきた苦勞、経験。 (韓・39歳・女)
- 日本と韓国であった歴史。でもそれは日本と韓国がより仲良くなれるように。 (韓・30歳・女)
- 英語などのように本人が知りたい事は教える。 (日・35歳・女)
- なぜ今、日本に住んでいるのかということ、歴史。 (韓・35歳・女)
- 人はどんな人種であれ平等ということ。 (韓・33歳・女)
- 何事にも他人に迷惑をかけない。 (韓・39歳・男)
- 韓民族の正しき歴史と現在の状況。 (韓・39歳・男)
- 祖先が海を渡ってきたという事実。 (韓・36歳・男)
- 自分は韓国人だということに対して誇りを持ってほしい。 (朝・43歳・女)
- 韓国人としてのホコリ。 (韓・46歳・女)
- 韓国、朝鮮人としての誇りを持って生きていくこと。 (韓・42歳・女)
- 自分は、日本で住むけれど朝鮮人であることは決して忘れてはいけないこと。民族心は伝えたい。 (朝・41歳・女)
- マイノリティである為、どうしても自分自身を押さえてしまいそうな立場になりがちだが、決して恥じる事なくそれぞれの個性として人はみな違いがあって認め合う事によって共生できることを理解してほしいと思う。 (韓・41歳・女)
- 我々のルーツ。なぜ今、日本に住んでいるかを、その原因を。 (韓・48歳・女)
- 自分に自信を持って何事にも立ち向かって行ってほしい。 (韓・40歳・女)
- 心は死ぬまで韓国人。 (韓・48歳・男)
- 韓国人であることにコンプレックスを持つことは何もない事。差別を受けることがあっても、それを自らの力で乗り越える力を付けてほしい。 (韓・46歳・男)
- 儒教の思想(親、祖先を大切にすること) (韓・42歳・男)
- 民族心 (朝・46歳・男)
- 祖父母が日本に渡ってきた理由と差別と苦勞の中で一生懸命、子ども達を育ててく

- れた事。韓国人の自覚を持ち続けたい。(韓・44歳・男)
- 健康。(韓・55歳・女)
- 民族に対して誇りを持っていてほしい。(朝・50歳・女)
- 過去の歴史、過去の事実を伝えたい。(韓・57歳・女)
- 親、又は祖先を敬うこと。(韓・53歳・女)
- 日本の学校で、本当の歴史ということを教育してほしい。祖国の学校と日本の学校では教育上、異なる点があまりにも大きすぎる。(韓・54歳・男)
- 日本人にだまされるな。(韓・53歳・男)
- 日本の国だから日本人とできるだけ仲良くするように。(朝・59歳・男)
- 帰化(市民権)の簡素化。(韓・51歳・男)
- コリアンでも日本人でも生きる人道にかわりはない。私は二世ですが、自分自身一生懸命生きることです。信頼、信仰が大切です。世界各国同じ。世の中にあまえて生きる事は反対です。(韓・60歳・女)
- 歴史、言葉。(韓・61歳・女)
- 民族の誇り。(韓・62歳・女)
- 自分の祖国、ルーツを忘れることなく、日本でも立派に生きていってほしい。(韓・78歳・女)
- 「国は忘れるな」と教えたい。(韓・73歳・男)
- 民族意識をしっかり持て。(韓・78歳・男)
- 祖国のことを忘れないように。(帰化、自覚(民族)は個々の自由だが・・・)(韓・63歳・男)
- しつけ、行儀作法。(韓・61歳・男)
- 勉強をしっかりして、人に迷惑をかけないように自分で仕事をする。(朝・76歳・男)
- ルーツだけは忘れるな。(韓・64歳・男)
- (伝えておきたいこと=なし)
- (韓・42歳・男) (韓・59歳・女) (韓・64歳・女)
- (日・50歳・男) (韓・31歳・女) (韓・37歳・男)

37) <日本の学校の(民族学級、教育)の問題点>

- 全て中途半端だと思う。(日・27歳・女) (韓・28歳・女)
- 質的にも量的にも少ない。(韓・22歳・女)
- 現在のやり方は知らないが、昔は受けたくもないのに無理矢理に受けさせるところがあった。(韓・23歳・男)
- 日本人も一緒に学んだらいいと思う。(韓・20歳・男)
- 在日を朝鮮人、韓国人と同一視すること。(韓・37歳・女)
- もっと歴史に重点をおいてほしいと思う。(韓・31歳・女)
- 長橋小学校の民族学級は民族のみで日本人の参加がない。(韓・35歳・女)
- 子どもの意志を聞いてからやるべき。(韓・37歳・男)
- 「民族学級」の発足もわかっているつもりですが、歴史は流れています。みんなが学習した方がよい。日本人の子どもも興味を持って参加したいという子はいるは

ず。サークルにしていく必要大。民族学級で遊び学ぶ子は楽しく参加していない子は学習。お互いに問題有り。 (韓・38歳・男)

本当の真実を伝えられているか否か。 (韓・39歳・男)

在日の歴史をきっちり教えてほしい。 (朝・43歳・女)

本人次第。 (韓・46歳・女)

かたよった教え方は困る。 (韓・78歳・男)

親が日本読みで子どもに名前をつけたのに、漢字を韓国語読みで発音して、それがその子の本名だとするのはとてもおかしい。もっと考えてもらいたい。そういう誤った民族教育は必要ではない。本当に伝えていきたいことはコリアンを含めたアジアの歴史だと思う。 (韓・36歳・男)

国籍に関係なく英語の教科のようにみんなが習えばいい。 (韓・45歳・女)

社会人のなって通用するかしないかわからない。 (韓・40歳・女)

民族の子ども達だけ集めての仲間意識や文化にふれることも大事だが、どうして今、自分は日本に住んで生活をしているのか、原点を理解する。

(韓・41歳・女)

教師自身があまり理解しないまま子ども達に接している。 (韓・40歳・女)

詳しく承知していないがマイナーなイメージが強い。 (韓・46歳・男)

日本の人がなかなか理解してくれない。 (韓・49歳・男)

本人の意思に関係なく強制的すぎる事。 (韓・45歳・男)

日本人が受け入れているのか (理解があるのかにかかっている)

(韓・50歳・女)

民族教育を受けたいか、受けたくないかという事を選べない。 (朝・43歳・男)

英語は必要だが韓国語は必要ない。 (韓・65歳・女)

38) <民族学校 (朝鮮、韓国学校) の問題点>

専門学校としか認められない所が多い。 (韓・24歳・女)

朝鮮学校では日本のことを教えない。朝鮮学校は半々だが韓国語の会話もできない。 (韓・34歳・女)

日本の学校のカリキュラムもクリアーしないと大学受験の時は大変だった。 (朝・38歳・女)

教える人もまだまだ民族のことを知っているのでしょうか。 (韓・30歳・女)

親が日本読みで子どもに名前をつけたのに、漢字を韓国語読みで発音して、それがその子の本名だとするのはとてもおかしい。もっと考えてもらいたい。そういう誤った民族教育は必要ではない。本当に伝えていきたいことはコリアンを含めたアジアの歴史だと思う。 (韓・36歳・男)

国籍に関係なく英語の教科のようにみんなが習えばいい。 (韓・45歳・女)

少し民族学校は、経済的にとてもしんどい。もっと日本国は目を広く開けて援助すべきだと思う。 (朝・41歳・女)

なぜ日本に民族学校が設立したのかという原点。 (韓・41歳・女)

学校運営のための資金難。学力 (日本の公立学校の同様)、一世中心になっている。 (韓・46歳・男)

本人の意思に関係なく強制的すぎること。 (韓・45歳・男)
 強制的なやり方が嫌い。 (韓・52歳・女)
 過去の戦争を本当の教育として教えてほしい。 (韓・54歳・男)
 形のうえで文化交流や他のことをやっていますが、その関係者に報われる体制が出来ているのか、しんどいままだと続かなくなる。 (韓・50歳・女)
 北と南のもめ事を持ち込まない。統一する必要がある。 (韓・63歳・女)
 学力が低いのでレベルアップしてほしい。 (韓・73歳・男)
 必要だと思うが、今の中身がよくわからない。 (韓・78歳・男)

39) <家族の中で朝鮮、韓国語を話す人>

父母 (韓・28歳・女) (韓・27歳・女) (韓・26歳・男)
 (韓・25歳・男) (韓・30歳・女) (韓・36歳・男)
 (韓・39歳・男) (韓・40歳・男) (韓・61歳・男)
 祖母 (韓・21歳・女) (韓・19歳・女) (韓・23歳・男)
 (日・18歳・男) (韓・22歳・男)
 父：少し話せるが聞き取りは可能。母：話せないが聞き取りは少し可能。
 (韓・26歳・女)
 父 (韓・25歳・女) (韓・36歳・男) (韓・42歳・男)
 父母、祖母 (韓・26歳・女)
 兄弟 (韓・28歳・男) (韓・54歳・男)
 本人、子ども (朝・35歳・女)
 夫 (韓・34歳・女) (朝・38歳・女) (韓・39歳・女)
 (韓・55歳・女) (韓・50歳・女) (韓・66歳・女)
 (韓・63歳・女) (韓・66歳・女)
 母 (韓・35歳・女) (韓・31歳・女) (韓・33歳・女)
 (韓・30歳・女) (韓・35歳・女) (韓・38歳・男)
 (日・43歳・女) (韓・40歳・女) (韓・42歳・男)
 (韓・46歳・男) (韓・46歳・男) (韓・44歳・男)
 (韓・40歳・男) (韓・53歳・女)
 父、妹 (韓・31歳・女)
 全員 (朝・38歳・女) (朝・41歳・女)
 子ども達 (韓・39歳・男) (朝・60歳・女) (韓・78歳・男)
 (朝・76歳・男)
 自分 (韓・45歳・女) (朝・62歳・女) (日・63歳・女)
 母、妻 (韓・42歳・男)
 半分以上 (朝・46歳・男)
 妻 (韓・45歳・男) (韓・44歳・男) (韓・57歳・男)
 (韓・79歳・男) (韓・73歳・男) (韓・68歳・男)
 (韓・63歳・男) (韓・66歳・男)
 主人、私 (韓・58歳・女) (韓・60歳・女)
 母、兄 (韓・54歳・男)

私、息子、主人	(韓・61歳・女)
本人、父	(韓・62歳・女)
夫、子ども達	(韓・64歳・女)
自分と子どもも少し出来る	(韓・78歳・女)

41-A) (韓国、北朝鮮への渡来目的)

⑦その他

勉強	(韓・22歳・女)
学生の時、スポーツで。	(韓・32歳・女)
結婚	(韓・48歳・男)
私のルーツを見に。	(韓・50歳・女)
母に会うため。	(韓・55歳・男)
親戚の死亡など。	(韓・62歳・女)
子ども	(韓・63歳・女)
戦争のそかい	(韓・63歳・女)
母が死亡したため。	(韓・80歳・男)

41-B) <韓国・北朝鮮での滞在期間>

3日間	(韓・45歳・男)	(日・50歳・男)	(韓・54歳・男)
	(朝・76歳・男)		
3泊4日	(日・35歳・男)	(韓・59歳・女)	
4日間	(日・49歳・男)	(韓・60歳・女)	(韓・62歳・女)
5日間	(韓・20歳・女)	(韓・39歳・女)	(韓・40歳・女)
	(韓・40歳・男)	(韓・40歳・男)	(韓・55歳・女)
	(韓・58歳・女)	(韓・53歳・女)	(韓・50歳・男)
	(韓・54歳・男)	(韓・60歳・女)	(韓・62歳・女)
	(韓・64歳・男)		
6泊7日	(韓・57歳・女)		
1週間	(韓・21歳・女)	(韓・22歳・女)	(韓・25歳・女)
	(韓・23歳・男)	(韓・28歳・男)	(韓・32歳・女)
	(韓・36歳・男)	(韓・44歳・女)	(韓・40歳・女)
	(韓・48歳・男)	(韓・42歳・男)	(韓・42歳・男)
	(韓・54歳・女)	(韓・59歳・女)	(韓・55歳・男)
	(韓・62歳・女)	(韓・61歳・女)	(韓・63歳・女)
	(韓・66歳・女)	(日・63歳・女)	(韓・78歳・男)
	(韓・79歳・男)		
8日間	(韓・59歳・男)		
10日間	(韓・26歳・女)	(韓・17歳・女)	(韓・34歳・女)
	(韓・40歳・女)	(朝・60歳・女)	(韓・65歳・女)
	(韓・78歳・女)	(韓・80歳・男)	(韓・63歳・男)
2週間	(夏期学校—ソウル大学に・韓・29歳・女)		
	(韓・28歳・男)	(韓・46歳・男)	(韓・49歳・男)

15日間		(韓・57歳・男)	(韓・62歳・女)
20日間			(韓・59歳・男)
3週間		(韓・41歳・女)	(韓・50歳・女)
1カ月	(韓・27歳・女)	(韓・31歳・女)	(韓・54歳・男)
	(韓・64歳・女)	(韓・73歳・男)	(韓・66歳・男)
4カ月			(韓・33歳・女)
1年半			(韓・37歳・男)
10年間			(韓・63歳・女)

4 2) <本国にいる親戚>

⑧その他

いてない			(韓・22歳・女)
大叔父			(韓・22歳・女)
多分いると思う			(韓・23歳・男)
よくわからない		(韓・17歳・男)	(韓・27歳・男)
知らない			(韓・20歳・男)
祖母の兄弟			(韓・22歳・男)
兄嫁の兄弟			(韓・46歳・男)
義伯母			(韓・50歳・男)
友人			(朝・76歳・男)

4 6) (頻繁に交流する在日の人)

⑦その他

会社が韓国の企業なので会社に在日も韓国人もたくさんいます。

			(韓・26歳・女)
友人			(韓・33歳・女)
友人や恋人			(韓・35歳・女)
同級生			(韓・42歳・男)
夫の友人の娘			(韓・64歳・女)
所属した親睦会関係で知りあった友人			(韓・64歳・男)

4 8) <結婚差別>

口での中傷。 (韓・28歳・女)

主人が田舎の人なので昔からの古い考え方があり、結婚を反対された。 (日・35歳・女)

反対された。 (韓・36歳・男)

すべて。 (韓・39歳・男)

妻が日本人であるが、妻の親族から差別発言を受けた。もちろん交際はない。 (韓・36歳・男)

人種差別。 (朝・76歳・男)

両方の親から反対された。反対されて一緒になった日本人の夫とも離婚。 (韓・46歳・女)

兄弟、親戚から反対され、現在も絶縁の状態。 (日・43歳・女)

主人の姉から韓国人と結婚はダメだと。 (韓・40歳・女)
 交際を親から禁止された。 (韓・46歳・男)
 20歳頃、日本人女性と知りあい、結婚問題で女性の母親から断られました。
 (国が違うからと言われた) (韓・57歳・男)
 なんで韓国人や朝鮮人と結婚するのかと言われた。 (韓・54歳・男)
 自分自身の中での考えである。 (韓・51歳・男)
 息子の結婚。 (韓・64歳・女)
 結婚。 (韓・62歳・女)

53) <現在の国籍法が変われば帰化したい／したくない理由>

**帰化したい理由

家族と共に暮らしたいから。 (日・27歳・女)
 日本の教育と文化で生きてきたから。 (韓・17歳・女)
 韓国の文化も言葉も知らないの、自分が韓国人と思ったことはありません。日本に生まれ日本で育った中で、やはり日本のことしか知らないし、これからも日本でない生きていけないと思うから。 (韓・21歳・女)
 夫が日本人で、やはり一緒に国籍でありたいから。 (韓・23歳・女)
 社会的に有利。 (韓・20歳・女)
 海外旅行、役所関係の手続きがとても面倒。1日も早くそうなってほしい！ (韓・29歳・女)
 今の日本で生きていくために。 (韓・20歳・男)
 日本が好き。 (韓・17歳・男)
 何かにつけて楽だから(日本に住んでいる限り)。 (韓・27歳・男)
 帰化しているから。 (韓・23歳・男)
 僕は日本に住んでいるし、向こうに帰る気もない。別に韓国人であるからとかで困ったこともないし、嫌いな訳でもないけど、家族で帰化することになったので一緒にした。 (日・18歳・男)
 韓国語も話せないし、韓国のことをあまりわからないので、日本人だと自分で思うことがあります。それなら日本国籍の方が良いと思います。 (韓・19歳・女)
 日本に一生住むつもりだから日本国籍を取得する方が有利 (韓・28歳・男)
 生活に便利。 (韓・27歳・男)
 日本永住希望だから。 (韓・39歳・女)
 今の世界でいろんな面で国籍を変えたいと思います。 (朝・35歳・女)
 これからずっと日本の国で住むし、韓国に帰ることはないから。 (韓・31歳・女)
 在日2世として生を受け、現在の自分が韓国人であるとも思えないため。 (韓・37歳・女)
 結婚したのに籍が入らないというのはおかしいと思うから、私だけが韓国籍で、主人と子ども達は日本国籍というのは何かスッキリしない。・・家族なのに・・。 (韓・30歳・女)

- 便利なことが多いため。 (韓・31歳・女)
- 日本で生まれ育ち、韓国のごことはあまりわかりません (韓・37歳・女)
- 仕事面、生活面での便利さだけのため。 (韓・33歳・女)
- 韓国には家も親戚もなく、日本に一生住むつもりなので、日本国籍を採っていた方がいいと思いました。 (日・33歳・女)
- 韓国にいても何の得もないから。例えば、税金を払っても選挙権はないし、いろいろな目に見えない差別が多いから。 (韓・37歳・男)
- 日本で生まれたから。 (韓・39歳・男)
- 日本で生まれ、日本を愛してるから。 (韓・38歳・男)
- 便利だから。 (韓・39歳・男)
- 参政権がほしい。国籍にとらわれず公務員になれる機会がある。 (韓・36歳・男)
- 選挙権。 (韓・35歳・男) (韓・61歳・男)
- 日本の国で生まれ育った。やっぱり日本国籍の方がいい。 (韓・45歳・女)
- 日本に住み続けるので。 (韓・46歳・女)
- 子どもが日本国籍だから。 (韓・44歳・女)
- 日本に住み続ける以上、日本国籍の方が何かにつけて有利。 (韓・46歳・女)
- 質問通りの事が現実にあるとすれば、選択の自由で自然体だと思う。 (韓・41歳・女)
- 祖国に帰ることがないから。 (韓・48歳・女)
- あらゆるものに差別がない。 (韓・48歳・男)
- 日本に住んでるから。 (韓・42歳・男)
- 日本で定住(永住)する以上、韓国籍にこだわらない。 (韓・46歳・男)
- 日本に住む限り色々な面で日本国籍の方が良いと思います (韓・45歳・男)
- 日本に死ぬまで住むのに朝鮮籍にこだわりたくない。 (朝・43歳・男)
- 日本で永住する限り必要と思う。 (韓・41歳・男)
- 永住の為。日本国籍の方が便利。 (韓・47歳・男)
- 在日のままでは何らかの差別を受ける。日本で住む以上、その方が自然かもしれないと考えるようになった。 (韓・44歳・男)
- 日本で永住する限り必要と思う。 (韓・41歳・男)
- すべて子どもの当です。 (韓・55歳・女)
- その時になってみないとわからない。 (韓・54歳・女)
- 日本に慣れた。住宅に入れる。 (韓・59歳・女)
- 色々便利。 (韓・59歳・女)
- この地域をよくするために支部の協力をしたいので国籍がほしい。 (韓・57歳・女)
- 色々な面で都合がよい。就職、公務員関係。 (韓・57歳・男)

日本に住むのだから。(韓・51歳・男)
 妻子がみんな日本人である。(韓・53歳・男)
 生涯、日本で生きていくつもりだから。(韓・51歳・男)
 子の為。(韓・55歳・男)
 融資受けれない。年金の問題。(韓・66歳・女)
 娘が2人も日本人と結婚しているから。(韓・64歳・女)
 コリアン系、日本人という自覚さえあればいいと思う。(日・63歳・女)
 日本に住んでいるので、その方が何かと(就職なども)スムーズに行くのではない
 かと思うので。(韓・78歳・女)
 生活上の都合。(韓・78歳・男)
 子ども、孫のため。(韓・61歳・男)

**帰化したくない理由

取得の必要がないから。(韓・22歳・男)
 両親、家族から離されたような気がするため。(韓・26歳・女)
 国籍を日本にしても自分が韓国人であることに変わりはないので。
 (韓・26歳・女)
 日本の中での差別が甘くなったわけではないから。(韓・22歳・女)
 今の日本で生きていくために。(韓・20歳・男)
 夫が長男である。(韓・34歳・女)
 家族みんなが日本国籍をとりたいと思うまでは、無理にとらなくても何も困って
 ないので。(朝・38歳・女)
 自分は韓国人のままでいいから。(韓・35歳・女)
 日本人になりたいと思わないから。(韓・24歳・女)
 その時になってみないとわからない。(韓・33歳・女)
 韓国籍で生まれたから。(韓・30歳・女)
 特別今まで不便を感じたことがないから。(韓・32歳・女)
 韓国人である誇りもないが、あえて日本人になりたいメリットも愛国心もない。
 (韓・35歳・女)
 日本で生まれたから。(韓・39歳・男)
 意味がない。(韓・36歳・男)
 韓国人の誇りを持っているから。(韓・37歳・男)
 朝鮮人のままで生きていきたい。(朝・43歳・女)
 自分の国を誇りを持って生きていきたいから。(韓・42歳・女)
 このままでいいと思うから。(韓・40歳・女)
 現在の年齢で国籍を変更する必要性感じていない。子どもの問題は子どもが成人し
 たときにアドバイスはするが、結論は子どもの判断に任せるつもりである。
 (韓・46歳・男)
 40代になって今の年ではもう日本国籍をとる必要がない気がする。
 (韓・40歳・男)

自分が韓国籍であることに何も障害もないし、恥じることはないから。
(韓・42歳・男)

韓国人のままでかまわないから。
(韓・49歳・男)

私は韓国人だと言って恥じるとは思いません。日本人の方が頭のどこかに差別的なことをしていると思う。
(韓・54歳・男)

一生韓国人。
(韓・54歳・男)

韓国人は韓国人。
(韓・54歳・男)

今さら国籍にはこだわらない。
(韓・62歳・女)

必要がない。
(韓・63歳・男)

国籍にこだわらないから。
(韓・63歳・男)

後が短いので別にこだわらない。
(朝・76歳・男)

参政権がないまま日本国籍はとらない。
(韓・66歳・男)

**どちらでもない

子どもは韓国籍は損だと言いますが、子どもそれぞれ本人に任せます。私自身韓国籍ですが、それがよかったとも思わない。
(韓・50歳・女)

生活費の問題から考えるなら帰化した方が良くとも思います。
(韓・66歳・男)

55) <現在の国籍法のままでも帰化したい／したくない理由>

**帰化したい理由

兄も姉も日本人と結婚して帰化した。障害のある私一人が国籍が違くと先行き不安になる。
(日・27歳・女)

日本に住んでるため。
(韓・28歳・女)

日本の文化、教育で生きてきたから。
(韓・17歳・女)

夫が日本人で、やはり一緒の国籍でありたいから。
(韓・23歳・女)

結婚し、夫が日本国籍なら帰化する。
(韓・26歳・女)

子どもが差別されたりしたら嫌だから。
(韓・29歳・女)

韓国のことは全くわからないし、これから先、もしも差別を受けると思うと嫌だから。
(韓・19歳・女)

日本に住んでいる限り。
(韓・22歳・女)

働くことになったら日本国籍でないといけないものもでてくるので、それだったら日本籍にかえた方がいい。
(韓・19歳・女)

何かにつけて楽だから(日本に住んでいる限り)。
(韓・27歳・男)

社会的信用と公共の場における差別。
(韓・25歳・男)

日本に一生住みたいので。
(韓・19歳・男)

日本に生まれたのだから、日本人としての意識の方が強い。
(韓・28歳・男)

日本永住希望だから。
(韓・39歳・女)

子どもが育っていくにつれて、色んな問題があるので
(朝・35歳・女)

- 子どもに自国として親が示せる国がない。 (韓・37歳・女)
- これから先のことを色々考えると日本人と結婚したんだし、子どもも日本国籍を選ぶと思うので、私だけ韓国籍というのは淋しい気がする…。 (韓・30歳・女)
- 子どもの父親は日本人で子どもの将来のために。 (韓・37歳・女)
- 韓国には家族も親戚もなく、一生日本に住むつもりなので日本国籍を採っていた方がいいと思いました。 (日・33歳・女)
- ずっと日本で住むから。 (韓・36歳・男)
- 家族のため。 (日・35歳・男)
- 結婚差別を受けたことから帰化したいと思った。また子どもができ、子どものことを思うと自分は帰化した方がいいかなと思った。ただ、その機会を逃した(子どもは日本籍)。 (韓・38歳・男)
- 便利だから。 (韓・39歳・男)
- 参政権がほしい。 (韓・36歳・男) (韓・57歳・女)
- やっぱり(ないと言っても)どこかで差別があるから (韓・45歳・女)
- 日本に住んでいる以上、差別があり、2つの名前を使わなくてはならないから。 (韓・46歳・女)
- 子どもの将来(就職等)。 (韓・46歳・女)
- 日本で家族4人で一緒に暮らしたいから。 (韓・40歳・女)
- 永住するつもりだから。 (韓・40歳・女)
- 日本が故郷と思ってるから。 (韓・48歳・男)
- 私たちは日本に生まれ韓国人でありながら、どうしても韓国を外国と感じてしまう。韓国人でも日本人でもないから。住んでいる日本の国籍がほしい。 (韓・46歳・男)
- まだまだ就職差別があるので、子どものために日本国籍が良いと思います。 (韓・45歳・男)
- 日本に死ぬまで住むのに朝鮮籍にこだわりたくない。 (朝・43歳・男)
- 永住のため。日本国籍の方が便利。 (韓・47歳・男)
- 子どもに負担を残したくない。 (韓・44歳・男)
- 子どもの当です。 (韓・55歳・女)
- 全て、日本人と同じになりたいから。 (韓・59歳・女)
- 日本で生まれて育ったので、母国へ帰っても生活できないので、日本で一生を終わるのなら帰化した方がいいと思います。 (朝・50歳・女)
- 便利だから(パスポート事務等)。 (韓・59歳・女)
- 日本に永住するのだから色々な面で良いと思う。 (韓・51歳・男)
- 何かにつけて不便である。 (韓・53歳・男)
- 日本人というふうに思っている。 (韓・63歳・女)
- 孫がいるから(日本籍)。 (韓・64歳・女)
- 帰化済み(子どもの結婚の時)。 (日・63歳・女)
- 日本に永住したい。祖国に帰ったため永住権ない。長橋で生まれたのに。

- (韓・63歳・女)
- 永住したいから。(韓・61歳・男)
- **帰化したくない理由**
- 韓国人であることに誇りがあるから。(韓・24歳・女)
- 国籍を日本にしても自分が韓国人であることに変わりはないから。(韓・26歳・女)
- 帰化という手続きの問題＝国籍取得ではない。帰化者に対する差別の現存。(韓・22歳・女)
- 今の国籍で何も困っていない。(朝・38歳・女)
- 自分は韓国人のままでいいから。(韓・35歳・女)
- 帰化の必要なし。(朝・38歳・女)
- 韓国人である誇りもないが、あえて日本人になりたいメリットも愛国心もない。(韓・35歳・女)
- 自分が韓国人の誇りを持っているから。(韓・37歳・男)
- 朝鮮人でいい。(朝・43歳・女)
- 親と同じ韓国、朝鮮人として生きていきたい。(韓・42歳・女)
- 帰化をしても朝鮮人の血は消せない。(朝・41歳・女)
- 日本籍を取得したとしても、自分自身のルーツは変わらないので、身辺調査するなど、とても侵害な事件だ。(韓・41歳・女)
- 必要とは思わないから。(韓・40歳・女)
- 韓国籍であることにこだわりたい。日本人にはなりたくない。日本人が嫌いだからではなく、自然な姿の韓国人(在日)として生きたい。(韓・46歳・男)
- 韓国人であることに誇りを持っている。(韓・42歳・男)
- アイデンティティーの問題です。人権の問題です。(朝・46歳・男)
- 別に必要と感じません。(韓・58歳・女)
- 帰化するとかそのまま良いとかという事に腹が立つ。死を迎えるまで韓国人であるから。(韓・54歳・男)
- 帰化しても何ら変わらない。(韓・59歳・男)
- 韓国人であることに誇りを持っている。(韓・61歳・女)
- 民族としての誇りを持ちたいから。(韓・62歳・女)
- 今から帰化しても仕方ない(若くない)。(韓・65歳・女)
- 必要ない。(韓・63歳・男)
- 国のやり方が気に入らない為。(朝・76歳・男)
- **どちらでもない**
- 今さら自分にとってそう大きな意味はないので。(韓・78歳・女)

57) <自由記述：アンケートの質問以外に付け加えたいこと>

在日コリアンがこうだ、こうなればいいなんて事は考えない。唯一、人格がそなわっていて力量があればそれでいいのでは？と考える。才覚があれば日本国は拒絶しないですんなり受けとめてほしい。(日・27歳・女)

日本人って、韓国人ってなんだろうと思います。同じ人間で気持ちを持ち、感情があるのにはかわりはないのに、もし韓国人としてアメリカに生まれても、韓国に生まれても、私は私にかわりないと思います。もし国によって差別があるのなら、国というものがなくなればいいと思うし、祖国も別にいりません。ただ人間として人間らしくみんな仲良く生きていける世界になってほしいと思います。

(韓・21歳・女)

自分自身法事の仕方等は違っていても、日本で生まれ育ってきた為、日本にとけこんでいる気がしてこのアンケートの内容に少しとまどいを感じた。祖母等は「日本人に負けるな」と言っていました。三世にもなると祖母達がいていた言葉の意味も分かりません。韓国人魂が抜けてきているのでしょうか？それか本当に差別を受けていないからでしょうか？

(韓・26歳・女)

在日コリアンという英語式の書き方に抵抗を感じる。在日韓国、朝鮮の方がマシだ。差別的な社会構造に対し、在日朝鮮人は、帰化という方法で自分を社会に合わせるのとは間違っている。自分達は正当な存在であり、変えるのは社会そのものである。同じ西成に住んでいるのだから、部落解放同盟も、民族団体も、団体として連帯しなければ、個人には行き届かないはずだ。

(韓・22歳・女)

アンケートでも答えましたが駅のまわりや道ばたでねとまりしている労働者達をなんとかしたほうがいいと思います。その人達が、ほかの地域の人から西成は汚く臭いところといわれる原因だと思います。在日問題より西成をいかにきれいにすることが一番の問題だと思う。最期に人間がそんざいするかぎり差別はなくならない。

(韓・23歳・男)

正しく生きることこそいちばんのかいけつへの近道である。(韓・25歳・男)

北朝鮮のことを色々わくわくしていますが、在日朝鮮人イコール北朝鮮ではないのに、すべてをかってに何もわからないのに感がいしている。北朝鮮でおこっていることを在日朝鮮籍の人がみんな同じ考えだとかかいされることが困ります。在日として、日本で独自の歴史ができていっている様な時代に、祖国といっても3世くらいになって籍は親から引きつぎ、友達もたくさん朝鮮籍の人もあるけど、在日としての意識と北朝鮮の政治とかとは、あまり関係のないところが日本の人やみんなにわかってもらえないこと。

(朝・38歳・女)

住宅入居できることが一番の願いです。(朝・37歳・女)

56)について、国籍にこだわらず、がんばれる人、力がある人がなればよいと思います。

(日・35歳・女)

上記質問(56)の内容は全く不必要と思う。(56)-6、(56)-7などは本当にそう思うし必要だが、56-8、9などはおかしすぎる。人が人の上にたってえらくなると考えるほどバカげていることはない。日本人が日本人を差別した部落の初まりとおなじ事と思える。56-10においても、その選手個人のオリンピックに対する考え方であり、自分は外国籍だからどうのこうのとは考えていない。

(韓・38歳・男)

在日コリアンは、すでに韓国にある韓国人と別の文化をもっています。まさにそれは独自の文化であり存在であると思います。従って、数々のケースの中で最も必要と感じることを早く知り、対応することが最も必要なことでしょう。

(韓・39歳・男)

子供が、学校や就職で差別をうけるのではないかととても気になる。

(朝・43歳・女)

娘の民族学級での発表会などで、手話通訳がわからないのであまり参加したくない。母が、孫に、帰化しているので民族の勉強は必要ないと言っている。

(日・43歳・女)

質問が多すぎる。国籍をとるのがむつかしすぎる。 (韓・40歳・女)

国家試験、受験資格の国籍条項の完全撤廃。 (韓・42歳・男)

在日コリアンの人権実態調査と言うことですが、在日コリアンは、在日の歴史は、60～70年になり、二、三世、最近来日した人、南系、北系、帰化した人、その層はかなりの広がりがある。この調査では、社会的弱者と位置づけて質問しているがこれは、低所得者層、ニューカマーを対象とした質問と思える。在日コリアン(韓国人)が日本社会の構成員として、社会参加はぜひ必要(公務員等で)と思います。日本社会への社会貢献をして行く為にも。 (韓・46歳・男)

在日の歴史をより深く学ぶことがより必要と思います。在日コリアンの生活文化のバックアップがもっと必要と思います。 (朝・46歳・男)

国際的な視野でみるべき。 (韓・57歳・女)

ニューカマーと、在日韓国、朝鮮人とは同じではおかしい。在日韓国人が日本にいる理由から日本政府は責任を持つべき。おじさんは日本兵として出兵している。敗戦から「日本人ではない」というのはおかしい。 (日・50歳・男)

今回のアンケート調査を立て前だけではなく、差別なく、真心をこめて韓国人、朝鮮人、中国人、東南アジアの人々のことをおもって、差別なく、行政をやってほしい。 (韓・54歳・男)

いつもお世話になります。 (朝・59歳・男)

質問の項目が多すぎる。もう少し簡潔にしてほしい。 (韓・51歳・男)

すべて日本人とびょうどうにしてほしい。 (朝・62歳・女)

障害の件で入浴に苦労しているし、住宅の悩み等、生活面での改善に強く希望する (韓・63歳・女)

将来子供達が夢を持てるような教育や社会造りをお願いしたいと思います。情操教育の見直しもとても必要だと思っています。 (韓・73歳・女)

教育のレベルアップを望む。 (韓・73歳・男)

今の生活は、100%の満ぞくではないが、それなりに良いと思う。 (朝・76歳・男)

参考文献

- 石朋次編 1991 『多民族社会アメリカ』 明石書店 東京
- Wilson, William J. 1985 "Race and Ethnicity" Ch.7 Pg.223-242 in Handbook of Sociology, edited by N.J.Smelser. Newbury Park, CA: Sage Publication
- Espiritu, Yu. 1992 *Asian American Panethnicity*. Philadelphia: Temple University Press
- 大阪府外国人教育研究協議会1997 『21世紀を展望する多文化共生教育の構想-府外教のめざす
在日外国人教育-』 大阪府外国人教育研究協議会 大阪
- 大阪市教育委員会 1997 『学校教育指針』 (資料提供：大阪市教育委員会事務局総務部)
- 大阪市教育委員会 1997 『在日外国人の幼児・児童・生徒の教育研修資料-「本名指導」をすす
めるために(指導の手引書)-』 (資料提供：大阪市教育委員会事務局総務部)
- 大阪市建設局 1990 『甦るわが街-戦災復興土地地区画整理事業(西成地区)』 大阪市 大阪
- Olzak, Susan & Nagel, Joane. 1982 "Ethnic Mobilization in New and Old States:An
Extension of The Competition Model." Social Problems 30(2):127-143
- 大阪市同和事業促進西成地区協議会・大阪市西成解放会館 1992 『西成地区生活白書1990年同
和地区生活実態調査結果報告書』 大阪
- 大阪市同和事業促進協議会 1973 『そくしん：1953/9～1970/11 縮刷版』 大阪市事業促進協議
会 大阪
- 大阪市市民局 1997 『区政概要：平成9年度版』 大阪市市民局 大阪
- 大阪人権研究会 1989 『「国際理解」について-大阪市民を対象とするアンケート調査のまとめ-』
大阪市人権研究会 大阪
- 梶村秀樹 1977 『朝鮮史』 講談社 東京
- 金井靖雄 1997 『13の揺れる思い-在日コリアン二世・三世の現在-』 麦秋社 東京
- 金敬得 1995 『在日コリアンのアイデンティティと法的地位』 明石書店 東京
- 金原左門 et al. 1990 『日本の中の韓国・朝鮮人、中国人-神奈川県内在住外国人実態調査より-』
明石書店 東京
- 杉原薫、玉井金五 1996 『大正・大阪・スラム-もうひとつの日本近代史-』 新評論 東京
- Smith, Herman W. 1991 *Social Research* Texas: Holt, Rinehart and Winston, Inc.
- 庄谷怜子、中山徹 1997 『高齢在日韓国・朝鮮人 -大阪における「在日」の生活構造と高齢福
祉の課題』 御茶の水書房 東京
- Takaki, Ronald. 1989 *Strangers from a Different shore* New York: Penguin Books

- 田中圭治郎 1996 『多文化教育の世界的潮流』 ナカニシヤ出版 京都
- 辻村 et al. 1994 『親と子がみた在日韓国・朝鮮人白書--在日韓国・朝鮮人と日本人の三つの意識調査--』 明石書店 東京
- 中道實 1997 『社会調査方法論』 恒星社厚生閣 東京
- Nagel, Joane. 1994 "Construction Ethnicity: Creating and Recreating Ethnic Identity and Culture" *Social Problems* 41(1):152-176
- 仲原良二 1993 『在日韓国・朝鮮人の就職差別と国籍条項』 明石書店 東京
- 「浪速部落の歴史」編纂委員会編 1997 『渡辺・西浜・浪速-浪速部落の歴史-』 解放出版社 大阪
- Hein, Jeremy. 1994 "From Migrant to Minority: Hmong Refugees and the Social construction of Identity in the United States." *Sociological Inquiry* 64(3):281-306
- 朴慶植 1979 『在日朝鮮人運動史』 三一書房 東京
- 朴慶植 1975 『在日朝鮮人関係資料集成』 三一書房 東京
- 平沢安政 1994 『アメリカの多文化教育に学ぶ』 明治図書出版株式会社 東京
- Feagin, Joe R. 1991 "The continuing significance of race: Antiblack discrimination in public places." *American Sociological Review* 56:101-116
- van de Berghe, Pierre. 1981 *The Ethnic Phenomenon*. New York: Elsevier
- 福岡安則 1991 『本当の私を求めて-在日二世三世の女性たち-』 新幹社 東京
- 福岡康則・金明秀 1997 『在日韓国人青年の生活と意識』 東京大学出版会 東京
- 福岡安則・辻ゆき子 1991 『同化と異化のはざままで-在日若者世代のアイデンティティ葛藤-』 新幹社 東京
- 部落解放同盟西成支部編 1993 『焼土の街から-部落解放同盟西成支部』 大阪
- 部落解放同盟大阪府連合会、大阪府同和事業促進協議会、大阪市同和事業促進協議会 1975 『松田喜一 -その思想と事業-』 大阪
- Portes, Alejandro. 1984 "The Rise of Ethnicity: Determinants of Ethnic Perceptions among Cuban exiles in Miami." *American Sociological Review* 49:383-397
- McLemore, Dale S. 1994 *Racial and Ethnic Relations in America* Boston: Allyn and Bacon
- Mitchell, Richard H. 1981 『The Korean Minority in Japan』 彩流社 東京
- 宮田節子・金英達・梁泰昊 1992 『創氏改名』 明石書店 東京
- 森田芳夫 1995 『数字が語る在日韓国・朝鮮人の歴史』 明石書店 東京
- 山田照美・朴鐘鳴 et al. 1994 『在日朝鮮人-歴史と現状-』 明石書店 東京
- 吉見義明・林博史 1995 『共同研究日本軍慰安婦』 大月書店 東京
- 李 瑜煥 1980 『日本の中の38度線-民団・朝総連の歴史と現実-』 洋々社 東京

良知会編 1997 『100人の在日コリアン』 三五館 東京

Lopez & Espiritu 1990 "*Panethnicity in the United States: A Theoretical Framework.*"
Ethnic and Racial Studies 13(2):198-224

